

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン リッキョウガクイン 学校法人 立教学院							
フリガナ大学の名称	リッキョウダイガク 立教大学 (Rikkyo University)							
大学本部の位置	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号							
大学の目的	キリスト教に基づく人格の陶冶を旨とし、学校教育法（昭和22年法律第26号）により学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めること。							
新設学部等の目的	スポーツウエルネス学部の新設、当該新設に伴うコミュニティ福祉学部の改編のため、収容定員の変更を行う。							
新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	年	人	年次人	人		年月第年次		
文学部 【College of Arts】								
キリスト教学科 【Department of Christian Studies】	4	50	—	200	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号	
史学科 【Department of History】	4	215	—	860	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	同上	
教育学科 【Department of Education】	4	101	—	404	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	昭和37年4月 第1年次	同上	
文学科 【Department of Letters】	4	552	—	2208	学士（文学） 【Bachelor of Arts】 学士（学術） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
経済学部 【College of Economics】								
経済学科 【Department of Economics】	4	332	—	1328	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	昭和24年4月 第1年次	同上	
会計ファイナンス学科 【Department of Accounting and Finance】	4	176	—	704	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	平成14年4月 第1年次	同上	
経済政策学科 【Department of Economic Policy Studies】	4	176	—	704	学士（経済学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上	
理学部 【College of Science】								
数学科 【Department of Mathematics】	4	66	—	264	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上	
物理学科 【Department of Physics】	4	77	—	308	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	化学科 【Department of Chemistry】	4	77	—	308	学士（理学） 【Bachelor of Science】	昭和24年4月 第1年次	同上
	生命理学科 【Department of Life Science】	4	72	—	288	学士（理学） 【Bachelor of Science】	平成14年4月 第1年次	同上
	社会学部 【College of Sociology】							
	社会学科 【Department of Sociology】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	昭和33年4月 第1年次	同上
	現代文化学科 【Department of Contemporary Culture and Society】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	平成14年4月 第1年次	同上
	メディア社会学科 【Department of Communication and Media Studies】	4	173	—	692	学士（社会学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上
	法学部 【College of Law and Politics】							
	法学科 【Department of Law】	4	360	—	1440	学士（法学） 【Bachelor of Arts】	昭和34年4月 第1年次	同上
	政治学科 【Department of Politics】	4	110	—	440	学士（政治学） 【Bachelor of Arts】	平成8年4月 第1年次	同上
	国際ビジネス法学科 【Department of International Business Law】	4	115	—	460	学士（法学） 【Bachelor of Arts】	昭和63年4月 第1年次	同上
	観光学部 【College of Tourism】							
	観光学科 【Department of Tourism and Hospitality Management】	4	195	—	780	学士（観光学） 【Bachelor of Arts】	平成10年4月 第1年次	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
	交流文化学科 【Department of Culture and Tourism Studies】	4	175	—	700	学士（観光学） 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上
	コミュニティ福祉学部 【College of Community and Human Services】							
	福祉学科 【Department of Social Work】	4	130 (154)	—	520 (616)	学士（コミュニティ福祉学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上
コミュニティ政策学科 【Department of Community Development】	4	220 (154)	—	880 (616)	学士（コミュニティ福祉学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上	
スポーツウェルネス学科 【Department of Sport and Wellness】	4	0 (110)	—	0 (440)	学士（スポーツウェルネス学） 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上	

経営学部 【College of Business】									
経営学科 【Department of Business】	4	230	—	920	学士 (経営学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号		
国際経営学科 【Department of Global Business】	4	155	—	620	学士 (経営学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上		
現代心理学部 【College of Contemporary Psychology】									
心理学科 【Department of Psychology】	4	143	—	572	学士 (心理学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	埼玉県新座市北野 一丁目2番26号		
映像身体学科 【Department of Body Expression and Cinematic Arts】	4	176	—	704	学士 (映像身体学) 【Bachelor of Arts】	平成18年4月 第1年次	同上		
異文化コミュニケーション学部 【College of Intercultural Communication】									
異文化コミュニケーション学科 【Department of Intercultural Communication】	4	145	—	580	学士 (異文化コミュニケーション学) 【Bachelor of Arts】	平成20年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋 三丁目34番1号		
スポーツウェルネス学部 【College of Sport and Wellness】									※令和4年5月設置届出予定
スポーツウェルネス学科 【Department of Sport and Wellness】	4	230 (0)	—	920 (0)	学士 (スポーツウェルネス学) 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	埼玉県新座市北野 一丁目2番26号		
計									
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>①令和4年3月 研究科の設置に係る認可申請済み          スポーツウェルネス学研究科          スポーツウェルネス学専攻 (M) (10) (令和5年4月)          スポーツウェルネス学専攻 (D) (5) (令和5年4月)</p> <p>②令和4年6月 設置届出済み          スポーツウェルネス学部          スポーツウェルネス学科 (230)</p> <p>③令和4年6月 収容定員の変更に係る学則変更届出済み          経済学研究科          経済学専攻 (D) [定員減] (△5) (令和5年4月)          法学研究科          法学政治学専攻 (D) [定員減] (△2) (令和5年4月)          コミュニティ福祉学研究科          コミュニティ福祉学専攻 (M) [定員減] (△10) (令和5年4月)          スポーツウェルネス学研究科          スポーツウェルネス学専攻 (M) (10) (令和5年4月)          スポーツウェルネス学専攻 (D) (5) (令和5年4月)</p> <p>④令和5年4月 学生募集停止          コミュニティ福祉学部          スポーツウェルネス学科 (廃止) (△110)</p>								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		単位		
		講義	演習	実験・実習	計					
		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 設 織 の 分	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新	文学部		8	1	0	0	9	0	57
		文学部 文学部		(8)	(1)	(0)	(0)	(9)	(0)	(57)
		史学科		12	5	0	0	17	0	88
		史学科		(12)	(5)	(0)	(0)	(17)	(0)	(88)
		教育学科		12	1	0	0	13	0	75
		教育学科		(12)	(1)	(0)	(0)	(13)	(0)	(75)
		文学部		29	8	0	8	45	0	190
		文学部		(29)	(8)	(0)	(8)	(45)	(0)	(190)
		経済学部		14	6	0	3	23	0	84
		経済学部 経済学部		(14)	(6)	(0)	(3)	(23)	(0)	(84)
	会計ファイナンス学科		7	5	0	3	15	0	84	
	会計ファイナンス学科		(7)	(5)	(0)	(3)	(15)	(0)	(84)	
	経済政策学科		10	3	0	2	15	0	84	
	経済政策学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(84)	
	理学部		9	4	0	3	16	0	17	
	理学部 理学部		(9)	(4)	(0)	(3)	(16)	(0)	(17)	
	数学科		9	5	0	9	23	0	54	
	数学科		(9)	(5)	(0)	(9)	(23)	(0)	(54)	
	物理学科		9	5	0	9	23	0	54	
	物理学科		(9)	(5)	(0)	(9)	(23)	(0)	(54)	
	化学科		10	2	0	4	16	0	20	
	化学科		(10)	(2)	(0)	(4)	(16)	(0)	(20)	
	生命理学科		10	3	0	9	22	0	25	
	生命理学科		(10)	(3)	(0)	(9)	(22)	(0)	(25)	
	社会学部		10	1	0	2	13	0	90	
	社会学部 社会学部		(10)	(1)	(0)	(2)	(13)	(0)	(90)	
	現代文化学科		7	3	0	2	12	0	98	
現代文化学科		(7)	(3)	(0)	(2)	(12)	(0)	(98)		
メディア社会学科		10	0	0	3	13	0	101		
メディア社会学科		(10)	(0)	(0)	(3)	(13)	(0)	(101)		
法学部		18	3	0	3	24	0	79		
法学部 法学部		(18)	(3)	(0)	(3)	(24)	(0)	(79)		
政治学科		8	2	0	2	12	0	79		
政治学科		(8)	(2)	(0)	(2)	(12)	(0)	(79)		
国際ビジネス法学科		7	7	0	0	14	0	79		
国際ビジネス法学科		(7)	(7)	(0)	(0)	(14)	(0)	(79)		
観光学部		11	1	0	2	14	0	73		
観光学部 観光学部		(11)	(1)	(0)	(2)	(14)	(0)	(73)		
交流文化学科		8	4	0	1	13	0	45		
交流文化学科		(8)	(4)	(0)	(1)	(13)	(0)	(45)		
コミュニティ福祉学部		7	4	0	4	15	0	66		
コミュニティ福祉学部 コミュニティ福祉学部		(7)	(4)	(0)	(4)	(15)	(0)	(66)		
福祉学科		7	7	0	3	17	0	57		
福祉学科		(7)	(7)	(0)	(3)	(17)	(0)	(57)		
コミュニティ政策学科		7	7	0	3	17	0	57		
コミュニティ政策学科		(7)	(7)	(0)	(3)	(17)	(0)	(57)		
経営学部		10	3	0	4	17	0	66		
経営学部 経営学部		(10)	(3)	(0)	(4)	(17)	(0)	(66)		
経営学科		6	6	1	3	16	0	66		
経営学科		(6)	(6)	(1)	(3)	(16)	(0)	(66)		
国際経営学科		6	6	1	3	16	0	66		
国際経営学科		(6)	(6)	(1)	(3)	(16)	(0)	(66)		
現代心理学部		10	5	0	1	16	0	54		
現代心理学部 現代心理学部		(10)	(5)	(0)	(1)	(16)	(0)	(54)		
心理学科		10	3	0	2	15	0	45		
心理学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(45)		
映像身体学科		10	3	0	2	15	0	45		
映像身体学科		(10)	(3)	(0)	(2)	(15)	(0)	(45)		
異文化コミュニケーション学部		22	9	0	3	34	0	83		
異文化コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学部		(22)	(9)	(0)	(3)	(34)	(0)	(83)		
異文化コミュニケーション学科		10	6	0	0	16	0	30		
異文化コミュニケーション学科		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
スポーツウェルネス学部		10	6	0	0	16	0	30		
スポーツウェルネス学部 スポーツウェルネス学部		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
スポーツウェルネス学科		10	6	0	0	16	0	30		
スポーツウェルネス学科		(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(30)		
計		291	107	1	76	475	0	—		
		(291)	(107)	(1)	(76)	(475)	(0)	(—)		
既	学校・社会教育講座		7	4	0	0	11	0	79	
	学校・社会教育講座		(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)	(79)	
	全学共通カリキュラム運営センター		0	0	0	0	0	0	362	
	全学共通カリキュラム運営センター		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(362)	
外国語教育センター		4	12	82	0	98	0	186		
外国語教育センター		(4)	(12)	(82)	(0)	(98)	(0)	(186)		
社会情報教育研究センター		0	0	0	4	4	0	0		
社会情報教育研究センター		(0)	(0)	(0)	(4)	(4)	(0)	(0)		

令和4年5月  
設置届出予定

概 設	日本語語教育センター		0 (0)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	19 (19)
	グローバル教育センター		0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	大学教育開発・支援センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	立教学院史資料センター		0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	立教サービスラーニングセンター		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	チャブレン室		0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	計		11 (11)	26 (26)	86 (86)	10 (10)	133 (133)	0 (0)	— (—)
	合計		302 (302)	133 (133)	87 (87)	86 (86)	608 (608)	0 (0)	— (—)
要 分	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		255 (255)	人	195 (195)	人	450 (450)		人
	技術職員		24 (24)	人	1 (1)	人	25 (25)		人
	図書館専門職員		23 (23)	人	2 (2)	人	25 (25)		人
	その他の職員		0 (0)	人	0 (0)	人	0 (0)		人
計		302 (302)	人	198 (198)	人	500 (500)		人	
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校舎敷地	116,820 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		116,820 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	125,853 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		125,853 m <sup>2</sup>		
	小 計	242,673 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		242,673 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	16,234 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		16,234 m <sup>2</sup>		
	合 計	258,907 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		258,907 m <sup>2</sup>		
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
		183,096 m <sup>2</sup> (176,796 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		183,096 m <sup>2</sup> (176,796 m <sup>2</sup> )		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		
	143 室	157 室	69 室		21 室 (補助職員 人)		12 室 (補助職員 人)		
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学全体			567 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	2,027,717 [785,765] (2,102,761 [806,713])	21,051 [7,060] (21,051 [7,060])		66,845 [66,734] (66,845 [66,734])	64,126 (65,854)	968 (968)	0 (0)	
	計	2,027,717 [785,765] (2,102,761 [806,713])	21,051 [7,060] (21,051 [7,060])		66,845 [66,734] (66,845 [66,734])	64,126 (65,854)	968 (968)	0 (0)	
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		21,554.99 m <sup>2</sup>		2,029		2,928,382			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		13,450.03 m <sup>2</sup>		ジム、馬場、射撃場、テニスコート、プール、弓道場					
経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等		1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	—	—	
	共同研究費等		15,186千円	15,186千円	15,186千円	15,186千円	—	—	
	図書購入費	661,319,000	661,319,000	661,319,000	661,319,000	661,319,000	—	—	
	設備購入費	202,991,000	202,991,000	202,991,000	202,991,000	202,991,000	—	—	
図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。									

経費の  
見及び  
積維  
持方法  
の概要

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
文学部(教育学科初等教育専攻、グローバル・リベラルアーツ・プログラム、NEXUSプログラムを除く)	1,328千円	1,128千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 教育学科初等教育専攻 (NEXUSプログラムを除く)	1,328千円	1,128千円	1,138千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 グローバル・リベラル アーツ・プログラム	2,050千円	1,850千円	1,850千円	1,850千円	— 千円	— 千円
文学部 NEXUSプログラム(教育学科初等教育専攻を除く)	1,892千円	1,128千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
文学部 NEXUSプログラム (教育学科初等 教育専攻)	1,892千円	1,128千円	1,138千円	1,128千円	— 千円	— 千円
経済学部(NEXUSプログラムを除く) 法学部(NEXUSプログラム、国際ビジネス法学科 グローバルコースを除く) 観光学部	1,321千円	1,121千円	1,121千円	1,121千円	— 千円	— 千円
経済学部NEXUSプログラム 法学部NEXUSプログラム	1,881.5千円	1,121千円	1,121千円	1,121千円	— 千円	— 千円
法学部 国際ビジネス法学科 グローバルコース	1,421千円	1,221千円	1,221千円	1,221千円	— 千円	— 千円
理学部 数学科	1,748千円	1,548千円	1,548千円	1,548千円	— 千円	— 千円
理学部 物理学科	1,758千円	1,608千円	1,588千円	1,668千円	— 千円	— 千円
理学部 化学科	1,788千円	1,628千円	1,548千円	1,628千円	— 千円	— 千円
理学部 生命理学科	1,818千円	1,588千円	1,628千円	1,628千円	— 千円	— 千円
社会学部(NEXUSプログラムを除く)	1,336千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
社会学部 NEXUSプログラム	1,896.5千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学部 (NEXUSプログラムを除く)	1,331千円	1,131千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学部 NEXUSプログラム	1,895千円	1,131千円	1,128千円	1,128千円	— 千円	— 千円
経営学部(NEXUSプログラムを除く)	1,351千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
経営学部 NEXUSプログラム	1,911.5千円	1,136千円	1,136千円	1,136千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 心理学科(NEXUSプログラムを除く)	1,380千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 心理学科 NEXUSプログラム	1,962.5千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	— 千円	— 千円
現代心理学部 映像身体学科 (NEXUSプログラムを除く)	1,405千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円

現代心理学部 映像身体学科 NEXUSプログラム	2,000千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円		
異文化コミュニケーション学部	1,338千円	1,131千円	1,131千円	1,129千円	— 千円	— 千円		
スポーツウェルネス学部	1,405千円	1,205千円	1,205千円	1,205千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入、寄付金収入、補助金収入等						
大 学 の 名 称 立教大学								
学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
文学部						0.99		東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
キリスト教学科	4	50	—	197	学士（文学）	0.94	昭和24年度	令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（15人）
史学科	4	215	—	857	学士（文学）	0.96	昭和24年度	
教育学科	4	101	—	401	学士（文学）	1.10	昭和37年度	
文学科	4	552	—	2163	学士（文学） 学士（学術）	0.97	平成18年度	
経済学部						0.98		同上
経済学科	4	332	—	1322	学士（経済学）	0.97	昭和24年度	令和4年度入学定員増（2人） 令和4年度入学定員増（1人） 令和4年度入学定員増（1人）
会計ファイナンス学科	4	176	—	701	学士（経済学）	0.97	平成14年度	
経済政策学科	4	176	—	701	学士（経済学）	0.99	平成18年度	
理学部						0.98		同上
数学科	4	66	—	264	学士（理学）	0.96	昭和24年度	令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人）
物理学科	4	77	—	308	学士（理学）	1.00	昭和24年度	
化学科	4	77	—	308	学士（理学）	1.00	昭和24年度	
生命理学科	4	72	—	288	学士（理学）	0.97	平成14年度	
社会学部						0.99		同上
社会学科	4	173	—	683	学士（社会学）	1.00	昭和33年度	令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人） 令和4年度入学定員増（3人）
現代文化学科	4	173	—	683	学士（社会学）	0.99	平成14年度	
メディア社会学科	4	173	—	683	学士（社会学）	0.98	平成18年度	
法学部						0.98		同上
法学科	4	360	—	1440	学士（法学）	0.93	昭和34年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
政治学科	4	110	—	440	学士（政治学）	1.06	平成8年度	
国際ビジネス法学科	4	115	—	460	学士（法学）	1.04	昭和63年度	
観光学部						0.98		同上
観光学科	4	195	—	780	学士（観光学）	0.99	平成10年度	同上
交流文化学科	4	175	—	700	学士（観光学）	0.97	平成18年度	
コミュニティ福祉学部						0.97		同上
福祉学科	4	154	—	616	学士（コミュニティ福祉学）	0.98	平成18年度	同上
コミュニティ政策学科	4	154	—	616	学士（コミュニティ福祉学）	0.96	平成18年度	

既設大学等の状況	スポーツウェルネス学科	4	110	—	440	学士（スポーツウェルネス学）	0.97	平成20年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号	
	経営学部						0.97			
	経営学科	4	230	—	920	学士（経営学）	1.00	平成18年度		
		国際経営学科	4	155	—	620	学士（経営学）	0.93	平成18年度	埼玉県新座市北野一丁目2番26号
	現代心理学部						0.98			
	心理学科	4	143	—	572	学士（心理学）	0.98	平成18年度		
		映像身体学科	4	176	—	704	学士（映像身体学）	0.98	平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
	異文化コミュニケーション学部						1.01			
	異文化コミュニケーション学科	4	145	—	580	学士（異文化コミュニケーション学）	1.01	平成20年度		
		文学研究科							同上	
		英米文学専攻(M)	2	18	—	36	修士（文学）	0.19	昭和26年度	同上
		英米文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.66	昭和28年度	
		史学専攻(M)	2	15	—	30	修士（文学）	0.50	昭和33年度	
		史学専攻(D)	3	6	—	18	博士（文学）	0.49	昭和51年度	
		教育学専攻(M)	2	10	—	20	修士（教育学）	0.55	昭和44年度	
		教育学専攻(D)	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	昭和47年度	
		日本文学専攻(M)	2	20	—	40	修士（文学）	0.37	昭和35年度	
		日本文学専攻(D)	3	8	—	24	博士（文学）	0.29	昭和37年度	
		フランス文学専攻(M)	2	8	—	16	修士（文学）	0.25	昭和40年度	
		フランス文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.22	昭和42年度	
		ドイツ文学専攻(M)	2	8	—	16	修士（文学）	0.31	昭和42年度	
		ドイツ文学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.11	昭和44年度	
		比較文明学専攻(M)	2	10	—	20	修士（比較文明学）	0.25	平成10年度	
		比較文明学専攻(D)	3	5	—	15	博士（比較文明学）	0.33	平成12年度	
		超域文化学専攻(M)	2	5	—	10	修士（文学）	0.10	昭和42年度	
		超域文化学専攻(D)	3	3	—	9	博士（文学）	0.22	昭和44年度	
		経済学研究科							同上	
		経済学専攻(M)	2	40	—	80	修士（経済学） 修士（会計学）	0.67	昭和26年度	
		経済学専攻(D)	3	10	—	30	博士（経済学） 博士（会計学）	0.16	昭和38年度	
		理学研究科							同上	
		物理学専攻(M)	2	20	—	40	修士（理学）	0.92	昭和28年度	
		物理学専攻(D)	3	4	—	12	博士（理学）	0.58	昭和30年度	
	化学専攻(M)	2	20	—	40	修士（理学）	0.92	昭和29年度		
	化学専攻(D)	3	4	—	12	博士（理学）	0.16	昭和37年度		



数学専攻(M)	2	5	—	10	修士(理学)	0.50	昭和30年度	
数学専攻(D)	3	3	—	9	博士(理学)	0.11	昭和37年度	
生命理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(理学)	0.90	平成8年度	
生命理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(理学)	0.25	平成10年度	
社会学研究科								同上
社会学専攻(M)	2	20	—	40	修士(社会学)	0.97	平成2年度	
社会学専攻(D)	3	10	—	30	博士(社会学)	0.33	平成9年度	
法学研究科								同上
法学政治学専攻(M)	2	20	—	40	修士(法学) 修士(政治学)	0.35	平成18年度	
法学政治学専攻(D)	3	10	—	30	博士(法学) 博士(政治学)	0.06	平成18年度	
観光学研究科								埼玉県新座市北野一丁目2番26号
観光学専攻(M)	2	20	—	40	修士(観光学)	0.60	平成10年度	
観光学専攻(D)	3	8	—	24	博士(観光学)	0.16	平成10年度	
コミュニティ福祉学研究科								同上
コミュニティ福祉学専攻(M)	2	25	—	50	修士(コミュニティ福祉学) 修士(スポーツマネジメント学)	0.38	平成18年度	
コミュニティ福祉学専攻(D)	3	5	—	15	博士(コミュニティ福祉学) 博士(スポーツマネジメント学)	0.46	平成16年度	
ビジネスデザイン研究科								東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
ビジネスデザイン専攻(M)	2	90	—	180	修士(経営管理学)	1.03	平成14年度	
ビジネスデザイン専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営管理学)	0.60	平成19年度	
21世紀社会デザイン研究科								同上
比較組織ネットワーク学専攻(M)	2	50	—	100	修士(社会デザイン学)	0.83	平成14年度	
比較組織ネットワーク学専攻(D)	3	5	—	15	博士(社会デザイン学)	0.13	平成19年度	
異文化コミュニケーション研究科								同上
異文化コミュニケーション専攻(M)	2	20	—	40	修士(異文化コミュニケーション学)	0.62	平成14年度	
異文化コミュニケーション専攻(D)	3	5	—	15	博士(異文化コミュニケーション学)	0.40	平成16年度	
経営学研究科								同上
経営学専攻(M)	2	10	—	20	修士(経営学)	2.05	平成18年度	
経営学専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営学)	0.40	平成18年度	
国際経営学専攻(M)	2	50	—	100	修士(国際経営学) 修士(公共経営学)	0.70	平成23年度	
現代心理学研究科								埼玉県新座市北野一丁目2番26号
心理学専攻(M)	2	10	—	20	修士(心理学)	0.15	平成18年度	
心理学専攻(D)	3	3	—	9	博士(心理学)	0.33	平成18年度	

臨床心理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(臨床心理学)	0.93	平成18年度	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
臨床心理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(臨床心理学)	0.16	平成18年度	
映像身体学専攻(M)	2	15	—	30	修士(映像身体学)	0.29	平成20年度	
映像身体学専攻(D)	3	4	—	12	博士(映像身体学)	0.00	平成22年度	
キリスト教学研究科								
キリスト教学専攻(M)	2	10	—	20	修士(神学) 修士(文学) 修士(実践神学)	0.70	平成21年度	同上
キリスト教学専攻(D)	3	5	—	15	博士(神学) 博士(文学)	0.13	平成21年度	
人工知能科学研究科								
人工知能科学専攻(M)	2	63	—	126	修士(人工知能科学)	1.05	令和2年度	同上
人工知能科学専攻(D)	3	8	—	8	博士(人工知能科学)	—	令和4年度	
附属施設の概要	該当なし							



令和4年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
文学研究科	英米文学専攻(M)	18	—	36
	英米文学専攻(D)	3	—	9
	史学専攻(M)	15	—	30
	史学専攻(D)	6	—	18
	教育学専攻(M)	10	—	20
	教育学専攻(D)	3	—	9
	日本文学専攻(M)	20	—	40
	日本文学専攻(D)	8	—	24
	フランス文学専攻(M)	8	—	16
	フランス文学専攻(D)	3	—	9
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9
	比較文明学専攻(M)	10	—	20
	比較文明学専攻(D)	5	—	15
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80
	経済学専攻(D)	10	—	30
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40
	物理学専攻(D)	4	—	12
	化学専攻(M)	20	—	40
	化学専攻(D)	4	—	12
	数学専攻(M)	5	—	10
	数学専攻(D)	3	—	9
	生命理学専攻(M)	15	—	30
	生命理学専攻(D)	4	—	12
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40
	社会学専攻(D)	10	—	30
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40
	法学政治学専攻(D)	10	—	30
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40
	観光学専攻(D)	8	—	24
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	25	—	50
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15

令和5年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
文学研究科	英米文学専攻(M)	18	—	36	
	英米文学専攻(D)	3	—	9	
	史学専攻(M)	15	—	30	
	史学専攻(D)	6	—	18	
	教育学専攻(M)	10	—	20	
	教育学専攻(D)	3	—	9	
	日本文学専攻(M)	20	—	40	
	日本文学専攻(D)	8	—	24	
	フランス文学専攻(M)	8	—	16	
	フランス文学専攻(D)	3	—	9	
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16	
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9	
	比較文明学専攻(M)	10	—	20	
	比較文明学専攻(D)	5	—	15	
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80	
	経済学専攻(D)	<u>5</u>	—	<u>15</u>	定員変更(△5)
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40	
	物理学専攻(D)	4	—	12	
	化学専攻(M)	20	—	40	
	化学専攻(D)	4	—	12	
	数学専攻(M)	5	—	10	
	数学専攻(D)	3	—	9	
	生命理学専攻(M)	15	—	30	
	生命理学専攻(D)	4	—	12	
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40	
	社会学専攻(D)	10	—	30	
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40	
	法学政治学専攻(D)	<u>8</u>	—	<u>24</u>	定員変更(△2)
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40	
	観光学専攻(D)	8	—	24	
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	<u>15</u>	—	<u>30</u>	定員変更(△10)
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15	
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180	
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15	

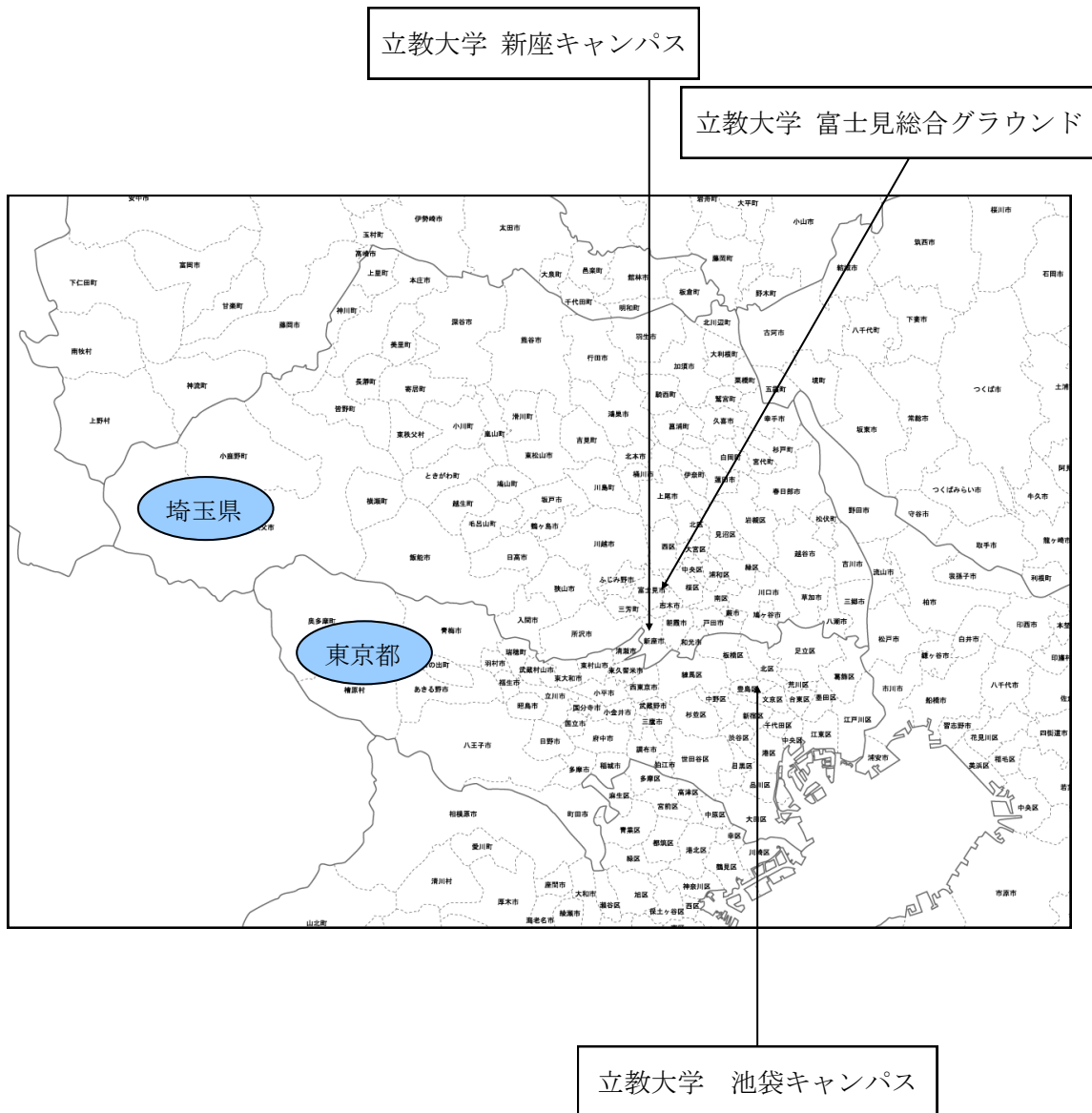
令和4年度  
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
21世紀社会デザイン研究科	比較組織ネットワーク学専攻(M)	50	—	100
	比較組織ネットワーク学専攻(D)	5	—	15
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20
	経営学専攻(D)	5	—	15
	国際経営学専攻(M)	50	—	100
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20
	心理学専攻(D)	3	—	9
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12
	映像身体学専攻(M)	15	—	30
	映像身体学専攻(D)	4	—	12
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24
計		748	—	1,632

令和5年度  
立教大学大学院

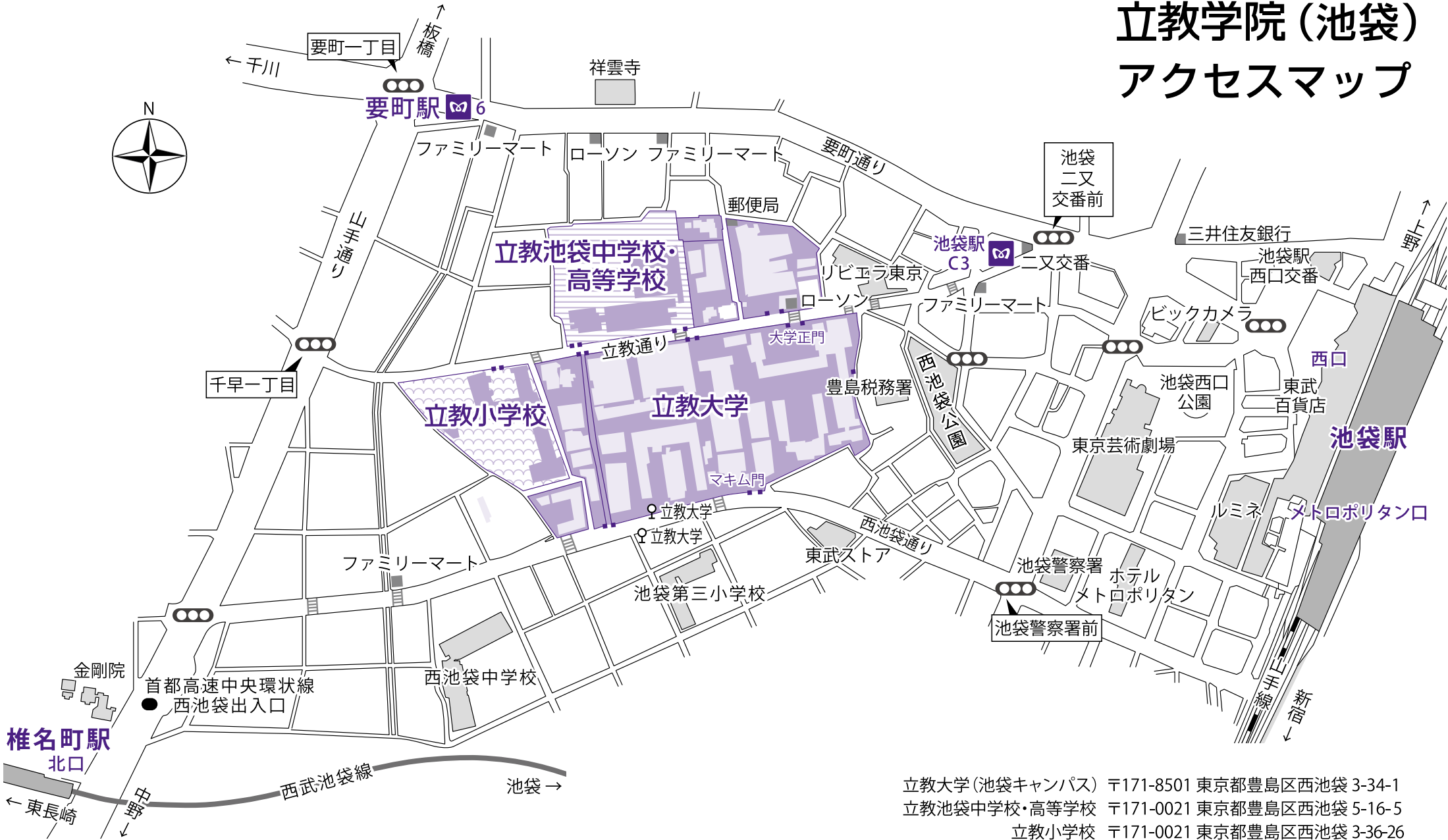
研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
21世紀社会デザイン研究科	比較組織ネットワーク学専攻(M)	50	—	100	
	比較組織ネットワーク学専攻(D)	5	—	15	
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40	
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15	
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20	
	経営学専攻(D)	5	—	15	
	国際経営学専攻(M)	50	—	100	
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20	
	心理学専攻(D)	3	—	9	
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30	
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12	
	映像身体学専攻(M)	15	—	30	
	映像身体学専攻(D)	4	—	12	
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20	
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15	
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126	
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24	
	スポーツウエルネス学研究科	10	—	20	研究科の設置 (認可申請)
	スポーツウエルネス学専攻(D)	5	—	15	
計		746	—	1,626	

(1) 都道府県内における位置関係の図面



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

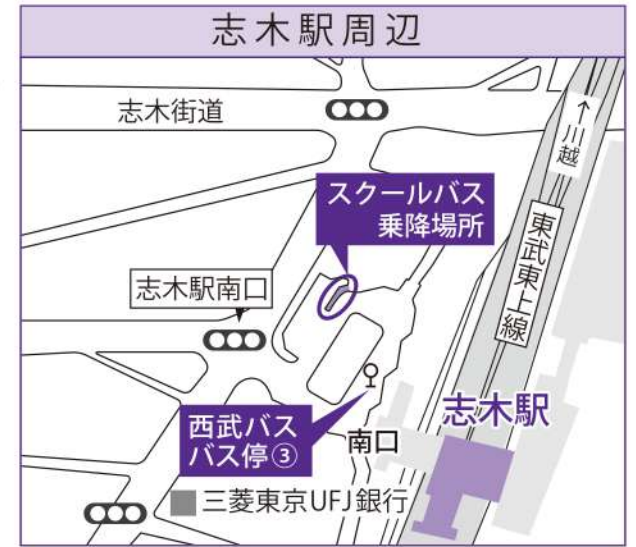
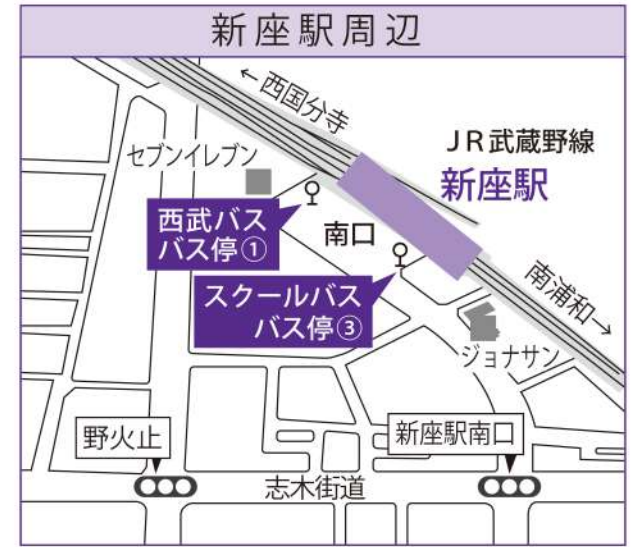
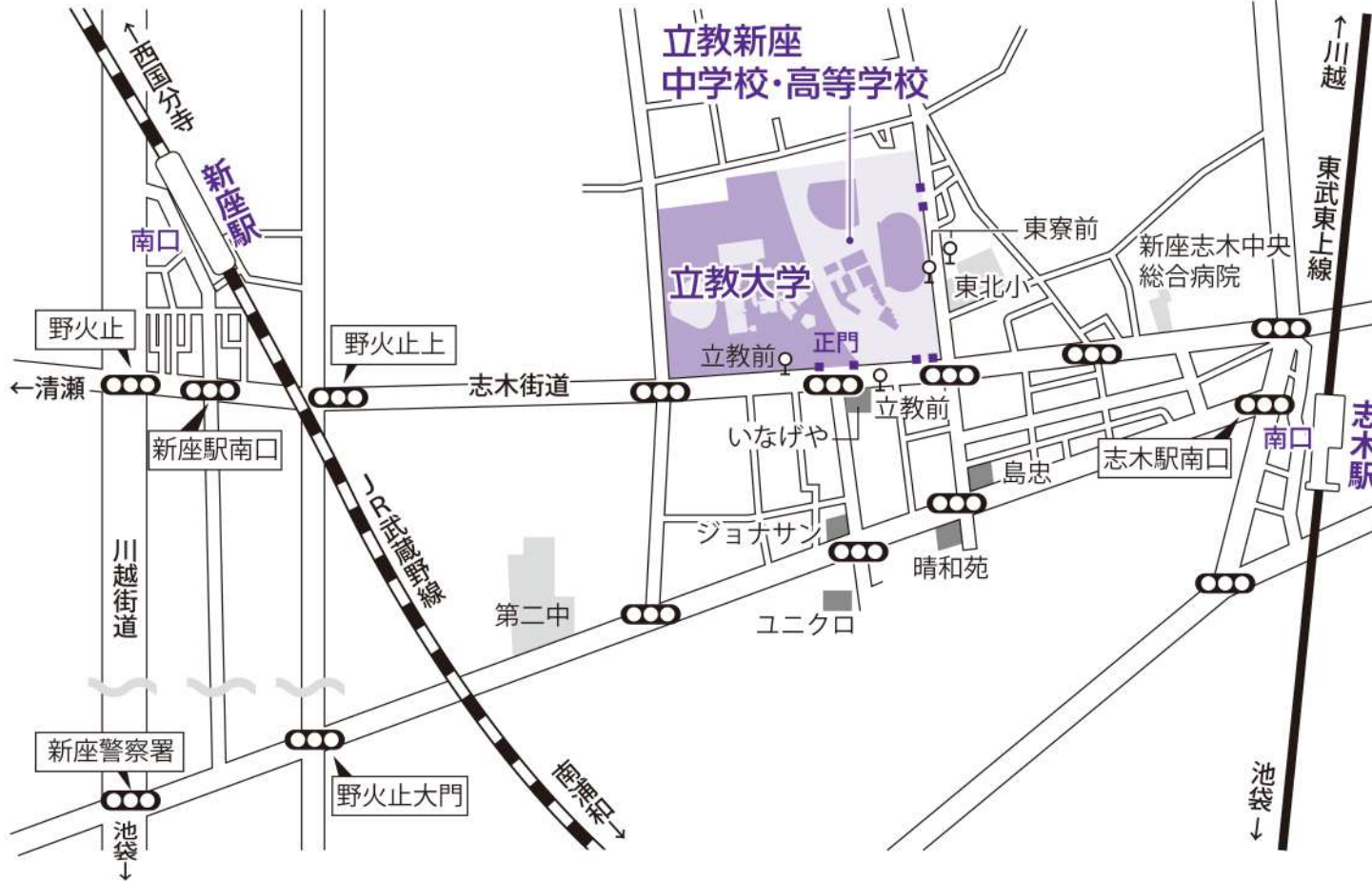
学校法人  
**立教学院(池袋)**  
**アクセスマップ**



立教大学(池袋キャンパス) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1  
 立教池袋中学校・高等学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-16-5  
 立教小学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-36-26

<p><b>池袋駅</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ JR各線</li> <li>■ 東京メトロ：丸ノ内線/有楽町線/副都心線</li> <li>■ 西武池袋線</li> </ul> <p>西口より大学正門まで徒歩 約7分</p>	<p><b>要町駅</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京メトロ：有楽町線/副都心線</li> </ul> <p>6番出口より大学正門まで徒歩 約6分</p>	<p><b>椎名町駅</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 西武池袋線</li> </ul> <p>北口よりマキム門まで徒歩 約12分</p>
---	---	---

学校法人  
立教学院(新座)  
アクセスマップ



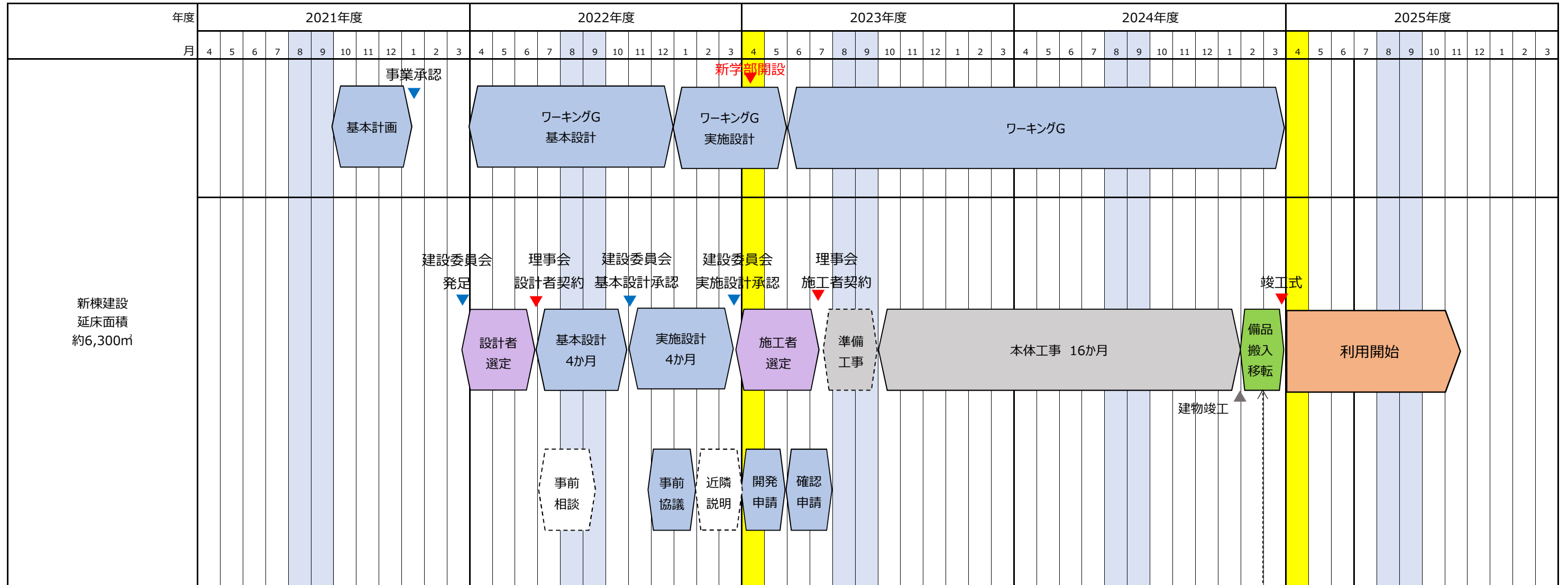
新座駅	■ JR武蔵野線 南口より	志木駅	■ 東武東上線 (東京メトロ有楽町線/副都心線相互乗り入れ) 南口より
	◎ 徒歩 正門まで約25分		◎ 徒歩 正門まで約15分
	◎ スクールバス 約10分 (運行時間 7:30~19:10 運賃無料) ※		◎ スクールバス 南口より約 7分 (運行時間 12:45~18:35 運賃無料) ※
	◎ 西武バス 約10分 志木駅南口行 (北野入口経由)「立教前」下車		◎ 西武バス 南口より約10分 清瀬駅北口行/所沢駅東口行「立教前」下車

※スクールバスの運行情報・時刻表はWebサイトでご確認ください。

立教大学(新座キャンパス) 〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26  
立教新座中学校・高等学校 〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25



新座キャンパス 新棟建設計画スケジュール



# 立教大学諸規程集

立教大学編

## 第2編 学則

### 立教大学学則

施行	昭和 24 年4月 1日	改正	2008 年4月 1日
改正	昭和 30 年4月 1日		2009 年4月 1日
	昭和 31 年4月 1日		2010 年4月 1日
	昭和 33 年4月 1日		2011 年4月 1日
	昭和 34 年4月 1日		2012 年4月 1日
	昭和 36 年4月 1日		2013 年4月 1日
	昭和 37 年4月 1日		2014 年4月 1日
	昭和 38 年4月 1日		2015 年4月 1日
	昭和 39 年4月 1日		2016 年4月 1日
	昭和 40 年4月 1日		2017 年4月 1日
	昭和 41 年4月 1日		2018 年4月 1日
	昭和 42 年4月 1日		2019 年4月 1日
	昭和 43 年4月 1日		2020 年4月 1日
	昭和 44 年4月 1日		2021 年4月 1日
	昭和 46 年4月 1日		2022 年4月 1日
	昭和 47 年4月 1日		2023 年4月 1日
	昭和 48 年4月 1日		
	昭和 49 年4月 1日		
	昭和 50 年4月 1日		
	昭和 51 年4月 1日		
	昭和 52 年4月 1日		
	昭和 53 年4月 1日		
	昭和 54 年4月 1日		
	昭和 55 年4月 1日		
	昭和 56 年4月 1日		
	1982 年4月 1日		
	1983 年4月 1日		
	1984 年4月 1日		
	1985 年4月 1日		
	1986 年4月 1日		
	1987 年4月 1日		
	1988 年4月 1日		
	1989 年4月 1日		
	1990 年4月 1日		
	1991 年4月 1日		
	1991 年 10 月 11 日		
	1992 年4月 1日		
	1993 年4月 1日		
	1994 年4月 1日		
	1995 年4月 1日		
	1995 年4月 14 日		
	1996 年4月 1日		
	1997 年4月 1日		
	1998 年4月 1日		
	1999 年4月 1日		
	2000 年4月 1日		
	2001 年4月 1日		
	2002 年4月 1日		
	2003 年4月 1日		
	2004 年4月 1日		
	2005 年4月 1日		
	2006 年4月 1日		
	2007 年4月 1日		

## 第1章 総 則

(目的)

**第1条** 本大学は、キリスト教に基づく人格の陶冶を旨とし、学校教育法（昭和22年法律第26号）により学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めることを目的とする。

2 学部ごとの、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表7のとおりとする。

(設置)

**第2条** 本大学に学部及び大学院を置く。

(学部、学科等)

**第3条** 本大学の学部、学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文 学 部	キ リ ス ト 教 学 科	50名		200名
	史 学 科	215名		860名
	教 育 学 科	101名		404名
	文 学 科	552名		2,208名
	計	918名		3,672名
経 済 学 部	経 済 学 科	332名		1,328名
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス 学 科	176名		704名
	経 済 政 策 学 科	176名		704名
	計	684名		2,736名
理 学 部	数 学 科	66名		264名
	物 理 学 科	77名		308名
	化 学 科	77名		308名
	生 命 理 学 科	72名		288名
	計	292名		1,168名
社 会 学 部	社 会 学 科	173名		692名
	現 代 文 化 学 科	173名		692名
	メ デ ィ ア 社 会 学 科	173名		692名
	計	519名		2,076名
法 学 部	法 学 科	360名		1,440名
	政 治 学 科	110名		440名
	国 際 ビ ジ ネ ス 法 学 科	115名		460名
	計	585名		2,340名
観 光 学 部	観 光 学 科	195名		780名
	交 流 文 化 学 科	175名		700名
	計	370名		1,480名
コ ミ ュ ニ テ ィ 福 祉 学 部	福 祉 学 科	130名		520名
	コ ミ ュ ニ テ ィ 政 策 学 科	220名		880名
	ス ポ ー ツ ウ エ ル ネ ス 学 科		募集停止	
	計	418名		1,672名
経 営 学 部	経 営 学 科	230名		920名
	国 際 経 営 学 科	155名		620名
	計	385名		1,540名
現 代 心 理 学 部	心 理 学 科	143名		572名
	映 像 身 体 学 科	176名		704名
	計	319名		1,276名
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	145名		580名
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	230名		920名
合 計		4,797名	0名	19,188名

(修業年限)

**第4条** 1年次から同一学部・学科・専修に在学する者の修業年限は4年とする。ただし、在学年数は8年を超えることができない。

2 2年次に編入学又は転部・転科した者の当該学部・学科の修業年限は3年とする。ただし、

在学年数は7年を超えることができない。

- 3 3年次に編入学又は転部・転科・転専修した者の当該学部・学科・専修の修業年限は2年とする。ただし、在学年数は6年を超えることができない。
- 4 第1項の規定にかかわらず、NEXUSプログラムに入学した者（異文化コミュニケーション学部）に在学する者を除く。）の修業年限は、4.5年（9学期）とする。ただし、在学年数は8年を超えることができない。

（学士の学位）

- 第5条** 1年次から同一学部・学科・専修に4年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。ただし、NEXUSプログラムに入学した者（異文化コミュニケーション学部）に在学する者を除く。）の在学期間は4.5年（9学期）以上とする。
- 2 2年次に編入学又は転部・転科した場合、当該学部・学科に3年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。
  - 3 3年次に編入学又は転部・転科・転専修した場合、当該学部・学科・専修に2年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。
  - 4 学部・学科において授与する学士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

学 部	学 科	専 攻 分 野 名
文学部	キリスト教学科 史学科 教育学科	文学
	文学科	文学, 学術
経済学部	経済学科 会計ファイナンス学科 経済政策学科	経済学
	理学部	数学科 物理学科 化学科 生命理学科
社会学部	社会学科 現代文化学科 メディア社会学科	社会学
法学部	法学科	法学
	政治学科	政治学
	国際ビジネス法学科	法学
観光学部	観光学科 交流文化学科	観光学
	コミュニティ福祉学部	福祉学科 コミュニティ政策学科 スポーツウエルネス学科
経営学部	経営学科 国際経営学科	経営学
現代心理学部	心理学科 映像身体学科	心理学 映像身体学
	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	スポーツウエルネス学

- 第5条の2** 法学部法学科法曹コースは前2条の規定にかかわらず、3年以上在学し、所定の試験に合格し、所定の単位を優秀な成績をもって修得した者には学士の学位を授与する。
- 2 法学部法学科法曹コースの学修を許可された者は、別表8による登録料を指定された期間内に納めなければならない。

（学年）

- 第6条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。または9月20日に始まり、翌年9月19日に終わる。

(学期)

- 第7条** 学年を分けて次の2期とする。  
春学期 4月1日から9月19日まで  
秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第8条** 休業日は、次のとおりとする。
- (1) 日曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)で規定する休日
  - (3) 本大学創立記念日 5月5日
  - (4) 春季休業 2月上旬から3月下旬まで
  - (5) 夏季休業 7月下旬から9月中旬まで
  - (6) 冬季休業 12月下旬から翌年1月上旬まで
- 2 前項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

## 第2章 教育課程

### 第1節 単位

**第9条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 輪講、実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の結果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 3 本大学は、第1項に規定する講義、演習、輪講、実験、実習及び実技による授業科目について、教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

**第10条** 学生は、第13条から第18条の6に定める所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

- 2 授業科目は、全学共通科目及び専門教育科目は配当年次の指定科目を除き全年次において履修させる。

**第10条の2** 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

**第10条の3** 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

**第10条の4** 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が本大学に入学する前に、大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転部等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第10条の2第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

**第10条の5** 第9条第3項に定める授業科目の履修により修得できる単位数は、第13条から第18条の6に定める所定の単位のうち、60単位を上限として卒業に必要な単位とすることができる。

**第11条** 小学校、中学校、高等学校教諭1種免許状取得希望者は、各学部・学科・専修に配置された教科に関する専門教育科目及び文学部教育学科に配置された小学校、中学校、高等学校教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門教育科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

2 本大学の各学部・学科・専攻・専修において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	種 類 ・ 教 科		
		小学校教諭 1種免許状	中学校教諭 1種免許状	高等学校教諭 1種免許状
文 学 部	キ リ ス ト 教 学 科		社 会 会 教 宗 教	地理歴史、公民 宗 教
	史 学 科		社 会	地理歴史、公民
	教 育 学 科			
	教 育 学 専 攻 課 程		社 会	公 民
	初 等 教 育 専 攻 課 程	小学校		
	文 学 科			
	英 米 文 学 専 修		英 語	英 語
	ド イ ツ 文 学 専 修		ド イ ツ 語	ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 文 学 専 修		フ ラ ン ス 語	フ ラ ン ス 語	
日 本 文 学 専 修		国 語	国 語	
文 芸 ・ 思 想 専 修		国 語	国 語	
経 済 学 部	経 済 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史、 公民・商業(2018 年度入学者まで)
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)、 商業
	経 済 政 策 学 科		社 会	公民、 地理歴史・商業 (2018年度入 学者まで)
理 学 部	数 学 科		数 学	数 学、情 報
	物 理 学 科		理 科	理 科
	化 学 科		理 科	理 科
	生 命 理 学 科		理 科	理 科
社 会 学 部	社 会 学 科		社 会	公 民
	現 代 文 化 学 科		社 会	公 民
	メ デ ィ ア 社 会 学 科		社 会	公 民
法 学 部	法 学 科		社 会	地理歴史(2018 年度入学者ま で)、公民
	政 治 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史、 公民(2018年度 入学者まで)
	国 際 ビ ジ ネ ス 法 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史・公民 (2018年度入 学者まで)
観 光 学 部	観 光 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史(2018 年度入学者ま で)
	交 流 文 化 学 科		社 会	地 理 歴 史
コ ミ ュ ニ テ ィ 福 祉 学 部	福 祉 学 科		社 会 (2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)、 福祉

	コミュニティ政策学科		社 会	公 民
	スポーツウエルネス学科		保 健 体 育	保 健 体 育
経 営 学 部 (2015年度入学者まで)	経 営 学 科		社 会	公 民
現 代 心 理 学 部 (2015年度入学者まで)	国 際 経 営 学 科		社 会	公 民
異文化コミュニケーション学部	心 理 学 科			公 民
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科		英 語	英 語
スポーツウエルネス学部	ス ポー ツ ウェ ル ネ ス 学 科		保 健 体 育	保 健 体 育

### 3 削除

4 免許教科「情報」及び「福祉」は2000年度以降入学者が取得できる。

**第12条** 学芸員の資格を取得しようとする者は、各学部・学科所定の単位のほか、第19条に定められた博物館に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

博物館に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

2 司書の資格及び司書教諭の資格を取得しようとする者は、第19条に定められた図書館に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

図書館に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

3 社会教育主事の資格を取得しようとする者は、第19条に定められた社会教育に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

社会教育に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

### 第2節 全学共通科目

**第13条** 全学共通科目及びその単位並びに各学部における履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第3節 文学部

**第14条** 文学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第4節 経済学部

**第15条** 経済学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第5節 理学部

**第16条** 理学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第6節 社会学部

**第17条** 社会学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第7節 法学部

**第18条** 法学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第8節 観光学部

**第18条の2** 観光学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第9節 コミュニティ福祉学部

**第18条の3** コミュニティ福祉学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

#### 第10節 経営学部

**第18条の4** 経営学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

### 第11節 現代心理学部

第18条の5 現代心理学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

### 第12節 異文化コミュニケーション学部

第18条の6 異文化コミュニケーション学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

### 第13節 スポーツウエルネス学部

第18条の7 スポーツウエルネス学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

### 第14節 学芸員、司書、司書教諭及び社会教育主事

第19条 本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生の学芸員、司書、司書教諭及び社会教育主事の資格取得に必要な所定の科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

### 第15節 日本語教育センター

第19条の2 日本語教育センター科目及びその単位は、別表1のとおりとする。

## 第3章 試験

### 第20条 削除

第21条 試験は、各授業科目について行い、合格、不合格を定める。

2 試験成績は、100点を満点とし、60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

3 試験に合格した者には、その授業科目所定の単位を与える。

第22条 忌引その他の事由により試験を受けることができなかった者のために、追試験を行うことがある。

第23条 休学中は、試験を受けることができない。

## 第4章 入学、編入学、休学、復学、退学、再入学及び除籍

(入学)

第24条 本大学の1年次に入学を許可する者は、次の各号の一に該当する者で選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 通常の課程以外の課程により前号に相当する学校教育を修了した者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) その他相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本大学において認められた者

第24条の2 立教新座高等学校、立教池袋高等学校及び日本聖公会関係の各高等学校又は本大学の推薦入学者制度の指定を受けた高等学校の卒業生中当該学校長の推薦した者については、前条の規定にかかわらず選抜試験の一部又は全部を免除することができる。

(編入学)



**第25条** 2年次以上に編入学又は転部・転科・転専修を許可する者は、別に定める本大学の編入学又は転部・転科・転専修の資格を有し、かつ、本大学で行う選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

**第26条** 第24条による入学資格を有しない外国人であって在外公館の推薦ある者は、審査の上、学修を許可することがある。  
2 前項により学修を許可された者は、第5条を除き本学則を準用する。

(入学期)

**第27条** 入学期は、学年又は学期の初めとする。

2 第50条の2に規定する特別外国人学生の入学時期は、各年の4月1日又は9月1日とすることができる。

3 第51条の3に規定する短期プログラム受講生の受入時期は、別に定める細則による。

(入学志願手続)

**第28条** 入学志願者は、入学願書、出身学校長証明の調査書、写真を提出し、かつ、別表2の1若しくは別表2の2による入学検定料を納めなければならない。

(入学手続)

**第29条** 選抜試験に合格した者で本大学に入学しようとする者は、保証人を定め、所定の期日までに保証人届出書を提出し、その他指定された手続をしなければならない。

2 本大学は、前項の手続を完了した者に対して入学を許可する。

**第30条** 保証人は、本人在学中に係る一切の事項についてその責に任じ、本人の父母又はこれに代わるべき者でなければならない。

**第31条** 保証人が死亡し又は前条の要件を欠いた時は、遅滞なく新たな保証人を定め更に保証人届出書を提出しなければならない。

(休学及び復学)

**第32条** 病気その他やむを得ない事由により満2か月以上就学することができないときは、保証人連署をもって願い出て許可を受け当該学期間休学することができる。なお、その事実を証明する書面の提出を求めることがある。

2 休学中の期間は、在学年数に算入しない。

3 休学回数は、通算して8回を超えることができない。

4 休学者は、第1項により休学した期間終了後、学期の初めにおいて復学する。

(退学)

**第33条** 病気その他の事由により退学しようとする場合は、保証人連署をもって願い出て許可を受けなければならない。

(再入学)

**第34条** 願いにより退学した者が再入学を願い出るときは、学年又は学期の初めにおいて原年次に入学を許可することがある。

**第35条** 再入学を許可された者は、第29条に規定する手続をしなければならない。

(除籍)

**第36条** 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1) 第4条各項のただし書に定める在学年数を超えた者

(2) 学費を納めない者

**第36条の2** 入学、編入学、休学、退学及び再入学の許可並びに除籍は、教授会の議を経て、総長が行う。

## 第5章 留学

**第37条** 本大学の学生が本大学との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定、又は本大学からの留学に関する協定が成立している外国の大学、又はこれに相当する高等教育機関等及び本学が認めた同等の大学、機関の授業科目を履修するため当該大学等への留学を希望するときは、審査の上、本人の教育上有益であると認める場合、これを許可することがある。

2 前項による留学は、本大学における学籍上の扱いを在学のままとする留学（以下在学留学という。）及び休学とする留学（以下休学留学という。）の2種とする。

**第38条** 在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本大学における在学年数に算入する。

**第39条** 在学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、教授会が適当と認めたものは、第10条の2第2項に基づき、本大学の卒業に必要な単位として認定することがある。

2 休学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、教授会が適当と認めたものは、第10条の2第2項に基づき、本大学の単位として認定することがある。

**第40条** 第32条の規定は、休学留学のための休学に準用する。

## 第6章 学費その他

**第41条** 選抜試験に合格した者で本大学に入学しようとする者は、別表2の3及び別表2の4、又は別表2の3及び別表2の5による学費を指定された入学手続期間内に納めなければならない。

2 学生は、別表2の4による学費を毎学年授業開始後の指定の期日までに納めなければならない。

3 第1項及び前項に定める学費のうち授業料及び実験・実習費は、春学期・秋学期に分納するものとする。

**第42条** 学費とは、入学金、授業料（在籍料を含む。）及び実験・実習費をいう。

**第43条** 学費は、休学中も別に定める額を納めなければならない。

**第44条** 学年の途中で退学する場合も、学費は別に定める額を納めなければならない。

**第45条** 既に納めた学費その他の納入金は、次項及び第3項に定めた場合を除いて、返還しない。

2 選抜試験に合格し学費その他の納入金を納めた者のうち、やむを得ない事由により、所定の手続きに則り入学辞退願を提出した者については、入学金を除く学費その他の納入金を返還するものとする。

3 出願時に卒業見込みや所定単位修得見込みなどで選抜試験に合格し、学費その他の納入金を納めた後に、卒業不可や所定単位未修得などが確定し、入学資格要件を満たすことができなくなった者には、届け出により入学金を含む学費その他の納入金を返還するものとする。

**第46条** 在学中の学費その他について変更のあった場合には、新たに定められた額に基づいて納めなければならない。

**第47条** 教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門科目及び学芸員・司書・司書教諭・社会教育主事の資格取得に必要な科目を履修する者は、別表3による受講料を納めなければならない。

**第48条** 削除

**第49条** 証明書等の交付を受ける者は、別表5による手数料を納めなければならない。

**第50条** 学費滞納者には、当該年次の単位認定、研究指導の認定及び学位の授与を行わない。

## 第6章の2 特別外国人学生

（特別外国人学生）

**第50条の2** 本大学と協定のある外国の大学から派遣される学生及び政府その他の機関から本大学に委託される外国人学生は、教授会等の審査の上、特別外国人学生として入学を許可することがある。

**第50条の3** 入学を許可された特別外国人学生は、所定の手続をし、かつ、別に定める納入金

を納めなければならない。

(単位の認定)

**第50条の4** 特別外国人学生が履修した授業科目については、所定の単位を与えることができる。

(学則の準用)

**第50条の5** 特別外国人学生については、第5条を除き本学則を準用する。

**第50条の6** 前4条に定めるほか、特別外国人学生の受入に関して必要な事項は、立教大学学則及び立教大学大学院学則に定める特別外国人学生の受入に関する細則に定める。

## 第7章 科目等履修生・特別聴講学生・短期プログラム受講生

(科目等履修生)

**第51条** 各学部及び全学共通科目所定の授業科目中その1授業科目又は教授業科目の学修を願い出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することがある。

2 教職課程、学芸員課程、司書課程及び社会教育主事課程の所定の授業科目の学修を願い出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することがある。

3 科目等履修生として学修を願い出る者は、別表6による選考料を納めなければならない。

4 科目等履修生が、その履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与える。

(特別聴講学生)

**第51条の2** 本大学と協定のある他大学学生及び他の教育機関の学生・生徒が、本大学の授業科目の学修を願い出るときは、特別聴講学生として許可することがある。

2 特別聴講学生が、その聴講した科目に合格した場合には、所定の単位を与える。

(短期プログラム受講生)

**第51条の3** 主に海外の大学等の高等教育機関に在籍する学生で、各学部又はその他教育プログラムの提供が可能な組織が本学で実施する短期間の教育プログラムに参加を願い出る者に対して、短期プログラム受講生として受入を許可することがある。

2 短期プログラム受講生が履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

(登録料及び受講料)

**第52条** 第51条第1項及び第2項で科目等履修生として学修を許可された者は、別表6による登録料及び受講料を指定された期間内に納めなければならない。

## 第53条 削除

(学則の準用)

**第54条** 科目等履修生、特別聴講学生については、第5条を除き本学則を準用し、第51条、第51条の2及び第52条で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

**第54条の2** 短期プログラム受講生については、第5条及び第36条の2を除き本学則を準用し、第51条の3で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

## 第8章 賞罰

**第55条** 品行方正学業優等の者又は善行により本大学の名誉を揚げた者は、これを表彰する。

**第56条** 本大学の規則に違反し、又は本大学の教育方針に背いた者は、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学の3種とする。

3 退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 学業を怠り成業の見込みのないと認められる者

(2) 性行不良で改善の見込みのないと認められる者

(3) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学は、行為により以下の各号が適用される場合がある。

(1) 停学期間を在学年数に算入しない。

(2) 当該年度の卒業を認めない。

5 停学中は以下の各号が適用される。

- (1) 停学中は、大学からの指示がある場合を除き、原則として大学に来ることはできない。
- (2) 当該科目の授業時数の2分の1以上の期間にわたって停学であった場合は、当該科目の単位修得は認められない。
- (3) 停学中は休学を願い出ることはできない。
- (4) 停学中は第37条による留学はできない。

**第57条** 賞罰は、教授会の議を経て、総長がこれを行う。

## 第9章 教職員組織

(職位)

**第58条** 本大学に、次の職位を置く。

- (1) 総長
- (2) チャプレン長
- (3) 研究科委員長
- (4) 研究科専攻主任
- (5) 学部長
- (6) 学科長
- (7) 全学共通カリキュラム運営センター部長
- (8) 全学共通カリキュラム運営センター構想・運営チームリーダー
- (9) 外国語教育研究センター長
- (10) 学校・社会教育講座委員長
- (11) 課程主任
- (12) 削除
- (13) 図書館長
- (14) 学生部長
- (15) キャリアセンター部長
- (16) 教務部長
- (17) 総長室長
- (18) 人権・ハラスメント対策センター長
- (19) 入学センター長
- (20) 国際センター長
- (21) メディアセンター長
- (22) 総合研究センター長
- (23) 削除
- (24) ボランティアセンター長
- (25) 大学教育開発・支援センター長
- (26) リサーチ・イニシアティブセンター長
- (27) 学生相談所長
- (28) 日本語教育センター長
- (29) グローバル教育センター長
- (30) 国際化推進機構長
- (31) 立教サービスラーニングセンター長
- (32) グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長
- (33) しょうがい学生支援室長
- (34) 事務長
- (35) 課長
- (36) 主幹
- (37) 課長補佐
- (38) 調査役

2 本大学に、次の職種を置く。

- (1) チャプレン
- (2) 教員 教授、准教授、助教、講師、教育講師、特別任用教員、英語特定講師
- (3) カウンセラー
- (4) 職員 事務職員、司書職員、技能職員、医療技能職員、校務職員、嘱託、助手
- (5) 実験技術員

(総長)

**第59条** 総長は、大学を代表し、学長として校務を統括する。

(チャプレン長及びチャプレン)

**第60条** チャプレン長及びチャプレンは、本大学の礼拝を掌り、宗教教育、キリスト教活動及びその行事を主管する。

(研究科委員長)

**第60条の2** 研究科委員長は、研究科を主管する。

(研究科専攻主任)

**第60条の3** 研究科専攻主任は、研究科委員長の事項に関し研究科委員長を補佐する。

(学部長)

**第61条** 学部長は、学部を主管する。

(全学共通カリキュラム運営センター部長)

**第62条** 全学共通カリキュラム運営センター部長は、全学共通科目を主管する。

(外国語教育研究センター長)

**第62条の2** 外国語教育研究センター長は、外国語教育研究センターを主管する。

(学校・社会教育講座委員長)

**第62条の3** 学校・社会教育講座委員長は、学校・社会教育講座の運営を主管する。

(課程主任)

**第62条の4** 課程主任は、その課程の運営を主管する。

**第62条の5** 削除

(図書館長)

**第63条** 図書館長は、図書館に関する事項を主管する。

(学生部長)

**第64条** 学生部長は、学生の福祉厚生に関する事項を主管する。

(キャリアセンター部長)

**第65条** キャリアセンター部長は、学生のキャリア支援及び就職に関する事項を主管する。

(教務部長)

**第66条** 教務部長は、教学に関する事項を主管する。

**第67条** 削除

(総長室長)

**第68条** 総長室長は、総長室に関する事項を主管する。

**第68条の2** 削除

**第68条の3** 削除

**第68条の4** 削除

(人権・ハラスメント対策センター長)

**第68条の5** 人権・ハラスメント対策センター長は、人権・ハラスメント対策センターに関する事項を主管する。

(入学センター長)

**第68条の6** 入学センター長は、入学センターに関する事項を主管する。

(国際センター長)

**第68条の7** 国際センター長は、国際センターに関する事項を主管する。

(メディアセンター長)

**第68条の8** メディアセンター長は、メディアセンターに関する事項を主管する。

(総合研究センター長)

**第68条の9** 総合研究センター長は、各研究所を統括しこれを代表する。

**第68条の10** 削除

**第68条の11** 削除

(ボランティアセンター長)

**第68条の12** ボランティアセンター長は、ボランティアセンターに関する事項を主管する。

**第68条の13** 削除

(大学教育開発・支援センター長)

**第68条の14** 大学教育開発・支援センター長は、大学教育開発・支援センターに関する事項を主管する。

(リサーチ・イニシアティブセンター長)

**第68条の15** リサーチ・イニシアティブセンター長は、リサーチ・イニシアティブセンターに関する事項を主管する。

**第68条の16** 削除

**第68条の17** 削除

(学生相談所長)

**第68条の18** 学生相談所長は、学生相談所に関する事項を主管する。

(日本語教育センター長)

**第68条の19** 日本語教育センター長は、日本語教育センターに関する事項を主管する。

(グローバル教育センター長)

**第68条の20** グローバル教育センター長は、グローバル教育センターに関する事項を主管する。

(国際化推進機構長)

**第68条の21** 国際化推進機構長は、国際化推進機構に関する事項を主管する。

(立教サービスラーニングセンター長)

**第68条の22** 立教サービスラーニングセンター長は、立教サービスラーニングセンターに関する事項を主管する。

(グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長)

**第68条の23** グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長は、グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センターに関する事項を主管する。

(しょうがい学生支援室長)

**第68条の24** しょうがい学生支援室長は、しょうがい学生支援室に関する事項を主管する。

(学科長等)

**第69条** 学科長は、当該学科の事項（文学科においては、GLAPを除く。）に関し学部長を補佐する。

2 全学共通カリキュラム運営センター構想・運営チームリーダーは、当該構想・運営チームの事項に関し全学共通カリキュラム運営センター部長及び全学共通カリキュラム運営センター副部長を補佐する。

(課長等)

**第70条** 事務長、課長、主幹、課長補佐及び調査役は、上長を補佐し所管事項を掌る。

(教授)

**第71条** 教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(准教授)

**第72条** 准教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(助教)

**第72条の2** 助教は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(講師)

**第72条の3** 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

(カウンセラー)

**第73条** カウンセラーは、学生の相談にあずかり助育に当る。

**第74条** 削除

(教育講師)

**第74条の2** 教育講師は、外国語教育研究センターの指揮を受け教育に従事する。

(特別任用教員)

**第74条の3** 特別任用教員は、学部長又は研究科委員長等の指揮を受け主に学部又は大学院の教育・研究に従事する。

(英語特定講師)

**第74条の4** 英語特定講師は、外国語教育研究センターの指揮を受け教育に従事する。

**第74条の5** 削除

(実験技術員)

**第75条** 実験技術員は、教授、准教授、講師及び助教の指揮により、研究及び教育を技術面から支援する。

(事務職員等)

**第76条** 事務職員、司書職員、技能職員、医療技能職員、校務職員、嘱託及び助手は、その職制に基づく担当業務に従事する。

## 第10章 教授会

**第77条** 各学部に教授会を置く。

2 教授会は、当該学部の教授及び准教授をもって構成する。ただし、学部の定めるところにより専任講師をこれに加えることができる。

3 教授会は、学部内の人事、学部長の選挙、教育課程、試験、学生の入学、編入学、卒業、休学、退学、再入学、除籍、転部・転科及び賞罰その他学部に関する事項のほか、総長の諮問事項に関し審議する。

4 教授会に関する細則は、別にこれを定める。

**第77条の2** 削除

**第77条の3** GLAPについては、グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター委員会(以下「GLAPセンター委員会」という。)を第77条第1項に規定する教授会とみなして、第10条の2から第10条の4まで、第36条の2、第39条、第57条及び第77条第3項の規定(学部長の選挙を除く。)を適用する。この場合において、第10条の2第1項、第10条の3第1項、第10条の4第1項及び第2項、第36条の2、第39条、第57条並びに第77条3項の規定中「教授会」とあるのは「グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター委員会」と、同項中「学部」とあるのは「グローバル・リベラルアーツ・プログラム」とする。

2 前項のほか、GLAPセンター委員会その他のGLAPの運営に関し必要な事項は、別に定める。

**第77条の4** 日本語教育センターに所属する特別外国人学生については、日本語教育センター運営会議(以下「運営会議」という。)を第77条第1項に規定する教授会とみなして第50

条の2を適用する。この場合において、規定中「教授会」とあるのは「日本語教育センター運営会議」とする。

2 前項のほか、日本語教育センター運営会議その他の日本語教育センター科目の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第11章 附属施設

### 第1節 礼拝堂

**第78条** 礼拝堂は、本大学の建学精神の象徴であって教職員及び学生が日本聖公会の信仰と法憲・法規に基づいてキリスト教生活を営むことを目的とする。

**第79条** 礼拝堂においては、次の行事を行う。

- (1) 礼拝
- (2) 本学の諸式典
- (3) キリスト教講演
- (4) 聖書研究
- (5) その他のキリスト教行事

### 第2節 図書館

**第80条** 本大学図書館は、池袋図書館、新座図書館、及び新座保存書庫をもって構成する。

**第81条** 本大学図書館所蔵の資料は、本学の教職員、学生及び本大学図書館が特に定めた者の利用に供する。

**第82条** 閲覧室の開架式による資料は自由閲覧とし、その他の資料は所定の手続によつて利用することができる。

**第83条** 各図書館が所蔵する資料の貸出に関する細則は、別にこれを定める。

**第84条** 各図書館の開館日及び開館時間に関する細則は、別にこれを定める。

### 第3節 診療所

**第85条** 診療所は、教職員並びに学生の保健衛生思想の向上、疾病の予防並びに診療を行うことを目的とする。

**第86条** 本診療所の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 定時並びに不定時健康診断の実施
- (2) 治療の実施
- (3) 保健衛生に関する講演会の開催
- (4) その他必要と認めた事項

**第87条** 本診療所の組織及びその他の細則は、別にこれを定める。

### 第4節 学生相談所

**第88条** 学生相談所は、学生が当面する問題について、カウンセリングを行うことを目的とする。

**第89条** 本相談所の組織及びその他の細則は、別にこれを定める。

### 第5節 研究所等

**第90条** この大学に、研究所、センターその他の附属教育研究機関（以下「研究所等」という。）を置く。



**第91条** 前条の研究所等については、別に定める。

附 則  
本学則は、昭和24年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和30年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和33年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和34年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和36年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和37年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1982 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1983 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1984 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1985 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1986 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1987 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1988 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1989 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1990 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1991 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1991 年 10 月 11 日から施行し、1991 年 7 月 1 日から適用する。

附 則  
本学則は、1992 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1993 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1994 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1995 年 4 月 1 日から施行する。

附 則  
本学則は、1995年4月14日から施行する。

附 則  
本学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2003年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2016年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2018年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則  
本学則は、2023年4月1日から施行する。

別表1 (第13条—第19条関係)

I 全学共通科目

A 総合系科目

1 選択科目

(1) 学びの精神

世界史の中のキリスト教	2	自然科学の探究	2
思想を生み出すキリスト教	2	身体科学からの学び	2
美術の中のキリスト教	2	現代心理学からの学び	2
音楽の中のキリスト教	2	アジア地域での平和構築	2
文学を生み出すキリスト教	2	グローバル社会での平和構築	2
国際社会の中の宗教	2	大学生の学び・社会で学ぶこと	2
現代社会の中の宗教1	2	人権とジェンダー	2
現代社会の中の宗教2	2	ライフマネジメントと学生生活	2
人文学からの学び(文学)	2	立教大学の歴史	2
人文学からの学び(思想・教育)	2	西欧キリスト教社会における大学の誕生	2
人文学からの学び(史学)	2	キャリアデザイン	2
芸術への扉	2	キリスト教史に学ぶ多文化共生	2
グローバル経済社会を考える	2	美と生命について:キリスト教の美学	2
学びの場としての社会	2	愛について:キリスト教の倫理と哲学	2
メディアからみる学び	2	GL101	2
社会学からの学び	2	University Education in the World	2
法と政治の世界	2	Economy and Society	2
経営学への招待	2	Image Studies	2
現代社会と観光	2	教養の扉をひらく	2
現代社会の諸相	2	多文化共生社会と大学	4

(2) 多彩な学び

<1. 人間の探究>

聖書と人間	2	ロシア・東欧の文化とことば	2
聖書考古学	2	中東の文化とことば	2
ジェンダーとキリスト教	2	アフリカの文化とことば	2
イスラームの世界	2	イタリアの文化とことば	2
仏教の世界	2	ドイツ語圏の文化	2
日本の宗教	2	フランス語圏の文化	2
「宗教」とは何か	2	スペイン語圏の文化	2
現代社会と人間	2	中国語圏の文化	2
哲学への扉	2	朝鮮語圏の文化	2
論理的思考法	2	Japanese Ethnology	2
教育と人間	2	立教ゼミナール1	2
歴史への扉	2	立教ゼミナール発展編1	2
地域研究への扉	2	睡眠文化論	2
教育学への扉	2	ボランティア論	2
多文化の世界	2	World History	4
文化を生きる	2	現代社会における言葉の持つ意味	2
日本文化と精神性	2	立教学院とポールラッシュ	2
人権思想の根源	2	哲学対話 in Rikkyo	2
手話と人権を考える	2	Religions in Asia	2
点字から考える人権	2	Peace and Human Rights 1	1
アジアの文化とことば	2	Peace and Human Rights 2	1
ヨーロッパの文化とことば	2	「伝えること」とは何か	2
ラテンアメリカの文化とことば	2	多文化共生社会と日本	4

<2. 社会への視点>

入門・経済教室	2	世界経済と日本	2
---------	---	---------	---

統計情報で社会・経済を診断する	2	Saitama Studies	2
景気・格差問題と統計情報	2	社会調査の入門	2
日本国憲法	2	社会調査の技法	2
法と社会	2	データ分析入門	2
政治と社会	2	データの科学	2
グローバル社会における法と政治	2	多変量解析入門	2
現代のビジネスを学ぶ	2	Introduction to Statistics 1	2
企業と社会	2	Introduction to Statistics 2	2
現代社会と環境	2	立教ゼミナール2	2
情報と倫理	2	立教ゼミナール発展編2	2
近代日本社会と人権	2	グローバルシティ・ソウルを読み解く	2
メディアと人間	2	立教 OBOG の「社長の履歴書」	2
文化と社会	2	RSL ゼミナール	2
現代社会の解読	2	異文化コミュニケーションを考える	2
いのちの尊厳と福祉を考える	2	社会を変える:人を繋ぎ、時間を繋ぐ市民の営み	2
コミュニティをデザインする	2	SDGs×AI×経済×法	2
観光学への誘い	2	SDGsとグローバルの可能性	2
シティズンシップを考える	2	Nativeと学ぶ社会開発	2
デモクラシーとリベラルアーツ	2	翻訳・通訳と現代社会	2
大学と現代社会	2	台湾から世界を考える	2
日本の「多文化」政策を問い直す	2	立教人から学ぶメディアの世界	2
世界の中のロシア	2	地域学への招待	2
パレスチナ問題の歴史と現在	2	Food Cultures and the Acceptance of Japanese	2
国際情勢を読み解く	2	Food in the World	2
ドイツ語圏の社会	2	Humans and Other Animals	2
フランス語圏の社会	2	Business Communication	2
スペイン語圏の社会	2	Global and Japanese Political Economy 1	2
中国語圏の社会	2	Global and Japanese Political Economy 2	2
朝鮮語圏の社会	2	Japanese Society and Culture 1	2
Modern Japanese History1	2	Japanese Society and Culture 2	2
Modern Japanese History2	2	Introduction to Sociology	2
Politics & Economy1	2	Introduction to Tourism Studies	2
Politics & Economy2	2	The Dignity of Life and Welfare	2
Japan in Asia1	2	Selected Topics in Intercultural Communication	2
Japan in Asia2	2	Knowledge and Society 1	1
Japanese Society1	2	Knowledge and Society 2	1
Japanese Society2	2	Learning and Teaching Today 1	1
Tokyo Studies	2	Learning and Teaching Today 2	1
Political Sociology	4	Introduction to the Social Survey	2
Economic Thought	4	Introduction to the Multivariate Analysis	2
University in Modern Society	2	SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	2
Career and University Education in the Global World	2		
<3. 芸術・文化への招待>			
文学への扉	2	日本の音楽	2
表象文化	2	都市と芸術	2
美術の歴史	2	建築と文化	2
美術と社会	2	舞踊論	2
音楽の歴史	2	映像と社会	2
音楽と社会	2	身体表現と哲学	2
美術論演習	2	日本の演劇	2
音楽論演習	2	ドイツ語圏の文学	2
キリスト教美術	2	フランス語圏の文学	2
キリスト教音楽	2	スペイン語圏の文学	2
日本の美術	2	中国語圏の文学	2

朝鮮語圏の文学	2	立教ゼミナール発展編3	2
Japanese Culture 1	2	観光と文学	2
Japanese Culture 2	2	The Psychology of Literature1	1
Japanese Arts A	2	The Psychology of Literature2	1
Japanese Arts B	2	Exploring Children's Literature	2
Literature and Society	4	Techniques for reading and enjoying a picturebook in English	2
Culture and Fine Arts	4		
立教ゼミナール3	2		
<4. 心身への着目>			
認知・行動・身体	2	スポーツと社会	2
心の科学	2	スポーツと文化	2
パートナーシップの心理	2	レジャー・レクリエーションと現代社会	2
対人関係の心理	2	アウトドアの知恵に学ぶ	2
心の健康	2	Japanese Mind	2
身体パフォーマンス	2	Health and Wellness	4
ストレスマネジメント	2	立教ゼミナール4	2
癒しの科学	2	立教ゼミナール発展編4	2
スポーツの科学	2	いのちを健康で彩る智慧	2
健康の科学	2	Individual Differences in Psychology	2
栄養の科学	2	Understanding Speech Sounds 1	1
アンチエイジングの科学	2	Understanding Speech Sounds 2	1
スポーツとメディア	2		
<5. 自然の理解>			
数学の世界	2	地球環境の未来	2
宇宙の科学	2	自然と人間の共生	2
生命の科学	2	脳と心	2
物質の科学	2	オーダーメイド医療最前線	2
身近な物質の化学	2	大学と科学技術	2
化学と自然	2	Science Studies	2
化学と社会	2	Nature of the Earth	4
行動の科学	2	立教ゼミナール5	2
生命の歩み	2	宇宙から地球のみらいを考える	2
地球の理解	2	カーボンニュートラル人材育成講座	2
情報科学A	2	Understanding of Agricultural Science	2
情報科学B	2	Importance of Global Plant Health	2
自然環境の保全	2	Ecology:Environment and Sustainability 1	1
生物の多様性	2	Ecology:Environment and Sustainability 2	1
<6. 知識の現場>			
GL102	2	国連ユースボランティア	12
GL103	2	陸前高田プロジェクト	2
GL111	2	海外インターンシップ1	1
GL201	2	海外インターンシップ2	2
GL202	2	RSL-コミュニティ(池袋)	2
GL301	2	RSL-コミュニティ(埼玉)	2
GL302	2	RSL-ローカル(南魚沼)	2
グローバル・イシュー各論	2	RSL-グローバル(フィリピン)	2
グローバル共通教養総論	2	国際的協働のための国内インターンシップ	2
ソリューション・アプローチ(開発経済)	2	国内実践グローバルインターンシップ	1
ソリューション・アプローチ(人道支援)	2	RSL-ローカル(地域共生)	2
ソリューション・アプローチ(強制移転・移住)	2	RSL-グローバル A	2
ソリューション・アプローチ(紛争と平和)	2	RSL-グローバル B	2
アクティブ・リサーチ	2		

### (3) スポーツ実習

スポーツプログラム1	1	スポーツスタディ2	2
スポーツプログラム2	1	スポーツスタディ3	2
スポーツプログラム3	1	スポーツスタディ4	2
スポーツプログラム4	1	スポーツスタディ e	2
スポーツスタディ1	2		

## B 言語系科目

### 1 必修科目

英語

6	ドイツ語	} いずれか1言語選択,4
	フランス語	
	スペイン語	
	中国語	
	朝鮮語	
	ロシア語*	
	日本語*	

\* ロシア語は、文学部、経済学部、社会学部、法学部、観光学部、コミュニティ福祉学部(コミュニティ政策学科・スポーツウエルネス学科)、現代心理学部、異文化コミュニケーション学部のみ選択可

\*日本語は、留学生及び文学部の GLAP の学生のみ選択可。

\*NEXUS プログラムの学生, PEACE プログラム(法学部, 異文化コミュニケーション学部)の学生及び, 法学部ビジネス法学科グローバルコース(外国人留学生書類選考入試)の留学生は, 上記に変えて, 必修科目として日本語 10 単位を修得する。

\*NEXUS プログラムの学生は, 学部カリキュラムの履修の前に, 必修科目である日本語 10 単位を修得し, かつ, 所定の成績を修める必要がある。

### 2 自由科目

<英語>

英語R	1	English through Movies C	2
English Intensive A(Global World)	4	English through Movies D	2
English Intensive B(Academic Language Skills)	4	English through Movies E	2
English Intensive C(Integrated Language Skills)	4	English through Movies F	2
English Intensive D(Intercultural Understanding)	4	World Heritage Sites	2
Self-directed and Reflective Language Learning	2	World Cultures	2
Intercultural Studies	2	English through Dramas	2
English Communication 1	4	Advertisement English	2
English Communication 2	4	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2
Pleasure Reading	2	TOEFL 2 (reading)	2
Speech	2	TOEFL 2 (listening)	2
Debate	2	TOEFL 2 (speaking and writing)	2
Presentation	2	TOEIC 1 (reading)	2
Current English 1 (reading)	2	TOEIC 1 (listening)	2
Current English 2 (reading)	2	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2
Current English 1 (listening)	2	TOEIC 2 (reading)	2
Current English 2 (listening)	2	TOEIC 2 (listening)	2
Current News through English Media	2	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2
Japanese Studies through English	2	IELTS	2
Language and History	2	Multimodal Communication in English	2
English through Movies A	2	Business Speaking	2
English through Movies B	2	Lecture and Discussion A	4



Lecture and Discussion B	4	University Lecture F	2
Lecture and Discussion C	4	Introduction to Global Studies A: Humanities	2
Lecture and Discussion D	4	Introduction to Global Studies B: Social Science	2
Lecture and Discussion E	4	Introduction to Global Studies C: Natural Science	2
Lecture and Discussion F	4	CLIL Seminars (Literature)	2
Lecture and Discussion G	4	CLIL Seminars (Ecology)	2
Lecture and Discussion H	4	CLIL Seminars (Japanology)	2
Discussion and Debate	2	CLIL Seminars (SDGs)	2
Advanced Academic Vocabulary	2	英語海外文化研修	4
Current English 3 (comprehensive)	2	ビクトリア夏ESL2	2
Academic Studies (advanced presentation)	2	ハワイ夏ESL1	1
Academic Studies (advanced writing)	2	ダブリン夏ESL3	3
Career Studies (English for vocational purposes)	2	ダブリン春ESL3	3
University Lecture A	2	ビクトリア春ESL2	2
University Lecture B	2	ハワイ春ESL1	1
University Lecture C	2	グリフィス春ESL3	3
University Lecture D	2	オンライン海外語学研修科目(英語)	1
University Lecture E	2	短期語学研修科目(英語)	1
<ドイツ語>			
言語情報処理論(ドイツ語)	2	ドイツ語海外言語文化研修(中級)	2
基礎ドイツ語入門	2	ドイツ語海外言語文化研修(上級)	2
基礎ドイツ語初級	2	ドイツ語中級1	2
上級ドイツ語コミュニケーション1	2	ドイツ語中級2	2
上級ドイツ語コミュニケーション2	2	ドイツ語スタンダード1	1
上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2	ドイツ語スタンダード2	1
上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2	ドイツ語スタンダード3	1
上級ドイツ語ライティング1	2	ドイツ語スタンダード4	1
上級ドイツ語ライティング2	2	ドイツ語総合 B1(1)	2
上級ドイツ語演習1	2	ドイツ語総合 B1(2)	2
上級ドイツ語演習2	2		
<フランス語>			
言語情報処理論(フランス語)	2	上級フランス語演習2	2
基礎フランス語入門	2	フランス語海外言語文化研修(中級)	2
基礎フランス語初級	2	フランス語海外言語文化研修(上級)	2
上級フランス語コミュニケーション1	2	フランス語中級1	2
上級フランス語コミュニケーション2	2	フランス語中級2	2
上級フランス語リスニング・リーディング1	2	フランス語スタンダード1	1
上級フランス語リスニング・リーディング2	2	フランス語スタンダード2	1
上級フランス語ライティング1	2	フランス語スタンダード3	1
上級フランス語ライティング2	2	フランス語スタンダード4	1
上級フランス語演習1	2		
<スペイン語>			
言語情報処理論(スペイン語)	2	上級スペイン語演習2	2
基礎スペイン語入門	2	スペイン語海外言語文化研修(中級)	2
基礎スペイン語初級	2	スペイン語海外言語文化研修(上級)	2
上級スペイン語コミュニケーション1	2	スペイン語中級1	2
上級スペイン語コミュニケーション2	2	スペイン語中級2	2
上級スペイン語リスニング・リーディング1	2	スペイン語スタンダード1	1
上級スペイン語リスニング・リーディング2	2	スペイン語スタンダード2	1
上級スペイン語ライティング1	2	スペイン語スタンダード3	1
上級スペイン語ライティング2	2	スペイン語スタンダード4	1
上級スペイン語演習1	2		
<中国語>			
言語情報処理論(中国語)	2	基礎中国語初級	2
基礎中国語入門	2	上級中国語コミュニケーション1	2

上級中国語コミュニケーション 2	2	中国語海外言語文化研修春(中級)	2
上級中国語リスニング・リーディング 1	2	中国語海外言語文化研修春(上級)	2
上級中国語リスニング・リーディング 2	2	中国語中級 1	2
上級中国語ライティング 1	2	中国語中級 2	2
上級中国語ライティング 2	2	中国語スタンダード 1	1
上級中国語演習 1	2	中国語スタンダード 2	1
上級中国語演習 2	2	中国語スタンダード 3	1
中国語海外言語文化研修(中級)	2	中国語スタンダード 4	1
中国語海外言語文化研修(上級)	2		
<b>&lt; 朝鮮語 &gt;</b>			
言語情報処理論(朝鮮語)	2	上級朝鮮語演習 2	2
基礎朝鮮語入門	2	朝鮮語海外言語文化研修(中級)	2
基礎朝鮮語初級	2	朝鮮語海外言語文化研修(上級)	2
上級朝鮮語コミュニケーション 1	2	朝鮮語中級 1	2
上級朝鮮語コミュニケーション 2	2	朝鮮語中級 2	2
上級朝鮮語リスニング・リーディング 1	2	朝鮮語スタンダード 1	1
上級朝鮮語リスニング・リーディング 2	2	朝鮮語スタンダード 2	1
上級朝鮮語ライティング 1	2	朝鮮語スタンダード 3	1
上級朝鮮語ライティング 2	2	朝鮮語スタンダード 4	1
上級朝鮮語演習 1	2		
<b>&lt; ロシア語 &gt;</b>			
ロシア語セミナー1	1	ロシア語セミナーA	1
ロシア語セミナー2	1	ロシア語セミナーB	1
基礎ロシア語入門	2	ロシア語セミナーC	1
基礎ロシア語初級	2	ロシア語セミナーD	1
<b>&lt; ポルトガル語 &gt;</b>			
ポルトガル語 1	1	ポルトガル語 3	1
ポルトガル語 2	1	ポルトガル語 4	1
<b>&lt; 日本語 &gt;</b>			
日本語論文作成法	1	日本の社会と文化 A	2
日本の文化・社会 A	1	日本の社会と文化 B	2
日本の文化・社会 B	1	日本の社会と文化 C	2
日本の文化・社会 C	1	社会の中の日本語 A	2
日本語の諸相 A	1	社会の中の日本語 B	2
日本語の諸相 B	1	論文読解の技法	2
日本語論文読解	1	論文作成の技法	2
ビジネス日本語(文書)	1	キャリアの日本語 A	2
ビジネス日本語口頭A	1	キャリアの日本語 B	2
ビジネス日本語口頭B	1	ビジネスのための口頭運用力 A	2
キャリアジャパニーズ A	1	ビジネスのための口頭運用力 B	2
キャリアジャパニーズ B	1	ビジネスメールと文書	2
<b>&lt; 日本手話 &gt;</b>			
日本手話 1	1	日本手話 3	1
日本手話 2	1	日本手話 4	1

総合系科目の選択科目については、各学部（文学部のGLAPを除く）とも下表に定める単位数を修得しなければならない。なお、必要単位数を超えて修得した単位についても、各学部が定めるところにより卒業要件単位として認められることがある。

履 修 区 分		必要単位	合計
学びの精神		4	18
多彩な学び	1 人間の探究 2 社会への視点 3 芸術・文化への招待 4 心身への着目 5 自然の理解 6 知識の現場	14	
スポーツ実習	スポーツプログラム スポーツスタディ		
*法学部の学生は、「学びの精神」の「法と政治の世界」、「多彩な学び」の「2 社会への視点」の「法と社会」「政治と社会」を履修しても卒業要件単位とはならない。			

[注意] 全学共通科目の開講科目・担当者一覧の備考欄に「\*\*学部所属学生履修不可」とある科目については、「\*\*学部」に所属する学生は履修できない。

言語系科目については、各学部とも英語及びそれ以外の1言語を修得しなければならない。各学部の言語系科目の卒業に必要な単位数は、下表に定めるとおりである。

また、PEACEプログラム、NEXUSプログラムの学生が卒業に必要な単位数は、表2及び表3に定めるとおりである。

表1

学 部	言 語	必 要 単 位
文学部	英語	6
経済学部 社会学部 法学部 観光学部 コミュニティ福祉学部 (コミュニティ政策学科・スポーツウエルネス学科) 現代心理学部 異文化コミュニケーション学部	ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語のうちいずれか1言語	4
理学部	英語	6
経営学部 コミュニティ福祉学部 (福祉学科)	ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語、日本語のうちいずれか1言語	4

なお、言語系科目のうち日本語は、外国人留学生（文学部文学科ドイツ文学専修・フランス文学専修を除く。）及び文学部のGLAPの学生を対象とするものであり、他の言語にかえて4単位を限度として修得するものとする。

表2 PEACEプログラム学生

学部	言語	必要単位
法学部(*) 異文化コミュニケーション学部	日本語	10
文学部(GLAP)	英語	6
	日本語	4

\*) 法学部国際ビジネス法学科グローバルコース(外国人書類選考入試)の外国人留学生を含む。

表3 NEXUS プログラム学生

学部	言語	必要単位
文学部 経済学部 社会学部 法学部 経営学部 異文化コミュニケーション学部 コミュニティ福祉学部 現代心理学部	日本語	10

## II 文学部

### A 文学部基幹科目 (GLAPを除く。)

#### 1 必修科目

##### ① 基幹科目A

人文学とキャリア形成 a	2	人文学とキャリア形成 b	2
--------------	---	--------------	---

#### 2 選択科目

##### ① 基幹科目B

インターンシップ	2	Humanities Study5 (Literature)	2
海外フィールドスタディ<1.海外EAP>	4	Humanities Study6 (Literature)	2
海外フィールドスタディ<2.海外ASD>	4	SDGs 演習 1[環境思想(文献講読)]	2
海外フィールドスタディ<3.海外SLV>	4	SDGs 演習 2[対話スキルと合意形成法]	2
ケンブリッジ・サマープログラム	6	SDGs 特論1[環境の文学]	2
書道 1	1	SDGs 特論2[緑の政治・経済]	2
書道 2	1	SDGs 特論3[コミュニティ・地域づくり]	2
SDGs フィールドワーク<グローバル>	2	SDGs 特論4[人権と平等]	2
SDGs フィールドワーク<ローカル>	2	人文情報・メディア学演習 1[人文情報メディア基礎論(文献講読)]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3a	2	人文情報・メディア学演習 2[人文情報メディア応用論(報告と対話)]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3b	2	人文情報・メディア学特論1 人文情報・メディア学特論1	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3c	2	[人文情報とメディア]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3d	2	人文情報・メディア学特論2[人文情報と社会]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4a	2	人文情報・メディア学特論3[電子メディア基礎論]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4b	2	人文情報・メディア学特論4[電子メディア応用論]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4c	2		
情報処理(PCプレゼンテーション)4d	2		
Humanities Study1 (History)	2		
Humanities Study2 (Education)	2		
Humanities Study3 (Religion)	2		
Humanities Study4 (Literature)	2		

##### ② 基幹科目C

音楽と感性	2	倫理思想	2
言葉と感性	2	英米文学概論	2
デジタルアーカイブ論	2	ドイツ語圏文化概論 1	2
テキストマイニング論	2	ドイツ語圏文化概論 2	2
心理学 1	2	フランス文学・文化概論	2
心理学 2	2	日本語学概論 1	2
情報処理 1	2	日本語学概論 2	2
情報処理 2	2	漢文学概論	2
宗教思想 1	2	日本文学概論	2
(キリスト教と「知」)	2	文芸・思想概論	2
宗教思想 2	2	世界史概論 1	2
(欧米のキリスト教)	2	(海城・海洋世界)	

世界史概論 2 (大陸世界)	2	教育と福祉	2
日本史概論 1	2	教育と宗教	2
日本史概論 2	2	Humanities Lecture1(History)	2
超域文化学概論	2	Humanities Lecture2(Literature)	2
教育制度・政策論	2	SDGs 入門	2
家庭教育論	2	人文情報・メディア学入門	2

### ③ 基幹科目 D

ヘブライ語 1	2	英語文献講読 1	2
ヘブライ語 2	2	Japan in Asian Context	2
ギリシア語 1	2	Traditional Arts in Japan	2
ギリシア語 2	2	Postmodern Turn in Japanese Arts	2
ラテン語 1	2	Development of Gender Studies	2
ラテン語 2	2	Intellectual History of Japan	2
ドイツ語文献講読 1	2	Christianity in Japan	2
ドイツ語文献講読 2	2	Japanese Literature in the World	2
フランス語文献講読 1	2	Rethinking European Literatures	2
フランス語文献講読 2	2		

## B 各学科専門教育科目

### (1) キリスト教学科専門教育科目

#### 1 必修科目

##### ① 指定科目 A

入門演習 A1a	2	キリスト教学基礎演習 A1a	2
入門演習 A1b	2	キリスト教学基礎演習 A1b	2
入門演習 A2a	2	キリスト教学基礎演習 A2a	2
入門演習 A2b	2	キリスト教学基礎演習 A2b	2

#### 2 選択科目

##### ① 指定科目 B1

演習 A1	2	演習 A10	2
演習 A2	2	演習 A11	2
演習 A3	2	演習 A12	2
演習 A4	2	演習 A13	2
演習 A5	2	演習 A14	2
演習 A6	2	演習 A15	2
演習 A7	2	演習 A16	2
演習 A8	2	演習 A17	2
演習 A9	2	演習 A18	2

##### ② 指定科目 B2

フィールドワーク A1	2	ラテン語購読2	2
キリスト教学特論	2	ヘブライ語購読1	2
ヘブライ語購読2	2	ギリシア語購読1	2
ギリシア語購読2	2	ラテン語購読1	2

##### ③ 指定科目 C

キリスト教学入門講義 1 (聖書1)	2	キリスト教学入門講義 5 (宗教と文化1)	2
キリスト教学入門講義 2 (聖書2)	2	キリスト教学入門講義 6 (宗教と文化2)	2
キリスト教学入門講義 3 (キリスト教史1)	2	キリスト教学講義 1 (旧約聖書学1)	2
キリスト教学入門講義 4 (キリスト教史2)	2	キリスト教学講義 2 (旧約聖書学2)	2

キリスト教学講義 3 (新約聖書学1)	2	(アジアの宗教1)	
キリスト教学講義 4 (新約聖書学2)	2	キリスト教学講義 20 (アジアの宗教2)	2
キリスト教学講義 5 (キリスト教思想史1)	2	キリスト教学講義 21 (キリスト教と美術1)	2
キリスト教学講義 6 (キリスト教思想史2)	2	キリスト教学講義 22 (キリスト教と美術2)	2
キリスト教学講義 7 (比較宗教学1)	2	キリスト教学講義 23 (キリスト教と音楽1)	2
キリスト教学講義 8 (比較宗教学2)	2	キリスト教学講義 24 (キリスト教と音楽2)	2
キリスト教学講義 9 (神学思想1)	2	キリスト教学講義 25 (キリスト教美術史1)	2
キリスト教学講義 10 (神学思想2)	2	キリスト教学講義 26 (キリスト教美術史2)	2
キリスト教学講義 11 (キリスト教倫理学1)	2	キリスト教学講義 27 (キリスト教音楽学1)	2
キリスト教学講義 12 (キリスト教倫理学2)	2	キリスト教学講義 28 (キリスト教音楽学2)	2
キリスト教学講義 13 (宗教社会学)	2	キリスト教学講義 33 (キリスト教の礼拝1)	2
キリスト教学講義 14 (宗教心理学)	2	キリスト教学講義 34 (キリスト教の礼拝2)	2
キリスト教学講義 15 (キリスト教と教育1)	2	キリスト教学講義 35 (キリスト教と現代社会1)	2
キリスト教学講義 16 (キリスト教と教育2)	2	キリスト教学講義 36 (キリスト教と現代社会2)	2
キリスト教学講義 17 (アジアのキリスト教1)	2	キリスト教学講義 37 (日本キリスト教史)	2
キリスト教学講義 18 (アジアのキリスト教2)	2	キリスト教学講義 38 (日本宗教史)	2
キリスト教学講義 19	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作) 指導演習	10
<b>3 自由科目</b>			
世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2
<b>4 随意科目</b>			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2
社会・地理歴史科教育法2	2	宗教科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	宗教科教育法演習1	2
社会・公民科教育法1	2	宗教科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	宗教科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

キリスト教学科は、全学共通科目28単位、必修科目10単位(うち基幹科目2単位)、選択科目58単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

(2) 史学科専門教育科目

[1] 世界史学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 G1a	2	入門演習 G2b	2
入門演習 G1b	2	入門演習 G2c	2
入門演習 G1c	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2a	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 G1	2	演習 G13	2
演習 G2	2	演習 G14	2
演習 G3	2	演習 G15	2
演習 G4	2	演習 G16	2
演習 G5	2	演習 G17	2
演習 G6	2	演習 G18	2
演習 G7	2	演習 G19	2
演習 G8	2	演習 G20	2
演習 G9	2	演習 G21	2
演習 G10	2	演習 G22	2
演習 G11	2	演習 G23	2
演習 G12	2	演習 G24	2

② 指定科目B2

専門基礎1 (アジア・アフリカ系言語1)	2	専門基礎5 (アカデミックライティング)	2
専門基礎2 (アジア・アフリカ系言語2)	2	専門基礎6 (ヨーロッパ系言語2)	2
専門基礎3 (ヨーロッパ系言語1)	2	専門基礎7 (ヨーロッパ系言語3)	2
専門基礎4 (イングリッシュ・コンプリヘンション)	2		

③ 指定科目C

史学講義 1 (地中海世界1)	2	史学講義 11 (前近代における法と国家)	2
史学講義 2 (地中海世界2)	2	史学講義 13 (近代東アジア・ユーラシア1)	2
史学講義 3 (前近代ヨーロッパ1)	2	史学講義 14 (近代東アジア・ユーラシア2)	2
史学講義 4 (前近代ヨーロッパ2)	2	史学講義 15 (アジア海域1)	2
史学講義 5 (近代ヨーロッパ1)	2	史学講義 16 (アジア海域2)	2
史学講義 6 (近代ヨーロッパ2)	2	史学講義 17 (世界大戦とヨーロッパ)	2
史学講義 7 (グローバルヒストリー)	2	史学講義 18 (世界大戦とアジア)	2
史学講義 8 (地域からの歴史)	2	史学講義 19 (近現代における法と社会)	2
史学講義 9 (前近代東アジア・ユーラシア1)	2	史学講義 21 (社会史の方法)	2
史学講義 10 (前近代東アジア・ユーラシア2)	2	史学講義 22 (マイノリティと境界)	2

史学講義 23 (人間と都市)	2	史学講義 26 (信仰と知の歴史2)	2
史学講義 24 (人間と環境)	2	自然地理学 1	2
史学講義 25 (信仰と知の歴史1)	2	比較政治史 1	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
<b>3 自由科目</b>			
社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2
<b>4 随意科目</b>			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・地理歴史科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

史学科世界史学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

## [2] 日本史学専修

### 1 必修科目

#### ① 指定科目A

入門演習 G1d	2	入門演習 G2e	2
入門演習 G1e	2	入門演習 G2f	2
入門演習 G1f	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2d	2		

### 2 選択科目

#### ① 指定科目B1

演習 H1	2	演習 H13	2
演習 H2	2	演習 H14	2
演習 H3	2	演習 H15	2
演習 H4	2	演習 H16	2
演習 H5	2	演習 H17	2
演習 H6	2	演習 H18	2
演習 H7	2	演習 H19	2
演習 H8	2	演習 H20	2
演習 H9	2	演習 H21	2
演習 H10	2	演習 H22	2
演習 H11	2	演習 H23	2
演習 H12	2	演習 H24	2

#### ② 指定科目B2

フィールドワーク H1a	2	専門基礎 10	2
フィールドワーク H1b	2	(現代史料論)	
フィールドワーク H2a	2	専門基礎 17	2
フィールドワーク H2b	2	(古文書・古代)	
専門基礎 9	2	専門基礎 18	2
(近代史料論)		(古文書・中世)	



専門基礎 19 (古文書・近世)	2		
③ 指定科目C			
史学講義 27 (古代日本とアジア1)	2	史学講義 41 (近代日本と世界)	2
史学講義 28 (古代日本とアジア2)	2	史学講義 42 (日本女性史)	2
史学講義 29 (律令制国家論1)	2	史学講義 43 (現代日本史論)	2
史学講義 30 (律令制国家論2)	2	史学講義 44 (現代日本と世界)	2
史学講義 31 (中世日本史論1)	2	史学講義 45 (伝統社会史論2)	2
史学講義 32 (中世日本史論2)	2	史学講義 46 (日本社会史論2)	2
史学講義 33 (中世日本と世界)	2	史学講義 47 (戦争と平和の歴史1)	2
史学講義 34 (中世国家と民衆)	2	史学講義 48 (戦争と平和の歴史2)	2
史学講義 35 (近世日本史論)	2	史学講義 49 (都市と村落)	2
史学講義 36 (伝統社会史論1)	2	史学講義 50 (日本の思想・文化)	2
史学講義 37 (近世日本と世界)	2	史学講義 51 (日本変動期史論1)	2
史学講義 38 (日本社会史論1)	2	史学講義 54 (史科学)	2
史学講義 39 (近代日本史論1)	2	自然地理学 2	2
史学講義 40 (近代日本史論2)	2	比較政治史 2	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2
4 随意科目			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・地理歴史科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

史学科日本史学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

### [3] 超域文化学専修

#### 1 必修科目

##### ① 指定科目A

入門演習 G1g	2	入門演習 G1i	2
入門演習 G1h	2	入門演習 G2g	2

入門演習 G2h	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2i	2		
<b>2 選択科目</b>			
<b>① 指定科目B1</b>			
演習 I1	2	演習 I13	2
演習 I2	2	演習 I14	2
演習 I3	2	演習 I15	2
演習 I4	2	演習 I16	2
演習 I5	2	演習 I17	2
演習 I6	2	演習 I18	2
演習 I7	2	演習 I19	2
演習 I8	2	演習 I20	2
演習 I9	2	演習 I21	2
演習 I10	2	演習 I22	2
演習 I11	2	演習 I23	2
演習 I12	2	演習 I24	2
<b>② 指定科目B2</b>			
フィールドワーク I1	2	専門基礎 16	2
フィールドワーク I2	2	(フィールドワーク方法論)	
専門基礎 13 (アジア・アフリカ系言語 3)	2	宗教の多様性と社会	2
専門基礎 15 (カルトグラフィ)	2		
<b>③ 指定科目C</b>			
超域文化学講義 1 (文化人類学1)	2	超域文化学講義 15 (文化環境学1)	2
超域文化学講義 2 (文化人類学2)	2	超域文化学講義 16 (文化環境学2)	2
超域文化学講義 3 (地域研究論1)	2	超域文化学講義 17 (農耕牧畜論)	2
超域文化学講義 4 (地域研究論2)	2	超域文化学講義 18 (考古学)	2
超域文化学講義 5 (地域研究論3)	2	超域文化学講義 19 (都市空間論)	2
超域文化学講義 7 (アメリカ社会史1)	2	超域文化学講義 20 (文化ダイナミクス論)	2
超域文化学講義 8 (アメリカ社会史2)	2	超域文化学講義 21 (フォークロア1)	2
超域文化学講義 9 (アメリカ社会史3)	2	超域文化学講義 22 (フォークロア2)	2
超域文化学講義 11 (イスラーム複合社会史1)	2	超域文化学講義 23 (比較技術論)	2
超域文化学講義 12 (イスラーム複合社会史2)	2	超域文化学講義 24 (人類生態学)	2
超域文化学講義 13 (イスラーム複合社会論1)	2	地理学概説 1	2
超域文化学講義 14 (イスラーム複合社会論2)	2	地理学概説 2	2
		地誌学 1	2
		地誌学 2	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
<b>3 自由科目</b>			
社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2
<b>4 随意科目</b>			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・地理歴史科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・地理歴史科教育法演習2	2

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

史学科超域文化学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位（うち基幹科目2単位）、選択科目60単位（うち基幹科目10単位）、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

### (3) 教育学科専門教育科目

#### [1] 教育学専攻課程

##### 1 必修科目

###### ① 指定科目A

入門演習 J1a	2	入門演習 J2d	2
入門演習 J1b	2	教育学	2
入門演習 J1c	2	教育心理学 1	2
入門演習 J1d	2	教育社会学 1	2
入門演習 J2a	2	教育史 1	2
入門演習 J2b	2	教育哲学 1	2
入門演習 J2c	2		

##### 2 選択科目

###### ① 指定科目B1

演習 J1	2	演習 J10	2
演習 J2	2	演習 J11	2
演習 J3	2	演習 J12	2
演習 J4	2	演習 J13	2
演習 J5	2	演習 J14	2
演習 J6	2	演習 J15	2
演習 J7	2	演習 J16	2
演習 J8	2	演習 J17	2
演習 J9	2	演習 J18	2

###### ② 指定科目B2

教育調査実習 1	2	教育調査実習 4a	2
教育調査実習 2	2	教育調査実習 4b	2
教育調査実習 3a	2	教育実践研究	2
教育調査実習 3b	2		

###### ③ 指定科目C

教育方法学	2	教育社会学 2	2
教育とメディア	2	教育史 2	2
特別活動の理論と方法	2	教育哲学 2	2
生徒指導・進路指導	2	社会教育・生涯学習論	2
教育相談	2	教育課程論	2
カウンセリング	2	国際教育論	2
道徳教育の理論と方法	2	環境教育論	2
幼児教育学	2	教育と表現	2
比較教育学 1	2	教育臨床論	2
比較教育学 2	2	教育臨床心理学	2
キリスト教と教育 1	2	発達心理学	2
キリスト教と教育 2	2	現代教育の諸問題 1	2
教育心理学 2	2	現代教育の諸問題 2	2

子ども文化論	2	英語科教育論	1
哲学的人間学	2	特別支援教育の理論と方法	2
国語科教育論	2	総合的な学習の時間の理論と方法	2
社会科教育論	2	人間と哲学1	2
算数科教育論	2	人間と哲学2	2
理科教育論	2	ICT活用の理論と方法(小学校)	2
生活科教育論	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
家庭科教育論	2		
<b>3 自由科目</b>			
世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2
<b>4 随意科目</b>			
社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

教育学科教育学専攻課程は、全学共通科目28単位、必修科目16単位(うち基幹科目2単位)、選択科目52単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

## [2] 初等教育専攻課程

### 1 必修科目

#### ① 指定科目A1

入門演習 J1a	2	入門演習 J2d	2
入門演習 J1b	2	教育学	2
入門演習 J1c	2	教育心理学 1	2
入門演習 J1d	2	教育社会学 1	2
入門演習 J2a	2	教育史 1	2
入門演習 J2b	2	教育哲学 1	2
入門演習 J2c	2		

#### ② 指定科目A2

国語科教育法	2	音楽実技 2	1
社会科教育法	2	造形表現 1	1
算数科教育法	2	造形表現 2	1
理科教育法	2	体育実技	1
生活科教育法	2	教育方法学	2
家庭科教育法	2	特別活動の理論と方法	2
音楽科教育法	2	生徒指導・進路指導	2
図画工作科教育法	2	教育相談	2
英語科教育法	2	道德教育の理論と方法	2
体育科教育法	2	教育課程論	2
教職実践演習(小学校)	2	特別支援教育の理論と方法	2
教職論	2	総合的な学習の時間の理論と方法	2
初等教育実習	5	ICT活用の理論と方法(小学校)	2
音楽実技 1	1		

### 2 選択科目

#### ① 指定科目B1

演習 J1	2	演習 J2	2
-------	---	-------	---

演習 J3	2	演習 J11	2
演習 J4	2	演習 J12	2
演習 J5	2	演習 J13	2
演習 J6	2	演習 J14	2
演習 J7	2	演習 J15	2
演習 J8	2	演習 J16	2
演習 J9	2	演習 J17	2
演習 J10	2	演習 J18	2
② 指定科目B2			
教育調査実習 1	2	教育調査実習 4a	2
教育調査実習 2	2	教育調査実習 4b	2
教育調査実習 3a	2	教育実践研究	2
教育調査実習 3b	2		
③ 指定科目C1			
国語科教育論	2	生活科教育論	2
社会科教育論	2	家庭科教育論	2
算数科教育論	2	英語科教育論	1
理科教育論	2		
④ 指定科目C2			
教育とメディア	2	環境教育論	2
カウンセリング	2	教育と表現	2
幼児教育学	2	教育臨床論	2
比較教育学 1	2	教育臨床心理学	2
比較教育学 2	2	発達心理学	2
キリスト教と教育 1	2	子ども文化論	2
キリスト教と教育 2	2	哲学的人間学	2
教育心理学 2	2	指定科目C1	超過履修分
教育社会学 2	2	現代教育の諸問題 1	2
教育史 2	2	現代教育の諸問題 2	2
教育哲学 2	2	人間と哲学1	2
社会教育・生涯学習論	2	人間と哲学2	2
国際教育論	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

教育学科初等教育専攻課程は、全学共通科目28単位、必修科目67単位(うち基幹科目2単位)、選択科目31単位(うち基幹科目10単位)、自由科目8単位、計134単位以上を修得しなければならない。

[3] 中学校・高等学校の教育職員免許状に必要な教育の基礎的理解に関する科目等

① 必修科目			
教職概論	2	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2
教育原論	2	教育方法論	2
教育制度論・教育課程論	2	ICT活用の理論と方法	1
教育心理学	2	生徒・進路指導の理論と方法	2
道徳教育の理論と方法	2	学校教育相談の理論と方法	2
特別支援教育の理論と方法	2	教職実践演習(中・高)	2

中・高教育実習事前指導	1	高校教育実習	2
中・高教育実習	4	教職特別演習	2

教育の基礎的理解に関する科目等については、中学校の教育職員免許状取得希望者について定めた科目を 28 単位、高等学校の教育職員免許状取得希望者について定めた科目を 24 単位修得しなければならない。

#### (4) 文学科専門教育科目

##### [ 1 ] 英米文学専修

##### 1 必修科目

###### ① 指定科目A

入門講義 1	2	基礎演習 1g	2
入門講義 2	2	基礎演習 2a	2
入門演習 B1a	2	基礎演習 2b	2
入門演習 B1b	2	基礎演習 2c	2
入門演習 B1c	2	基礎演習 2d	2
入門演習 B1d	2	基礎演習 2e	2
入門演習 B1e	2	基礎演習 2f	2
入門演習 B1f	2	基礎演習 2g	2
入門演習 B1g	2	英語基礎演習 1a	2
入門演習 B2a	2	英語基礎演習 1b	2
入門演習 B2b	2	英語基礎演習 1c	2
入門演習 B2c	2	英語基礎演習 1d	2
入門演習 B2d	2	英語基礎演習 1e	2
入門演習 B2e	2	英語基礎演習 1f	2
入門演習 B2f	2	英語基礎演習 1g	2
入門演習 B2g	2	英語基礎演習 2a	2
基礎演習 1a	2	英語基礎演習 2b	2
基礎演習 1b	2	英語基礎演習 2c	2
基礎演習 1c	2	英語基礎演習 2d	2
基礎演習 1d	2	英語基礎演習 2e	2
基礎演習 1e	2	英語基礎演習 2f	2
基礎演習 1f	2	英語基礎演習 2g	2

##### 2 選択科目

###### ① 指定科目B1

演習 B1 (英語文学)	2	演習 B12 (英語文学)	2
演習 B2 (英語文学)	2	演習 B13 (英語文学)	2
演習 B3 (英語文学)	2	演習 B14 (英語文学)	2
演習 B4 (英語文学)	2	演習 B15 (英語文学)	2
演習 B5 (英語文学)	2	演習 B16 (英語文学)	2
演習 B6 (英語文学)	2	演習 B17 (英語学)	2
演習 B7 (英語文学)	2	演習 B18 (英語学)	2
演習 B8 (英語文学)	2	演習 B19 (英語学)	2
演習 B9 (英語文学)	2	演習 B20 (英語学)	2
演習 B10 (英語文学)	2	演習 B21 (英語文学)	2
演習 B11 (英語文学)	2	演習 B22 (英語文学)	2

演習 B23 (英語文学)	2	演習 B27 (英語学)	2
演習 B24 (英語文学)	2	演習 B28 (英語学)	2
演習 B25 (英語文学)	2	演習 B29	2
演習 B26 (英語文学)	2	演習 B30	2
② 指定科目B2			
英語表現演習 1	2	英語表現演習 11	2
英語表現演習 2	2	英語表現演習 12	2
英語表現演習 3	2	英語表現演習 13	2
英語表現演習 4	2	英語表現演習 14	2
英語表現演習 5	2	英語表現演習 15	2
英語表現演習 6	2	英語表現演習 16	2
英語表現演習 7	2	英語表現演習 17	2
英語表現演習 8	2	英語表現演習 18	2
英語表現演習 9	2	英語表現演習 19	2
英語表現演習 10	2	英語表現演習 20	2
③ 指定科目C			
文学講義 1 (英語学概説1)	2	文学講義 20 (児童文学)	2
文学講義 2 (英語学概説2)	2	文学講義 21 (比較文学1)	2
文学講義 3 (イギリス文学概説1)	2	文学講義 22 (比較文学2)	2
文学講義 4 (イギリス文学概説2)	2	文学講義 23 (英語圏文学1)	2
文学講義 5 (アメリカ文学概説1)	2	文学講義 24 (英語圏文学2)	2
文学講義 6 (アメリカ文学概説2)	2	文学講義 25 (表象芸術1)	2
文学講義 7 (イギリス散文1)	2	文学講義 26 (表象芸術2)	2
文学講義 8 (イギリス散文2)	2	文学講義 27 (英語発達史1)	2
文学講義 9 (アメリカ散文1)	2	文学講義 28 (英語発達史2)	2
文学講義 10 (アメリカ散文2)	2	文学講義 29 (英語構造論1)	2
文学講義 11 (英米詩1)	2	文学講義 30 (英語構造論2)	2
文学講義 12 (英米詩2)	2	文学講義 31 (音声学1)	2
文学講義 13 (シェイクスピア1)	2	文学講義 32 (音声学2)	2
文学講義 14 (シェイクスピア2)	2	文学講義 33 (英米事情1)	2
文学講義 15 (文学批評・理論1)	2	文学講義 34 (英米事情2)	2
文学講義 16 (文学批評・理論2)	2	文学講義 35 (イギリス文化1)	2
文学講義 17 (英米演劇1)	2	文学講義 36 (イギリス文化2)	2
文学講義 18 (英米演劇2)	2	文学講義 37 (アメリカ文化1)	2
文学講義 19 (中世英文学)	2	文学講義 38 (アメリカ文化2)	2

文学講義 39 (英語圏文化1)	2	文学講義 42 (比較文化2)	2
文学講義 40 (英語圏文化2)	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
文学講義 41 (比較文化1)	2		

### 3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

### 4 随意科目

英語科教育法1	2	英語科教育法2	2
英語科教育法演習1	2	英語科教育法演習2	2

文学部英米文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目18単位（うち基幹科目2単位）、選択科目50単位（うち基幹科目10単位）、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

## [2] ドイツ文学専修

### 1 必修科目

#### ① 指定科目A

入門演習 C1a	2	ドイツ語基礎演習 1a	2
入門演習 C1b	2	ドイツ語基礎演習 1b	2
入門演習 C1c	2	ドイツ語基礎演習 1c	2
入門演習 C2a	2	ドイツ語基礎演習 2a	2
入門演習 C2b	2	ドイツ語基礎演習 2b	2
入門演習 C2c	2	ドイツ語基礎演習 2c	2
ドイツ語入門 1a	2	ドイツ語基礎演習 3a	2
ドイツ語入門 1b	2	ドイツ語基礎演習 3b	2
ドイツ語入門 1c	2	ドイツ語基礎演習 3c	2
ドイツ語入門 2a	2	ドイツ語基礎演習 3d	2
ドイツ語入門 2b	2	ドイツ語基礎演習 4a	2
ドイツ語入門 2c	2	ドイツ語基礎演習 4b	2
ドイツ語入門 3a	2	ドイツ語基礎演習 4c	2
ドイツ語入門 3b	2	ドイツ語基礎演習 5a	2
ドイツ語入門 3c	2	ドイツ語基礎演習 5b	2
ドイツ語入門 4a	2	ドイツ語基礎演習 5c	2
ドイツ語入門 4b	2	ドイツ語基礎演習 5d	2
ドイツ語入門 4c	2		

### 2 選択科目

#### ① 指定科目B1

演習 C1 (現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化)	2	演習 C6 (日独における越境の文化)	2
演習 C2 (現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化)	2	演習 C7 (言語文化)	2
演習 C3 (メディア文化・表象文化)	2	演習 C8 (言語文化)	2
演習 C4 (メディア文化・表象文化)	2	演習 C9 (伝承・物語)	2
演習 C5 (日独における越境の文化)	2	演習 C10 (伝承・物語)	2



演習 C11 (比較文化)	2	演習 C12 (比較文化)	2
② 指定科目B2			
ドイツ語表現演習 1A (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 3 (児童文学)	2
ドイツ語表現演習 1B (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 4 (日独比較文化タンデム)	4
ドイツ語表現演習 2A (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 5 (ドイツ文化論)	2
ドイツ語表現演習 2B (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 6 (中・近世ドイツ語研究)	2
ドイツ語表現演習 3A (討論2)	2	ドイツ文学・文化演習 7 (メディアのドイツ語)	2
ドイツ語表現演習 3B (討論2)	2	ドイツ文学・文化演習 8 (検定ドイツ語)	2
ドイツ語表現演習 4A (討論3)	2	ドイツ文学・文化演習 101 (日独比較文化)	2
ドイツ語表現演習 4B (討論3)	2	ドイツ文学・文化演習 103 (メディア文化・表象文化)	2
ドイツ語表現演習 5 (小論文)	2	ドイツ文学・文化演習 105 (ドイツと異文化)	2
ドイツ語表現演習 6 (小論文)	2	ドイツ文学・文化演習 107 (言語文化)	2
ドイツ文学・文化演習 1 (韻文)	2	ドイツ文学・文化演習 109 (伝承・物語)	2
ドイツ文学・文化演習 2 (思想・評論)	2	ドイツ文学・文化演習 111 (比較文化)	2
③ 指定科目C			
文学講義 101 (ドイツの言語)	2	文学講義 114 (ドイツの音楽・舞台芸術)	2
文学講義 103 (東ドイツの文化)	2	文学講義 115 (ドイツの生活文化)	2
文学講義 104 (ドイツの言語論)	2	文学講義 116 (ドイツのユダヤ系文化)	2
文学講義 105 (インド・ゲルマン語の歴史)	2	文学講義 117 (ドイツと異文化)	2
文学講義 106 (ドイツ文学にみるジェンダー文化)	2	文学講義 118 (ドイツ中世の文学・文化)	2
文学講義 107 (ドイツのメディア論)	2	文学講義 157 (ドイツの学術文化)	2
文学講義 108 (日独文化交流)	2	文学講義 160 (ドイツの児童文学)	2
文学講義 109 (日独比較文化)	2	文学講義 161 (バロックの文化)	2
文学講義 110 (ドイツのメルヘン)	2	文学講義 162 (ドイツの表象文化)	2
文学講義 111 (ゲーテの時代)	2	文学講義 164 (ドイツの映像文化)	2
文学講義 112 (ドイツの近代社会と思想)	2	文学講義 168 (ドイツ近世の文学・文化)	2
文学講義 113 (ドイツの都市文化)	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

### 3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学

部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

#### 4 随意科目

ドイツ語科教育法1	2	ドイツ語科教育法2	2
ドイツ語科教育法演習1	2	ドイツ語科教育法演習2	2

文学科ドイツ文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目24単位（うち基幹科目2単位）、選択科目44単位（うち基幹科目10単位）、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

### [3] フランス文学専修

#### 1 必修科目

##### ① 指定科目A

入門演習 D1a	2	フランス語入門 4c	2
入門演習 D1b	2	フランス語基礎演習 1a	2
入門演習 D1c	2	フランス語基礎演習 1b	2
入門演習 D2a	2	フランス語基礎演習 1c	2
入門演習 D2b	2	フランス語基礎演習 2a	2
入門演習 D2c	2	フランス語基礎演習 2b	2
フランス語入門 1a	2	フランス語基礎演習 2c	2
フランス語入門 1b	2	フランス語基礎演習 3a	2
フランス語入門 1c	2	フランス語基礎演習 3b	2
フランス語入門 2a	2	フランス語基礎演習 3c	2
フランス語入門 2b	2	フランス語基礎演習 4a	2
フランス語入門 2c	2	フランス語基礎演習 4b	2
フランス語入門 3a	2	フランス語基礎演習 4c	2
フランス語入門 3b	2	フランス語基礎演習 5a	2
フランス語入門 3c	2	フランス語基礎演習 5b	2
フランス語入門 4a	2	フランス語基礎演習 5c	2
フランス語入門 4b	2		

#### 2 選択科目

##### ① 指定科目B1

演習 D1	2	演習 D7	2
演習 D2	2	演習 D8	2
演習 D3	2	演習 D9	2
演習 D4	2	演習 D10	2
演習 D5	2	演習 D11	2
演習 D6	2	演習 D12	2

##### ② 指定科目B2

フランス語表現演習 1 (資格のためのフランス語1)	2	フランス語表現演習 9 (パフォーマンス1)	2
フランス語表現演習 2 (資格のためのフランス語2)	2	フランス語表現演習 10 (パフォーマンス2)	2
フランス語表現演習 3 (コミュニケーション1)	2	フランス文学・文化演習 1 (フィクション1)	2
フランス語表現演習 4 (コミュニケーション2)	2	フランス文学・文化演習 2 (フィクション2)	2
フランス語表現演習 5 (コミュニケーション3)	2	フランス文学・文化演習 3 (エッセー1)	2
フランス語表現演習 6 (コミュニケーション4)	2	フランス文学・文化演習 4 (エッセー2)	2
フランス語表現演習 7 (ライティング1)	2	フランス文学・文化演習 5 (時事フランス語1)	2
フランス語表現演習 8 (ライティング2)	2	フランス文学・文化演習 6 (時事フランス語2)	2

フランス文学・文化演習 7 (映像文化1)	2	フランス文学・文化演習 9 (フィクション3)	2
フランス文学・文化演習 8 (映像文化2)	2	フランス文学・文化演習 10 (フィクション4)	2
③ 指定科目C			
文学講義 201 (仏中世・ルネサンス文学)	2	文学講義 210 (表象文化論)	2
文学講義 202 (仏中世・ルネサンス思想)	2	文学講義 211 (フランス美術)	2
文学講義 203 (仏古典主義文学)	2	文学講義 212 (日仏比較)	2
文学講義 204 (仏近代社会)	2	文学講義 213 (ヨーロッパとフランス)	2
文学講義 205 (仏近・現代小説1)	2	文学講義 214 (仏詩・戯曲)	2
文学講義 206 (仏近・現代小説2)	2	文学講義 215 (フランス文化史)	2
文学講義 207 (フランス語圏文学)	2	文学講義 216 (仏現代社会)	2
文学講義 208 (フランス哲学)	2	文学講義 217 (フランス語学概説1)	2
文学講義 209 (フランス思想)	2	文学講義 218 (フランス語学概説2)	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

### 3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

### 4 随意科目

フランス語科教育法1	2	フランス語科教育法2	2
フランス語科教育法演習1	2	フランス語科教育法演習2	2

文学部フランス文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目24単位(うち基幹科目2単位)、選択科目44単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

## [4] 日本文学専修

### 1 必修科目

#### ① 指定科目A

入門演習 E1a	2	入門演習 E2b	2
入門演習 E1b	2	入門演習 E2c	2
入門演習 E1c	2	入門演習 E2d	2
入門演習 E1d	2	入門演習 E2e	2
入門演習 E1e	2	日本文学研究法	2
入門演習 E2a	2		

### 2 選択科目

#### ① 指定科目B1

演習 E1	2	演習 E7	2
演習 E2	2	演習 E8	2
演習 E3	2	演習 E9	2
演習 E4	2	演習 E10	2
演習 E5	2	演習 E11	2
演習 E6	2	演習 E12	2

演習 E13	2	演習 E25	2
演習 E14	2	演習 E26	2
演習 E15	2	演習 E27	2
演習 E16	2	演習 E28	2
演習 E17	2	演習 E29	2
演習 E18	2	演習 E30	2
演習 E19	2	演習 E31	2
演習 E20	2	演習 E32	2
演習 E21	2	演習 E33	2
演習 E22	2	演習 E34	2
演習 E23	2	演習 E35	2
演習 E24	2	演習 E36	2
② 指定科目B2			
日本文学講読 1 (古代)	2	漢文学講読 1 (漢文)	2
日本文学講読 2 (古代)	2	漢文学講読 2 (漢文)	2
日本文学講読 3 (中世)	2	漢文学講読 3 (漢文)	2
日本文学講読 4 (中世)	2	漢文学講読 4 (漢文)	2
日本文学講読 5 (近世)	2	卒業論文(制作)予備研究 1	2
日本文学講読 6 (近世)	2	卒業論文(制作)予備研究 2	2
日本文学講読 7 (和歌・俳諧)	2	研究小論文 1b	2
日本文学講読 8 (和歌・俳諧)	2	研究小論文 2a	2
		研究小論文 2b	2
③ 指定科目C			
文学講義 301 (日本文学史・古代1)	2	文学講義 314 (日本文学史・近現代2)	2
文学講義 302 (日本文学史・古代2)	2	文学講義 315 (日本語史1)	2
文学講義 303 (日本文学史・古代3)	2	文学講義 316 (日本語史2)	2
文学講義 304 (日本文学史・古代4)	2	文学講義 317 (古代日本文学1)	2
文学講義 305 (日本文学史・中世1)	2	文学講義 318 (古代日本文学2)	2
文学講義 306 (日本文学史・中世2)	2	文学講義 319 (古代日本文学3)	2
文学講義 307 (日本文学史・和歌・俳諧1)	2	文学講義 320 (古代日本文学4)	2
文学講義 308 (日本文学史・和歌・俳諧2)	2	文学講義 321 (中世日本文学1)	2
文学講義 309 (日本文学史・和歌・俳諧3)	2	文学講義 322 (中世日本文学2)	2
文学講義 310 (日本文学史・和歌・俳諧4)	2	文学講義 323 (中世日本文学3)	2
文学講義 311 (日本文学史・近世1)	2	文学講義 324 (中世日本文学4)	2
文学講義 312 (日本文学史・近世2)	2	文学講義 325 (和歌・俳諧1)	2
文学講義 313 (日本文学史・近現代1)	2	文学講義 326 (和歌・俳諧2)	2

文学講義 327 (和歌・俳諧3)	2	文学講義 337 (日本語学1)	2
文学講義 328 (和歌・俳諧4)	2	文学講義 338 (日本語学2)	2
文学講義 329 (近世日本文学1)	2	文学講義 339 (日本語学3)	2
文学講義 330 (近世日本文学2)	2	文学講義 340 (日本語学4)	2
文学講義 331 (近現代日本文学1)	2	文学講義 341 (日本語学5)	2
文学講義 332 (近現代日本文学2)	2	文学講義 342 (日本語学6)	2
文学講義 333 (近現代日本文学3)	2	文学講義 343 (書誌学1)	2
文学講義 334 (近現代日本文学4)	2	文学講義 344 (書誌学2)	2
文学講義 335 (近現代日本文学5)	2	文学講義 345 (文献解読1)	2
文学講義 336 (近現代日本文学6)	2	文学講義 346 (文献解読2)	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

### 3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

### 4 随意科目

国語科教育法1	2	国語科教育法2	2
国語科教育法演習1	2	国語科教育法演習2	2

文学部日本文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

## [5] 文芸・思想専修

### 1 必修科目

#### ① 指定科目A

入門演習 F1a	2	入門演習 F2b	2
入門演習 F1b	2	入門演習 F2c	2
入門演習 F1c	2	入門演習 F2d	2
入門演習 F1d	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 F2a	2		

### 2 選択科目

#### ① 指定科目B1

演習 F1	2	演習 F9	2
演習 F2	2	演習 F10	2
演習 F3	2	演習 F11	2
演習 F4	2	演習 F12	2
演習 F5	2	演習 F17	2
演習 F6	2	演習 F18	2
演習 F7	2	演習 F19	2
演習 F8	2	演習 F20	2

演習 F21	2	演習 F27	2
演習 F22	2	演習 F28	2
演習 F23	2	演習 F29	2
演習 F24	2	演習 F30	2
演習 F25	2	演習 F31	2
演習 F26	2	演習 F32	2
② 指定科目B2			
文芸・思想文献講読 1	2	文芸・思想文献講読 3	2
文芸・思想文献講読 2	2	文芸・思想文献講読 4	2
③ 指定科目C			
文学講義 401 (文明批評論1)	2	文学講義 415 (文芸編集論)	2
文学講義 402 (文明批評論2)	2	文学講義 416 (演劇)	2
文学講義 403 (文芸評論1)	2	文学講義 417 (現代歌謡論)	2
文学講義 404 (文芸評論2)	2	文学講義 418 (世界文学論1)	2
文学講義 405 (文化翻訳論1)	2	文学講義 419 (世界文学論2)	2
文学講義 406 (文化翻訳論2)	2	哲学講義 1 (西洋哲学)	2
文学講義 407 (マンガ/アニメ表現論1)	2	哲学講義 2 (東洋哲学)	2
文学講義 408 (マンガ/アニメ表現論2)	2	哲学講義 3 (芸術論1)	2
文学講義 409 (小説創作論1)	2	哲学講義 4 (芸術論2)	2
文学講義 410 (小説創作論2)	2	哲学講義 5 (現代思想の諸問題1)	2
文学講義 411 (詩創作論1)	2	哲学講義 6 (現代思想の諸問題2)	2
文学講義 412 (詩創作論2)	2	哲学講義 7 (死生論)	2
文学講義 413 (ジェンダー論)	2	哲学概論 1	2
文学講義 414 (広告文芸論)	2	哲学概論 2	2
		現代倫理	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

### 3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び5大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

### 4 随意科目

国語科教育法1	2	国語科教育法2	2
国語科教育法演習1	2	国語科教育法演習2	2

文学科文芸・思想専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[ 6 ] G L A P

1 必修科目

Tutorial 1	2	Globalism and Humanities	4
Tutorial 2	2	Citizenship Education	4
Liberal Arts in Higher Education	4	International Business	4
GL111	2	Final Year Seminar 1	2
GL202	2	Final Year Seminar 2	2
Second Year Seminar	2	Graduation Paper	8

2 選択科目

① 英語リベラルアーツ(ELA)科目

World History	4	Literature and Society	4
Culture and Fine Arts	4	Economic Thought	4
Political Sociology	4	Health and Wellness	4
Nature of the Earth	4		

② GLAP 夏季短期集中プログラム科目

University Education in the World	2	Career and University Education	2
University in Modern Society	2	in the Global World	

③ 海外留学研修

Study Abroad 1	12	Study Abroad 2	12
----------------	----	----------------	----

④ Global Studies Electives

Global Studies Pre-Seminar	2	Cross-Fields Research	4
----------------------------	---	-----------------------	---

< Global Studies Humanities >

Humanities First Seminar	2	Seminar in Literature	2
Christianity in Japan	2	and Culture Studies 2	
Japanese Literature in the World	2	Seminar in Literature	2
Japan in Asian Context	2	and Culture Studies 3	
Rethinking European Literatures	2	Seminar in Literature	2
Traditional Arts in Japan	2	and Culture Studies 4	
Postmodern Turn in Japanese Arts	2	Seminar in Literature	2
Development of Gender Studies	2	and Culture Studies 5	
Intellectual History of Japan	2	Seminar in Literature	2
Seminar in Literature	2	and Culture Studies 6	
and Culture Studies 1			

< Global Studies Citizenship >

Citizenship First Seminar	2	Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
Principles of Sociology	2	Studies of Contemporary Society A	2
Global Sociology	2	Studies of Contemporary Society B	2
Global City	2	Studies of Contemporary Society C	2
Gender/Minority Studies	2	Studies of Contemporary Society D	2
International Relations	2	Sociology of Gender A	2
UN and International Organizations	2	Cultural Anthropology A	2
Civil Society Organization (NGO/NPO) and	2		
Corporate Social Responsibilities			

< Global Studies Business >

Business First Seminar	2	Marketing Research	2
Business and Society	2	Advanced Business Project	4
Introduction to Finance	2	Business Project	2
Introduction to Accounting	2	Business Communication	2
Introduction to Marketing	2	Marketing Communications and Penetrating	2
Corporate Finance and Valuation	2	the Japanese Market	
Financial Statement Analysis	2	Intercultural Business Management	2

Global Innovation Management	2	Global Strategic Management	2
International Human Resource Management	2	Marketing Positioning Strategy	2

### 3 自由科目

GLAP は、全学共通科目 10 単位、必修科目 38 単位、選択科目 60 単位（英語リベラルアーツ (ELA) 科目を 20 単位、GLAP 夏季短期集中プログラム科目を 2 単位、海外留学研修または Global Studies Electives を 38 単位）、自由科目 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。なお、Global Studies Electives において Humanities, Citizenship, Business より 1 つのフィールドを選択し、当該分野の科目を 14 単位以上修得しなければならない。

指定単位を超えて修得した選択科目、全学共通科目、各学部専門教育科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。

## III 経済学部

### (1) 経済学科専門教育科目

#### 1 必修科目

##### ① 必修科目

経済学1	2	経済学2	2
------	---	------	---

#### 2 選択科目

##### ① 基本選択科目

社会経済学1	2	初級ミクロ経済学2	2
社会経済学2	2	初級マクロ経済学1	2
初級ミクロ経済学1	2	初級マクロ経済学2	2

##### ② 共通選択科目 1

基礎ゼミナール1	2	経済史2	2
基礎ゼミナール2	2	外書講読・英A	2
情報処理入門1	2	外書講読・英B	2
情報処理入門2	2	経営学1	2
統計学1	2	経営学2	2
統計学2	2	簿記1	2
経済数学入門	2	簿記2	2
経済史1	2		

##### ③ 共通選択科目 2

応用社会経済学1	2	経済英語2	2
応用社会経済学2	2	経済英語3	2
中級ミクロ経済学	2	経済英語4	2
中級マクロ経済学	2	経済英語5	2
経済学史1	2	経済英語6	2
経済学史2	2	経済英語7	2
経済統計学1	2	経済英語8	2
経済統計学2	2	経済英語9	2
計量経済学1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	8
計量経済学2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8
日本経済論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6
日本経済論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
国際経済論	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
世界経済論	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
財政学1	2	Japanese Economy1	2
財政学2	2	Japanese Economy2	2
金融論1	2	Japanese Economic History1	2
金融論2	2	Japanese Economic History2	2
日本経済史1	2	Japanese Management1	2
日本経済史2	2	Japanese Management2	2
経済情報処理A	2	Economics	2
経済情報処理B	2	Statistics	2
経済英語1	2		



④ 学科選択科目

数理経済学	2	環境経済学1	2
景気変動論1	2	環境経済学2	2
景気変動論2	2	開発経済学	2
社会思想史	2	アジア経済論	2
現代社会思想	2	アメリカ経済論	2
欧州経済史	2	アメリカ経済政策論	2
現代ヨーロッパ経済史	2	国際貿易論	2
経営史1	2	国際経済政策論	2
経営史2	2	経済政策論1	2
公共経済学1	2	経済政策論2	2
公共経済学2	2	租税論1	2
産業経済論1	2	租税論2	2
産業経済論2	2	地方財政論1	2
労働経済論1	2	地方財政論2	2
労働経済論2	2	証券経済論	2
社会政策論1	2	証券市場論	2
社会政策論2	2	外国為替論	2
農業経済論	2	国際金融論	2
農業政策論	2	統計調査論1	2
都市政策論1	2	統計調査論2	2
都市政策論2	2		

3 自由科目

① 自由選択科目 1

アジア経済史1	2	上級簿記1	2
アジア経済史2	2	上級簿記2	2
アメリカ経済史	2	国際会計論1	2
現代アメリカ経済史	2	国際会計論2	2
中小企業論1	2	会計情報論1	2
中小企業論2	2	会計情報論2	2
消費者政策論	2	税務会計論	2
生活経済論	2	会計政策論	2
比較公共政策論1	2	環境会計論	2
比較公共政策論2	2	非営利会計論	2
社会開発論	2	会計史1	2
現代経済論	2	会計史2	2
現代経済演習1	2	コーポレートファイナンス1	2
現代経済演習2	2	コーポレートファイナンス2	2
医療経済論	2	金融工学	2
福祉経済論	2	ポートフォリオ論	2
流通経済論	2	金融機関論	2
流通政策論	2	金融政策論	2
EU経済論	2	年金経済論	2
地域経済統合論	2	保険論	2
中国経済論	2	金融史	2
中国経済政策論	2	現代企業論1	2
国際政治経済学	2	現代企業論2	2
会计学1	2	国際経営論1	2
会计学2	2	国際経営論2	2
中級簿記1	2	マーケティング論1	2
中級簿記2	2	マーケティング論2	2
ファイナンス基礎	2	コーポレートガバナンス論1	2
経営分析論1	2	コーポレートガバナンス論2	2
経営分析論2	2	企業法1	2
財務会計論1	2	企業法2	2
財務会計論2	2	ゼミナールA	4
管理会計論1	2	ゼミナールB	4
管理会計論2	2	ゼミナール(単年度)	4
原価計算論1	2	外書講読・独A	2
原価計算論2	2	外書講読・独B	2
会計監査論1	2	外書講読・仏A	2
会計監査論2	2	外書講読・仏B	2
租税法1	2	データサイエンス概論	2
租税法2	2	調査実習	4

経済地理学1	2	憲法1	2
経済地理学2	2	憲法2	2
課題解決演習A	2	民法1	2
課題解決演習B	2	民法2	2
課題解決演習C	2	経済法1	2
企画講座1	2	経済法2	2
企画講座2	2	行政学1	2
企画講座3	2	行政学2	2
企画講座4	2	地方自治論	2
企画講座5	2	労働法	4
インターンシップ	4	経済ビッグデータ解析入門	2
キャリアデザイン論	2	機械学習入門	2
キャリアコンサルティング論	2		

## ② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学2	2
世界史	2	心理学1	2
政治学	2	心理学2	2
地誌学1	2	宗教思想1	2
地誌学2	2	宗教思想2	2
地理学概説1	2	哲学概論1	2
地理学概説2	2	哲学概論2	2
自然地理学1	2		

## 4 随意科目

社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・公民科教育法 2	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法演習 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
社会・地理歴史科教育法演習 2	2	商業科教育法 1	2
社会・公民科教育法 1	2	商業科教育法演習 1	2

経済学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育必修科目を 4 単位、選択科目を 58 単位（基本選択科目を 8 単位、共通選択科目 1 を 14 単位、共通選択科目 2 を 12 単位、学科選択科目を 24 単位）、自由科目を 34 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位数に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 8 単位を上限とする。

## (2) 会計ファイナンス学科専門教育科目

### 1 必修科目

#### ① 必修科目

簿記 1	2	会計学 2	2
簿記 2	2	経済学 1	2
会計学 1	2	経済学 2	2

### 2 選択科目

#### ① 共通選択科目 1

基礎ゼミナール 1	2	外書講読・英 B	2
基礎ゼミナール 2	2	経営学 1	2
情報処理入門 1	2	経営学 2	2
情報処理入門 2	2	社会経済学 1	2
統計学 1	2	社会経済学 2	2
統計学 2	2	初級ミクロ経済学 1	2
経済数学入門	2	初級マクロ経済学 1	2
外書講読・英 A	2		

② 共通選択科目 2

中級簿記 1	2	経済英語6	2
中級簿記 2	2	経済英語7	8
ファイナンス基礎	2	経済英語8	8
経営分析論 1	2	経済英語9	6
経営分析論 2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	8
金融論 1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8
金融論 2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6
景気変動論 1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
景気変動論 2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
初級ミクロ経済学 2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
初級マクロ経済学 2	2	Japanese Economy1	2
財務情報処理 A	2	Japanese Economy2	2
財務情報処理 B	2	Japanese Economic History1	2
経済英語1	2	Japanese Economic History2	2
経済英語2	2	Japanese Management 1	2
経済英語3	2	Japanese Management 2	2
経済英語4	2	Economics	2
経済英語5	2	Statistics	2

③ 学科選択科目

A アカウンティング

財務会計論 1	2	上級簿記 2	2
財務会計論 2	2	国際会計論 1	2
管理会計論 1	2	国際会計論 2	2
管理会計論 2	2	会計情報論 1	2
原価計算論 1	2	会計情報論 2	2
原価計算論 2	2	税務会計論	2
会計監査論 1	2	会計政策論	2
会計監査論 2	2	環境会計論	2
租税法 1	2	非常利会計論	2
租税法 2	2	会計史 1	2
上級簿記 1	2	会計史 2	2

B ファイナンス

コーポレートファイナンス 1	2	金融工学	2
コーポレートファイナンス 2	2	ポートフォリオ論	2
証券経済論	2	金融機関論	2
証券市場論	2	金融政策論	2
外国為替論	2	年金経済論	2
国際金融論	2	保険論	2
計量経済学 1	2	金融史	2
計量経済学 2	2		

C マネジメント

経営史 1	2	マーケティング論 1	2
経営史 2	2	マーケティング論 2	2
現代企業論 1	2	コーポレート・ガバナンス論 1	2
現代企業論 2	2	コーポレート・ガバナンス論 2	2
国際経営論 1	2	企業法 1	2
国際経営論 2	2	企業法 2	2

3 自由科目

① 自由選択科目 1

経済史 1	2	経済統計学 2	2
経済史 2	2	日本経済論 1	2
経済学史 1	2	日本経済論 2	2
経済学史 2	2	国際経済論	2
経済統計学 1	2	世界経済論	2

日本経済史 1	2	都市政策論 1	2
日本経済史 2	2	都市政策論 2	2
経済政策論 1	2	中小企業論 1	2
経済政策論 2	2	中小企業論 2	2
財政学 1	2	消費者政策論	2
財政学 2	2	生活経済論	2
国際貿易論	2	比較公共政策論 1	2
国際経済政策論	2	比較公共政策論 2	2
応用社会経済学 1	2	社会開発論	2
応用社会経済学 2	2	医療経済論	2
中級ミクロ経済学	2	福祉経済論	2
中級マクロ経済学	2	流通経済論	2
公共経済学 1	2	流通政策論	2
公共経済学 2	2	ゼミナール A	4
現代経済論	2	ゼミナール B	4
現代経済演習 1	2	ゼミナール(単年度)	4
現代経済演習 2	2	データサイエンス概論	2
数理経済学	2	統計調査論 1	2
社会思想史	2	統計調査論 2	2
現代社会思想	2	調査実習	4
EU 経済論	2	外書講読・独 A	2
地域経済統合論	2	外書講読・独 B	2
中国経済論	2	外書講読・仏 A	2
中国経済政策論	2	外書講読・仏 B	2
国際政治経済学	2	経済地理学 1	2
欧州経済史	2	経済地理学 2	2
現代ヨーロッパ経済史	2	課題解決演習 A	2
アジア経済史 1	2	課題解決演習 B	2
アジア経済史 2	2	課題解決演習 C	2
アメリカ経済史	2	企画講座 1	2
現代アメリカ経済史	2	企画講座 2	2
産業経済論 1	2	企画講座 3	2
産業経済論 2	2	企画講座 4	2
労働経済論 1	2	企画講座 5	2
労働経済論 2	2	インターンシップ	4
環境経済学 1	2	キャリアデザイン論	2
環境経済学 2	2	キャリアコンサルティング論	2
開発経済学	2	憲法 1	2
アジア経済論	2	憲法 2	2
アメリカ経済論	2	民法 1	2
アメリカ経済政策論	2	民法 2	2
租税論 1	2	経済法 1	2
租税論 2	2	経済法 2	2
地方財政論 1	2	行政学 1	2
地方財政論 2	2	行政学 2	2
社会政策論 1	2	地方自治論	2
社会政策論 2	2	労働法	4
農業経済論	2	経済ビッグデータ解析入門	2
農業政策論	2	機械学習入門	2

② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学 2	2
世界史	2	心理学 1	2
政治学	2	心理学 2	2
地誌学 1	2	宗教思想 1	2
地誌学 2	2	宗教思想 2	2
地理学概説 1	2	哲学概論 1	2
地理学概説 2	2	哲学概論 2	2
自然地理学 1	2		

#### 4 随意科目

社会・公民科教育法 1	2	社会・公民科教育法演習2	2
社会・公民科教育法2	2	商業科教育法1	2
社会・公民科教育法演習1	2	商業科教育法演習1	2

会計ファイナンス学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育必修科目を 12 単位、選択科目を 58 単位（共通選択科目 1 を 14 単位、共通選択科目 2 を 12 単位、学科選択科目を 32 単位）、自由科目を 26 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 8 単位を上限とする。

#### (3) 経済政策学科専門教育科目

##### 1 必修科目

##### ① 必修科目

経済学1	2	政策分析概論	2
経済学2	2		

##### 2 選択科目

##### ① 基本選択科目

社会経済学1	2	初級ミクロ経済学2	2
社会経済学2	2	初級マクロ経済学1	2
初級ミクロ経済学1	2	初級マクロ経済学2	2

##### ② 共通選択科目 1

基礎ゼミナール1	2	経済史2	2
基礎ゼミナール2	2	外書講読・英A	2
情報処理入門1	2	外書講読・英B	2
情報処理入門2	2	経営学1	2
統計学1	2	経営学2	2
統計学2	2	簿記1	2
経済数学入門	2	簿記2	2
経済史1	2		

##### ③ 共通選択科目 2

経済政策論1	2	経済英語7	2
経済政策論2	2	経済英語8	2
財政学1	2	経済英語9	2
財政学2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	8
社会政策論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8
社会政策論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6
産業経済論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
産業経済論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
国際経済論	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
世界経済論	2	Japanese Economy1	2
政策情報処理A	2	Japanese Economy2	2
政策情報処理B	2	Japanese Economic History1	2
経済英語1	2	Japanese Economic History2	2
経済英語2	2	Japanese Management1	2
経済英語3	2	Japanese Management2	2
経済英語4	2	Economics	2
経済英語5	2	Statistics	2
経済英語6	2		

##### ④ 学科選択科目

##### A 公共サービスと生活

租税論1	2	都市政策論2	2
租税論2	2	環境経済学1	2
地方財政論1	2	環境経済学2	2
地方財政論2	2	消費者政策論	2
都市政策論1	2	生活経済論	2

比較公共政策論1	2	公共経済学2	2
比較公共政策論2	2	医療経済論	2
租税法1	2	福祉経済論	2
租税法2	2	年金経済論	2
公共経済学1	2		
<b>B 競争と規制</b>			
農業経済論	2	流通経済論	2
農業政策論	2	流通政策論	2
中小企業論1	2	現代企業論1	2
中小企業論2	2	現代企業論2	2
労働経済論1	2	金融機関論	2
労働経済論2	2	金融政策論	2
<b>C グローバル化と地域</b>			
国際貿易論	2	外国為替論	2
国際経済政策論	2	国際金融論	2
開発経済学	2	社会開発論	2
アジア経済論	2	国際政治経済学	2
<b>D 政策関連科目</b>			
金融論1	2	地域経済統合論	2
金融論2	2	中国経済論	2
日本経済論1	2	中国経済政策論	2
日本経済論2	2	憲法1	2
経済統計学1	2	憲法2	2
経済統計学2	2	経済法1	2
計量経済学1	2	経済法2	2
計量経済学2	2	行政学1	2
アメリカ経済論	2	行政学2	2
アメリカ経済政策論	2	地方自治論	2
EU経済論	2	労働法	4
<b>3 自由科目</b>			
<b>① 自由選択科目 1</b>			
経済学史1	2	経営分析論1	2
経済学史2	2	経営分析論2	2
日本経済史1	2	財務会計論1	2
日本経済史2	2	財務会計論2	2
証券経済論	2	管理会計論1	2
証券市場論	2	管理会計論2	2
景気変動論1	2	原価計算論1	2
景気変動論2	2	原価計算論2	2
応用社会経済学1	2	会計監査論1	2
応用社会経済学2	2	会計監査論2	2
中級ミクロ経済学	2	上級簿記1	2
中級マクロ経済学	2	上級簿記2	2
現代経済論	2	国際会計論1	2
現代経済演習1	2	国際会計論2	2
現代経済演習2	2	会計情報論1	2
数理経済学	2	会計情報論2	2
社会思想史	2	税務会計論	2
現代社会思想	2	会計政策論	2
欧州経済史	2	環境会計論	2
現代ヨーロッパ経済史	2	非営利会計論	2
経営史1	2	会計史1	2
経営史2	2	会計史2	2
アジア経済史1	2	コーポレートファイナンス1	2
アジア経済史2	2	コーポレートファイナンス2	2
アメリカ経済史	2	金融工学	2
現代アメリカ経済史	2	ポートフォリオ論	2
会計学1	2	保険論	2
会計学2	2	金融史	2
中級簿記1	2	国際経営論1	2
中級簿記2	2	国際経営論2	2
ファイナンス基礎	2	マーケティング論1	2

マーケティング論2	2	経済地理学2	2
コーポレートガバナンス論1	2	課題解決演習A	2
コーポレートガバナンス論2	2	課題解決演習B	2
企業法1	2	課題解決演習C	2
企業法2	2	企画講座1	2
外書講読・独A	2	企画講座2	2
外書講読・独B	2	企画講座3	2
外書講読・仏A	2	企画講座4	2
外書講読・仏B	2	企画講座5	2
ゼミナールA	4	インターンシップ	4
ゼミナールB	4	キャリアデザイン論	2
ゼミナール(単年度)	4	キャリアコンサルティング論	2
データサイエンス概論	2	民法1	2
統計調査論1	2	民法2	2
統計調査論2	2	経済ビッグデータ解析入門	2
調査実習	4	機械学習入門	2
経済地理学1	2		

② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学2	2
世界史	2	心理学1	2
政治学	2	心理学2	2
地誌学1	2	宗教思想1	2
地誌学2	2	宗教思想2	2
地理学概説1	2	哲学概論1	2
地理学概説2	2	哲学概論2	2
自然地理学1	2		

4 随意科目

社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・公民科教育法 2	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法演習 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
社会・地理歴史科教育法演習 2	2	商業科教育法 1	2
社会・公民科教育法 1	2	商業科教育法演習 1	2

経済政策学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育必修科目を 6 単位、選択科目を 64 単位（基本選択科目を 4 単位、共通選択科目 1 を 14 単位、共通選択科目 2 を 12 単位、学科選択科目を 34 単位）、自由科目を 26 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位数に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・5 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 8 単位を上限とする。

IV 理学部

(1) 数学科専門教育科目

1 必修科目

線形代数学入門	2	計算機入門 2 演習	1
線形代数学入門演習	1	線形代数学 2	2
集合と写像	2	線形代数学 2 演習	1
線形代数学 1	2	群論入門	2
線形代数学 1 演習	1	群論入門演習	1
微分と積分入門	2	微分と積分 2	2
微分と積分入門演習	1	微分と積分 2 演習	1
微分と積分 1	2	微分と積分 3	2
微分と積分 1 演習	1	微分と積分 3 演習	1
計算機入門 1	2	数学講究	8 } 8
計算機入門 1 演習	1	応用数学講究	
計算機入門 2	2		

## 2 選択科目

### ① 専門選択科目1

代数学1	2	解析学1	2
代数学1 演習	1	解析学1 演習	1
代数学2	2	解析学2	2
代数学2 演習	1	解析学2 演習	1
幾何学1	2	情報数理1	2
幾何学1 演習	1	情報数理1 演習	1
幾何学2	2	情報数理2	2
幾何学2 演習	1	情報数理2 演習	1

### ② 専門選択科目2

代数学3	2	幾何学4	2
幾何学3	2	解析学4	2
解析学3	2	情報数理4	2
情報数理3	2	現代数学概論	2
代数学4	2		

### ③ 専門選択科目3

整数論入門	2	代数学諸論4	2
微分方程式入門	2	代数学諸論5	2
数学セミナー1	2	代数学諸論6	2
数学セミナー2	2	幾何学諸論1	2
数学セミナー3	2	幾何学諸論2	2
数学セミナー4	2	幾何学諸論3	2
計算機1	2	幾何学諸論4	2
計算機2	2	幾何学諸論5	2
計算機3	2	幾何学諸論6	2
計算機4	2	解析学諸論1	2
確率と統計1	2	解析学諸論2	2
確率と統計2	2	解析学諸論3	2
情報科学1	2	解析学諸論4	2
情報科学2	2	解析学諸論5	2
情報科学3	2	解析学諸論6	2
情報科学4	2	確率論諸論1	2
情報科学6	2	確率論諸論2	2
計算機諸論1	2	確率論諸論3	2
計算機諸論2	2	確率論諸論4	2
計算機諸論3	2	統計数学諸論1	2
情報科学諸論1	2	統計数学諸論2	2
情報科学諸論2	2	統計数学諸論3	2
情報科学諸論3	2	統計数学諸論4	2
情報科学諸論4	2	科学英語1(数)	2
情報科学諸論6	2	科学英語2(数)	2
応用数学諸論1	2	物理学(数)	2
応用数学諸論2	2	線形代数学統論	2
応用数学諸論3	2	確率論序論1	2
応用数学諸論4	2	確率論序論2	2
応用数学諸論5	2	確率論序論3	2
応用数学諸論6	2	数理統計学序論1	2
代数学諸論1	2	数理統計学序論2	2
代数学諸論2	2	数理統計学序論3	2
代数学諸論3	2		

### ④ 学部共通科目

理学とキャリア(SAL1)	2	数学史	2
理数教育企画(SAL3)	2	数学ことはじめ	2
科学史	2	科学の倫理	2



知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム 1	2
サイエンスコミュニケーション入門(SAL2)	2	短期海外留学プログラム 2	2
地学概説	2	短期海外留学プログラム 3	2
理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2	短期海外留学プログラム 4	2
医学概論	2		

### 3 自由科目

#### ① 数学科自由科目

情報産業論	2	情報科学 A	2
情報社会論	2	情報科学 B	2
情報と倫理	2		

#### 4 随意科目

地学総合実験	1	数学科教育法演習 1	2
共通教育ゼミナール 1	2	数学科教育法演習 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	情報科教育法 1	2
数学科教育法 1	2	情報科教育法演習 1	2
数学科教育法 2	2		

数学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 40 単位、選択科目を 26 単位（専門選択科目 1 を 12 単位、専門選択科目 2 を 2 単位、専門選択科目 3 を 8 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 34 単位以上、計 128 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した専門選択科目 1～3 及び学部共通科目の単位を算入することができる。また、数学科自由科目、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、指定単位数を超えて修得した総合系科目（全学共通）、並びに 5 大学間単位互換制度による他大学の科目から、合わせて 16 単位までを算入することができる。

### (2) 物理学科専門教育科目

#### 1 必修科目

物理学概論	2	波動と量子	2
熱力学	2	電磁気学 1	2
力学 1	2	電磁気学 2	2
力学 2	2	物理数学 1	2
微分積分 1	2	物理数学 2	2
微分積分 2	2	物理学演習 1	1
線形代数 1	2	物理学演習 2	1
線形代数 2	2	基礎物理実験	2
基礎物理学演習 1	1	量子力学 1	2
基礎物理学演習 2	1	統計力学 1	2
コンピュータ実験 1	1	物理学演習 3	1
コンピュータ実験 2	1	物理学実験 1	4
化学実験(物)	1	卒業研究 1	4
生物学実験(物)	1	卒業研究 2	4
解析力学	2		

#### 2 選択科目

##### ① 専門選択科目 1

物理入門ゼミナール	2	宇宙地球系物理概論	2
宇宙物理学序論 1	2	素粒子概論	2
宇宙物理学序論 2	2	物理数学特論	2
物理計測論	2	量子光学	2
流体力学	2	電気力学	2
エレクトロニクス	2	物理学特別講義 1	2
情報処理	2	物理学特別講義 2	2
JAXA 宇宙科学技術講義	2	理論物理学講究 1 (相対論)	2
物理数学 3	2	理論物理学講究 2 (素粒子論)	2
宇宙物理概論	2	理論物理学講究 3 (宇宙物理学)	2
物性概論	2	理論物理学講究 5 (数理物理学)	2
原子核概論	2	理論物理学講究 6 (統計物理学)	2

原子核・放射線物理学講究 1 (原子核物理学)	2	宇宙地球系物理学講究 7 (惑星大気物理学)	2
原子核・放射線物理学講究 2 (天体核物理学)	2	宇宙地球系物理学講究 8 (惑星物理学)	2
原子核・放射線物理学講究 3 (原子・分子物理学)	2	宇宙地球系物理学講究 9	2
原子核・放射線物理学講究 4 (放射線物理学)	2	(高エネルギー宇宙物理学)	
原子核・放射線物理学講究 5 (ハドロン物理学)	2	物理学研究インターンシップ	2
宇宙地球系物理学講究 1 (宇宙放射線物理学)	2		

## ② 専門選択科目 2

化学(物)	2	科学英語 1 (物)	2
生物学(物)	2	科学英語 2 (物)	2

## ③ 専門選択科目 3

量子力学 2	2	物理学実験 2	4
統計力学 2	2	物理学演習 4	1

## ④ 学部共通科目

理学とキャリア(SAL1)	2	地学概説	2
理数教育企画(SAL3)	2	地学総合実験	1
科学史	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2
数学史	2	医学概論	2
数学ことはじめ	2	短期海外留学プログラム 1	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム 2	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム 3	2
サイエンスコミュニケーション入門(SAL2)	2	短期海外留学プログラム 4	2

## 3 自由科目

### 4 随意科目

共通教育ゼミナール 1	2	理科教育法 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	理科教育法演習 1	2
理科教育法 1	2	理科教育法演習 2	2

物理学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 55 単位、選択科目を 25 単位（専門選択科目 1 を 13 単位、専門選択科目 2 を 4 単位、専門選択科目 3 を 4 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、並びに 5 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

### (3) 化学科専門教育科目

#### 1 必修科目

物理化学入門	2	反応速度論	2
基礎化学実験	2	有機化学 2	2
有機化学入門	2	有機構造決定法	2
無機化学入門	2	分析化学入門	2
数学(化)	2	無機化学 1	2
分析化学 1	2	科学英語(化)	2
有機化学 1	2	化学実験 C	4
物理化学 1	2	化学実験 B	4
物理学 1(化)	2	輪講	2
化学実験 A	2	卒業研究	8
物理化学 2	2		

#### 2 選択科目

##### ① 専門選択科目

基礎物理学	2	分析化学 2	2
化学ゼミナール	2	情報科学(化)	2
生物学(化)	2	有機化学 3	2
物理学 2	2	無機化学 2	2

有機化学演習	2	錯体化学 2	2
物理化学演習	2	分子軌道論	2
錯体化学 1	2	高分子化学	2
分析化学 3	2	高分子物性	2
光物理化学	2	化学の最前線	2
分子動力学論	2	研究実験 1	2
天然物有機化学	2	研究実験 2	2
有機合成化学	2	物理学実験(化)	2
物性科学	2	生物学実験(化)	1
物理化学 3	2		

## ② 学部共通科目

理学とキャリア(SAL1)	2	地学概説	2
理数教育企画(SAL3)	2	地学総合実験	1
科学史	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2
数学史	2	医学概論	2
数学ことはじめ	2	短期海外留学プログラム 1	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム 2	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム 3	2
サイエンスコミュニケーション入門(SAL2)	2	短期海外留学プログラム 4	2

## 3 自由科目

### 4 随意科目

共通教育ゼミナール 1	2	理科教育法 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	理科教育法演習 1	2
理科教育法 1	2	理科教育法演習 2	2

化学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 52 単位、選択科目を 28 単位（専門選択科目を 24 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、並びに 5 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

## (4) 生命理学科専門教育科目

### 1 必修科目

生命理学概論	2	基礎化学	2
生物学序論	2	分子生物学 2	2
化学序論	2	生物物理学 1	2
基礎情報科学	2	分子細胞学 2	2
生命理学基礎実験	2	生命理学実験 1	5
生物化学 1	2	分子生物学 3	2
分子細胞学 1	2	分子細胞学 3	2
物理学実験(生)	1	生命理学実験 2A	5
化学実験(生)	1	生命理学実験 2B	5
分子生物学 1	2	卒業研究	8
生物化学 2	2	輪講	2

### 2 選択科目

#### ① 専門選択科目 1

植物科学 1	2	分子発生生物学	2
動物科学	2	生命理学実験法	2
微生物科学	2	植物化学 2	2
生物物理学 2	2	科学英語 1(生)	2
分子神経学	2	生物統計学	2
分子免疫学	2		

② 専門選択科目2			
物理学1(生)	2	バイオテクノロジー	2
生命理学ゼミナール1	2	科学英語2(生)	2
物理学2	2	バイオインフォマティクス	2
多様性の生物学	2	生命理学の最前線	2
生命理学ゼミナール2	2	生命理学特別演習1	1
生命倫理	2	生命理学特別演習2	1

③ 学部共通科目			
理学とキャリア(SAL1)	2	地学概説	2
理数教育企画(SAL3)	2	地学総合実験	1
科学史	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2
数学史	2	医学概論	2
数学ことはじめ	2	短期海外留学プログラム1	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム2	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム3	2
サイエンスコミュニケーション入門(SAL2)	2	短期海外留学プログラム4	2
	2		

### 3 自由科目

4 随意科目			
共通教育ゼミナール1	2	理科教育法2	2
共通教育ゼミナール2	2	理科教育法演習1	2
理科教育法1	2	理科教育法演習2	2

生命理学科は、全学共通科目28単位、専門教育科目必修科目を57単位、選択科目を24単位(専門選択科目1を12単位、専門選択科目2を8単位、学部共通科目を4単位)、自由科目を15単位以上、計124単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目(全学共通)、並びに5大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

## V 社会学部

### A 社会学部共通科目

1 必修科目			
社会学原論1	2	社会調査法2	2
社会学原論2	2	社会調査法3	2
社会調査法1	2	基礎演習	2
2 専門教育選択科目1			
① 社会学科科目			
現代社会論	2	公共性の社会学	2
自己と他者の社会学	2	現代社会変動論	2
成熟社会論	2		
② 現代文化学科科目			
文化の社会理論	2	環境社会論	2
都市社会論	2	現代文化論	2
グローバル社会論	2		
③ メディア社会学科科目			
情報社会論	2	メディア・コミュニケーション論	2
メディア社会学	2	ジャーナリズム論	2

### 3 専門教育選択科目 2

#### ① 領域横断科目

コミュニケーション論	2	エスノメソドロジー	2
ジェンダーの社会学	2	教育社会学	2
宗教社会学	2	青年期の社会学	2
地域社会学	2	職業選択・キャリア形成論	2
現代社会と政策	2	ダイバーシティとキャリア	2
グローバリゼーション論	2	現代社会研究 A	2
消費社会学	2	現代社会研究 B	2
文化の社会学	2	現代社会研究 C	2
都市とメディア	2	現代社会研究 D	2
文化表象論	2	現代社会研究 E	2
流行論	2	現代社会研究 F	2
比較社会・文化論	2	社会学古典文献講読	2
生命・身体社会学	2	災害社会学	2
開発・発展社会学	2	東日本大震災RDYプロジェクト1	2
「人間の安全保障」とNGO	2	東日本大震災RDYプロジェクト2	2
紛争と和解・共生	2		

#### ② 社会調査・情報処理系科目

フィールドスタディーズ	2	質的調査法	2
社会統計学	2	情報処理 1(入門)	2
多変量解析	2	情報処理 2(アプリケーション)	2
社会調査演習	4	情報処理 3(プログラミング)	2

#### ③ 学部英語科目

Introduction to Sociology A	2	Writing Academic English A	2
Introduction to Sociology B	2	Writing Academic English B	2
Introduction to Sociology C	2	Writing Academic English C	2
Introduction to Sociology D	2	Writing Academic English D	2
Introduction to Sociology E	2	Writing Academic English E	2
Lecture & Discussion on Social Issues A	2	Global Study Program (Sydney)	6
Lecture & Discussion on Social Issues B	2	Sociology of Gender A	2
Lecture & Discussion on Social Issues C	2	Cultural Anthropology A	2
Lecture & Discussion on Culture A	2	Principles of Sociology	2
Lecture & Discussion on Culture B	2	Global City	2
Lecture & Discussion on Culture C	2	International Relations	2
Lecture & Discussion on Media and Communication A	2	Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	2
Lecture & Discussion on Media and Communication B	2	Global Sociology	2
Lecture & Discussion on Media and Communication C	2	Gender/Minority studies	2
		UN and International Organizations	2
		Area Studies - Africa, Islam and Asia	2

### 4 自由科目

#### ① 隣接領域科目

現代史	2	社会言語学	2
政治学 A(政治学理論)	2	科学技術論	2
政治学 B(現代政治)	2	数理科学	2
現代経済	2	国際政治と紛争	2
国際関係論	2	国際政治	2
社会心理学	2	社会認識と哲学	2
文化人類学	2	情報社会と倫理	2

#### ② その他

自主講座

B 各学科専門教育科目

(1) 社会学科専門教育科目

1 必修科目

専門演習 1 2

2 専門教育選択科目 1

<演習>

専門演習 2 4

<卒業論文>

卒業論文演習 1 2 卒業論文 8

卒業論文演習 2 2

<卒業研究>

卒業研究 1 2 卒業研究 2 2

3 専門教育選択科目 2

<理論と方法領域>

社会学理論 2 シミュレーションの社会学 2

社会学史 2 データ対話型分析法 2

計量社会学 2

<自己と関係領域>

アイデンティティ論 2 差別と偏見の社会学 2

相互行為論 2 セクシュアリティの社会学 2

逸脱の社会学 2

<生活と人生領域>

家族社会学 2 保健・医療の社会学 2

ライフコース論 2 少子・高齢社会論 2

共生社会論 2

<公共性と政策領域>

福祉の社会学 2 公共政策とガバナンス 2

平等と公正 2 NPO/NGOの社会学 2

社会問題の社会学 2

<構造と変動領域>

労働社会学 2 社会人口学 2

社会階層論 2 歴史社会学 2

社会運動論 2

<その他>

寄附講座 4

4 自由科目

<隣接科目>

哲学概論 1 2 日本史 2

哲学概論 2 2 地理学概説 1 2

宗教思想 1 2 地理学概説 2 2

宗教思想 2 2 地誌学 1 2

世界史概論 1 2 地誌学 2 2

世界史概論 2 2 心理学 1 2

日本史概論 1 2 心理学 2 2

日本史概論 2 2 国際政治 4

世界史 2

## 5 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

社会学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 14 単位（社会学部共通科目から 12 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から 16 単位（演習 4 単位、卒業論文 12 単位）の計 28 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 16 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 22 単位、卒業研究による卒業の場合に 34 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2、隣接領域科目及び隣接科目（制限なし）、社会学部他学科科目（32 単位まで）、次のもの【他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目（12 単位まで）を自由科目の単位として算入することができる。

### (2) 現代文化学科専門教育科目

#### 1 必修科目

##### <演習>

専門演習 1 2

#### 2 専門教育選択科目 1

##### <演習>

専門演習 2 4

##### <卒業論文>

卒業論文演習 1 2 卒業論文 8

卒業論文演習 2 2

##### <卒業研究>

卒業研究 1 2 卒業研究 2 2

#### 3 専門教育選択科目 2

##### <都市とコミュニティ領域>

都市社会構造論 2 まちづくり論 2

グローバル都市論 2 都市生活誌 2

都市マイノリティ論 2 都市文化論 2

都市コミュニティ論 2

##### <グローバル化とエスニシティ領域>

文化変容論 2 国際社会学 2

エスニシティ論 2 民族文化誌 2

マイグレーション論 2 エスノグラフィー論 2

多文化の社会理論 2

##### <環境とエコロジー領域>

環境と文化 2 自然環境保全論 2

くらしの環境史 2 環境政策論 2

環境の思想 2 環境と人類 2

環境教育論 2

##### <価値とライフスタイル領域>

消費文化論 2 セラピー文化論 2

アートの社会学 2 写真文化論 2

パフォーマンス文化論 2 生活文化論 2

ポピュラーカルチャー論 2

<その他>

寄附講座 2

4 自由科目

<隣接科目>

哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		

5 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

現代文化学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 14 単位（社会学部共通科目から 12 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から 16 単位（演習 4 単位、卒業論文 12 単位）の計 28 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 16 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 22 単位、卒業研究による卒業の場合に 34 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2、隣接領域科目及び隣接科目（制限なし）、社会学部他学科科目（32 単位まで）、次のもの【他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目（12 単位まで）を自由科目の単位として算入することができる。

(3) メディア社会学科専門教育科目

1 必修科目

専門演習 1 2

2 専門教育選択科目 1

<演習>

専門演習 2 4

<卒業論文>

卒業論文演習 1 2 卒業論文 8

卒業論文演習 2 2

<卒業研究>

卒業研究 1 2 卒業研究 2 2

3 専門教育選択科目 2

<社会システムとテクノロジー領域(領域展開科目)>

メディア・テクノロジー・社会 2 メディア産業論 2

<社会システムとテクノロジー領域(領域応用科目)>

コミュニケーション政策論 2 リスク・コミュニケーション論 2

グローバル・コミュニケーション論 2 出版産業論 2

web スタディーズ 2 視覚文化論 2

<生活世界の経験と歴史領域(領域展開科目)>

メディア史 2 メディア素養論 2



<生活世界の経験と歴史領域(領域応用科目)>			
オーディエンス論	2	映像メディア論	2
若者とメディア	2	広告・PR論	2
音楽社会学	2	メディア・環境・コミュニティ	2
災害情報論	2		
<ジャーナリズムと公共性領域(領域展開科目)>			
情報法	2	比較ジャーナリズム史	2
<ジャーナリズムと公共性領域(領域応用科目)>			
ニュースの社会学 1	2	ニュースの社会学 5	2
ニュースの社会学 2	2	ニュースの社会学 6	2
ニュースの社会学 3	2	世論調査論	2
ニュースの社会学 4	2		
<実習・実践科目クラスター>			
メディア・調査実習入門1~4	2	メディアインターンシップ入門	2
メディア・調査実習応用1~6	2	今日のメディアとジャーナリズム	4
メディア・調査実習入門5~6	2	メディア社会特殊講義(1)	2
インターンシップ A	4	メディア社会特殊講義(2)	2
インターンシップ B	2	メディア社会特殊講義(3)	2
4 自由科目			
<隣接科目>			
哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		
5 随意科目			
社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

メディア社会学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 14 単位（社会学部共通科目から 12 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から 16 単位（演習 4 単位、卒業論文 12 単位）の計 28 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 16 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 22 単位、卒業研究による卒業の場合に 34 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2、隣接領域科目及び隣接科目（制限なし）、社会学部他学科科目(32 単位まで)、次のもの【他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目(12 単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

## C 国際社会コース

### 1 必修科目

#### <社会学部共通科目>

社会学原論 1	2	社会調査法 2	2
社会学原論 2	2	社会調査法 3	2
社会調査法 1	2	基礎演習	2

<学科科目>

Reading Sociology in English 2

2 専門教育選択科目 1

<社会学部共通科目>

現代社会論	2	グローバル社会論	2
自己と他者の社会学	2	環境社会論	2
成熟社会論	2	現代文化論	2
公共性の社会学	2	情報社会論	2
現代社会変動論	2	メディア社会学	2
文化の社会理論	2	メディア・コミュニケーション論	2
都市社会論	2	ジャーナリズム論	2

<演習>

専門演習 2 4

<卒業論文>

卒業論文演習 1	2	卒業論文	8
卒業論文演習 2	2		

<卒業研究>

卒業研究 1	2	卒業研究 2	2
--------	---	--------	---

3 専門教育選択科目 2(コース指定選択科目)

<社会学部共通科目(領域横断科目)>

グローバルイゼーション論	2	Global Study Program (Sydney)	6
消費社会論	2	Sociology of Gender A	2
流行論	2	Cultural Anthropology A	2
比較社会・文化論	2	Principles of Sociology	2
開発・発展の社会学	2	Global City	2
「人間の安全保障」とNGO	2	International Relations	2
紛争と和解・共生	2	Civil Society Organization(NGO/NPO) and	2
職業選択・キャリア形成論	2	Corporate Social Responsibilities	
ダイバーシティとキャリア	2	Global Sociology	2
現代社会研究 A	2	Gender/Minority studies	2
現代社会研究 B	2	UN and International Organizations	2
現代社会研究 C	2	Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
現代社会研究 D	2		

<社会学部共通科目(隣接領域科目)>

国際関係論	2	文化人類学	2
-------	---	-------	---

<社会学部共通科目(社会調査・情報処理系科目)>

社会統計学	2	社会調査演習	4
多変量解析	2	質的調査法	2

<社会学科科目>

少子・高齢社会論	2	社会階層論	2
共生社会論	2	社会運動論	2
公共政策とガバナンス	2	平等と公正	2
家族社会学	2	NPO/NGO の社会学	2
労働社会学	2	社会人口学	2
逸脱の社会学	2		

<現代文化学科科目>

国際社会学	2	エスニシティ論	2
消費文化論	2	環境教育論	2
民族文化誌	2	エスノグラフィー論	2
文化変容論	2	グローバル都市論	2

都市マイノリティ論	2	アートの社会学	2
マイグレーション論	2	ポピュラーカルチャー論	2
多文化の社会理論	2		
<メディア社会学科目>			
ニュースの社会学 1	2	比較ジャーナリズム史	2
若者とメディア	2	オーディエンス論	2
情報法	2	出版産業論	2
ニュースの社会学 2	2	視覚文化論	2
リスク・コミュニケーション論	2	メディア・環境・コミュニティ	2
グローバルコミュニケーション論	2		
4 専門教育選択科目 3			
<Introduction to Sociology>			
Introduction to Sociology A	2	Introduction to Sociology D	2
Introduction to Sociology B	2	Introduction to Sociology E	2
Introduction to Sociology C	2		
<Lecture & Discussion on Sociology>			
Lecture & Discussion on Social Issues A	2	Lecture & Discussion on Media and Communication A	2
Lecture & Discussion on Social Issues B	2	Lecture & Discussion on Media and Communication B	2
Lecture & Discussion on Social Issues C	2	Lecture & Discussion on Media and Communication C	2
Lecture & Discussion on Culture A	2		
Lecture & Discussion on Culture B	2		
Lecture & Discussion on Culture C	2		
<Writing Academic English>			
Writing Academic English A	2	Writing Academic English D	2
Writing Academic English B	2	Writing Academic English E	2
Writing Academic English C	2		
5 自由科目			
① コース指定自由科目(社会学部)共通科目			
<領域横断科目>			
コミュニケーション論	2	エスノメソドロジー	2
ジェンダーの社会学	2	教育社会学	2
宗教社会学	2	青年期の社会学	2
地域社会学	2	現代社会研究 E	2
現代社会と政策	2	現代社会研究 F	2
文化の社会学	2	社会学古典文献講読	2
都市とメディア	2	災害の社会学	2
文化表象論	2	東日本大震災RDYプロジェクト1	2
生命・身体社会学	2	東日本大震災RDYプロジェクト2	2
<社会調査・情報処理系科目>			
フィールドスタディーズ	2	情報処理 2(アプリケーション)	2
情報処理 1(入門)	2	情報処理 3(プログラミング)	2
<隣接領域科目>			
現代史	2	科学技術論	2
政治学 A(政治学理論)	2	数理科学	2
政治学 B(現代政治)	2	国際政治と紛争	2
現代経済	2	国際政治	2
社会心理学	2	社会認識と哲学	2
社会言語学	2	情報社会と倫理	2

② コース指定自由科目（学科科目）

社会学理論	2	写真文化論	2
社会学史	2	生活文化論	2
計量社会学	2	メディア・テクノロジー・社会	2
シミュレーションの社会学	2	コミュニケーション政策論	2
データ対話型分析法	2	災害情報論	2
アイデンティティ論	2	メディア産業論	2
相互行為論	2	メディア史	2
差別と偏見の社会学	2	ニュースの社会学 3	2
セクシュアリティの社会学	2	ニュースの社会学 4	2
ライフコース論	2	ニュースの社会学 5	2
保健・医療の社会学	2	ニュースの社会学 6	2
福祉の社会学	2	映像メディア論	2
社会問題の社会学	2	広告・PR 論	2
歴史社会学	2	音楽社会学	2
都市社会構造論	2	メディア素養論	2
都市コミュニティ論	2	web スタディーズ	2
まちづくり論	2	世論調査論	2
都市生活誌	2	今日のメディアとジャーナリズム	4
都市文化論	2	メディア社会特殊講義(1)	2
環境と文化	2	メディア社会特殊講義(2)	2
くらしの環境史	2	メディア社会特殊講義(3)	2
環境の思想	2	メディア・調査実習入門1～4	2
自然環境保全論	2	メディア・調査実習応用1～6	2
環境政策論	2	メディア・調査実習入門5～6	2
環境と人類	2	インターンシップ A	4
パフォーマンス文化論	2	インターンシップ B	2
セラピー文化論	2	メディアインターンシップ入門	2
＜その他＞			
寄附講座	2	寄附講座	4

③ 自由科目(隣接科目)

哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		

6 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

国際社会コースは、全学共通科目 28 単位、必修科目を 14 単位(社会学部共通科目から 12 単位、学科科目から2単位)、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位、学科科目から 16 単位(演習4単位、卒業論文 12 単位)の計 28 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 12 単位、学科科目から卒業研究を4単位の計 16 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 14 単位、卒業研究による卒業の場合に 26 単位、専門教育選択科目 3 を8単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2・3、コース指定自由科目及び隣接科目(制限なし)、次のもの【他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目(12 単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

## VI 法学部

### (1) 法学科専門教育科目

#### 1 選択科目

##### ① 法学科A

法学入門	2	行政法 2	4
政治学入門	2	国際法 1	4
憲法(1)	4	国際法 2	4
憲法(2)	2	民事訴訟法(1)	4
民法(1)	2	民事訴訟法(2)	2
民法(2)	4	労働法	4
民法(3)	2	刑事学	4
刑法(1)	4	法哲学	4
刑法(2)	4	法社会学 1	2
商法(1)	4	法社会学 2	2
商法(2)	2	刑事訴訟法	4
比較憲法	2	民事執行・保全法	2
行政法 1	4		

##### ② 法学科B 演習系科目 演習論文

社会調査法	2	行政学 1	2
民法(4)	4	行政学 2	2
商法(3)	2	日本政治論	4
商法(4)	2	ヨーロッパ政治論	4
金融取引法 1	2	アメリカ政治論	4
金融取引法 2	2	アジア政治論	4
倒産法	2	日本政治史	4
国際民事手続法	2	日本政治思想史(1)	2
国際私法(1)	2	日本政治思想史(2)	2
国際私法(2)	2	欧州政治思想史	4
国際ビジネス法総合・基礎	2	政治社会学	2
国際ビジネス法総合 1A	2	政治過程論 1	2
国際ビジネス法総合 1B	2	政治過程論 2	2
国際ビジネス法総合 2	2	比較政治理論	2
環境法 1	2	公共政策論	2
環境法 2	2	地方自治	2
少年法	2	比較政治 1	2
社会保障法	2	比較政治 2	2
経済法 1	2	比較政治 3	2
経済法 2	2	日本外交論	2
国際経済法	4	国際政治史	2
租税法 1	2	平和研究	2
租税法 2	2	政治学特殊講義	2
知的財産法	4	会計学	4
英米法 1	2	財政学	4
英米法 2	2	社会政策論	4
比較法	2	経済原論	4
外国法	2	統計学	4
法制史	2	社会科学情報処理	2
法政ゲートウェイ講義	2	キャリア意識の形成	2
法学特殊講義	2	法学部合同講義	6
法学特殊講義	4	キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	2
現代政治理論	4	自治体長期インターンシップ A	2
国際政治	4	自治体長期インターンシップ B	2
環境政治	2	公務基礎演習	2

公務実践演習(文部科学行政)	2	Competition Law	2
公務実践演習(人事行政)	2	Fiduciary Law	2
Introduction to Legal Studies A	2	Financial Law	2
Introduction to Legal Studies B	2	Advanced Legal Writing A	2
Contract A	2	Advanced Legal Writing B	2
Contract B	2	基礎文献講読	2
Torts	2	法学基礎演習	2
Dispute Resolution	2	政治学基礎演習	2
Civil Procedure	2	演習	2
Moot Court	2	演習	4
Corporate Law A	2	法政外国語演習	2
Corporate Law B	2	憲法発展演習	2
International Business Law A	2	行政法発展演習	2
International Business Law B	2	民法発展演習	2
Cross-Border Litigation	2	商法発展演習	2
Anglo-American Law A	2	民事訴訟法発展演習	2
Anglo-American Law B	2	刑法発展演習	2
Labor Law	2	刑事訴訟法発展演習	2
Property	2	演習論文	2
Intellectual Property Law	2	海外研究論文	4

### ③ 法学部自由科目

情報処理入門	2	哲学概論 2	2
日本史概説	2	地理学概説 1	2
世界史概説	2	地理学概説 2	2
宗教思想 1	2	自然地理学 1	2
宗教思想 2	2	自然地理学 2	2
哲学の人間学	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
倫理思想	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2
地誌学 2	2	社会・公民科教育法 1	2
心理学 1	2	社会・公民科教育法 2	2
心理学 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
哲学概論 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2

法学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 80 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・5 大学間単位互換制度の各科目から 16 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

## (2) 政治学科専門教育科目

### 1 選択科目

#### ① 政治学科A

法学入門	2	行政学 2	2
政治学入門	2	日本政治論	4
憲法(1)	4	ヨーロッパ政治論	4
憲法(2)	2	アメリカ政治論	4
民法概論	4	アジア政治論	4
民法(1)	4	日本政治史	4
民法(2)	4	日本政治思想史(1)	2
民法(3)	2	日本政治思想史(2)	2
現代政治理論	4	欧州政治思想史	4
国際政治	4	政治社会学	2
環境政治	2	政治過程論 1	2
行政学 1	2	政治課程論 2	2

比較政治理論	2	比較政治 3	2
比較憲法	2	国際法 1	4
地方自治	2	国際法 2	4
比較政治 1	2	労働法	4
比較政治 2	2		
② 政治学科B 演習系科目 演習論文			
刑法(1)	4	法制史	2
刑法(2)	4	法政ゲートウェイ講義	2
環境法 1	2	法学特殊講義	2
環境法 2	2	法学特殊講義	4
経済原論	4	会計学	4
統計学	4	財政学	4
社会調査法	2	社会政策論	4
公共政策論	2	社会科学情報処理	2
日本外交論	2	キャリア意識の形成	2
国際政治史	2	法学部合同講義	6
平和研究	2	キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	2
政治学特殊講義	2	自治体長期インターンシップ A	2
行政法 1	4	自治体長期インターンシップ B	2
行政法 2	4	公務基礎演習	2
民法(4)	4	公務実践演習(文部科学行政)	2
商法(1)	4	公務実践演習(人事行政)	2
商法(2)	2	Introduction to Legal Studies A	2
商法(3)	2	Introduction to Legal Studies B	2
商法(4)	2	Contract A	2
金融取引法 1	2	Contract B	2
金融取引法 2	2	Torts	2
民事訴訟法(1)	4	Dispute Resolution	2
民事訴訟法(2)	2	Civil Procedure	2
国際民事手続法	2	Moot Court	2
倒産法	2	Corporate Law A	2
民事執行・保全法	2	Corporate Law B	2
国際私法(1)	2	International Business Law A	2
国際私法(2)	2	International Business Law B	2
国際ビジネス法総合・基礎	2	Cross-Border Litigation	2
国際ビジネス法総合 1A	2	Anglo-American Law A	2
国際ビジネス法総合 1B	2	Anglo-American Law B	2
国際ビジネス法総合 2	2	Labor Law	2
刑事訴訟法	4	Property	2
刑事学	4	Intellectual Property Law	2
少年法	2	Competition Law	2
社会保障法	2	Fiduciary Law	2
経済法 1	2	Financial Law	2
経済法 2	2	Advanced Legal Writing A	2
国際経済法	4	Advanced Legal Writing B	2
租税法 1	2	基礎文献講読	2
租税法 2	2	法学基礎演習	2
知的財産法	4	政治学基礎演習	2
英米法 1	2	演習	2
英米法 2	2	演習	4
法哲学	4	法政外国語演習	2
法社会学 1	2	憲法発展演習	2
法社会学 2	2	行政法発展演習	2
比較法	2	民法発展演習	2
外国法	2	商法発展演習	2

民事訴訟法発展演習	2	演習論文	2
刑法発展演習	2	海外研究論文	4
刑事訴訟法発展演習	2		

### ③ 法学部自由科目

情報処理入門	2	哲学概論 2	2
日本史概説	2	地理学概説 1	2
世界史概説	2	地理学概説 2	2
宗教思想 1	2	自然地理学 1	2
宗教思想 2	2	自然地理学 2	2
哲学的人間学	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
倫理思想	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2
地誌学 2	2	社会・公民科教育法 1	2
心理学 1	2	社会・公民科教育法 2	2
心理学 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
哲学概論 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2

政治学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 80 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・5 大学間単位互換制度の各科目から 16 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

### (3) 国際ビジネス法学科専門教育科目

#### 1 選択科目

##### ① 国際ビジネス法学科A

法学入門	2	国際私法(1)	2
政治学入門	2	国際私法(2)	2
憲法(1)	4	国際ビジネス法総合・基礎	2
憲法(2)	2	国際ビジネス法総合 1A	2
民法概論	4	国際ビジネス法総合 1B	2
民法(1)	4	国際ビジネス法総合 2	2
民法(2)	4	労働法	4
民法(3)	2	経済法 1	2
刑法(1)	4	経済法 2	2
刑法(2)	4	国際経済法	4
商法(1)	4	租税法 1	2
商法(2)	2	租税法 2	2
商法(3)	2	知的財産法	4
商法(4)	2	英米法 1	2
倒産法	2	英米法 2	2
民事執行・保全法	2		

##### ② 国際ビジネス法学科B 演習系科目 演習論文

比較憲法	2	民事訴訟法(2)	2
行政法 1	4	国際民事手続法	2
行政法 2	4	刑事訴訟法	4
国際法 1	4	刑事学	4
国際法 2	4	少年法	2
環境法 1	2	社会保障法	2
環境法 2	2	法哲学	4
民法(4)	4	法社会学 1	2
金融取引法 1	2	法社会学 2	2
金融取引法 2	2	比較法	2
民事訴訟法(1)	4	外国法	2



法制史	2	公務基礎演習	2
法政ゲートウェイ講義	2	公務実践演習(文部科学行政)	2
法学特殊講義	2	公務実践演習(人事行政)	2
法学特殊講義	4	Introduction to Legal Studies A	2
現代政治理論	4	Introduction to Legal Studies B	2
国際政治	4	Contract A	2
環境政治	2	Contract B	2
行政学 1	2	Torts	2
行政学 2	2	Dispute Resolution	2
日本政治論	4	Civil Procedure	2
ヨーロッパ政治論	4	Moot Court	2
アメリカ政治論	4	Corporate Law A	2
アジア政治論	4	Corporate Law B	2
日本政治史	4	International Business Law A	2
日本政治思想史(1)	2	International Business Law B	2
日本政治思想史(2)	2	Cross-Border Litigation	2
欧州政治思想史	4	Anglo-American Law A	2
政治社会学	2	Anglo-American Law B	2
政治過程論 1	2	Labor Law	2
政治過程論 2	2	Property	2
比較政治理論	2	Intellectual Property Law	2
公共政策論	2	Competition Law	2
地方自治	2	Fiduciary Law	2
比較政治 1	2	Financial Law	2
比較政治 2	2	Advanced Legal Writing A	2
比較政治 3	2	Advanced Legal Writing B	2
日本外交論	2	基礎文献講読	2
国際政治史	2	法学基礎演習	2
平和研究	2	政治学基礎演習	2
政治学特殊講義	2	演習	2
会計学	4	演習	4
財政学	4	法政外国語演習	2
社会政策論	4	憲法発展演習	2
経済原論	4	行政法発展演習	2
統計学	4	民法発展演習	2
社会調査法	2	商法発展演習	2
社会科学情報処理	2	民事訴訟法発展演習	2
キャリア意識の形成	2	刑法発展演習	2
法学部合同講義	6	刑事訴訟法発展演習	2
キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	2	演習論文	2
自治体長期インターンシップ A	2	海外研究論文	4
自治体長期インターンシップ B	2		
③ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	心理学 2	2
日本史概説	2	哲学概論 1	2
世界史概説	2	哲学概論 2	2
宗教思想 1	2	地理学概説 1	2
宗教思想 2	2	地理学概説 2	2
哲学的人間学	2	自然地理学 1	2
倫理思想	2	自然地理学 2	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
地誌学 2	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
心理学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2

社会・公民科教育法 1	2	社会・公民科教育法演習 1	2
社会・公民科教育法 2	2	社会・公民科教育法演習 2	2

国際ビジネス法学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 66 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・5 大学間単位互換制度の各科目から 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

#### (4) 国際ビジネス法学科グローバルコース専門教育科目

##### 1 選択科目

##### ① 学びの精神

Law and Society in Japan A	2	Law and Society in Japan B	2
----------------------------	---	----------------------------	---

##### ② 国際ビジネス法学科グローバルコースA

Introduction to Legal Studies A	2	Fiduciary Law	2
Introduction to Legal Studies B	2	Financial Law	2
Contract A	2	Advanced Legal Writing A	2
Contract B	2	Advanced Legal Writing B	2
Negotiation Basics	2	法学入門	2
Torts	2	民法概論	4
Legal Presentation	2	労働法	4
Legal Writing	2	経済法 1	2
Anglo-American Law A	2	経済法 2	2
Anglo-American Law B	2	国際経済法	4
Dispute Resolution	2	租税法 1	2
Labor Law	2	租税法 2	2
Property	2	商法(1)	4
International Business Law A	2	商法(2)	2
International Business Law B	2	商法(3)	2
法学部合同講義	6	商法(4)	2
Civil Procedure	2	知的財産法	4
Moot Court	2	国際私法(1)	2
Corporate Law A	2	国際私法(2)	2
Corporate Law B	2	国際ビジネス法総合・基礎	2
Intellectual Property Law	2	国際ビジネス法総合 1A	2
Competition Law	2	国際ビジネス法総合 1B	2
Cross-Border Litigation	2	国際ビジネス法総合 2	2

##### ③ 国際ビジネス法学科グローバルコース B、演習系科目、演習論文

法学特殊講義	2	Japanese Economy 1	2
法学特殊講義	4	Japanese Economy 2	2
Contemporary Culture in Japan	2	Japanese Economy History 1	2
Orientalism in Media	2	Japanese Economy History 2	2
Religion and Society in Asia	2	政治学入門	2
Japan in Asia	2	憲法(1)	4
Ethnicity and Globalization in Japan	2	憲法(2)	2
Multiculturalism in Japan	2	民法(1)	4
Social Movements and Social Change	2	民法(2)	4
Tourism Study 1(Business)	2	民法(3)	2
Tourism Study 2(Society)	2	民法(4)	4
Tourism Study 3(Destination)	2	刑法(1)	4
Tourism Study 4(Culture)	2	刑法(2)	4

民事訴訟法(1)	4	政治過程論 1	2
民事訴訟法(2)	2	政治過程論 2	2
刑事訴訟法	4	比較政治理論	2
倒産法	2	公共政策論	2
民事執行・保全法	2	地方自治	2
英米法 1	2	比較政治 1	2
英米法 2	2	比較政治 2	2
比較憲法	2	比較政治 3	2
行政法 1	4	日本外交論	2
行政法 2	4	国際政治史	2
国際法 1	4	平和研究	2
国際法 2	4	社会運動論	4
環境法 1	2	政治学特殊講義	2
環境法 2	2	会計学	4
金融取引法 1	2	財政学	4
金融取引法 2	2	社会政策論	4
国際民事手続法	2	経済原論	4
刑事学	4	統計学	4
少年法	2	社会調査法	2
社会保障法	2	社会科学情報処理	2
法哲学	4	キャリア意識の形成	2
法社会学 1	2	キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	2
法社会学 2	2	自治体長期インターンシップ A	2
比較法	2	自治体長期インターンシップ B	2
外国法	2	公務基礎演習	2
法制史	2	公務実践演習 (文部科学行政)	2
法政ゲートウェイ講義	2	公務実践演習 (人事行政)	2
現代政治理論	4	法学基礎演習	2
国際政治	4	政治学基礎演習	2
環境政治	2	演習	2
行政学 1	2	演習	4
行政学 2	2	法政外国語演習	2
日本政治論	4	憲法発展演習	2
ヨーロッパ政治論	4	行政法発展演習	2
アメリカ政治論	4	民法発展演習	2
アジア政治論	4	商法発展演習	2
日本政治史	4	民事訴訟法発展演習	2
日本政治思想史(1)	2	刑法発展演習	2
日本政治思想史(2)	2	刑事訴訟法発展演習	2
欧州政治思想史	4	演習論文	2
政治社会学	2	海外研究論文	4
④ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	心理学 1	2
日本史概説	2	心理学 2	2
世界史概説	2	哲学概論 1	2
宗教思想 1	2	哲学概論 2	2
宗教思想 2	2	地理学概説 1	2
哲学の人間学	2	地理学概説 2	2
倫理思想	2	自然地理学 1	2
現代倫理	2	自然地理学 2	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法1	2
地誌学 2	2	社会・地理歴史科教育法2	2

社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習2	2

国際ビジネス法学科グローバルコースは、全学共通科目 24 単位以上、学びの精神 4 単位、専門教育選択科目区分の科目を 66 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・日本語教育センター科目（※）・留学認定・他学部等・5 大学間単位互換制度の各科目から 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。（※）PEACE プログラムに在籍する学生及び留学生（外国人書類選考入試）のみ履修可。

## VII 観光学部

### (1) 観光学科専門教育科目

#### 1 必修科目

##### ① 専門必修科目

観光学概論 2

#### 2 選択科目

##### ① 学科選択科目 1

基礎演習	2	観光経営学	2
観光史	2	観光行動論	2
観光事業論	2	マーケティング	2
観光経済学	2	観光地経営論	2

##### ② 学科選択科目 2

観光政策・行政論	2	ホテル経営論	2
経営戦略論	2	旅行産業論	2
観光計画論	2	風土と観光	2
観光施設論	2	観光感性論	2
観光心理学	2	消費論	2
地域経済学	2		

##### ③ 学科選択科目 3

国際観光政策論	2	宿泊産業演習 2(A)	2
投資計画論1	2	宿泊産業演習 2(B)	2
企業情報分析	2	政策評価論	2
簿記論	2	地域デザイン論	2
ホテル運営論	2	環境・景観論	2
外食産業論	2	都市計画論	2
観光交通論(鉄道等)	2	施設・空間造形論	2
観光交通論(国際航空)	2	観光関連法	2
旅行産業演習 1(A)	2	投資計画論2	2
旅行産業演習 1(B)	2	旅行情報システム	2
宿泊産業演習 1(A)	2	旅行業経営実務	2
宿泊産業演習 1(B)	2	農村観光論	2
エコツーリズム論	2	ヘリテージと観光	2
都市観光論	2	レジャー論	2
市民参加とまちづくり	2	情報処理演習	2
サービス・マネジメント	2	地域経営論	2
宿泊産業論	2	地域社会論	2
ホテルアセットマネジメント論	2	GIS 演習	2
コンベンション産業論	2	観光デザイン論	2
経営財務論	2	観光ビジネスプロジェクト A	2
都市型エンターテイメント論	2	観光ビジネスプロジェクト B	2
旅行産業演習 2(A)	2	観光リスクマネジメント	2
旅行産業演習 2(B)	2	フィールドワーク論	2

宿泊ビジネスプロジェクト 1(A)	2	宿泊ビジネスプロジェクト 2(A)	2
宿泊ビジネスプロジェクト 1(B)	2	宿泊ビジネスプロジェクト 2(B)	2

#### ④ 他学科選択科目

他学科の学科選択科目 1・2・3

### 3 自由科目

#### ① 学部自由科目

グローバル・スタディ・プログラム1	2	演習(3年)B	2
グローバル・スタディ・プログラム2	2	卒業研究指導 A	2
Introduction to Tourism 1	2	卒業研究指導 B	2
Introduction to Tourism 2	2	卒業論文	6
Tourism Study 1 (Business)	2	観光インターンシップ A	1
Tourism Study 2 (Society)	2	観光インターンシップ B	1
Tourism Study 3 (Destination)	2	長期海外インターンシップ	10
Tourism Study 4 (Culture)	2	経団連インターンシップ	2
Current Trends in Tourism 1	2	観光ビジネス概論	2
Current Trends in Tourism 2	2	交通産業特論	2
観光特論 (RT)	2	観光地づくり	2
演習(2年)A	2	ガストロノミー(美食)と観光	2
演習(2年)B	2	観光 IT 戦略論	2
演習(3年)A	2		

#### ② 関連基礎科目

データ情報処理	2	外国史 2	2
法学 1	2	地誌学	2
法学 2	2	生涯学習支援論 1	2
政治学	2	生涯学習支援論 2	2
経済学	2	生涯学習概論 1	2
経営学	2	生涯学習概論 2	2
社会学 1	2	社会教育経営論 1	2
社会学 2	2	社会教育経営論 2	2
心理学 1	2	自然地理学	2
心理学 2	2	文学	2
地理学 1	2	哲学	2
地理学 2	2	人類学	2
日本史 1	2	美学	2
日本史 2	2	民法	2
外国史 1	2		

観光学科は、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 2 単位、学科選択科目 1 を 6 単位、学科選択科目 2 を 10 単位、学科選択科目 3 を 30 単位、他学科選択科目を 14 単位、自由科目を 34 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、指定単位を超えて修得した学科選択科目 1・2・3、他学科選択科目の全てを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。また言語自由科目、指定単位数を超えて修得した全学共通科目、他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目は合わせて 20 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

#### (2) 交流文化学科専門教育科目

##### 1 必修科目

##### ① 専門必修科目

観光学概論	2
-------	---

##### 2 選択科目

##### ① 学科選択科目 1

基礎演習	2	観光人類学概論	2
観光人文学概論	2	観光地理学概論	2
観光社会学概論	2	観光文学概論	2

観光歴史学概論	2		
② 学科選択科目 2			
観光社会学 1(都市)	2	観光地理学 4(文化)	2
観光社会学 2(移動)	2	観光地理学 5(自然環境)	2
観光社会学 3(ジェンダー)	2	観光地理学 6(日本地誌)	2
観光社会学 4(文化)	2	観光地理学 7(外国地誌 1)	2
観光社会学 5(メディア)	2	観光地理学 8(外国地誌 2)	2
観光社会学 6(若者)	2	観光地理学 9(外国地誌 3)	2
観光社会学 7(文化遺産)	2	観光地理学 10(外国地誌 4)	2
観光人類学 1(文化の表象)	2	観光文学 1(移動)	2
観光人類学 2(エスニシティ)	2	観光文学 2(SF)	2
観光人類学 3(民俗)	2	観光文学 3(紀行文)	2
観光人類学 4(宗教)	2	観光文学 4(トラベルライティング)	2
観光人類学 5(グローバルイゼーション)	2	観光文学 5(思想)	2
観光人類学 6(コミュニティ)	2	観光歴史学 1(近世)	2
観光人類学 7(開発援助)	2	観光歴史学 2(近代)	2
観光人類学 8(生態)	2	観光歴史学 3(現代)	2
観光地理学 1(都市)	2	観光学講義	2
観光地理学 2(農村)	2	文献講読	2
観光地理学 3(リゾート地)	2	フィールドワーク論	2
③ 学科選択科目 3			
観光と文化 1(芸術)	2	観光と社会 1(移動)	2
観光と文化 2(メディア)	2	観光と社会 2(交通)	2
観光と文化 3(ポップカルチャー)	2	観光と社会 3(政策)	2
観光と文化 4(スポーツ)	2	観光と社会 4(医療)	2
観光と文化 5(食)	2	観光と社会 5(環境)	2
観光と文化 6(風景)	2	観光と社会 6(国際関係)	2
観光と文化 7(産業)	2	観光と社会 7(国際協力)	2
④ 他学科選択科目			
他学科の学科選択科目 1・2・3			
3 自由科目			
① 学部自由科目			
グローバル・スタディ・プログラム1	2	演習(3年)B	2
グローバル・スタディ・プログラム2	2	卒業研究指導 A	2
Introduction to Tourism 1	2	卒業研究指導 B	2
Introduction to Tourism 2	2	卒業論文	6
Tourism Study 1 (Business)	2	観光インターンシップ A	1
Tourism Study 2 (Society)	2	観光インターンシップ B	1
Tourism Study 3 (Destination)	2	長期海外インターンシップ	10
Tourism Study 4 (Culture)	2	経団連インターンシップ	2
Current Trends in Tourism 1	2	観光ビジネス概論	2
Current Trends in Tourism 2	2	交通産業特論	2
観光特論(RT)	2	観光地づくり	2
演習(2年)A	2	ガストロノミー(美食)と観光	2
演習(2年)B	2	観光 IT 戦略論	2
演習(3年)A	2		
② 関連基礎科目			
データ情報処理	2	経営学	2
法学 1	2	社会学 1	2
法学 2	2	社会学 2	2
政治学	2	心理学 1	2
経済学	2	心理学 2	2

地理学 1	2	生涯学習支援論 2	2
地理学 2	2	社会教育経営論 1	2
日本史 1	2	社会教育経営論 2	2
日本史 2	2	自然地理学	2
外国史 1	2	文学	2
外国史 2	2	哲学	2
地誌学	2	人類学	2
生涯学習概論 1	2	美学	2
生涯学習概論 2	2	民法	2
生涯学習支援論 1	2		
<b>4 随意科目</b>			
社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2

交流文化学科は、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 2 単位、学科選択科目 1 を 8 単位、学科選択科目 2 を 30 単位、学科選択科目 3 を 8 単位、他学科選択科目 14 単位、自由科目を 34 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、指定単位を超えて修得した学科選択科目 1・2・3、他学科選択科目の全てを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。また言語自由科目、指定単位数を超えて修得した全学共通科目、他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目は合わせて 20 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

## VIII コミュニティ福祉学部

### (1) 福祉学科専門教育科目

#### 1 必修科目

基礎演習(学びの技法を含む)	2	社会福祉入門演習	2
社会福祉の原理と政策1	2	社会問題のインターセクショナルリティ	2

#### 2 選択科目

##### ① 専門基礎科目

異文化スタディ	2	メンタルヘルスと福祉	2
情報処理1	2	ソーシャルワークの基盤と専門職 1	2
情報処理2	2	ソーシャルワークの基盤と専門職 2	2
ノーマライゼーション論	2	児童福祉論	2
社会福祉とキャリア形成	2	高齢者福祉論	2
家族をめぐる福祉問題	2	障害者福祉論	2
現代社会とケアシステム	2	社会保障総論	2
ソーシャルワークの理論と方法1	2		

##### ② 専門応用科目

グローバル社会で活躍するための英語(福祉系)	2	社会理論と社会システム	2
現代コミュニティ福祉学特別講義(福祉系)	2	医学概論	2
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(福祉系)	2	子ども理解と子育て支援論	2
英語で学ぶ海外の福祉の現状	2	貧困に対する支援	2
人権論	2	高齢者福祉実践論	2
福祉文化論	2	地域福祉論1	2
社会福祉調査の基礎	2	地域福祉論2	2
ジェンダーとセクシュアリティ入門	2	女性福祉論	2
障害学入門	2	保健医療と福祉	2
社会福祉発達史1	2	発達障害支援論	2
社会福祉発達史2	2	ソーシャルワークの理論と方法 2	2
心理学理論と心理的支援	2	ソーシャルワークの理論と方法 3	2

社会保障論	2	ケアの倫理と社会福祉	2
刑事司法と福祉	2	社会福祉調査実践論	2
Human Diversity and Social Justice in Social Work	2	災害福祉論	2
権利擁護を支える法制度	2	居住福祉論	2
社会福祉の原理と政策 2	2	教育福祉論	2
ソーシャルワークの理論と方法4	2	ソーシャルワーク演習	2
福祉マネジメント論	2	ソーシャルワーク演習(専門)1	3
福祉情報とICT	2	ソーシャルワーク実習指導 1	1
ケアマネジメント論	2	インターンシップ	4
福祉学特論	2	ソーシャルワーク実習指導 2	4
医療ソーシャルワーク実践論	2	ソーシャルワーク実習	5
支援者支援論:ストレスマネジメントを学ぶ	2	ソーシャルワーク演習(専門)2	4
セルフヘルプグループ論	2	キャリア形成演習	4
多文化ソーシャルワーク論	2	卒業研究	6
比較福祉国家論	2	卒業研究指導演習	2

### ③ 専門関連科目

心理学1	2	生涯学習支援論1	2
心理学2	2	生涯学習支援論2	2
生涯学習概論1	2	社会教育経営論1	2
生涯学習概論2	2	社会教育経営論2	2

福祉学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門必修科目を 8 単位、専門基礎科目を 16 単位、専門応用科目を 50 単位、自由科目を 24 単位以上、合計 126 単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

## (2) コミュニティ政策学科専門教育科目

### 1 必修科目

#### ① 必修科目(共通)

基礎演習(学びの技法を含む)	2	政策学演習 1A	2
コミュニティ政策学入門	2	政策学演習 1B	2
社会調査入門	2	講読演習 A	2
コミュニティ学演習 1A	2	講読演習 B	2
コミュニティ学演習 1B	2	社会調査実習	4

#### ② 必修科目(コミュニティ学専修)

コミュニティ学入門演習	2
-------------	---

#### ③ 必修科目(政策学専修)

政策学入門演習	2
---------	---

### 2 選択科目

#### ① スタディスキル科目

統計学入門	2	情報処理 3	2
リサーチ・デザイン	2	情報処理 4	2
質的リサーチ	2	異文化スタディ	2
データ分析入門	2	グローバル社会で活躍するための英語(コミュニティ政策系)	2
データ分析法	2	海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(コミュニティ政策系)	2
キャリアデザイン	2	英語で学ぶコミュニティ政策	2
政策分析のメソドロジー	2	現代コミュニティ福祉学特別講(コミュニティ政策系)	2
情報処理 1	2	英語で学ぶ社会問題	2
情報処理 2	2		



## ② 専門基礎科目

コミュニティ福祉とキリスト教	2	コミュニティ開発論	2
少子高齢社会論	2	地方自治論	2
国際NGO論	2	政策学の基礎知識	2
現代コミュニティ論	2	経営組織論	2
貧困と格差	2	ボランティア・NPO 論	2
コミュニティ・ビジネス	2	サービスラーニング論	2
持続可能な福祉コミュニティ	2	若者政策	2
社会問題の社会学	2	日本近現代史	2
福祉社会論	2	地域社会と法	2
フィールドワーク入門	2	地域社会と経済	2
公共空間論	2	地域社会と政治	2
地域学への招待	2	地域社会と労働	2

## ③ 専門応用科目

### A コミュニティ学専修

現代キリスト教人間学	2	国際平和論	2
いのちの倫理学	2	ファシリテーション論	2
生活困窮者支援	2	比較宗教学	2
日本の文化とコミュニティ	2	アートとコミュニティ	2
公共哲学	2	現代生活学	2
コミュニティと福祉	2	国際経済論	2
まちづくり論	2	国際移動論	2
国際福祉論	2	多文化共生論	2
社会開発論	2	自然災害論	2
Global Society and Local Communities	2	村落社会論	2
都市と地域	2	地域交通論	2
シェアライフ論	2	現代環境論	2
社会運動論	2	地域地理学	2
いのちの尊厳とジェンダー	2	ファンドレイジング論	2
差別論	2	インターンシップ	4
地球コミュニティ論	2	コミュニティ学演習 2A	2
家族社会学	2	コミュニティ学演習 2B	2
コミュニティ心理学	2	卒業論文	6

### B 政策学専修

政策科学	2	福祉制度論	2
地方財政論	2	経営戦略論	2
コミュニティ人間形成論	2	居住福祉	2
福祉経済学	2	グローバリゼーション論	2
行政学	2	協同組合論	2
政策過程論	2	NPO マネジメント論	2
市民教育論	2	社会思想史	2
自治体政策論	2	マス・コミュニケーション論	2
福祉政治学	2	現代資本主義論	2
パートナーシップ論	2	ジェンダー政策論	2
社会的連帯経済論	2	契約と法	2
社会教育論	2	政策法務	2
政策評価論	2	地域経営論	2
コミュニティ・オーガナイズング論	2	地方自治法	2
オンブズマンと市民参加	2	都市計画論	2
Introduction to Local Governance	2	比較政治経済	2

インターンシップ	4	政策学演習 2B	2
政策学演習 2A	2	卒業論文	6

#### ④ 専門関連科目

社会学1	2	経済学	2
社会学2	2	生涯学習概論1	2
心理学1	2	生涯学習概論2	2
心理学2	2	生涯学習支援論1	2
法学1	2	生涯学習支援論2	2
法学2	2	社会教育経営論1	2
政治学	2	社会教育経営論2	2

#### 3 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

コミュニティ政策学科コミュニティ学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目(共通)を10単位、専門必修科目(コミュニティ学専修)を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。

専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目(コミュニティ学専修)から28単位以上を修得する必要がある。

卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門必修科目(共通)のうち、コミュニティ学演習1A・B(政策学演習1A・B)、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。

コミュニティ政策学科政策学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目(共通)を10単位、専門必修科目(政策学専修)を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。

専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目(政策学専修)から28単位以上を修得する必要がある。

卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門必修科目(共通)のうち、政策学演習1A・B(コミュニティ学演習1A・B)、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。

### (3) スポーツウエルネス学科専門教育科目

#### 1 必修科目

スポーツウエルネス学入門	2	スポーツウエルネスワークショップ B	2
基礎演習(学びの技法を含む)	2	スポーツウエルネスワークショップ C	2
運動方法学演習 1	2	卒業研究指導演習	2
運動方法学演習 2	2	卒業研究 ベイシックコース	2
運動方法学演習 9	2	卒業研究 アドバンストコース	8
スポーツウエルネスワークショップ A	2		

#### 2 選択科目

##### ① 学部共通科目

ノーマライゼーション論	2	現代キリスト教人間学	2
情報処理 1	2	社会調査法	2
情報処理 2	2	社会福祉調査の基礎	2
ウエルネス福祉演習	2	人権論	2
キャリア形成論 1	2	福祉文化論	2
キャリア形成論 2	2	生涯スポーツ論	2
ウエルネス福祉論	2	情報処理 3	2

情報処理 4	2	ライフサイクルの心理学	2
グローバル社会で活躍するための英語 1	2	リスクマネジメント論	2
グローバル社会で活躍するための英語 2	2	セクノロジー	2
高齢社会システム論	2	グリーンスタディ	2
ジェンダー論	2	アジアの宗教と文化	2
障害学入門	2	社会福祉発達史 1	2
家族社会学	2	異文化スタディ	2
コミュニティ福祉とキリスト教	2	社会福祉発達史 2	2
社会保障総論	2	地域コミュニティと生協	2
人間心理の深層	2		
日本の文化と思想	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 A	2
発育・発達・加齢論	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 B	2
コミュニティ平和論	2	心理学理論と心理的支援	2
家族心理学の基礎	2	社会理論と社会システム	2
ファシリテーション論	2		
② 学科科目			
A 専門基礎科目			
ウエルネス科学総論	2	運動方法学演習 3	2
運動処方・療法	2	運動方法学演習 4	2
生理学	2	運動方法学演習 5	2
運動生理学	2	運動方法学演習 6	2
スポーツ科学総論	2	運動方法学演習 7	2
介護概論	2	運動方法学演習 8	2
運動方法学	2	循環器検査・救急処置演習	2
解剖学	2		
B 専門基幹科目			
アダプテッドスポーツ論	2	測定評価演習	2
トレーナー演習	2	余暇生活論	2
生活習慣病の科学	2	スポーツウエルネス心理学	2
身体文化論	2	ウエルネススポーツ医学	2
スポーツ政策	2	ストレングス・コンディショニング論	2
健康政策	2	海外留学・海外インターンを目指す人への英語(スポーツウエルネス系)	2
スポーツコーチ学	2	英語で学ぶスポーツマネジメント・スポーツビジネス	2
スポーツ社会学	2	International Society and Sport	2
運動・スポーツ栄養学	2		
C 専門展開科目			
コミュニティスポーツ論	2	動作分析法演習	2
ウエルネスプロモーション論	2	スポーツコーチング演習	2
レクリエーション援助論	2	スポーツ倫理学	2
レクリエーション援助演習	2	バイオメカニクス	2
リハビリテーション論	2	スポーツマネジメント論	2
小児保健・精神保健	2	スポーツコーチング特論	2
ユニバーサルスポーツ援助技術演習	2	メンタルマネジメント	2
健康運動指導演習	2	公衆衛生学	2
障害者スポーツ論	2	インターンシップ	4
障害者スポーツ実践論	2	専門演習 1	2
スポーツビジネス論	2	専門演習 2	2
スポーツジャーナリズム	2		
① 専門関連科目			
心理学 1	2	生涯学習支援論 1	2
心理学 2	2	生涯学習支援論 2	2
生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2

### 3 随意科目

保健体育科教育法 1	2	保健体育科教育法演習 1	2
保健体育科教育法 2	2	保健体育科教育法演習 2	2

スポーツウエルネス学科の卒業研究ベシックコースは、全学共通科目 28 単位以上、必修科目を 16 単位、学部共通科目を 16 単位、専門基礎科目を 10 単位、専門基幹科目を 12 単位、専門展開科目を 22 単位、自由科目を 22 単位、合計 126 単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。卒業研究アドバンストコースは、全学共通科目 28 単位以上、必修科目を 22 単位、学部共通科目を 16 単位、専門基礎科目を 10 単位、専門基幹科目を 10 単位、専門展開科目を 18 単位、自由科目を 22 単位、合計 126 単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目から 22 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

## IX 経営学部

### (1) 経営学科専門教育科目

#### 1 必修科目

経営学入門	2	会計学入門	2
経済学入門	2		

#### 2 選択科目

##### ① 基礎科目

##### A ビジネス基礎

リーダーシップ入門 (BL0)	2	グッド・ビジネス	2
-----------------	---	----------	---

##### B コンセントレーション基礎

ビジネス概論A (マーケティング・マネジメント・コミュニケーション)	2	ビジネス概論B (会計学・ファイナンス・経済学)	2
---------------------------------------	---	-----------------------------	---

##### C ビジネスリテラシー

ICTリテラシー	2	経営学のための数学	2
ビジネスリテラシー1	2	社会調査実習	4
ビジネスリテラシー2	2		

##### ② 基幹科目

##### A BLP

BL1	2	BL3-B	2
BL2	2	BL3-C	2
BL3-A	2	BL4	2

##### B GBI

CSR	2	Business and Society	2
経営史	2	グッド・ビジネス・ワークショップ	2
ビジネスロー	2	Good Business Seminar	2
経営と社会	2	Basics in Business and Society	2
コーポレートガバナンス	2		
サステナビリティ&ビジネス	2		

##### ③ コンセントレーション科目

サービス・マーケティング	2	組織と戦略	2
流通システム論	2	経営と技術	2
マーケティング・リサーチ	2	国際経営論	2
マーケティング・マネジメント	2	経営と心理	2
Marketing Management in Japan	2	組織行動論	2
Marketing Positioning Strategy	2	マネジメントの理論	2
eビジネス&マーケティング	2	経営戦略論	2
伝統産業とマーケティング	2	異文化コミュニケーション論	2
消費者行動論	2	Introduction to Strategic Management	2
マーケティング・コミュニケーション	2	Global Innovation Management	2
リテイル・マーケティング	2	クロスボーダーM&A戦略論 (EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 寄附講座)	2
Modern Consumer Culture and Society	2	人材マネジメント論	2
マーケティング・セオリー	2	組織マネジメント	2
データ・マイニング	2		

生産管理論	2	Basics in Finance	2
比較組織論	2	Basics in Accounting	2
イノベーション・マネジメント	2	Basics in Marketing	2
Global Strategic Management	2	Intermediate Finance	2
Strategic Management	2	Intermediate Accounting	2
ビジネスエコノミクス	2	Intermediate Marketing	2
財務会計	2	ワークショップ演習 A	2
管理会計	2	ワークショップ演習 B	2
財務諸表分析	2	ワークショップ演習 C	2
コーポレート・ファイナンス	2	ワークショップ演習 D	2
Financial Accounting	2	ワークショップ演習 E	2
Finance	2	ワークショップ演習 F	2
会計監査	2	ワークショップ演習 G	2
税務会計	2	ワークショップ演習 H	2
インベストメント	2	ワークショップ演習 I	2
ファイナンスのための数学	2	ワークショップ演習 J	2
Corporate Finance and Valuation	2	2年次演習1	2
Language and Culture	2	2年次演習2	2
Advanced Small Group Communication	2	3年次演習1	2
グローバリゼーションと地域	2	3年次演習2	2
		卒論演習1	2
コミュニケーション・リサーチ	2	卒論演習2	2
Business Communication	2	卒業論文	4
<b>④ Global Study, Topics in Business</b>			
Global Study 1	2	Global Study 9	8
Global Study 2	2	Global Study (Pre-departure)	1
Global Study 3	3	Topics in Business 1	2
Global Study 4	3	Topics in Business 2	2
Global Study 5	1	Topics in Business 3	2
Global Study 6	1	Topics in Business 4	2
Global Study 7	1	Topics in Business 5	2
Global Study 8	1		
<b>3 自由科目</b>			
<b>① 企業人セミナー・自主講座</b>			
企業人セミナー1	2	経営学部特別講義 2	2
企業人セミナー2	2	経営学部特別講義 3	2
企業人セミナー3	2	経営学部特別講義 4	2
経営学部特別講義 1	2		
<b>② インターンシップ・短期留学プログラム</b>			
Global Internship	4	Short-term Study Abroad Program 2	4
Long-term Global Internship	10	Sports Facility Management	2
Short-term Study Abroad Program 1	4		
<b>③ 国際経営分野</b>			
Overseas EAP (海外EAP)	4	Penetrating the Japanese Market	
EAP 1	2	International Human Resource Management	2
EAP 2	6	Financial Statement Analysis	2
Business Project	2	Business Negotiation	2
Advanced Business Project	4	International Business Management	4
International Business - A	2	(Uvic Summer Prog)	
International Business - B	2	Argumentation and Debate	2
ESP-A	2	Japanese and East Asian	2
ESP-B	2	Business Environments	
Marketing Communications and	2	Intercultural Business Management	2

経営学科は、全学共通科目で 28 単位、専門教育科目で必修科目 6 単位、選択科目の基礎科目 4 単位、基幹科目 56 単位、自由科目 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。なお、専門演習は 16 単位を限度として専門選択科目に算入する。

指定単位を超えて修得した専門選択科目、全学共通科目、他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を自由科目の単位として卒業単位に算入することができる。ただし、

全学共通科目，他学部科目，5 大学間単位互換制度による他大学科目から卒業単位に算入することができるのは，あわせて 12 単位までとする。

(2) 国際経営学科専門教育科目

1 必修科目			
経営学入門	2	会計学入門	2
経済学入門	2		
2 選択科目			
① 基礎科目			
A ビジネス基礎			
リーダーシップ入門 (BL0)	2	International Business – A	2
グッド・ビジネス	2	International Business – B	2
国際経営論	2		
B コンセントレーション基礎			
ビジネス概論A (マーケティング・マネジメント・コミュニケーション)	2	ビジネス概論B (会計学・ファイナンス・経済学)	2
C ビジネスリテラシー			
ICTリテラシー	2	経営学のための数学	2
ビジネスリテラシー1	2	社会調査実習	4
ビジネスリテラシー2	2		
② 基幹科目			
A BBL			
Overseas EAP (海外EAP)	4	ESP-A	2
Introduction to BBL (BBL0)	2	ESP-B	2
EAP 1	2	Business Project	2
EAP 2	6	Advanced Business Project	4
B GBI			
CSR	2	サステナビリティ&ビジネス	2
経営史	2	Business and Society	2
ビジネスロー	2	グッド・ビジネス・ワークショップ	2
経営と社会	2	Good Business Seminar	2
コーポレートガバナンス	2	Basics in Business and Society	2
③ コンセントレーション科目			
Marketing Management in Japan	2	Financial Statement Analysis	2
Marketing Positioning Strategy	2	Corporate Finance and Valuation	2
マーケティング・マネジメント	2	Language and Culture	2
伝統産業とマーケティング	2	Advanced Small Group Communication	2
Modern Consumer Culture and Society	2	Argumentation and Debate	2
Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market	2	異文化コミュニケーション論 組織行動論	2
eビジネス&マーケティング	2		
Introduction to Strategic Management	2	Business Communication	2
Global Innovation Management	2	Business Negotiation	2
International Business Management (Uvic Summer Prog)	4	Intercultural Business Management	2
経営と心理	2	Japanese and East Asian Business Environments	2
組織と戦略	2	グローバリゼーションと地域	2
クロスボーダーM&A戦略論 (EY ストラテジー・アンド ド・コンサルティング株式会社 寄附講座)	2	マーケティング・コミュニケーション コミュニケーション・リサーチ	2
International Human Resource Management	2	Basics in Finance	2
Global Strategic Management	2	Basics in Accounting	2
Strategic Management	2	Basics in Marketing	2
人材マネジメント論	2	Intermediate Finance	2
Financial Accounting	2	Intermediate Accounting	2
Finance	2	Intermediate Marketing	2
財務会計	2	ワークショップ演習 A	2
インベストメント	2	ワークショップ演習 B	2
		ワークショップ演習 C	2

ワークショップ演習 D	2	2年次演習1	2
ワークショップ演習 E	2	2年次演習2	2
ワークショップ演習 F	2	3年次演習1	2
ワークショップ演習 G	2	3年次演習2	2
ワークショップ演習 H	2	卒論演習1	2
ワークショップ演習 I	2	卒論演習2	2
ワークショップ演習J	2	卒業論文	4

#### ④ Global Study, Topics in Business

Global Study 1	2	Global Study 9	8
Global Study 2	2	Global Study (Pre-departure)	1
Global Study 3	3	Topics in Business 1	2
Global Study 4	3	Topics in Business 2	2
Global Study 5	1	Topics in Business 3	2
Global Study 6	1	Topics in Business 4	2
Global Study 7	1	Topics in Business 5	2
Global Study 8	1		

#### 3 自由科目

##### ① 企業人セミナー・自主講座

企業人セミナー1	2	経営学部特別講義 2	2
企業人セミナー2	2	経営学部特別講義 3	2
企業人セミナー3	2	経営学部特別講義 4	2
経営学部特別講義 1	2		

##### ② インターンシップ・短期留学プログラム

Global Internship	4	Short-term Study Abroad Program 2	4
Long-term Global Internship	10	Sports Facility Management	2
Short-term Study Abroad Program 1	4		

##### ③ 経営分野

BL1	2	消費者行動論	2
BL2	2	流通システム論	2
BL3-A	2	マーケティング・リサーチ	2
BL3-B	2	経営と技術	2
BL3-C	2	マネジメントの理論	2
BL4	2	ビジネスエコノミクス	2
コーポレート・ファイナンス	2	財務諸表分析	2
マーケティング・セオリー	2	リテイル・マーケティング	2
データ・マイニング	2	組織マネジメント	2
管理会計	2	イノベーション・マネジメント	2
経営戦略論	2	会計監査	2
生産管理論	2	税務会計	2
比較組織論	2	ファイナンスのための数学	2
サービス・マーケティング	2		

国際経営学科は、全学共通科目で28単位、専門教育科目で必修科目6単位、選択科目の基礎科目6単位、基幹科目54単位、自由科目30単位、合計124単位を修得しなければならない。なお、専門演習は16単位を限度として専門選択科目に算入する。

指定単位を超えて修得した専門選択科目、全学共通科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を自由科目の単位として卒業単位に算入することができる。ただし、全学共通科目、他学部科目、5大学間単位互換制度による他大学科目から卒業単位に算入することができるのは、あわせて12単位までとする。

## X 現代心理学部

### (1) 心理学科専門教育科目

#### 1 必修科目

現代心理学入門	2	心理学概論1	2
キャリアと心理学	2	心理学概論2	2

心理学統計法1	2	心理学実験実習2(心理学実験)	1
心理学統計法2	2	心理学調査実習2	1
心理学実験実習1(心理学実験)	2	心理学文献講読1	2
心理学調査実習1	2	心理学文献講読2	2
<b>2 選択科目</b>			
<b>①学部コラボレーション科目</b>			
学部コラボレーション科目1	2	学部コラボレーション科目2	2
<b>② 学科選択科目A</b>			
心理学演習 A1	2	心理学演習 F2	2
心理学演習 A2	2	心理学演習 G1	2
心理学演習 B1	2	心理学演習 G2	2
心理学演習 B2	2	心理学演習 H1	2
心理学演習 C1	2	心理学演習 H2	2
心理学演習 C2	2	心理学演習 I1	2
心理学演習 D1	2	心理学演習 I2	2
心理学演習 D2	2	心理学演習 J1	2
心理学演習 E1	2	心理学演習 J2	2
心理学演習 E2	2	心理学演習 K1	2
心理学演習 F1	2	心理学演習 K2	2
<b>③ 学科選択科目B</b>			
知覚心理学(知覚・認知心理学)	2	産業・組織心理学	2
学習心理学(学習・言語心理学)	2	臨床心理学概論	2
認知心理学(知覚・認知心理学)	2	生理心理学(神経・生理心理学)	2
比較心理学	2	教育心理学(教育・学校心理学)	2
発達心理学	2	感情・人格心理学	2
社会心理学(社会・集団・家族心理学)	2	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	2
<b>④ 学科選択科目C</b>			
心理学研究法 1	2	心理学研究法 3	2
心理学研究法 2	2	心理学研究法 4(心理的アセスメント)	2
<b>⑤ 学科選択科目D</b>			
精神疾患とその治療	2	社会病理学	2
心理学的支援法	2	リスク心理学	2
応用行動分析	2	障害者・障害児心理学	2
動物生態学	2	健康・医療心理学	2
実験的行動分析	2	福祉心理学	2
言語心理学(学習・言語心理学)	2	人体の構造と機能及び疾病	2
児童心理学	2	自己理解・他者理解の心理学	2
消費者心理学	2	行動分析学	2
司法・犯罪心理学	2	比較認知科学	2
コミュニティ心理学	2	キャリアの心理学演習	2
神経心理学(神経・生理心理学)	2	社会調査概論	2
心理学海外体験プログラム	2	社会調査設計法	2
文化心理学	2	社会調査演習	4
学校心理学(教育・学校心理学)	2		
<b>⑥ 学科選択科目E</b>			
卒業論文	8	卒業論文指導演習 2	2
卒業論文指導演習 1	2		
<b>3 自由科目</b>			
自由選択科目			
心理学原書講読(入門)	2	心理学英語表現演習 2	2
心理学英語文献講読演習 1	2	英語心理学研究法演 1	2
心理学英語文献講読演習 2	2	英語心理学研究法演習 2	2
心理学英語表現演習 1	2	英語心理学特講	2



短期海外留学プログラム	2	心理演習	2
情報処理	2	心理実習	2
公認心理師の職責	2	観光心理学	2
関係行政論	2		

心理学科卒業論文選択者は、全学共通科目 28 単位、必修科目 22 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A 4 単位、学科選択科目 B 10 単位、学科選択科目 C 4 単位、学科選択科目 D 16 単位、学科選択科目 E 12 単位、自由科目 26 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

心理学科卒業論文非選択者は、全学共通科目 28 単位、必修科目 22 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A 4 単位、学科選択科目 B 10 単位、学科選択科目 C 4 単位、学科選択科目 D 16 単位、自由科目 38 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目は、上記科目のほか、指定単位を超えて修得した科目（全学共通科目、学部コラボレーション科目、学科選択科目）、現代心理学部他学科科目、他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目である。

## (2) 映像身体学科専門教育科目

### 1 必修科目

現代心理学入門	2	映像身体学入門1	2
入門演習1	4	映像身体学入門2	2
入門演習2	4	映像身体学とキャリア	2

### 2 選択科目

#### ① 学部コラボレーション科目

学部コラボレーション科目 1	2	学部コラボレーション科目 2	2
----------------	---	----------------	---

#### ② 学科選択科目 A

基礎演習 1	2	基礎演習 12	2
基礎演習 2	2	基礎演習 13	2
基礎演習 3	2	基礎演習 14	2
基礎演習 4	2	基礎演習 15	2
基礎演習 5	2	身体学文献講読 1	2
基礎演習 6	2	身体学文献講読 2	2
基礎演習 7	2	身体学文献講読 3	2
基礎演習 8	2	映像学文献講読 1	2
基礎演習 9	2	映像学文献講読 2	2
基礎演習 10	2	映像学文献講読 3	2
基礎演習 11	2	映像身体学文献講読	2

#### ③ 学科選択科目 B

専門演習 A1	2	専門演習 I1	2
専門演習 A2	2	専門演習 I2	2
専門演習 B1	2	専門演習 J1	2
専門演習 B2	2	専門演習 J2	2
専門演習 C1	2	専門演習 K1	2
専門演習 C2	2	専門演習 K2	2
専門演習 D1	2	専門演習 L1	2
専門演習 D2	2	専門演習 L2	2
専門演習 E1	2	専門演習 M1	2
専門演習 E2	2	専門演習 M2	2
専門演習 F1	2	専門演習 N1	2
専門演習 F2	2	専門演習 N2	2
専門演習 G1	2	専門演習 O1	2
専門演習 G2	2	専門演習 O2	2
専門演習 H1	2	専門演習 P1	2
専門演習 H2	2	専門演習 P2	2

#### ④ 学科選択科目 C

他者の現象学	2	医学身体論	2
アフオーダンス	2	映像の思想	2
フィルム・スタディーズの基礎	2	アメリカ映画論	2
オートポイエーシス	2	ヨーロッパ映画論	2
養生論の思想	2	日本映画論	2
生命システム論	2	アジア映画論	2
現代思想概説	2	ドキュメンタリー映画論	2
身体社会論	2	写真映像論	2
映像社会論	2	イメージとメディア	2
生態心理学	2	芸術の思想	2
身体表現史	2	映像技術論 1	2
映像表現史	2	映像技術論 2	2
生態心理学実験	2	ファッションの思想	2
身体系ワークショップ 1	2	広告論	2
身体系ワークショップ 2	2	映像人類学	2
身体系ワークショップ 3	2	ジェンダー文化論	2
身体系ワークショップ 4	2	ポストコロニアル論	2
身体系ワークショップ 5	2	音の思想 1	2
身体系ワークショップ 6	2	音の思想 2	2
身体系ワークショップ 7	2	言語芸術論	2
映像系ワークショップ 1	2	視聴覚文化論	2
映像系ワークショップ 2	2	認知科学	2
映像系ワークショップ 3	2	アートの心理学	2
映像系ワークショップ 4	2	芸能の理論と歴史	2
映像系ワークショップ 5	2	映像身体学特講 1	2
映像系ワークショップ 6	2	映像身体学特講 2	2
超域系ワークショップ 1	2	映像身体学特講 3	2
戯曲シナリオ演習 1	2	映像身体学特講 4	2
戯曲シナリオ演習 2	2	映像身体学特講 5	2
映像シナリオ演習 1	2	映像身体学特講 6	2
映像シナリオ演習 2	2	映像身体学特講 7	2
映像シナリオ演習 3	2	映像身体学特講 8	2
身体の思想	2	映像技術入門 A	2
現代演劇論 1	2	映像技術入門 B	2
現代演劇論 2	2	映像技術中級 1	2
比較舞踊論	2	映像技術中級 2	2
パフォーマンスと身体	2	舞台技術演習	2
身体人類学	2	都市の記憶と表象文化	2
芸術人類学	2		

⑤ 学科選択科目D

卒業論文・卒業制作	8	卒業論文・卒業制作指導演習 2	2
卒業論文・卒業制作指導演習 1	2		

3 自由科目

自由選択科目

短期海外留学プログラム	2
-------------	---

映像身体学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目 16 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A2 単位、学科選択科目 B～D56 単位、自由科目 20 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目は、上記科目のほか、指定単位を超えて修得した科目（全学共通科目、学部コラボレーション科目、学科選択科目）、現代心理学部他学科科目、他学部科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目である。

XI 異文化コミュニケーション学部

(1) 異文化コミュニケーション学科一般専門教育科目

1 必修科目

① 学部必修科目			
言語・コミュニケーション研究入門	2	Cultural Exchange	2
基礎演習A	2	グローバル研究入門	2
基礎演習B	2		
2 選択科目			
① 学びの精神			
College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
② 基盤科目			
コミュニケーションセミナー1B(ドイツ語)	2	Seminar in English C	2
コミュニケーションセミナー1B(フランス語)	2	Seminar in English D	2
コミュニケーションセミナー1B(スペイン語)	2	Seminar in English E	2
コミュニケーションセミナー1B(中国語)	2	Seminar in English F	2
コミュニケーションセミナー1B(朝鮮語)	2	Seminar in English G	2
コミュニケーションセミナー1B(ロシア語)	2	Seminar in English H	2
コミュニケーションセミナー2D(ドイツ語)	2	Seminar in English I	2
コミュニケーションセミナー2D(フランス語)	2	Seminar in English J	2
コミュニケーションセミナー2D(スペイン語)	2	Seminar in English K	2
コミュニケーションセミナー2D(中国語)	2	Seminar in English L	2
コミュニケーションセミナー2D(朝鮮語)	2	日本語コミュニケーションA	2
コミュニケーションセミナー2D(ロシア語)	2	日本語コミュニケーションB	2
コミュニケーションセミナー3A-R(英語)	4	日本語コミュニケーションC	2
コミュニケーションセミナー3B-R(ドイツ語)	4	日本語コミュニケーションD	2
コミュニケーションセミナー3B-R(フランス語)	4	Japan Studies Program A	4
コミュニケーションセミナー3B-R(スペイン語)	4	Japan Studies Program B	2
コミュニケーションセミナー3B-R(中国語)	4	Japan Studies Program C	2
コミュニケーションセミナー3B-R(朝鮮語)	4	Japan Studies Program D	2
ドイツ語Lecture A	2	Japan Studies Program E	4
ドイツ語Lecture B	2	Japan Studies Program F	2
フランス語Lecture A	2	Japan Studies Program G	2
フランス語Lecture B	2	Japan Studies Program H	2
スペイン語Lecture A	2	Japan Studies Program I	2
スペイン語Lecture B	2	Japan Studies Program J	2
中国語Lecture A	2	Japan Studies Program K	2
中国語Lecture B	2	Japan Studies Program L	2
朝鮮語Lecture A	2	海外留学研修C1	12
朝鮮語Lecture B	2	海外留学研修C2	12
ビジネス日本語コミュニケーション演習	2	海外フィールドスタディA	2
キャリア実践演習A	2	海外フィールドスタディB	2
キャリア実践演習B	2	国内フィールドスタディA	2
諸言語特別演習A	2	国内フィールドスタディB	2
諸言語特別演習B	2	サービスラーニングA	2
海外留学研修A	12	サービスラーニングB	2
海外留学研修B	14	サービスラーニングC	2
インターンシップ	2	言語研究調査法	2
海外インターンシップ(CIC)A	2	異文化トレーニング演習	2
海外インターンシップ(CIC)B	2	コミュニケーション研究調査法	2
Seminar in English A	2	フィールドワーク	2
Seminar in English B	2		
③ 基礎科目			
異文化コミュニケーション概論	2	コミュニケーション研究概論	2
英語学概論	2	国際協力・開発学概論	2
日本語学概論A	2	カルチュラル・スタディーズ概論	2
日本語学概論B	2	グローバル化とジェンダー	2
コンピュータ・リテラシー	2	人間環境概論	2
文化人類学概論	2	多文化共生概論	2
視覚芸術概論	2	グローバル化と宗教	2
音楽学概論	2	メディアコミュニケーション概論	2
言語学概論	2	国際協力・紛争研究概論	2
通訳翻訳学概論	2		
④ 専門科目			
対人コミュニケーション論	2	集団コミュニケーション論	2

グローバル社会とコミュニケーション	2	通訳翻訳と多文化社会	2
非言語コミュニケーション論	2	通訳翻訳の歴史	2
説得コミュニケーション論	2	異文化コミュニケーション特論A	2
バイリンガリズム研究	2	異文化コミュニケーション特論B	2
社会言語学	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
認知言語学	2	コミュニケーション特論	2
語用論	2	グローバル文化研究特論	2
通訳入門	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
文化記号論	2	グローバル化と思想	2
エスニシティとナショナリズム	2	言語文化論	2
英語圏文学論	2	グローバル化と言語	2
間文化研究A	2	自然共生特論	2
間文化研究B	2	人間環境特論	2
国際協力・開発学特論	2	グローバル研究調査法	2
宗教と文化	2	Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles	2
国際協力・紛争研究特論	2	Communication and Citizenship	2
音楽学特論	2	Orientalism in Media	2
視覚芸術特論	2	Transcultural Cinema	2
人と移動	2	Contemporary Culture in Japan	2
多文化共生特論	2	Religions and Society in Asia	2
日本語学特論	2	Japan in Asia	2
心理言語学	2	Ethnicity and Globalization in Japan	2
英語科教育研究	2	Multiculturalism in Japan	2
第1言語習得理論	2	Language Policy and Multilingualism	2
第2言語習得理論	2	Special Topics in ICC A	2
外国語教育評価論	2	Special Topics in ICC B	2
日本語教授法A	2	Special Topics in ICC C	2
日本語教授法B	2	Social Movements and Social Change	2
日本語教育実習	4	Motivation in Language Learning	2
コミュニケーション文法	2	Intercultural Communication	2
英語教育学	2	in the Language Classroom	2
英語コミュニケーション教育学	2	Advanced Seminar	4
言語研究特論	2	in Intercultural Communication	4
逐次通訳	2	Language and Identity	4
同時通訳入門	2	International Organizations and Sustainability	4
通訳入門	2	Gender and Communication	4
通訳応用実践1	2	Globalization and Media	4
通訳応用実践2	2		
通訳翻訳実習	2		
⑤ 専門演習・卒業研究			
専門演習1	2	専門演習3	2
専門演習2	2	卒業研究	4
⑥ 卒業課題			
卒業課題A	2	卒業課題B	2

異文化コミュニケーション学科一般学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 10 単位、基盤科目 22 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 22 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・5 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

(2) 異文化コミュニケーション学科 DLP 専門教育科目

1 必修科目

① 学部必修科目

Academic Skills A	2	Overview of Global Studies	2
Academic Skills B	2	Cultural Exchange	2
Overview of Language and Communication Studies	2		
② 専門演習・卒業研究			
Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 3	2
Advanced Seminar 2	2	Senior Research and Thesis	4
2 選択科目			
① 学びの精神			
College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
② 基盤科目			
Communication Seminar 1B(German)	2	Lecture in Spanish B	2
Communication Seminar 1B(French)	2	Lecture in Chinese A	2
Communication Seminar 1B(Spanish)	2	Lecture in Chinese B	2
Communication Seminar 1B(Chinese)	2	Lecture in Korean A	2
Communication Seminar 1B(Korean)	2	Lecture in Korean B	2
Communication Seminar 1B(Russian)	2	Overseas Study Program A	12
Communication Seminar 2D(German)	2	Overseas Study Program B	14
Communication Seminar 2D(French)	2	Communication Seminar(Intensive) A	2
Communication Seminar 2D(Spanish)	2	Communication Seminar(Intensive) B	2
Communication Seminar 2D(Chinese)	2	Overseas Internship(CIC)A	2
Communication Seminar 2D(Korean)	2	Overseas Internship(CIC)B	2
Communication Seminar 2D(Russian)	2	Internship	2
Communication Seminar 3A-R(English)	4	Japan Studies Program E	4
Communication Seminar 3B-R(German)	4	Japan Studies Program F	2
Communication Seminar 3B-R(French)	4	Japan Studies Program G	2
Communication Seminar 3B-R(Spanish)	4	Japan Studies Program H	2
Communication Seminar 3B-R(Chinese)	4	Japan Studies Program I	2
Communication Seminar 3B-R(Korean)	4	Japan Studies Program J	2
Seminar in English A	2	Japan Studies Program K	2
Seminar in English B	2	Japan Studies Program L	2
Seminar in English C	2	Overseas Study Program C1	12
Seminar in English D	2	Overseas Study Program C2	12
Seminar in English E	2	Overseas Field Study A	2
Seminar in English F	2	Overseas Field Study B	2
Seminar in English G	2	Domestic Field Study A	2
Seminar in English H	2	Domestic Field Study B	2
Seminar in English I	2	Service Learning A	2
Seminar in English J	2	Service Learning B	2
Seminar in English K	2	Service Learning C	2
Seminar in English L	2	Research Methods in Language Studies	2
Lecture in German A	2	Seminar in Intercultural Training	2
Lecture in German B	2	Research Methods	2
Lecture in French A	2	in Communication Studies	
Lecture in French B	2	Fieldwork	2
Lecture in Spanish A	2		
③ 基礎科目			
Introduction to Linguistics	2	Introduction to Cultural Studies	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	Introduction to International Development and Cooperation	2
Introduction to Communication	2	Introduction to the Study of English	2
Introduction to Intercultural Communication	2	Introduction to Cultural Anthropology	2
Introduction to Media Communication	2	Globalization and Gender	2
④ 専門科目			
Psycholinguistics	2	Bilingualism	2
Sociolinguistics	2	Measurement and Evaluation in Language Education	2
Cognitive Linguistics	2	Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles	2
Pragmatics	2		
Theories of Second Language Acquisition	2		

Introduction to Interpreting	2	説得コミュニケーション論	2
Consecutive Interpreting	2	通訳入門	2
Introduction to Simultaneous Interpreting	2	文化記号論	2
Introduction to Translation	2	エスニシティとナショナリズム	2
Intermediate Translation 1	2	英語圏文学論	2
Intermediate Translation 2	2	間文化研究A	2
Translation and Interpreting Practicum	2	間文化研究B	2
Translation and Interpreting in Multicultural Society	2	国際協力・開発学特論	2
History of Translation and Interpreting	2	宗教文化	2
Communication and Citizenship	2	国際協力・紛争研究特論	2
Orientalism in Media	2	音楽学特論	2
Transcultural Cinema	2	視覚芸術特論	2
Contemporary Culture in Japan	2	人と移動	2
Religions Society in Asia	2	多文化共生特論	2
Japan in Asia	2	日本語学特論	2
Ethnicity and Globalization in Japan	2	英語科教育研究	2
Multiculturalism in Japan	2	第1言語習得理論	2
Language Policy and Multilingualism	2	日本語教授法A	2
Special Topics in ICC A	2	日本語教授法B	2
Special Topics in ICC B	2	日本語教育実習	4
Special Topics in ICC C	2	コミュニケーション文法	2
Social Movements and Social Change	2	英語教育学	2
Motivation in Language Learning	2	英語コミュニケーション教育学	2
Intercultural Communication in the Language Classroom	2	言語研究特論	2
Advanced Seminar in Intercultural Communication	4	異文化コミュニケーション特論A	2
Language and Identity	4	異文化コミュニケーション特論B	2
International Organizations and Sustainability	4	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
Gender and Communication	4	コミュニケーション特論	2
Globalization and Media	4	グローバル文化研究特論	2
対人コミュニケーション論	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
集団コミュニケーション論	2	グローバル化と思想	2
グローバル社会とコミュニケーション	2	言語文化論	2
非言語コミュニケーション論	2	グローバル化と言語	2
		自然共生特論	2
		人間環境特論	2
		グローバル研究調査法	2
⑤ 自由科目			
Basic Seminar A	2	ベーシックセミナーA	2
Basic Seminar B	2	ベーシックセミナーB	2

異文化コミュニケーション学科 DLP 学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 10 単位、専門演習・卒業研究 10 単位、基盤科目 22 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 22 単位、自由科目 20 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・5 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

### (3) 異文化コミュニケーション学科 Transitional Bilingual Program in CIC 専門教育科目

#### 1 必修科目

##### ① 学部必修科目

Academic Skills A	2	Overview of Global Studies	2
Academic Skills B	2	Cultural Exchange	2
Overview of Language and Communication Studies	2		

#### 2 選択科目

##### ① 学びの精神

College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
-------------------------	---	-------------------------	---

##### ② 基盤科目

コミュニケーションセミナー1B(ドイツ語)	2	コミュニケーションセミナー1B(スペイン語)	2
コミュニケーションセミナー1B(フランス語)	2	コミュニケーションセミナー1B(中国語)	2

コミュニケーションセミナー1B(朝鮮語)	2	Seminar in English E	2
コミュニケーションセミナー1B(ロシア語)	2	Seminar in English F	2
コミュニケーションセミナー2D(ドイツ語)	2	Seminar in English G	2
コミュニケーションセミナー2D(フランス語)	2	Seminar in English H	2
コミュニケーションセミナー2D(スペイン語)	2	Seminar in English I	2
コミュニケーションセミナー2D(中国語)	2	Seminar in English J	2
コミュニケーションセミナー2D(朝鮮語)	2	Seminar in English K	2
コミュニケーションセミナー2D(ロシア語)	2	Seminar in English L	2
コミュニケーションセミナー3A-R(英語)	4	日本語コミュニケーションA	2
コミュニケーションセミナー3B-R(ドイツ語)	4	日本語コミュニケーションB	2
コミュニケーションセミナー3B-R(フランス語)	4	日本語コミュニケーションC	2
コミュニケーションセミナー3B-R(スペイン語)	4	日本語コミュニケーションD	2
コミュニケーションセミナー3B-R(中国語)	4	Japan Studies Program A	4
コミュニケーションセミナー3B-R(朝鮮語)	4	Japan Studies Program B	2
ドイツ語Lecture A	2	Japan Studies Program C	2
ドイツ語Lecture B	2	Japan Studies Program D	2
フランス語Lecture A	2	Japan Studies Program E	4
フランス語Lecture B	2	Japan Studies Program F	2
スペイン語Lecture A	2	Japan Studies Program G	2
スペイン語Lecture B	2	Japan Studies Program H	2
中国語Lecture A	2	Japan Studies Program I	2
中国語Lecture B	2	Japan Studies Program J	2
朝鮮語Lecture A	2	Japan Studies Program K	2
朝鮮語Lecture B	2	Japan Studies Program L	2
ビジネス日本語コミュニケーション演習	2	海外留学研修C1	12
キャリア実践演習A	2	海外留学研修C2	12
キャリア実践演習B	2	海外フィールドスタディA	2
諸言語特別演習A	2	海外フィールドスタディB	2
諸言語特別演習B	2	国内フィールドスタディA	2
海外留学研修A	12	国内フィールドスタディB	2
海外留学研修B	14	サービスラーニングA	2
インターンシップ	2	サービスラーニングB	2
海外インターンシップ(CIC)A	2	サービスラーニングC	2
海外インターンシップ(CIC)B	2	言語研究調査法	2
Seminar in English A	2	異文化トレーニング演習	2
Seminar in English B	2	コミュニケーション研究調査法	2
Seminar in English C	2	フィールドワーク	2
Seminar in English D	2		

### ③ 基礎科目

Introduction to Linguistics	2	Globalization and Gender	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	日本語学概論A	2
Introduction to Communication	2	日本語学概論B	2
Introduction to Intercultural Communication	2	国際協力・紛争研究概論	2
Introduction to Media Communication	2	人間環境概論	2
Introduction to Cultural Studies	2	多文化共生概論	2
Introduction to International Development and Cooperation	2	グローバル化と宗教	2
Introduction to the Study of English	2	視覚芸術概論	2
Introduction to Cultural Anthropology	2	音楽学概論	2
		コンピュータ・リテラシー	2

### ④ 専門科目

対人コミュニケーション論	2	文化記号論	2
集団コミュニケーション論	2	エスニシティとナショナリズム	2
グローバル社会とコミュニケーション	2	英語圏文学論	2
非言語コミュニケーション論	2	間文化研究A	2
説得コミュニケーション論	2	間文化研究B	2
バイリンガリズム研究	2	国際協力・開発学特論	2
社会言語学	2	宗教と文化	2
認知言語学	2	国際協力・紛争研究特論	2
語用論	2	音楽学特論	2
通訳入門	2	視覚芸術特論	2

人と移動	2	グローバル化と言語	2
多文化共生特論	2	自然共生特論	2
日本語学特論	2	人間環境特論	2
心理言語学	2	グローバル研究調査法	2
英語科教育研究	2	Teaching English to Speakers	2
第1言語習得理論	2	of Other Language: Basic Principles	2
第2言語習得理論	2	Communication and Citizenship	2
外国語教育評価論	2	Orientalism in Media	2
日本語教授法A	2	Transcultural Cinema	2
日本語教授法B	2	Contemporary Culture in Japan	2
日本語教育実習	4	Religion and Society in Asia	2
コミュニケーション文法	2	Japan in Asia	2
英語教育学	2	Ethnicity and Globalization in Japan	2
英語コミュニケーション教育学	2	Multiculturalism in Japan	2
言語研究特論	2	Language Policy and Multilingualism	2
逐次通訳	2	Special Topics in ICC A	2
同時通訳入門	2	Special Topics in ICC B	2
翻訳入門	2	Special Topics in ICC C	2
翻訳応用実践1	2	Social Movements and Social Change	2
翻訳応用実践2	2	Motivation in Language Learning	2
通訳翻訳実習	2	Intercultural Communication	2
通訳翻訳と多文化社会	2	in the Language Classroom	2
通訳翻訳の歴史	2	Advanced Seminar	4
異文化コミュニケーション特論A	2	in Intercultural Communication	2
異文化コミュニケーション特論B	2	Language and Identity	4
コミュニケーション・テクノロジーと社会	2	International Organizations and Sustainability	4
コミュニケーション特論	2	Gender and Communication	4
グローバル文化研究特論	2	Globalization and Media	2
カルチュラル・スタディーズ特論	2		
グローバル化と思想	2		
言語文化論	2		
⑤ 専門演習・卒業研究			
専門演習1	2	専門演習3	2
専門演習2	2	卒業研究	4
⑥ 卒業課題			
卒業課題 A	2	卒業課題 B	2

異文化コミュニケーション学科 Transitional Bilingual Program in CIC に属する学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 10 単位、基盤科目 22 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 22 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・5 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

(4) 異文化コミュニケーション学科 PEACE CIC 専門教育科目

1 必修科目

① 学びの精神

College Life Planning A 2 College Life Planning B 2

② 学部必修科目

Academic Skills A 2 Overview of Global Studies 2

Academic Skills B 2 Cultural Exchange 2

Overview of Language and Communication Studies 2



## 2 選択科目

### ① PEACE 選択科目

Humanities Study1 (History)	2	Cultural Anthropology A	2
Humanities Study2 (Education)	2	Torts	2
Humanities Study3 (Religion)	2	Comparative Family Law	2
Humanities Study4 (Literature)	2	Introduction to Legal Studies A	2
Humanities Study5 (Literature)	2	Introduction to Legal Studies B	2
Humanities Study6 (Literature)	2	Contract A	2
Humanities Lecture1 (History)	2	Contract B	2
Humanities Lecture2 (Literature)	2	Comparative Constitutional Law	2
Japanese Economy1	2	Criminal Procedure	2
Japanese Economy2	2	Financial Statement Analysis	2
Japanese Economic History1	2	Tourism Study 1 (Business)	2
Japanese Economic History2	2	Tourism Study 2 (Society)	2
Studies of Contemporary Society A	2	Tourism Study 3 (Destination)	2
Studies of Contemporary Society B	2	Tourism Study 4 (Culture)	2
Studies of Contemporary Society C	2	Global Society and Local Communities	2
Studies of Contemporary Society D	2	Specialized Psychology lecture in English	2
Sociology of Gender A	2	Cultural Psychology	2

### ② 基盤科目

Communication Seminar 1B (German)	2	Lecture in Chinese B	2
Communication Seminar 1B (French)	2	Lecture in Korean A	2
Communication Seminar 1B (Spanish)	2	Lecture in Korean B	2
Communication Seminar 1B (Chinese)	2	Service Learning C	2
Communication Seminar 1B (Korean)	2	Overseas Field Studies A	2
Communication Seminar 1B (Russian)	2	Overseas Field Studies B	2
Communication Seminar 2D (German)	2	Domestic Field Studies A	2
Communication Seminar 2D (French)	2	Domestic Field Studies B	2
Communication Seminar 2D (Spanish)	2	Overseas Internship (CIC) A	4
Communication Seminar 2D (Chinese)	2	Overseas Internship (CIC) B	4
Communication Seminar 2D (Korean)	2	Japan Studies Program A	2
Communication Seminar 2D (Russian)	2	Japan Studies Program E	2
Communication Seminar 3B-R (German)	4	Japan Studies Program F	2
Communication Seminar 3B-R (French)	4	Japan Studies Program J	2
Communication Seminar 3B-R (Spanish)	4	Japan Studies Program K	2
Communication Seminar 3B-R (Chinese)	4	Japan Studies Program L	2
Communication Seminar 3B-R (Korean)	4	Japanese Communication A	2
Lecture in German A	2	Japanese Communication B	2
Lecture in German B	2	Japanese Communication C	2
Lecture in French A	2	Japanese Communication D	2
Lecture in French B	2	Seminar in Japanese Language Business	
Lecture in Spanish A	2	Communication	2
Lecture in Spanish B	2	Career Skills Development A	2
Lecture in Chinese A	2	Career Skills Development B	2

### ③ 基礎科目

Introduction to Linguistics	2	Introduction to Media Communication	2
Introduction to the Study of English	2	Introduction to Cultural Studies	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	Introduction to International Development and Cooperation	2
Introduction to Communication	2	Introduction to Cultural Anthropology	2
Introduction to Intercultural Communication	2	Globalization and Gender	2

④ 専門科目			
Psycholinguistics	2	Special Topics in ICC B	2
Sociolinguistics	2	Special Topics in ICC C	2
Cognitive Linguistics	2	文化記号論	2
Pragmatics	2	第1言語習得理論	2
Theories of Second Language Acquisition	2	英語教育学	2
Bilingualism	2	英語コミュニケーション教育学	2
Measurement and Evaluation in Language Education	2	英語科教育研究	2
		日本語学特論	2
		日本語教授法 A	2
Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles	2	日本語教授法 B	2
		日本語教育実習	4
Motivation in Language Learning	2	コミュニケーション文法	2
Intercultural Communication in the Language Classroom	2	言語研究特論	2
Introduction to Interpreting	2	非言語コミュニケーション論	2
Consecutive Interpreting	2	異文化コミュニケーション特論 A	2
Introduction to Simultaneous Interpreting	2	異文化コミュニケーション特論 B	2
		対人コミュニケーション論	2
		集団コミュニケーション論	2
Introduction to Translation	2	説得コミュニケーション論	2
Intermediate Translation 1	2	グローバル社会とコミュニケーション	2
Intermediate Translation 2	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
Translation and Interpreting Practicum	2	コミュニケーション特論	2
Translation and Interpreting in Multicultural Society	2	グローバル文化研究特論	2
History of Translation and Interpreting	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
Communication and Citizenship	2	グローバル化と思想	2
Orientalism in Media	2	宗教と文化	2
Transcultural Cinema	2	エスニシティとナショナリズム	2
Contemporary Culture in Japan	2	人と移動	2
Religion and Society in Asia	2	言語文化論	2
Japan in Asia	2	グローバル化と言語	2
Ethnicity and Globalization in Japan	2	多文化共生特論	2
Multiculturalism in Japan	2	国際協力・開発学特論	2
Language Policy and Multilingualism	2	国際協力・紛争研究特論	2
Social Movements and Social Change	2	自然共生特論	2
Advanced Seminar in Intercultural Communication	4	人間環境特論	2
Language and Identity	4	間文化研究 A	2
International Organizations and Sustainability	4	間文化研究 B	2
Gender and Communication	4	音楽学特論	2
Globalization and Media	4	視覚芸術特論	2
Special Topics in ICC A	2	英語圏文学論	2
		グローバル研究調査法	2
⑤ 専門演習・卒業研究			
Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 3	2
Advanced Seminar 2	2	Senior Research and Thesis	4
⑥ 卒業課題			
Senior Project A	2	Senior Project B	2

異文化コミュニケーション学科 Transitional Bilingual Program in CIC に属する学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 10 単位、基盤科目 22 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 22 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

- ① 卒業研究選択者  
専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位
- ② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位, 自由科目 26 単位

自由科目には, 指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・5 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

## XII スポーツウエルネス学部

### (1) スポーツウエルネス学科専門教育科目

#### 1 必修科目

基礎演習(学びの技法を含む)	2	スポーツウエルネスワークショップ B	2
スポーツウエルネス学入門	2	スポーツウエルネスワークショップ C	2
スポーツマンシップ論	2	卒業研究指導演習	2
スポーツリーダーシップ論	2	卒業研究(ベーシックコース)	2
スポーツウエルネスワークショップ A	2	卒業研究(アドバンスコース)	8

#### 2 選択科目

##### ① 専門基礎科目

運動方法学演習1	2	キャリア形成論	2
運動方法学演習2	2	ウエルネス科学総論	2
運動方法学演習3	2	スポーツ科学総論	2
運動方法学演習4	2	運動方法学	2
運動方法学演習5	2	生涯スポーツ論	2
運動方法学演習6	2	運動生理学	2
運動方法学演習7	2	生理学	2
運動方法学演習8	2	運動処方・療法	2
運動方法学演習9	2	解剖学1	2
運動方法学演習10	2	解剖学2	2
運動方法学演習11	2	アスレティックトレーナーの役割	2
運動方法学演習12	2	ウエルネスと時間生物学	2
運動方法学演習13	2	ウエルネス理解のための基礎生命科学	2
運動方法学演習14	2	環境・サステナビリティ論	2
運動方法学演習15	2	ウエルネス理解のための細胞生物学	2
運動方法学演習16	2	抗加齢医学とウエルネス	2
情報処理1	2	体育原理・体育史	2
情報処理2	2	スポーツ教育論	2
異文化スタディ	2	データサイエンス概論	2

##### ② 専門基幹科目

身体文化論	2	コンディショニング概論	2
発育・発達・加齢論	2	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング概論	2
スポーツウエルネス心理学(基礎)	2	測定と評価	2
ストレングス・コンディショニング論(基礎)	2	スポーツ医学(外傷・障害) 1	2
運動・スポーツ栄養学(基礎)	2	スポーツ医学(外傷・障害) 2	2
スポーツ社会学	2	コンディショニングの方法	2
測定評価演習	2	アスレティックリハビリテーション実習 1	2
アダプテッド・スポーツ論	2	スポーツと法	2
ダイバーシティ・スポーツ論	2	生物多様性と人間社会	2
スポーツ政策	2	応用生命科学	2
健康政策	2	学校保健・学校安全	2
スポーツコーチ学	2	スポーツデータ収集演習	2
コーチングスキル	2	インターンシップ	4
スポーツ・健康産業論	2	インターンシップ実習 1	2
コンディショニングの実際	2	インターンシップ実習 2	2

### ③ 専門展開科目

レクリエーション援助論	2	生活習慣病の科学	2
レクリエーション援助演習	2	運動処方・療法演習	2
メンタルマネジメント	2	スポーツウエルネス心理学(応用)	2
スポーツジャーナリズム	2	運動・スポーツ栄養学(応用)	2
バイオメカニクス	2	組織マネジメントサービス論	2
スポーツ倫理学	2	スポーツ行政学	2
ウエルネスプロモーション論	2	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング1	2
スポーツビジネス論	2	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング2	2
スポーツマネジメント論	2	救急処置	2
コミュニティスポーツ論	2	ストレングス・コンディショニング論(応用)	2
障害者スポーツ論	2	スポーツ医学(内科)	2
小児保健・精神保健	2	アスレティックリハビリテーション実習2	2
公衆衛生学	2	アスレティックリハビリテーション実習3	2
ユニバーサルスポーツ援助技術演習	2	アスレティックリハビリテーション実習4	2
健康運動指導演習	2	運動障害と運動負荷試験	2
障害者スポーツ実践論	2	スポーツ教材論	2
リハビリテーション論	2	学校運動部指導論	2
スポーツコーチング演習	2	スポーツ人類学	2
専門演習1	2	スポーツ工学演習	2
専門演習2	2	スポーツ哲学	2
スポーツコーチング特論	2	スポーツデータ解析演習	2
動作分析法演習	2	スポーツビジネスコミュニケーション演習	2
ダイバーシティ・スポーツ演習	2		

### ④ 専門英語科目

Quantitative Research Methods in Sport and Exercise	2	Motivational Psychology in Sports and Exercise	2
Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Basic)	2	Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Advanced)	2
English Communication in Sport 1	2	English Communication in Sport 2	2
Introduction to Sport and Wellness Overseas	2	English for Future Careers in Sport and Wellness	2
International Society and Sport	2	Contemporary Issues in Global Sports	2
Comparative Sport Culture	2	Psychology of Well-Functioning and Performance	2

### ⑤ 専門関連科目

心理学1	2	生涯学習支援論1	2
心理学2	2	生涯学習支援論2	2
生涯学習概論1	2	社会教育経営論1	2
生涯学習概論2	2	社会教育経営論2	2

### 3 随意科目

保健体育科教育法1	2	保健体育科教育法演習1	2
保健体育科教育法2	2	保健体育科教育法演習2	2

スポーツウエルネス学科の卒業研究ベーシックコースは、全学共通科目 28 単位以上、専門必修科目を 14 単位、卒業研究科目を 4 単位、専門基礎科目を 22 単位、専門基幹科目を 12 単位、専門展開科目を 22 単位、専門英語科目を 4 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を修得しなければならない。

卒業研究アドバンスコースは、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 14 単位、卒業研究科目を 10 単位、専門基礎科目を 22 単位、専門基幹科目を 10 単位、専門展開科目を 18 単位、専門英語科目を 4 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を修得しなければならない。

いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門基礎科目のうち、運動方法学演習 1～運動方法学演習 1 6 から、12 単位を選択必修

とする。

### XIII 学芸員課程, 司書, 司書教諭及び社会教育主事

#### (1) 学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目

##### ① 必修科目

生涯学習概論	2	博物館展示論	2
博物館概論	2	博物館教育論	2
博物館経営論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館資料論	2	見学・学内実習	2
博物館資料保存論	2	博物館実習(館園実習)	1

##### ② 選択必修科目

日本文化史1	2	科学史	2
考古学1	2	地学概説	2
美術史1	2	物理学に該当する科目	
民俗学1	2	化学に該当する科目	
博物館論演習	2	生物学に該当する科目	

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目から必修科目10科目19単位、選択必修科目2科目以上4単位以上、計23単位以上を修得しなければならない。

#### (2) 司書の資格取得に必要な図書館に関する科目

##### ① 必修科目

生涯学習概論	2	情報検索演習	2
図書館概論	2	情報サービス演習	2
図書館制度・経営論	2	図書館情報資源概論	2
図書館情報技術論	2	情報資源組織論	2
図書館サービス概論	2	メタデータ演習	2
情報サービス論	2	情報アーキテクチャ演習	2
児童サービス論	2	図書館実習	2

##### ② 選択必修科目

アーカイブズ概論	2	図書・図書館史	2
図書館サービス特論	2	図書館施設論	2
図書館情報資源特論	2	図書館総合演習	2

##### ③ 随意科目

学校経営と学校図書館	2		
------------	---	--	--

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、司書の資格を取得しようとする者は、司書の資格取得に必要な図書館に関する科目から必修科目14科目28単位、選択必修科目2科目以上4単位以上、計32単位以上を修得しなければならない。

#### (3) 司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目

##### ① 必修科目

学校経営と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2
図書館情報資源概論	2	情報メディアの活用	2
情報資源組織論	2	図書館概論	2
学習指導と学校図書館	2	情報サービス論	2

##### ② 随意科目

図書館実習(司書教諭)	2	図書館サービス特論	2
図書・図書館史	2	図書館総合演習	2

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、司書教諭の資格を取得しようとする者は、司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目から必修科目8科目16単位を修得し、かつ教育職員免許状を取得しなければならない。

#### (4) 社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目

「池袋キャンパス開講科目」

① 必修科目

生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2
生涯学習支援論 1	2	社会教育実践演習	4
生涯学習支援論 2	2		

② 選択必修科目

現代社会と社会教育	2	図書館概論	2
人権と社会教育	2	教育原論	2
家庭教育論	2	教育心理学	2
教育と福祉	2	教育社会学 1	2
博物館概論	2	教育社会学 2	2

「新座キャンパス開講科目」

① 必修科目

生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2
生涯学習支援論 1	2	社会教育実践演習	4
生涯学習支援論 2	2		

② 選択必修科目

教育原論	2	福祉環境論	2
教育心理学	2	ボランティア論	2
発達心理学	2	現代コミュニティ論	2
ノーマライゼーション論	2	市民参加論	2
福祉文化論	2	公共哲学	2
高齢社会システム論	2	コミュニティスポーツ論	2
障害者福祉論	2		

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、社会教育主事の資格を取得しようとする者は、原則として所属するキャンパスで開設する社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目から必修科目 16 単位、選択必修科目 8 単位以上、計 24 単位以上を修得しなければならない。

XIV 日本語教育センター

1 日本語教育センター科目

日本語 J1-1	1	日本語 J5-4	1
日本語 J1-2	1	日本語 J6-1	1
日本語 J1-3	1	日本語 J6-2	1
日本語 J1-4	1	日本語 J6-3	1
日本語 J1-5	1	日本語 J6-4	1
日本語 J2-1	1	総合日本語6-8A1	1
日本語 J2-2	1	総合日本語6-8B1	1
日本語 J2-3	1	総合日本語6-8A2	1
日本語 J2-4	1	総合日本語6-8B2	1
日本語 J2-5	1	総合日本語6-8A3	1
日本語 J3-1	1	総合日本語6-8B3	1
日本語 J3-2	1	総合日本語6-8A4	1
日本語 J3-3	1	総合日本語6-8B4	1
日本語 J3-4	1	総合日本語6-8A5	1
日本語 J3-5	1	総合日本語6-8B5	1
日本語 J4-1	1	総合日本語6-8C1	1
日本語 J4-2	1	総合日本語6-8D1	1
日本語 J4-3	1	総合日本語6-8C2	1
日本語 J4-4	1	総合日本語6-8D2	1
日本語 J5-1	1	総合日本語6-8C3	1
日本語 J5-2	1	総合日本語6-8D3	1
日本語 J5-3	1	総合日本語6-8C4	1

総合日本語6-8D4	1	日本語演習 3B	1
総合日本語6-8C5	1	Japanese Language and Japanese Culture A	1
総合日本語6-8D5	1	Japanese Language and Japanese Culture B	1
日本語 J7-1	1	Japanese Language and Japanese Society A	1
日本語 J7-2	1	Japanese Language and Japanese Society B	1
日本語 J7-3	1	漢字A	1
日本語 J7-4	1	漢字B	1
日本の企業経営	2	Business Japanese A1	1
日本の産業と経済	2	Business Japanese A2	1
日本の政治と行政	2	Business Japanese A3	1
日本の法制度と規制	2	Business Japanese A4	1
日本の社会と生活文化	2	Business Japanese A5	1
総合日本語4-6A	1	日本語Aと日本文化社会講義1	4
総合日本語4-6B	1	日本語Aと日本文化社会講義2	4
総合日本語4-6C	1	日本語Bと日本文化社会講義1	4
総合日本語4-6D	1	日本語Bと日本文化社会講義2	4
Business Japanese I1	1	日本語Cと日本文化社会講義1	4
Business Japanese I2	1	日本語Cと日本文化社会講義2	4
Business Japanese I3	1	日本語 J8-AA	2
Business Japanese I4	1	日本語 J8-AB	2
Business Japanese I5	1	日本語 J8-AC	2
日本語 J0	3	日本語 J8-BA	2
日本語 J1S	3	日本語 J8-BB	2
日本語 J2S	3	日本語 J8-C	2
日本語 J3S	3	日本語 J8-D	2
日本語演習 1A	1	日本語 J8-EA	2
日本語演習 1B	1	日本語 J8-EB	2
日本語演習 2A	1	日本語 J8-FA	2
日本語演習 2B	1	日本語 J8-FB	2
日本語演習 3A	1	日本語 J8-G	2

表2の1 (第28条関係)

入学検定料	35,000円
-------	---------

別表2の2 (第28条関係)

大学入学共通テスト利用入試及び外国人留学生入試(書類選考による募集制度)、学校長推薦による募集制度(PEACE/NEXUS)及び英語トラック選抜制度(PEACE)の受験者

入学検定料	大学入学共通テスト利用入試	18,000円
	外国人留学生入試(書類選考による募集制度)	15,000円
	学校長推薦による募集制度(PEACE、NEXUS)及び英語トラック選抜制度(PEACE)	10,000円

別表2の3 (第41条関係)

入学金	200,000円
-----	----------

備考 再入学の場合は、2分の1相当額を納めなければならない。

別表2の4(第41条関係)

(単位 円)

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
文学部 (教育学科初等教育専攻を除く)	1年次	1,128,000	—	1,128,000
	2年次	1,128,000	—	1,128,000
	3年次	1,128,000	—	1,128,000
	4年次	1,078,000	—	1,078,000
	(*)4年次	1,028,000	—	1,028,000
	(**)4年次	988,000	—	988,000
文学部 教育学科初等教育専攻	1年次	1,128,000	—	1,128,000
	2年次	1,128,000	—	1,128,000
	3年次	1,128,000	10,000	1,138,000
	4年次	1,078,000	—	1,078,000
	(*)4年次	1,028,000	—	1,028,000
	(**)4年次	988,000	—	988,000
文学部 グローバル ・リベラルアーツ ・プログラム	1年次	1,850,000	—	1,850,000
	2年次	1,850,000	—	1,850,000
	3年次	1,850,000	—	1,850,000
	4年次	1,800,000	—	1,800,000
経済・法・観光学部 (国際ビジネス法学科グローバルコースを除く)	1年次	1,121,000	—	1,121,000
	2年次	1,121,000	—	1,121,000
	3年次	1,121,000	—	1,121,000
	4年次	1,071,000	—	1,071,000
	(*)4年次	1,021,000	—	1,021,000
	(**)4年次	981,000	—	981,000
法学部 (国際ビジネス法学科グローバルコース)	1年次	1,221,000	—	1,221,000
社会学部	1年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	2年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	3年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	4年次	1,071,000	15,000	1,086,000
	(*)4年次	1,021,000	15,000	1,036,000
	(**)4年次	981,000	15,000	996,000
理学部 数学科	1年次	1,548,000	—	1,548,000
	2年次	1,548,000	—	1,548,000
	3年次	1,548,000	—	1,548,000
	4年次	1,498,000	—	1,498,000
	(*)4年次	1,448,000	—	1,448,000
理学部 物理学科	1年次	1,548,000	10,000	1,558,000
	2年次	1,548,000	60,000	1,608,000
	3年次	1,548,000	40,000	1,588,000
	4年次	1,498,000	120,000	1,618,000
	(*)4年次	1,448,000	120,000	1,568,000
理学部 化学科	1年次	1,548,000	40,000	1,588,000
	2年次	1,548,000	80,000	1,628,000
	3年次	1,548,000	—	1,548,000
	4年次	1,498,000	80,000	1,578,000
	(*)4年次	1,448,000	80,000	1,528,000



(単位 円)

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
理学部 生命理学科	1年次	1,548,000	70,000	1,618,000
	2年次	1,548,000	40,000	1,588,000
	3年次	1,548,000	80,000	1,628,000
	(***) 4年次	1,498,000	80,000	1,578,000
	(****) 4年次	1,498,000	—	1,498,000
	(*) 4年次	1,448,000	—	1,448,000
コミュニティ福祉学部 福祉学科 コミュニティ政策学科	1年次	1,128,000	3,000	1,131,000
	2年次	1,128,000	3,000	1,131,000
	3年次	1,128,000	—	1,128,000
	4年次	1,078,000	—	1,078,000
	(*) 4年次	1,028,000	—	1,028,000
	(**) 4年次	988,000	—	988,000
コミュニティ福祉学部 スポーツウェルネス学科	2年次	1,128,000	15,000	1,143,000
	3年次	1,128,000	15,000	1,143,000
	4年次	1,078,000	15,000	1,093,000
	(*) 4年次	1,028,000	15,000	1,043,000
	(**) 4年次	988,000	15,000	1,003,000
経営学部	1年次	1,121,000	30,000	1,151,000
	2年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	3年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	4年次	1,071,000	15,000	1,086,000
	(*) 4年次	1,021,000	15,000	1,036,000
	(**) 4年次	981,000	15,000	996,000
現代心理学部 心理学科	1年次	1,165,000	15,000	1,180,000
	2年次	1,165,000	15,000	1,180,000
	3年次	1,165,000	15,000	1,180,000
	4年次	1,115,000	15,000	1,130,000
	(*) 4年次	1,065,000	15,000	1,080,000
	(**) 4年次	1,050,000	15,000	1,065,000
現代心理学部 映像身体学科	1年次	1,190,000	15,000	1,205,000
	2年次	1,190,000	15,000	1,205,000
	3年次	1,190,000	15,000	1,205,000
	4年次	1,140,000	15,000	1,155,000
	(*) 4年次	1,090,000	15,000	1,105,000
	(**) 4年次	1,075,000	15,000	1,090,000
異文化コミュニケーション学部	1年次	1,128,000	10,000	1,138,000
	2年次	1,128,000	3,000	1,131,000
	3年次	1,128,000	3,000	1,131,000
	4年次	1,078,000	1,000	1,079,000
	(*) 4年次	1,028,000	1,000	1,029,000
	(**) 4年次	988,000	1,000	989,000

(\*) : 2012～2014年度以前入学者

(\*\*) : 2011年度以前入学者

(\*\*\*) : 2016～2019年度入学者

(\*\*\*\*) : 2015年度入学者

(単位 円)

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
スポーツウエルネス学部 スポーツウエルネス学科	1年次	1,190,000	15,000	1,205,000

## 備 考

- 1 授業料は在籍料 120,000 円（半期 60,000 円）を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 文学部教育学科初等教育専攻の者は実験・実習費 10,000 円を納めなければならない。
- 3 理学部において、履修要項の定めるところにより実験を履修しない者および在学留学中の者は実験・実習費は不要とする。同様に、物理学科、化学科、生命理学科のすべての年度入学者において、配当年次以外の年次に実験科目を履修する場合は、各実験科目に定められた金額を加えて徴収する。  
理学部物理学科において、2015 年度以前入学者のうち 4 年次卒業研究として理論物理学を選択する者、2016 年度以降入学者のうち 4 年次卒業研究 1、2 として理論物理学を選択する者は、実験・実習費は不要とする。また、理学部物理学科において、3・4 年次配当の選択実験（物理学実験 2）を履修する者については 1 科目あたり 40,000 円を、2 年次必修科目の化学実験（物）・生物学実験（物）を 3 年次以降に履修する者については 1 科目あたり 20,000 円を、それぞれ徴収する。  
理学部化学科において、2016 年度以降入学者のうち、3・4 年次に配当されている選択実験（研究実験 1、研究実験 2）を履修する者については 1 科目あたり 40,000 円を、物理学実験（化）を履修する者については 10,000 円を、生物学実験（化）を履修する者については 1 科目あたり 20,000 円を、それぞれ徴収する。  
理学部生命理学科において、2016 年度以降入学者のうち、1 年次必修科目の物理学実験（生）を 2 年次以降に履修する者については 10,000 円を、化学実験（生）を 2 年次以降に履修する者については 20,000 円を履修年度ごとに徴収する。
- 4 コミュニティ福祉学部の「ソーシャルワーク実習指導 1」若しくは「精神保健福祉援助実習指導 1」を履修する者は、上記納入金に加えて実習登録費 3,000 円を、「ソーシャルワーク実習」を履修する者は、上記納入金に加えて実習費 62,000 円を、「精神保健福祉援助実習」を履修する者は、上記納入金に加えて実習費 50,000 円を納めなければならない。
- 5 NEXUS プログラム 4.5 年コースの 1 年次第 1 学期目の学費は、別表 2 の 5 に定める。
- 6 異文化コミュニケーション学部の海外留学研修を履修する者の授業料は、履修する年次の授業料を減免し、次の通りとする。（2022 年度以降入学者は大学間協定校へ留学する場合を除く）  
2, 3 年次 889,000 円  
※新型コロナウイルス感染拡大に係る特例として、4 年次に海外留学研修を履修する者の授業料は 839,000 円とする。

## 別表 2 の 5（第 41 条関係）

NEXUS プログラム 4.5 年コースの 1 年次第 1 学期目学費

(単位 円)

学部 学科	授業料
文学部	564,000
経済学部	560,500
社会学部	560,500
法学部	560,500
コミュニティ福祉学部	564,000
経営学部	560,500
現代心理学科 心理学科	582,500

現代心理学部 映像身体学科	595,000
------------------	---------

備考

- 1 授業料は在籍料 120,000 円（半期 60,000 円）を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 1年次第2学期目以降は、所属学部学科の授業料を適用する。
- 3 実験・実習費は、1年次第2学期目より、所属学部学科で定められた実験・実習費を徴収することとする。学部カリキュラムへの合流が1年次第2学期目より遅れる場合、学部カリキュラムに合流するまでの期間、実験・実習費は徴収しない。

別表3（第47条関係）

教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門科目の受講料	35,000 円
学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目の受講料	35,000 円
司書の資格取得に必要な図書館に関する科目の受講料	35,000 円
司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目の受講料	15,000 円
社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目の受講料	30,000 円

備考

- 1 社会教育主事課程の講座登録料は、次の学部・学科の学生に限り、20,000 円とする。  
文学部教育学科、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部
- 2 次の者は、講座登録料は不要とする。  
文学部教育学科に所属し、初等教育専攻在籍（予定）の者で、小学校教員免許状取得（予定）の者。  
大学院博士課程後期課程の大学院学生で、大学院博士前期課程（修士課程）在学時に講座登録をし、空白の期間なくして後期課程に進学した者。

別表4 削除

別表5（第49条関係）

項 目	邦 文	英 文
入 学 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
退 学 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
在 学 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
卒 業 (見 込) 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
成 績 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
修 了 証 明 書 (1通につき)	300 円	
単 位 修 得 証 明 書 (1通につき)	300 円	
学 力 に 関 す る 証 明 書 (1通につき)	300 円	
教 育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書 (1通につき)	300 円	
社 会 福 祉 士 指 定 科 目 履 修 (見 込) 証 明 書 (1通につき)	300 円	
精 神 保 健 福 祉 士 指 定 科 目 履 修 (見 込) 証 明 書 (1通につき)	300 円	
公 認 心 理 師 試 験 卒 業 証 明 書 ・ 科 目 履 修 証 明 書 (1通につき)	300 円	
科 目 等 履 修 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
聴 講 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
学 士 号 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円
調 査 書 (1通につき)	300 円	
学 生 証 再 発 行 (1通につき)	2,000 円	
通 学 定 期 乗 車 券 発 行 控 (1通につき)	300 円	
科 目 等 履 修 生 証 再 発 行 (1通につき)	2,000 円	
教 育 職 員 免 許 状 大 学 一 括 申 請 手 数 料 (1通につき)	800 円	
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 習 申 込 手 数 料 (1通につき)	800 円	
学 位 記 等 再 発 行 (1通につき)	20,000 円	
そ の 他 の 証 明 書 (1通につき)	300 円	400 円

別表6（第51条，第52条関係）

選考料	12,000円
登録料	40,000円（年額）
受講料（1単位につき）	36,000円

## 備考

- 第51条第2項の規定による科目等履修生に限り選考料及び登録料は第2年目においてはこれを徴収しない。
- 本学の学部又は大学院研究科を卒業、修了したことがある者及び特別外国人学生として在籍したことがある者の選考料及び登録料については2分の1額とする。
- 他の教育研究機関との協定により科目等履修生を受け入れる場合、本表にかかわらず、当該協定に基づき選考料、登録料及び受講料を協定による金額とすることができる。

別表7（第1条関係）

学部	教育研究上の目的
文学部	文学部は、世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや事象に触れる教育研究を通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされ、主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人間を育てることを目的とする。
経済学部	経済学部は、教育研究を通じて、幅広い視野と柔軟な頭脳をもって、変動する経済社会に対応できる、自立的な思考能力をもった人材を社会に送り出すことを目的とする。
理学部	理学部は、教育と研究を通じて「科学の専門性を持った教養人」を育成することを目的とする。具体的には「科学の専門知識を有し、専門分野を中心とした領域での課題解決能力を発揮する人材」、「これらの知識や能力を大学院教育によって更に高度に発展させようという人材」、加えて、「自信と誇りを持って社会に出て、大学で学んだ科学的考え方を活用できる人材」の育成をする。
社会学部	建学の精神“PRO DEO ET PATRIA”（普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために尽くす）にもとづき、社会学及び関連領域の学修をつうじて、社会の問題を発見し、分析し、提言できる人間を育てる。
法学部	法学部は、法学・政治学の教育研究を通じて、法曹・行政・企業・ジャーナリズム・政治・NPOなど多様な分野でリーダーシップをとり、社会や組織の形成と発展を担う人材の育成を目的とする。
観光学部	観光学部は、観光関連分野に関する教育研究を通じて、広範囲で高度な学識を持ち、諸問題の解決を担う総合的な判断力と優れたリーダーシップを備えた有為な人材を育成することを目的とする。
コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部は、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。
経営学部	経営学部は、教育研究を通じて、価値観が多様化し急変する現代社会において、明確なビジョンと高潔さを有し、持続可能な社会の構築に向けて、経営学に関する専門知識を生かしつつリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的とする。

現代心理学部	現代心理学部は「人間とは何か」という古くからの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学の教育研究を通じて、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究することをその目的とする。
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学部は、変化を続ける世界の中で、複数の視点からものごとを考え、柔軟な思考力をもって実践的に問題と向き合うことによって、多様で「異なる」他者と共生し、持続可能な未来を創ることのできる人材を育成する。
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学部は、「すべての人の生きる歓びのために」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で活力に満ちたウエルネス社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。

別表8（第5条の2関係）

登録料	10,000円(年額)
-----	-------------

## (2) 立教大学大学学則変更事項を記載した書類

### ○変更の事由

2023年4月から、スポーツウエルネス学部を新設することに伴い、コミュニティ福祉学部の収容定員を変更するため。

### ○変更点

#### ①改正履歴

1. 改正履歴に「2023年4月1日」を追加

#### ②第3条（学部、学科等）

1. 表のうち、コミュニティ福祉学部福祉学科を以下のとおり変更
  - ・入学定員 130名
  - ・収容定員 520名
2. 表のうち、コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科を以下のとおり変更
  - ・入学定員 220名
  - ・収容定員 880名
3. 表のうち、スポーツウエルネス学科を「募集停止」に変更
4. コミュニティ福祉学部の計を以下のとおり変更
  - ・入学定員 350名
  - ・収容定員 1,400名
5. 表に以下を追加
  - ・学部 スポーツウエルネス学部
  - ・学科 スポーツウエルネス学科
  - ・入学定員 230名
  - ・収容定員 920名
6. 学部全体の合計を以下のとおり変更
  - ・入学定員 4,797名
  - ・収容定員 19,188名

#### ③第5条（学士の学位）

1. 第4項の表に以下を追加
  - ・学部 スポーツウエルネス学部
  - ・学科 スポーツウエルネス学科
  - ・専攻分野名 スポーツウエルネス学

#### ④第11条（教育職員免許状関係）

1. 第2項の表に以下を追加
  - ・学部 スポーツウエルネス学部
  - ・学科 スポーツウエルネス学科
  - ・種類・教科－中学校教諭専修免許状 保健体育
  - ・種類・教科－高等学校教諭専修免許状 保健体育

⑤新第 13 節及び第 18 条の 7 の追加

1. 第 13 節及び第 14 節を、それぞれ第 14 節及び第 15 節とする。
2. 第 18 条の 6 の後に、第 13 節及び第 18 条の 7 を加える。

⑥附則

1. 施行期日（2023 年 4 月 1 日）を追加

⑦別表 1（第 13 条―第 19 条関係）（授業科目等）

1. 「Ⅷ コミュニティ福祉学部」―「(1) 福祉学科専門教育科目」及び「(2) コミュニティ政策学科専門教育科目」を変更
2. 「Ⅻ 学芸員課程、司書、司書教諭及び社会教育主事」及び「ⅩⅢ 日本語教育センター」をそれぞれ「ⅩⅢ 学芸員課程、司書、司書教諭及び社会教育主事」及び「ⅩⅣ 日本語教育センター」とする。
3. 「Ⅻ スポーツウエルネス学部」を追加

⑧別表 2 の 4（第 41 条関係）

1. 表のうち、「コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科」の 1 年次を削除
2. 表に「スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科」を追加

⑨別表 7（第 1 条関係）（教育研究上の目的）

1. 表にスポーツウエルネス学部を追加

(3) 立教大学大学学則変更部分の新旧対照表

(新)	(旧)
<p>施行 昭和 24 年 4 月 1 日 (略) 2022 年 4 月 1 日 <u>2023 年 4 月 1 日</u></p> <p>第 1 章 総則 (略) (学部, 学科等)</p> <p>第 3 条 (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>(学士の学位の専攻分野)</p> <p>第 5 条 (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>第 2 章 教育課程 (教育職員免許状の種類)</p> <p>第 1 1 条 <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>第 1 2 節 異文化コミュニケーション学部 第 1 8 条の 6 (略)</p> <p>第 1 3 節 <u>スポーツウエルネス学部</u> 第 1 8 条の 7 <u>スポーツウエルネス学部の専門 教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表 1 のとおりとする。</u></p> <p>第 1 4 節 学芸員, 司書, 司書教諭及び社会教 育主事 第 1 9 条 (略)</p> <p>第 1 5 節 日本語教育センター 第 1 9 条の 2 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>	<p>施行 昭和 24 年 4 月 1 日 (略) 2022 年 4 月 1 日 (新設)</p> <p>第 1 章 総則 (略) (学部, 学科等)</p> <p>第 3 条 (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>(学士の学位の専攻分野)</p> <p>第 5 条 (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>第 2 章 教育課程 (教育職員免許状の種類)</p> <p>第 1 1 条 <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>第 1 2 節 異文化コミュニケーション学部 第 1 8 条の 6 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>第 1 3 節 学芸員, 司書, 司書教諭及び社会教 育主事 第 1 9 条 (略)</p> <p>第 1 4 節 日本語教育センター 第 1 9 条の 2 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>



附 則	附 則
本学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。	本学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。
<u>附 則</u>	(新設)
<u>本学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。</u>	
別表 1 (第 13 条—第 19 条関係)	別表 1 (第 13 条—第 19 条関係)
(略)	(略)
VIII コミュニティ福祉学部	VIII コミュニティ福祉学部
(1) 福祉学科専門教育科目	(1) 福祉学科専門教育科目
1 必修科目	1 必修科目
<u>基礎演習 (学びの技法を含む)</u> 2	<u>社会福祉の原理と政策 1</u> 2
<u>社会福祉の原理と政策 1</u> 2	<u>基礎演習 (学びの技法を含む)</u> 2
<u>社会福祉入門演習</u> 2	<u>社会福祉入門演習</u> 2
<u>社会問題のインターセクショナルリティ</u> 2	<u>社会問題のインターセクショナルリティ</u> 2
2 選択科目	<u>2 選択科目</u>
<u>① 専門基礎科目</u>	<u>① 学部共通科目</u>
<u>異文化スタディ</u> 2	<u>ノーマライゼーション論</u> 2
<u>情報処理 1</u> 2	<u>情報処理 1</u> 2
<u>情報処理 2</u> 2	<u>情報処理 2</u> 2
<u>ノーマライゼーション論</u> 2	<u>ウエルネス福祉演習</u> 2
<u>社会福祉とキャリア形成</u> 2	<u>キャリア形成論 1</u> 2
<u>家族をめぐる福祉問題</u> 2	<u>キャリア形成論 2</u> 2
<u>現代社会とケアシステム</u> 2	<u>ウエルネス福祉論</u> 2
<u>ソーシャルワークの理論と方法 1</u> 2	<u>現代キリスト教人間学</u> 2
<u>メンタルヘルスと福祉</u> 2	<u>社会調査法</u> 2
<u>ソーシャルワークの基盤と専門職 1</u> 2	<u>社会福祉調査の基礎</u> 2
<u>ソーシャルワークの基盤と専門職 2</u> 2	<u>人権論</u> 2
<u>児童福祉論</u> 2	<u>福祉文化論</u> 2
<u>高齢者福祉論</u> 2	<u>生涯スポーツ論</u> 2
<u>障害者福祉論</u> 2	<u>情報処理 3</u> 2
<u>社会保障総論</u> 2	<u>情報処理 4</u> 2
	<u>グローバル社会で活躍するための英語 1</u> 2
	<u>グローバル社会で活躍するための英語 2</u> 2
<u>② 専門応用科目</u>	<u>高齢社会システム論</u> 2
<u>グローバル社会で活躍するための英語 (福祉系)</u> 2	<u>ジェンダー論</u> 2
<u>現代コミュニティ福祉学特別講義 (福祉系)</u> 2	<u>障害学入門</u> 2
	<u>家族社会学</u> 2

海外留学・海外インターンシップを目指す人への	コミュニティ福祉とキリスト教	2
英語（福祉系）	社会保障総論	2
英語で学ぶ海外の福祉の現状	人間心理の深層	2
人権論	日本の文化と思想	2
福祉文化論	発育・発達・加齢論	2
社会福祉調査の基礎	コミュニティ平和論	2
ジェンダーとセクシュアリティ入門	家族心理学の基礎	2
障害学入門	ファシリテーション論	2
社会福祉発達史 1	ライフサイクルの心理学	2
社会福祉発達史 2	リスクマネジメント論	2
心理学理論と心理的支援	セクソロジー	2
社会理論と社会システム	グリーフスタディ	2
医学概論	アジアの宗教と文化	2
子ども理解と子育て支援論	社会福祉発達史 1	2
貧困に対する支援	社会福祉発達史 2	2
高齢者福祉実践論	地域コミュニティと生協	2
地域福祉論 1	異文化スタディ	2
地域福祉論 2	現代コミュニティ福祉学特別講義 A	2
女性福祉論	現代コミュニティ福祉学特別講義 B	2
保健医療と福祉	心理学理論と心理的支援	2
発達障害支援論	社会理論と社会システム	2
ソーシャルワークの理論と方法 2		
ソーシャルワークの理論と方法 3	② 学科科目	
社会保障論	A 専門基礎科目	
刑事司法と福祉	家族福祉論	2
Human Diversity and Social Justice in Social	福祉機器論	2
Work	ソーシャルワークの理論と方法 1	2
権利擁護を支える法制度	精神保健福祉の原理 1	2
社会福祉の原理と政策 2	介護概論	2
ソーシャルワークの理論と方法 4	発達障害論	2
福祉マネジメント論	ソーシャルワークの基盤と専門職 1	2
福祉情報と ICT	ソーシャルワークの基盤と専門職 2	2
ケアマネジメント論	社会福祉法制	2
福祉学特論	児童福祉論	2
医療ソーシャルワーク実践論	高齢者福祉論	2
支援者支援論：ストレスマネジメントを学ぶ	障害者福祉論	2
セルフヘルプグループ論	B 専門基幹科目	
多文化ソーシャルワーク論	貧困に対する支援	2
比較福祉国家論	高齢者福祉実践論	2

ケアの倫理と社会福祉	2	地域福祉論 1	2
社会福祉調査実践論	2	女性福祉論	2
災害福祉論	2	介護技術論	2
居住福祉論	2	ソーシャルワークの理論と方法 2	2
教育福祉論	2	ソーシャルワークの理論と方法 3	2
ソーシャルワーク演習	2	精神医学 1	2
ソーシャルワーク演習 (専門) 1	3	精神医学 2	2
ソーシャルワーク実習指導 1	1	精神保健福祉の原理 2	2
インターンシップ	4	精神保健福祉制度論	2
ソーシャルワーク実習指導 2	4	保健医療と福祉	2
ソーシャルワーク実習	5	ソーシャルワークの理論と方法 (精神) 1	2
ソーシャルワーク演習 (専門) 2	4	福祉環境論	2
キャリア形成演習	4	家族臨床心理学	2
卒業研究	6	児童福祉実践論	2
卒業研究指導演習	2	障害幼児ソーシャルワーク論	2
		社会保障論	2
③ 専門関連科目		地域福祉論 2	2
心理学 1	2	精神障害リハビリテーション論	2
心理学 2	2	海外留学・海外インターンを目指す人への英語	
生涯学習概論 1	2	(福祉系)	2
生涯学習概論 2	2	英語で学ぶ海外の福祉の現状	2
生涯学習支援論 1	2	医学概論	2
生涯学習支援論 2	2	ソーシャルワーク演習	2
社会教育経営論 1	2	ソーシャルワーク演習 (専門) 1	3
社会教育経営論 2	2	精神保健福祉援助演習 1	3
		刑事司法と福祉	2
		精神保健福祉援助実習指導 1	1
		ソーシャルワーク実習指導 1	1
		Human Diversity and Social Justice in Social Work	2
		C 専門展開科目	
		権利擁護を支える法制定	2
		社会福祉の原理と政策 2	2
		福祉マネジメント論	2
		福祉情報論	2
		福祉産業論	2
		ケアマネジメント論	2
		リハビリテーション論	2
		医療ソーシャルワーク実践論	2

	精神保健学 1	2
	精神保健学 2	2
	老年臨床心理学	2
	福祉学特論	2
	福祉社会論	2
	家族援助論	2
	雇用と福祉	2
	ボランティア論	2
	メンタルマネジメント	2
	インターンシップ	2
	ソーシャルワーク実習指導 2	4
	精神保健福祉援助実習指導 2	4
	ソーシャルワーク実習	5
	精神保健福祉援助実習	4
	ソーシャルワーク演習（専門） 2	4
	キャリア形成演習	4
	精神保健福祉援助演習 2	4
	ソーシャルワークの理論と方法（精神） 2	2
	ソーシャルワークの理論と方法 4	2
	卒業研究	6
	卒業研究指導演習	2
	<u>③ 専門関連科目</u>	
	心理学 1	2
	心理学 2	2
	生涯学習概論 1	2
	生涯学習概論 2	2
	生涯学習支援論 1	2
	生涯学習支援論 2	2
	社会教育経営論 1	2
	社会教育経営論 2	2
	<u>3 随意科目</u>	
	福祉科教育法 1	2
	福祉科教育法演習 1	2
福祉学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門必修科目を 8 単位、専門基礎科目を 16 単位、専門応用科目を 50 単位、自由科目を 24 単位以上、合計 126 単位以上を別に定める方法に従って修得しな	福祉学科は、全学共通科目 28 単位以上、必修科目を 8 単位、学部共通科目を 16 単位、専門基礎科目を 10 単位、専門基幹科目を 24 単位、専門展開科目を 20 単位、自由科目を 20 単位、計 98 単位	

なければならない。ただし、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

(2) コミュニティ政策学科専門教育科目

1 必修科目

① 必修科目 (共通)

基礎演習 (学びの技法を含む)	2
コミュニティ政策学入門	2
社会調査入門	2
コミュニティ学演習 1A	2
コミュニティ学演習 1B	2
政策学演習 1A	2
政策学演習 1B	2
講読演習 A	2
講読演習 B	2
社会調査実習	4

② 必修科目 (コミュニティ学専修)

コミュニティ学入門演習	2
-------------	---

③ 必修科目 (政策学専修)

政策学入門演習	2
---------	---

2 選択科目

① スタディスキル科目

統計学入門	2
リサーチ・デザイン	2
質的リサーチ	2
データ分析入門	2
データ分析法	2
キャリアデザイン	2
政策分析のメソドロジー	2
情報処理 1	2
情報処理 2	2

以上、合計 126 単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目から 20 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

(2) コミュニティ政策学科専門教育科目

1 必修科目

基礎演習 (学びの技法を含む)	2
コミュニティ政策学入門	2
コミュニティ福祉学	2
統計学入門	2
フィールドスタディ	4

2 選択科目

① 学部共通科目

ノーマライゼーション論	2
情報処理 1	2
情報処理 2	2
ウエルネス福祉演習	2
ウエルネス福祉論	2
現代キリスト教人間学	2
社会調査法	2
社会福祉調査の基礎	2
人権論	2
福祉文化論	2
生涯スポーツ論	2
情報処理 3	2
情報処理 4	2
キャリア形成論 1	2
キャリア形成論 2	2
グローバル社会で活躍するための英語 1	2
グローバル社会で活躍するための英語 2	2
高齢社会システム論	2
ジェンダー論	2
障害学入門	2
家族社会学	2

情報処理 3	2	コミュニティ福祉とキリスト教	2
情報処理 4	2	社会保障総論	2
異文化スタディ	2	人間心理の深層	2
グローバル社会で活躍するための英語 (コミュニティ政策系)	2	日本の文化と思想	2
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語 (コミュニティ政策系)	2	発育・発達・加齢論	2
英語で学ぶコミュニティ政策	2	コミュニティ平和論	2
現代コミュニティ福祉学特別講 (コミュニティ政策系)	2	家族心理学の基礎	2
英語で学ぶ社会問題	2	ファシリテーション論	2
		ライフサイクルの心理学	2
		リスクマネジメント論	2
		セクソロジー	2
		グリーフスタディ	2
② 専門基礎科目		アジアの宗教と文化	2
コミュニティ福祉とキリスト教	2	社会福祉発達史 1	2
少子高齢社会論	2	社会福祉発達史 2	2
国際NGO論	2	異文化スタディ	2
現代コミュニティ論	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 A	2
貧困と格差	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 B	2
コミュニティ・ビジネス	2	心理学理論と心理的支援	2
持続可能な福祉コミュニティ	2	社会理論と社会システム	2
社会問題の社会学	2		
福祉社会論	2	② 学科科目	
フィールドワーク入門	2	A 専門基礎科目	
公共空間論	2	少子高齢社会論	2
地域学への招待	2	家族政策	2
コミュニティ開発論	2	国際NGO論	2
地方自治論	2	現代コミュニティ論	2
政策学の基礎知識	2	市民参加論	2
経営組織論	2	地方自治論	2
ボランティア・NPO論	2	リサーチ方法論 1	2
サービスラーニング論	2	政策学の基礎知識	2
若者政策	2	社会政策	2
日本近現代史	2	経営組織論	2
地域社会と法	2	文化政策	2
地域社会と経済	2	地方財政論	2
地域社会と政治	2		
地域社会と労働	2	B 専門基幹科目	
		政策科学	2
③ 専門応用科目		福祉制度論	2
A コミュニティ学専修		健康政策	2

現代キリスト教人間学	2	スポーツ政策	2
いのちの倫理学	2	国際経済論	2
生活困窮者支援	2	逸脱と紛争の修復	2
日本の文化とコミュニティ	2	エスニシティ論	2
公共哲学	2	余暇生活論	2
コミュニティと福祉	2	まちづくり論	2
まちづくり論	2	コミュニティ・ビジネス	2
国際福祉論	2	質的リサーチ	2
社会開発論	2	リサーチ方法論 2	2
Global Society and Local Communities	2	ソーシャルサポート論	2
都市と地域	2	リーダーシップ論	2
シェアライフ論	2	持続可能な福祉コミュニティ	2
社会運動論	2	社会問題の社会学	2
いのちの尊厳とジェンダー	2	福祉心理学入門	2
差別論	2	地域経済論	2
地球コミュニティ論	2	行政学	2
家族社会学	2	国際福祉論	2
コミュニティ心理学	2	海外留学・海外インターンを目指す人への英語 (コミュニティ政策系)	2
国際平和論	2	英語で学ぶコミュニティ政策	2
ファシリテーション論	2	いのちの倫理学	2
比較宗教学	2	Global Society and Local Communities	2
アートとコミュニティ	2		
現代生活学	2		
国際経済論	2	C 専門展開科目	
国際移動論	2	政策過程論	2
多文化共生論	2	社会開発論	2
自然災害論	2	住宅政策	2
村落社会論	2	教育政策	2
地域交通論	2	災害心理学	2
現代環境論	2	多文化社会論	2
地域地理学	2	福祉社会論	2
ファンディング論	2	自治体政策論	2
インターンシップ	4	パートナーシップ論	2
コミュニティ学演習 2A	2	ボランティア論	2
コミュニティ学演習 2B	2	NPO論	2
卒業論文	6	障害者スポーツ論	2
		障害者スポーツ実践論	2
B 政策学専修		データ分析法	2
政策科学	2	コミュニティ人間形成論	2
地方財政論	2	家族援助論	2

コミュニティ人間形成論	2	雇用と福祉	2
福祉経済学	2	公共哲学	2
行政学	2	インターンシップ	4
政策過程論	2	コミュニティスタディ	4
市民教育論	2	社会調査実習	4
自治体政策論	2	卒業研究	6
福祉政治学	2	卒業研究指導演習	2
パートナーシップ論	2		
社会的連帯経済論	2		
社会教育論	2		
政策評価論	2		
コミュニティ・オーガナイズング論	2		
オンブズマンと市民参加	2		
Introduction to Local Governance	2		
福祉制度論	2		
経営戦略論	2		
居住福祉	2		
グローバリゼーション論	2		
協同組合論	2		
NPO マネジメント論	2		
社会思想史	2		
マス・コミュニケーション論	2		
現代資本主義論	2		
ジェンダー政策論	2		
契約と法	2		
政策法務	2		
地域経営論	2		
地方自治法	2		
都市計画論	2		
比較政治経済	2		
インターンシップ	4		
政策学演習 2A	2		
政策学演習 2B	2		
卒業論文	6		
④ 専門関連科目		② 専門関連科目	
社会学 1	2	法学 1	2
社会学 2	2	法学 2	2
心理学 1	2	政治学	2
心理学 2	2	経済学	2



法学1	2	社会学1	2
法学2	2	社会学2	2
政治学	2	心理学1	2
経済学	2	心理学2	2
生涯学習概論1	2	生涯学習概論1	2
生涯学習概論2	2	生涯学習概論2	2
生涯学習支援論1	2	生涯学習支援論1	2
生涯学習支援論2	2	生涯学習支援論2	2
社会教育経営論1	2	社会教育経営論1	2
社会教育経営論2	2	社会教育経営論2	2
3 随意科目		3 随意科目	
社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2
<u>コミュニティ政策学科コミュニティ学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目（共通）を10単位、専門必修科目（コミュニティ学専修）を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。</u>		<u>コミュニティ政策学科は、全学共通科目28単位以上、必修科目を12単位、学部共通科目を16単位、専門基礎科目を10単位、専門基幹科目を12単位、専門展開科目を28単位、自由科目を20単位、計98単位以上、合計126単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目から20単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。</u>	
<u>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（コミュニティ学専修）から28単位以上を修得する必要がある。</u> <u>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。</u>			
<u>なお、専門必修科目（共通）のうち、コミュニティ学演習1A・B（政策学演習1A・B）、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。</u> <u>コミュニティ政策学科政策学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目（共通）を10単位、専門必修科目（政策学専修）を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を別に</u>			

<p>定める方法に従って修得しなければならない。</p> <p><u>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（政策学専修）から28単位以上を修得する必要がある。</u></p> <p><u>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。</u></p> <p><u>なお、専門必修科目（共通）のうち、政策学演習 1A・B（コミュニティ学演習 1A・B）、講読演習 A・B、社会調査実習から4 単位を選択必修とする。</u></p> <p>XI 異文化コミュニケーション学部 (略)</p> <p>XII <u>スポーツウエルネス学部</u></p> <p><u>(1) スポーツウエルネス学科専門教育科目</u></p> <p><u>1 必修科目</u></p> <table border="1"> <tr><td>基礎演習（学びの技法を含む）</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツウエルネス学入門</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツマンシップ論</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツリーダーシップ論</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツウエルネスワークショップ A</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツウエルネスワークショップ B</td><td>2</td></tr> <tr><td>スポーツウエルネスワークショップ C</td><td>2</td></tr> <tr><td>卒業研究指導演習</td><td>2</td></tr> <tr><td>卒業研究（ベーシックコース）</td><td>2</td></tr> <tr><td>卒業研究（アドバンストコース）</td><td>8</td></tr> </table> <p><u>2 選択科目</u></p> <p>① <u>専門基礎科目</u></p> <table border="1"> <tr><td>運動方法学演習 1</td><td>2</td></tr> <tr><td>運動方法学演習 2</td><td>2</td></tr> <tr><td>運動方法学演習 3</td><td>2</td></tr> <tr><td>運動方法学演習 4</td><td>2</td></tr> <tr><td>運動方法学演習 5</td><td>2</td></tr> <tr><td>運動方法学演習 6</td><td>2</td></tr> </table>	基礎演習（学びの技法を含む）	2	スポーツウエルネス学入門	2	スポーツマンシップ論	2	スポーツリーダーシップ論	2	スポーツウエルネスワークショップ A	2	スポーツウエルネスワークショップ B	2	スポーツウエルネスワークショップ C	2	卒業研究指導演習	2	卒業研究（ベーシックコース）	2	卒業研究（アドバンストコース）	8	運動方法学演習 1	2	運動方法学演習 2	2	運動方法学演習 3	2	運動方法学演習 4	2	運動方法学演習 5	2	運動方法学演習 6	2	<p>XI 異文化コミュニケーション学部 (略)</p> <p>(新設)</p>
基礎演習（学びの技法を含む）	2																																
スポーツウエルネス学入門	2																																
スポーツマンシップ論	2																																
スポーツリーダーシップ論	2																																
スポーツウエルネスワークショップ A	2																																
スポーツウエルネスワークショップ B	2																																
スポーツウエルネスワークショップ C	2																																
卒業研究指導演習	2																																
卒業研究（ベーシックコース）	2																																
卒業研究（アドバンストコース）	8																																
運動方法学演習 1	2																																
運動方法学演習 2	2																																
運動方法学演習 3	2																																
運動方法学演習 4	2																																
運動方法学演習 5	2																																
運動方法学演習 6	2																																

運動方法学演習 7	2
運動方法学演習 8	2
運動方法学演習 9	2
運動方法学演習 1 0	2
運動方法学演習 1 1	2
運動方法学演習 1 2	2
運動方法学演習 1 3	2
運動方法学演習 1 4	2
運動方法学演習 1 5	2
運動方法学演習 1 6	2
情報処理 1	2
情報処理 2	2
異文化スタディ	2
キャリア形成論	2
ウエルネス科学総論	2
スポーツ科学総論	2
運動方法学	2
生涯スポーツ論	2
運動生理学	2
生理学	2
運動処方・療法	2
解剖学 1	2
解剖学 2	2
アスレティックトレーナーの役割	2
ウエルネスと時間生物学	2
ウエルネス理解のための基礎生命科学	2
環境・サステイナビリティ論	2
ウエルネス理解のための細胞生物学	2
抗加齢医学とウエルネス	2
体育原理・体育史	2
スポーツ教育論	2
データサイエンス概論	2
② 専門基幹科目	
身体文化論	2
発育・発達・加齢論	2
スポーツウエルネス心理学（基礎）	2
ストレングス・コンディショニング論（基礎）	2
	2
運動・スポーツ栄養学（基礎）	2

スポーツ社会学	2
測定評価演習	2
アダプテッド・スポーツ論	2
ダイバーシティ・スポーツ論	2
スポーツ政策	2
健康政策	2
スポーツコーチ学	2
コーチングスキル	2
スポーツ・健康産業論	2
コンディショニングの実際	2
コンディショニング概論	2
アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング概論	2
測定と評価	2
スポーツ医学（外傷・障害）1	2
スポーツ医学（外傷・障害）2	2
コンディショニングの方法	2
アスレティックリハビリテーション実習1	2
スポーツと法	2
生物多様性と人間社会	2
応用生命科学	2
学校保健・学校安全	2
スポーツデータ収集演習	2
インターンシップ	4
インターンシップ実習1	2
インターンシップ実習2	2
③ 専門展開科目	
レクリエーション援助論	2
レクリエーション援助演習	2
メンタルマネジメント	2
スポーツジャーナリズム	2
バイオメカニクス	2
スポーツ倫理学	2
ウェルネスプロモーション論	2
スポーツビジネス論	2
スポーツマネジメント論	2
コミュニティスポーツ論	2
障害者スポーツ論	2
小児保健・精神保健	2
公衆衛生学	2

ユニバーサルスポーツ援助技術演習	2
健康運動指導演習	2
障害者スポーツ実践論	2
リハビリテーション論	2
スポーツコーチング演習	2
専門演習 1	2
専門演習 2	2
スポーツコーチング特論	2
動作分析法演習	2
ダイバーシティ・スポーツ演習	2
生活習慣病の科学	2
運動処方・療法演習	2
スポーツウェルネス心理学（応用）	2
運動・スポーツ栄養学（応用）	2
組織マネジメントサービス論	2
スポーツ行政学	2
アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング 1	2
アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング 2	2
救急処置	2
ストレングス・コンディショニング論（応用）	2
スポーツ医学（内科）	2
アスレティックリハビリテーション実習 2	2
アスレティックリハビリテーション実習 3	2
アスレティックリハビリテーション実習 4	2
運動障害と運動負荷試験	2
スポーツ教材論	2
学校運動部指導論	2
スポーツ人類学	2
スポーツ工学演習	2
スポーツ哲学	2
スポーツデータ解析演習	2
スポーツビジネスコミュニケーション演習	2
④ 専門英語科目	
Quantitative Research Methods in Sport and Exercise	2
Reading and Comprehension in Sport and	

Wellness (Basic)	2
English Communication in Sport 1	2
Introduction to Sport and Wellness Overseas	2
International Society and Sport	2
Comparative Sport Culture	2
Motivational Psychology in Sports and Exercise	2
Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Advanced)	2
English Communication in Sport 2	2
English for Future Careers in Sport and Wellness	2
Contemporary Issues in Global Sports	2
Psychology of Well-Functioning and Performance	2
<u>⑤ 専門関連科目</u>	
心理学 1	2
心理学 2	2
生涯学習概論 1	2
生涯学習概論 2	2
生涯学習支援論 1	2
生涯学習支援論 2	2
社会教育経営論 1	2
社会教育経営論 2	2
<u>3 随意科目</u>	
保健体育科教育法 1	2
保健体育科教育法 2	2
保健体育科教育法演習 1	2
保健体育科教育法演習 2	2
<p>スポーツウエルネス学科の卒業研究ベシックコースは、全学共通科目 28 単位以上、専門必修科目を 14 単位、卒業研究科目を 4 単位、専門基礎科目を 22 単位、専門基幹科目を 12 単位、専門展開科目を 22 単位、専門英語科目を 4 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を修得しなければならない。</p>	

<p><u>卒業研究アドバンストコースは、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 14 単位、卒業研究科目を 10 単位、専門基礎科目を 22 単位、専門基幹科目を 10 単位、専門展開科目を 18 単位、専門英語科目を 4 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を修得しなければならない。</u></p> <p><u>いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。</u></p> <p><u>なお、専門基礎科目のうち、運動方法学演習 1～運動方法学演習 16 から、12 単位を選択必修とする。</u></p> <p><u>XIII 学芸員課程、司書、司書教諭及び社会教育主事</u> (略)</p> <p><u>XIV 日本語教育センター</u> (略)</p> <p>別表 2 の 4 <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>別表 7 (第 1 条関係) (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p>	<p><u>XII 学芸員課程、司書、司書教諭及び社会教育主事</u> (略)</p> <p><u>XIII 日本語教育センター</u> (略)</p> <p>別表 2 の 4 <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p> <p>別表 7 (第 1 条関係) (略) <u>&lt;表は P127 以降参照&gt;</u></p>
---	--

立教大学大学学則第3条及、第5条、第11条、別表2の4及び別表7の変更部分の新旧対照表

(新)					(旧)				
第3条 (学部, 学科等)					第3条 (学部, 学科等)				
学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)		(略)
コミュニティ福祉学部	福祉学科	<u>130名</u>		<u>520名</u>	コミュニティ福祉学部	福祉学科	<u>154名</u>		<u>616名</u>
	コミュニティ政策学科	<u>220名</u>		<u>880名</u>		コミュニティ政策学科	<u>154名</u>		<u>616名</u>
	スポーツウェルネス学科	募集停止				スポーツウェルネス学科	<u>110名</u>		<u>440名</u>
	計	<u>350名</u>		<u>1,400名</u>		計	<u>418名</u>		<u>1,672名</u>
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	(略)		(略)	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	(略)		(略)
	計	(略)		(略)		計	(略)		(略)
スポーツウェルネス学部	スポーツウェルネス学科	<u>230名</u>		<u>920名</u>	(新設)	(新設)	(新設)		(新設)
	計	<u>230名</u>		<u>920名</u>		計	(新設)		(新設)
合計		<u>4,797名</u>	0名	<u>19,188名</u>	合計		<u>4,635名</u>	0名	<u>18,540名</u>



第5条（学士の学位）

学 部	学 科	専 攻 分 野 名
(略)	(略)	(略)
異文化コミュニケーション学部	(略)	(略)
スポーツウェルネス学部	スポーツウェルネス学科	スポーツウェルネス学

第11条（教育職員免許状関係）

学部	学科	種 類 ・ 教 科		
		小学校教諭 1種免許状	中学校教諭 1種免許状	高等学校教諭 1種免許状
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
異文化コミュニケーション学部	(略)	(略)	(略)	(略)
スポーツウェルネス学部	スポーツウェルネス学科		保健体育	保健体育

第5条（学士の学位）

学 部	学 科	専 攻 分 野 名
(略)	(略)	(略)
異文化コミュニケーション学部	(略)	(略)
(新設)	(新設)	(新設)

第11条（教育職員免許状関係）

学部	学科	種 類 ・ 教 科		
		小学校教諭 1種免許状	中学校教諭 1種免許状	高等学校教諭 1種免許状
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
異文化コミュニケーション学部	(略)	(略)	(略)	(略)
(新設)	(新設)		(新設)	(新設)

別表2の4 (第41条関係)

(単位 円)

学部学科	学年	授業料	実験・実習費	合計
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
コミュニティ福祉 学部	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)
スポーツウエルネス 学部	2年次	1,128,000円	15,000円	1,143,000円
スポーツウエルネス 学部	3年次	1,078,000円	15,000円	1,093,000円
スポーツウエルネス 学部	4年次	1,078,000円	15,000円	1,093,000円
スポーツウエルネス 学部	(*)4年次	1,028,000円	15,000円	1,043,000円
スポーツウエルネス 学部	(*)(*)4年次	988,000円	15,000円	1,003,000円
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
異文化 コミュニケーション 学部	(略)	(略)	(略)	(略)
スポーツウエルネス 学部	1年次	1,190,000円	15,000円	1,205,000円
スポーツウエルネス 学部				
スポーツウエルネス 学部				

別表2の4 (第41条関係)

(単位 円)

学部学科	学年	授業料	実験・実習費	合計
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
コミュニティ福祉 学部	1年次	1,128,000円	15,000円	1,143,000円
コミュニティ福祉 学部	2年次	1,128,000円	15,000円	1,143,000円
スポーツウエルネス 学部	3年次	1,078,000円	15,000円	1,093,000円
スポーツウエルネス 学部	4年次	1,078,000円	15,000円	1,093,000円
スポーツウエルネス 学部	(*)4年次	1,028,000円	15,000円	1,043,000円
スポーツウエルネス 学部	(*)(*)4年次	988,000円	15,000円	1,003,000円
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
異文化 コミュニケーション 学部	(略)	(略)	(略)	(略)
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

別表7（第1条関係）		別表7（第1条関係）	
学部	教育研究上の目的	学部	教育研究上の目的
（略）	（略）	（略）	（略）
異文化コミュニケーション学部	（略）	異文化コミュニケーション学部	（略）
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学部は、「すべての人の生きる喜びのために」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で活力に満ちたウエルネス社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。	（新設）	（新設）

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

2023年度からの収容定員を下表のとおりとする。

学部名	学科名	変更前	変更後	増減	備考
		収容定員	収容定員	収容定員	
文学部		3,672	3,672	0	
	キリスト教学科	200	200	0	
	史学科	860	860	0	
	教育学科	404	404	0	
	文学科	2,208	2,208	0	
経済学部		2,736	2,736	0	
	経済学科	1,328	1,328	0	
	会計ファイナンス学科	704	704	0	
	経済政策学科	704	704	0	
理学部		1,168	1,168	0	
	数学科	264	264	0	
	物理学科	308	308	0	
	化学科	308	308	0	
	生命理学科	288	288	0	
社会学部		2,076	2,076	0	
	社会学科	692	692	0	
	現代文化学科	692	692	0	
	メディア社会学科	692	692	0	
法学部		2,340	2,340	0	
	法学科	1,440	1,440	0	
	政治学科	440	440	0	
	国際ビジネス法学科	460	460	0	
観光学部		1,480	1,480	0	
	観光学科	780	780	0	
	交流文化学科	700	700	0	
コミュニティ福祉学部		1,672	1,400	-272	
	福祉学科	616	520	-96	カリキュラム改編
	コミュニティ政策学科	616	880	264	カリキュラム改編
	スポーツウエルネス学科	440	0	-440	学科廃止
経営学部		1,540	1,540	0	
	経営学科	920	920	0	
	国際経営学科	620	620	0	
現代心理学部		1,276	1,276	0	
	心理学科	572	572	0	
	映像身体学科	704	704	0	
異文化コミュニケーション学部		580	580	0	
	異文化コミュニケーション学科	580	580	0	
スポーツウエルネス学部		0	920	920	新学部設置
	スポーツウエルネス学科	0	920	920	
<b>合計</b>		<b>18,540</b>	<b>19,188</b>	<b>648</b>	

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

### ○コミュニティ福祉学部共通

コミュニティ福祉学部は、1998年に「コミュニティ福祉学科」1学科の体制で開設された。その後、福祉を取り巻く時代のニーズに応えるため、2006年に「コミュニティ政策学科」と「福祉学科」の2学科体制を取り、さらに2008年より「スポーツウエルネス学科」を新設して3学科体制となり現在に至っている。この間一貫して、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的として、教育研究を展開してきた。今後も臨床の学を標榜し、社会・生活問題あるいは社会的排除問題の構造・背景や、その解決のアプローチを学ぶ場として、学部の基本理念・目的は堅持していく。

一方で、コミュニティや福祉を巡る状況は刻一刻と変化しており、これに対応する教学改革を進める必要がある。社会福祉領域においては、少子・高齢化の進展と人口減少社会の到来に伴い、高齢者ケアの恒常的な担い手不足、社会的な孤立、暴力や虐待の増加、子ども・若者の貧困問題など、支援を必要とする人々の生活課題はより複雑さを増している。こうした生活課題に対しては、地域包括ケアシステムのように地域で人々のつながりを作り、支える仕組みが構想され、これまでとは異なる問題解決アプローチが模索されている。これに伴い、市民が自ら生活課題や地域課題の解決の担い手として活躍することが期待されているが、反面で、こうした市民をエンパワーメントし、適切なサポートやケアにつなげられる専門職の養成も急務である。

#### （福祉学科）

急速な少子高齢社会の進展と人口減少社会の到来は、あらゆる業界に、従来とは異なる価値転換を求めている。すなわち、社会の周縁に位置づけられやすい人々が、単なる保護の対象ではなく、社会に参画する主体として尊重される社会を構築することが、喫緊の課題となっている。多様な立場の人々が社会参加し、いかに包摂的な社会を創造できるのかが問われており、そのような包摂を基盤とした社会問題の解決を図る専門的な力量が、社会福祉には求められているのである。また、それらの社会問題を解決していくために、地域包括ケアシステムの構築が進められている中で、福祉・保健・医療の連携はますます重要になっている。加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行や災害の多発という時代状況のなかで、社会的リスクに対応する多層的な支援システムの創出や、人々の社会的連帯を醸成する福祉社会の構築が求められている。

このような時代状況や時代的要請に応えるべく、多様なニーズを捉え、どのように問題解決できるのか、その道筋を整える企画立案者（プランナー）や、福祉・保健・医療の連携の要となるコーディネーターやマネジメントを担える近未来のチームリーダーを輩出することは、急務であると考えられる。これは厚生労働省が福祉人材確保対策（資料1）に掲げるように、福祉人材の質的な向上に重点を置く方向性とも合致するものだと考える。本学科はこれまでも、総合大学において100人規模の実習を継続するなどきめ細かな教育を実施し、またリベラルアーツ教育の伝統の下に専門分野の枠を超えた幅広い知識と教養、総合的な判断力と優れた人間性を養い、コミュニティに対する多彩な理解を可能とする人材の養成に注力してきた。今後はこれまで以上に人材の質に着目して、教育を行っていくことが本学科の使命であると考えられる。厚生労働省が示した新しい社会福祉士養成カリキュラムでは、実習時間が60時間増加し、従来の180時間から240時間に改定された。240時間実習を通していかに効果ある教育を提供できるかが問われていることから、より質の高い人材を輩出するため、現在のコミュニティ福祉学部福祉学科の収容定員が616人であるところ、520人とする。

なお、本学科は2017年度から2021年度の入学者の受け入れにおいて、入学定員が154名のところ、

1,287名から2,542名の志願者があり**(資料2)**、このことから本学科が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

#### (コミュニティ政策学科)

グローバリゼーションと人口急減の奔流のなかで、日本社会は大きく転換をしてきている。超高齢化社会の下での介護問題、少子化問題、地域や所得における格差社会の進展、地域生活の困難、人口減少(限界集落)、貧困や社会的排除の拡大といった多くの危機、深刻な問題が数多く立ち現れ、それらは日々の生活に暗い影を落とし、個々人の暮らしを脅かしている。

こうした中、「個人化」の進んだ現代社会において、多様な主体間の協働関係を形成し、持続可能な地域社会のあり方を社会科学的に構想することは、喫緊の課題である。また、公共性の捉え方の変化に関しては、高校の学習指導要領において「現代社会」に代わり「公共」が設けられたことに端的にあらわれており、公共性はもはや政府を主たる担い手とするのではなく、地域社会において、現実の社会問題・生活問題に直面している市民を起点として形づくられていくことが求められている。市民社会を支えるシティズンシップ教育を通じて、多様なアクターが協働して民主的ガバナンスをつくり出す仕組みや条件を構想し、このために必要な政策を提案・実施できる人材の養成は急務であると考えます。

加えて、今日、人々が生活を共にする場であるコミュニティにおける生活問題への日常的な対応がますます重要になってきている。こうした状況を踏まえれば、①コミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深め、②生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析し、③今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を備える人材の養成は急務であると考えます。

こうした課題認識は、第32次地方制度調査会による「2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申」(令和2年6月26日)**(資料3)**における、「住民の多様な意見を反映しながら合意形成を行う(P4)」、「コミュニティの強化や新たな形成が課題となる。(P10)」、「多様な層の住民の参画(P22)」等の記載とも通底するものである。

なお、本学科は2017年度から2021年度の入学者の受け入れにおいて、入学定員が154名のところ、1,410名から2,326名の志願者があり**(資料2)**、本学科が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

以上を踏まえ、現在のコミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の収容定員が616人であるところ、本学科の収容定員を880人とする。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、「健康運動」と「スポーツパフォーマンス」の2つの視点から、運動とスポーツのあり方について総合的にアプローチを行い、現代人のウエルネスの向上に寄与するとともに、全ての人が心身ともに楽しく健康に生活できるウエルネス社会の構築を目指して2008年に創設された。ウエルネスとは、心身の健康だけでなく、価値観や生きがいなども含めた多面的、総合的な健康観であり、スポーツとは、日常的に楽しみとして行われるウォーキングや体操等から競技的なスポーツを含む幅広い概念である。スポーツウエルネス学は、従来のスポーツ科学とウエルネス科学とを融合した学問であり、近年、スポーツウエルネス学への期待は、以下のとおり益々高まってきている。

生物としての人間は、運動を不可避免的に要請されるが、モータリゼーションの発達、人間から運動を遠ざけ、結果、運動不足を起因とする生活習慣病を蔓延させてきた。超高齢社会を迎えた日本におい

て、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウェルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題ともなっている。その中であって、心身のバランスを整え、人々のウェルネス醸成に貢献でき得るスポーツウェルネス学は、他大学でも重要かつユニークなものとして取り扱われている（資料4）。

近年、スポーツをめぐる世界的状況は、目まぐるしく変化しており、2021年に東京で開催されたオリンピック・パラリンピックをはじめとするメガ・スポーツイベントは、世界規模での経済的、社会的な影響を与え、スポーツが世界のグローバル化を牽引する状況となっている。換言すれば、スポーツは、身体的諸能力の洗練によって人間の可能性を開花させるものとして、また、人種、ジェンダー、年齢、言語、障がいの有無等、人間を区別してきた枠組みを身体的コミュニケーションと共感によってつなげる可能性を持つものとして、多様性（ダイバーシティ）に満ちた共生社会の構築とともに地域社会、ひいては国際社会における平和と友好に寄与することが益々期待されている（資料5）。

その一方で、地球規模で自然破壊が進行するなかであって、人と自然との調和に基づくウェルネス社会の実現に向けて、自然環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点からウェルネス文化の再構築が求められている（資料6）。

そのような状況の中、現在、スポーツウェルネス学科では、66科目程度の専門科目（スポーツウェルネス関係の学部共通科目を含む）を展開している。しかしながら、これはスポーツウェルネス学の進展と範囲の拡大を考えた時、十分な配置がなされている状況とは言い難い。例えば、一般的なスポーツ系学部では、130科目を超える専門科目を配置している。従って、この分野に寄せられる社会的要請に応えるべく学問体系を構築するためには、学部として十分な科目群を展開する必要がある。

2008年の創設から13年が経過し、ウェルネス社会の創造に向けてスポーツウェルネス学をさらに深化、発展させることを目的として、スポーツウェルネス学科を改組した新学部を設置する。これからのスポーツウェルネス学の進展と教育という点において、学部にすることでよりスポーツウェルネス学に関する専門科目を配置することができ、十全な研究・教育が可能になるものと期待される。さらに、スポーツ・健康に関する学部・学科は年々増加しており、学部は40程度、学科は250を超えている現状において、文部科学省が策定してきた「スポーツ立国戦略」や、文部科学省が主催する「スポーツの推進に関する特別委員会」で参考意見を求められる「全国体育系大学長・学部長会」には学科単位では参加できないなどの制限があるため、本学のプレゼンスを高めるためにも、本学部を新設する。

また、別途「学生の確保の見通し等を記載した書類」に記載したとおり、本学部を設置する埼玉県内において、学部又は学科名称に「体育」及び「スポーツ」を含む大学8校（本学、早稲田大学、大東文化大学、平成国際大学、駿河台大学、東洋大学、東京国際大学及び尚美学園大学）の入学定員の合計が1,345人となっているところ、当該学部又は学科の志願者数は10,000人を超えており、本学部が実施する教育研究領域は受験生からの一定のニーズがあるといえる。

以上を踏まえ、本学が目指す、豊かなスポーツパーソンシップを基盤とし、全ての人のウェルネス向上とウェルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウェルネス学の知見と力能を有する人材をより多く輩出するため、現在のコミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科の収容定員が440人であるところ、本学部の収容定員を920人とする。

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### （ア）教育課程の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部

##### （福祉学科）

時代的要請を踏まえた学科専門科目の再編を行う。社会福祉士養成課程の指定科目の教育内容の充実のもとより、指定科目以外にも社会福祉をより深く学び実践力を強化できる専門科目を配置するとともに、キャリア支援教育の充実を図る。専門科目の具体例を以下に示す。

科目名	概要
社会福祉とキャリア形成	社会福祉の担い手としていかなる専門職があり、いかなる機能を発揮しているのかを学ぶことを通して、自らのキャリアを考えるとともに、自己を活用する力を醸成する。
家族をめぐる福祉問題	現代の家族変動がいかなる状況にあるのか、また、家族を基盤としていかなる福祉問題が発生しているのかを学び、ファミリー・サポートの方法論を具体的事象に即して修得する。
メンタルヘルスと福祉	メンタルヘルスに起因する精神疾患をはじめ、心の健康を保持するために必要な支援について、精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの理念や実践方法、機関連携等を学び、理解を深める。
ジェンダーとセクシュアリティ	ジェンダーおよびセクシュアリティの視点から人間存在の多様性への理解を深めると共に、ジェンダー平等に向けた取組みの実際を国際的な動向をふまえて学ぶ。
子ども理解と子育て支援論	現代社会における子どもの育ちや子育て家庭の動向を理解したうえで、子どもおよび保護者にどのような支援が求められるのか、コミュニティによるサポートを射程に入れ、修得する。

また、今後も社会福祉士の養成を行う国家資格課程への対応を行うため、厚生労働省による近年の改正方針に沿って、実習時間数の増加や演習の増設などに対応するカリキュラムとする。現場実習が 240 時間に拡大されることから、実習先の新規開拓、実習期間中の実習巡回訪問指導回数増加、実習関連の教育時間の増大が必須となるため、それらにも適切に対応していく。加えて、「ソーシャルワーク実習」、「ソーシャルワーク演習」、「ソーシャルワーク実習指導」等の科目の設置により、実習・演習にかかわる科目間の連動を図り、教育効果の向上に努める。

以上により、教育課程のさらなる充実を図る。これらにより定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

##### （コミュニティ政策学科）

前述したような時代的要請を踏まえ、新たに政策学専修とコミュニティ学専修の 2 つのコースに分け、より焦点化した教育を展開しつつ、両専修の連携も担保する教育課程とする。これは従来、「コミュニティ人間学」、「コミュニティ政策学」及び「コミュニティ形成学」として展開していた 3 領域を発展的に改組して位置づけるものである。専修とすることで、学びの方向性や課程を学生により分かりやすく明示するとともに、現在約 120 科目の専門科目の展開を 20 科目程度増加させるなど、教育課程の拡充を図る。これにより定員変更前と比較して同等以上の教育課程を展開できると考える。

政策学専修では、自立した市民の育成を通じて、開かれた社会の実現に必要な政策・仕組みを構想する。そのため、次の点を重視した教育課程を展開する。



- 1) 開かれた公共圏を支える市民として求められる政治的リテラシーや政策的思考の基本となる社会諸科学の基礎概念の習得
- 2) 社会諸問題の背景・構造を理解し、実践知と理論を結びつける社会諸科学の応用的理解と調査技法の習得
- 3) 市民社会を支える市民として実際に現場で実態を学び、そこから実効性ある政策提言を行えるようにするための正課・正課外を統合したフィールド型学習への取り組み

専門科目群に関しては、「市民社会領域」と「ガバナンス領域」で構成し、加えて社会調査法や情報リテラシー、英語など、専門学修に必要なスタディ・スキル、リサーチ・スキルの習得を中心とする「学科共通科目群」を加えた3つにより構成する。また、学科共通科目と同様、両専修で共に学ぶことができるよう設計する。

さらに、地域の諸アクターと協働して問題解決にあたるために必要な知識や現場体験を習得する。

コミュニティ学専修では、グローバルな視野に立った共生社会を創造する内発的なコミュニティの形成を構想する。そのため、次の点を重視して教育課程を展開する。

- 1) コミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深める。
- 2) 生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析する。
- 3) 今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を、演習等を通して養成する。

専門科目群に関しては、「コミュニティ基盤領域」と「コミュニティ実践領域」及び政策学専修と共通に設置される「学科共通科目群」の3つより構成する。また、学科共通科目と同様、各専修の専門科目についても専修の垣根を越えて学ぶことができるよう設計する。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、「健康運動」と「スポーツパフォーマンス」の2つの分野からしょうがいの有無にかかわらず、全ての人に個人の身体的可能性を探る理論と方法論を学ぶカリキュラム体系としていた。一方で、新設する本学部では「スポーツウエルネス学」を教育研究の中心に位置付ける。「スポーツウエルネス学」は、すべての人間の適応可能性を広げ、スポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に寄与するための理論と方法論の構築をめざすスポーツ科学と身体的、精神的障害を予防しながら、幸福で充実した人生を送るために、より創造的に心身の健康を探求し、維持・発展させる理論と方法論の構築をめざすウエルネス科学とを融合させた学問体系であり、スポーツ並びにウエルネスに関わる様々な課題を対象として総合的に研究し、スポーツ推進とウエルネスの向上に寄与することを目的としている。

これらを踏まえ、本学部では、主にスポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に関する教育研究を行うスポーツ分野と主に心身の健康を探求し、維持・発展に関する教育研究を行うウエルネス分野に教育研究分野を区分し、卒業後の進路に関連する、アスリートパフォーマンス、ウエルネススポーツ及び環境・スポーツ教育の3つ人材養成像を掲げる。

以下の3つの人材養成を目的としたカリキュラム体系とし、それらに応じた科目を配置する。

#### <アスリートパフォーマンス>

全ての人間の適応可能性を広げ、アスリートのパフォーマンス向上に寄与するための理論と方法論を構築する。アスレティックトレーニング、スポーツコーチング、パフォーマンス分析のそれぞれの分野

から科目を履修する。

競技スポーツは人間の身体的・精神的な限界に挑戦する営みでもあり、その過程で高いレベルのパフォーマンスが追求されている。パフォーマンスの向上のためには、スポーツ科学の知見が不可欠であることから、スポーツ科学の知見と能力を有し、科学的なサポートを実践できる人材が求められている。そのため、コーチング、パフォーマンス分析、トレーニング論、栄養学、心理学、傷害予防、コンディショニングなどのスポーツ科学的知見を総合的に理解し、アスリートのハイパフォーマンスに貢献できる人材を養成する。

#### <ウエルネススポーツ>

運動・スポーツを通して全ての人のウエルネスを向上するための理論と方法論を構築する。健康づくり運動・スポーツに関する身体科学、運動科学、社会科学を基礎として、健康運動支援、スポーツを通じたコミュニティ形成等のそれぞれの分野から科目を履修する。

少子高齢化社会を乗り越えるためには、高齢者の基礎的な体力向上と生活習慣病の予防、治療に関する運動療法等が不可欠であり、子どもの基礎的な体力低下に歯止めをかけ、運動習慣を身につけさせることが重要である。また、青年期のうつ病者の増大や自殺者数の高止まり等にみられるように、高ストレス社会である現代においていかに心身のバランスを維持し、高度なウエルネスを達成できるかが重要な社会課題となっている。そのため、心身ウエルネスに関する知見を有し、スポーツを通して総合的なQOLの向上とウエルネスの向上に貢献できる人材を養成する。

#### <環境・スポーツ教育>

地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、自然環境や生活環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点を身につけるための理論と方法論の獲得を目指す。また、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を身につけるための理論と方法論を構築する。環境・サステイナブル、スポーツ教育、フィールドのそれぞれの分野から科目を履修する。

自然環境と生活環境が調和したウエルネス社会の実現を目指して、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する知見と能力を有する人材が不可欠である。そのため、環境問題やサステイナビリティ社会に関する知見を有し、スポーツの教育的価値を高め、子どもや運動・スポーツ実施者ファーストの立場から、実施者の主体的な学びに寄与し、スポーツを通じた人間教育に貢献できる人材を養成する。

#### ○全学共通科目

本申請における収容定員の増減は、コミュニティ福祉学部福祉学科(△96)、同コミュニティ政策学科(264)、同スポーツウエルネス学科(△440)及びスポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科(920)であり、合計で収容定員が648人増加することになる。

本学では、全ての学部学生が履修することができる全学共通科目を開講し、全ての学部学生に28単位の修得を卒業要件として求めている。全学共通科目は、各学部ではなく全学共通カリキュラム運営センターが運営しているため、収容定員の増減及び新学部設置による教育課程の変更はない。また、全学共通科目は、言語系(外国語のコミュニケーション能力と異文化対応能力を培うための科目群)と総合系(広い視野と総合的な判断力をベースに、現代に対応した総合的な知性と感性を養うための科目群)に大別されるが、前者のうち英語関連科目のみで1,000以上、後者で700以上(ともにシラバス検索結果/同一科目名称で複数開講している科目を含む。)の多種多様な科目を開講している。本申請により、開講科目の種類を増加させることはないが、少人数で開講している英語必修科目やスポーツ実習科目に

については、開講コマ数を増加する。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

##### ○コミュニティ福祉学部

###### (福祉学科)

専門教育科目は従来、専門必修科目、学部共通科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門自由科目から構成されているところ、専門必修科目、専門基礎科目、専門応用科目、専門自由科目に再編を行う。これにより科目の位置づけを整理・明確化する。

また、従来同様に履修登録上限単位数を設定し、十分な学修時間の確保と計画的な履修につなげるとともに、アカデミックアドバイザー制度及びオフィスアワー制度によって、学生個々の状況に応じた丁寧な相談や助言を行う。さらに定員を減ずることにより、従来以上にきめ細やかな教育・学生サポートが可能となる。

以上により定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

###### (コミュニティ政策学科)

専門教育科目は従来、専門必修科目、学部共通科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門自由科目から構成されているところ、専門必修科目、専門基礎科目、専門応用科目、専門自由科目に再編を行う。これにより科目の位置づけを整理・明確化する。

政策学専修の専門科目群は、それぞれ次のような内容である。知識・スキル・現場体験をそれぞれ習得できるように構成しており、本学サービスラーニング系科目の連携・支援拠点や全国の地域・団体との交流連携拠点を活用し実践力を身に付ける教育方法を取り入れる。

###### 1) 市民社会領域科目群

市民社会領域科目群では、民主主義社会の構成員として自立した判断を行い、政治や社会の公的な意思決定に能動的に参加することのできる人材を育成するために、シティズンシップ教育に関する科目、市民社会の担い手となる市民に必要な知識・スキルに関する科目等を配置する。

###### 2) ガバナンス領域科目群

ガバナンス領域科目群では、単一のアクターによる対応の限界を乗り越え、多様な地域アクターが連携して社会問題の解決に結びつけられるようなローカル・ガバナンスの理論的文脈、制度・政策的条件及び具体的なアクションに必要なアプローチを学ぶ。あわせて、地域の諸アクターと協働して問題解決にあたるために必要な知識や現場体験による技術や技法を習得する。

コミュニティ学専修の専門科目群は、それぞれ次のような内容である。コミュニティに関する知識やコミュニティ実践に関わるスキルを、講義や現場体験を通じてそれぞれ習得できるように構成しており、またすでに連携を行っている東京都豊島区や埼玉県小川町等といったフィールドにおける学びを展開するなど、実践力を身に付ける教育方法を取り入れる。

###### 1) コミュニティ基盤領域科目群

コミュニティ基盤領域科目群では、コミュニティについての諸理論や思想・歴史を習得したうえで、個々のコミュニティにおける生活問題の構造的な背景や実態を分析し、理解することができる科目を配置する。具体的には、現代コミュニティ論、コミュニティ福祉とキリスト教、公共哲学、少子高齢社会論、貧困と格差、いのちの倫理学、福祉社会論などの科目を配置する。

###### 2) コミュニティ実践領域科目群

コミュニティ実践領域科目群では、グローバル化や共生や連帯の取り組みや活動を習得したうえで、個々のコミュニティにおいて多様性を尊重した共生を構想し、実践することを目指した科目

を配置する。国際福祉論、社会開発論、まちづくり論、持続可能な福祉コミュニティ、コミュニティ・ビジネス、シェアライフ論、地元学、生活困窮者支援などの科目を配置する。

また、従来同様に履修登録上限単位数を設定し、十分な学修時間の確保と計画的な履修につなげるとともに、アカデミックアドバイザー制度及びオフィスアワー制度によって、学生個々の状況に応じた丁寧な相談や助言を行う。

以上により定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

## ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

### (コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科との比較)

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科では、全学共通科目及び専門科目に授業科目を大別している。全学共通科目では、言語系科目と総合系科目においては幅広い教養教育を、専門科目においては専門教育を提供する。専門科目は、学年の進行に従って配置し、学習の基盤、学習の核そして問題意識の拡大のため、必修科目（専門必修科目及び卒業研究科目）及び選択科目（専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目及び自由科目）に区分している。

一方、新学部では、全学共通科目及び専門科目の区分、必修科目及び選択科目の別は同様とするが、専門科目の開講数を現在の 66 科目程度から 130 科目程度に倍増させるとともに、専門科目の区分に、「専門英語科目」を新設する。

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科		スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科
全学共通科目（言語系科目及び総合系科目）		全学共通科目（言語系科目及び総合系科目）
専門科目（66 科目程度）		専門科目（130 科目程度）
（必修科目）		（必修科目）
専門必修科目及び卒業研究科目		専門必修科目及び卒業研究科目
（選択科目）	→	（選択科目）
専門基礎科目		専門基礎科目
専門基幹科目		専門基幹科目
専門展開科目		専門展開科目
		専門英語科目
自由科目		自由科目

### (新学部の専門科目の教育方法及び履修指導方法)

#### <専門必修科目>

スポーツウエルネス学分野の基礎理論に関する科目及びスポーツ指導者に求められるコミュニケーション能力及び対人スキルを身につけるために必要な科目を必修科目として配置する。講義科目である「スポーツウエルネス学入門」、「スポーツマンシップ論」及び「スポーツリーダーシップ論」（いずれも 1 年次必修）において、豊かな人間性を基盤とし、全ての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウエルネス学の知見を学ぶ。演習科目である「基礎演習」及び「スポーツウエルネスワークショップ A」（いずれも 1 年次）並びに「スポーツウエルネスワークショップ B」及び「スポーツウエルネスワークショップ C」（いずれも 2 年次）に加え、後述する専門展開科目である「専門演習 1」及び「専門演習 2」並びに後述する卒業研究科目である「卒業研究指導演習（ベシクコース）」又は「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」において、全ての学生が入学から卒業までの 4 年間に亘り、担当教員によるきめ細かい指導のもと、主体的に思考する姿勢や学問研究の方法を身につける体制を整える。

## ＜卒業研究科目＞

本学部を卒業するには、4年次（在学学期7学期以降）において、「卒業研究指導演習（ベーシックコース）」（4単位）又は「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」（10単位）のどちらかを選択し、単位を修得しなければならない。

「卒業研究指導演習（ベーシックコース）」は、自分の問題関心に即して自分の問題意識を掘り下げ、スポーツ分野とウエルネス分野からそれぞれ1つの課題を選出し、論文を作成することを目指す教育プログラムである。

これに対し、「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」は、3年次の「専門演習1」及び「専門演習2」と「卒業研究指導演習」を履修することによって、自分の専門を定めて自分の問題意識を掘り下げ、深く研究を進めて論文を作成することを目指しており、本学部では「卒業研究指導演習（アドバンストコース）」の履修を推奨する。

## ＜専門基礎科目＞

1年次は、専門必修科目の1年次配当科目に加え、学部での学修の基盤となる「専門基礎科目」を学ぶことになるが、現代社会におけるスポーツの概念や背景を概観した後、健康とスポーツに関わる理論と実践、競技力向上や健康増進に貢献するスポーツ科学の理論と実践等を学ぶ、「スポーツ科学総論」及び「ウエルネス科学総論」が代表的な科目と言える。また、専門基礎科目全体では現在の15科目から38科目に増加する。その中でも、「運動方法学演習」が既存の9科目から16科目に増設され、様々な運動種目の特性やその指導法について学ぶことが出来るようになる。

## ＜専門基幹科目＞※1年次履修不可

2年次以降は、学部での学修の核となる「専門基幹科目」を学ぶことになり、各領域に特徴的な科目を配置する。人材養成像に対応する代表的な科目は、アスリートパフォーマンスの「スポーツコーチ学」及び「コーチングスキル」（スポーツ指導者に必要な基本的知識やコミュニケーション能力を学ぶ。）、ウエルネススポーツの「スポーツウエルネス心理学（基礎）」及び「メンタルマネジメント」（的確な意思伝達と傾聴に基づいたコミュニケーション能力を、心理学の理論とロールプレイング等を通して実践的に学ぶ。）並びに環境・スポーツ教育の「発育・発達・加齢論」（発育・発達に関する基礎知識を獲得することにより、スポーツ指導の現場で体づくりを実践するための基礎的な知識を身につける。）である。

また、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養成するべく、理論と実践の相互関係を意識した授業科目を配置する。1年次の「スポーツ科学総論」、「ウエルネス科学総論」、「運動方法学」等で学んだスポーツ・健康に関する基礎的な理論をもとに、選択必修科目である「インターンシップ」、「インターンシップ実習1・2」及び「アスレティックリハビリテーション実習1」による就業体験を通して、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養っていく。また、トレーニング指導に関しては、「ストレングス・コンディショニング論（基礎）」及び「コンディショニング概論」で理論を、「コンディショニングの方法」及び「コンディショニングの実際」で理論と実践を交互に学ぶことで実践力・対応力を高めていく。同様に、コーチングに関しても、「スポーツコーチ学」で理論を、「コーチングスキル」で理論と実践を交互に学ぶことで実践力・対応力を高めていく。

なお、専門基幹科目全体では現在の17科目から30科目に増加する。

## ＜専門展開科目＞※1年次及び2年次履修不可

3年次以降は、これまで学んできた問題意識を拡大するための「専門展開科目」を各領域に配置する。人材養成像に対応する代表的な科目は、アスリートパフォーマンスでは「バイオメカニクス」において、生体力学、運動制御学等の基礎、及び運動の動力源である力の発現とその制御様式を習得するとともに、

「アスレティックリハビリテーション実習2～4」による就業体験を通して、スポーツ指導者としての実践力・対応力を養っていく。また、ウエルネススポーツでは、スポーツを通して地域社会に貢献する姿勢を身につけるために有用である、「コミュニティスポーツ論」を配置し、社会学的又はコミュニティ論的なアプローチにより、社会とスポーツの関係性とそのあり方について学び、今日の社会や地域社会が抱える課題への関心を深める。また、環境・スポーツ教育では、「障害者スポーツ論」、「障害者スポーツ実践論」及び「ユニバーサルスポーツ援助技術演習」を通じて、共生社会・サステナブル社会の構築とスポーツとの関係について理解を深める。さらに、「スポーツ行政学」及び「組織マネジメントサービス」では、スポーツ推進にかかわる行政・組織のあり方とその方法論について学ぶことができる。

加えて、スポーツに関わる法的素養を涵養するための授業科目も配置する。「スポーツと法」では、スポーツに関連する契約法及びスポーツ事故に対処するための不法行為法やスポーツに関する紛争の法的解決手続きを中心に学ぶことにより、スポーツ指導者に求められる法律知識を身につけることができる。「学校運動部指導論」においては、教員の安全配慮義務や教育個人情報取り扱いなど、学校現場で求められる法律知識を学ぶ。また、全学共通科目の「日本国憲法」や「民法入門」の履修を通じて、より一般的な法的素養を習得することができる。

なお、専門展開科目全体では現在の23科目から45科目に増加する。

#### <専門英語科目>

専門英語科目では、スポーツに関わる文化、異文化理解、多元的な視点を学ぶため12科目を新規開講する。さらにその中から4科目を選択必修で課すこととする。少人数クラスでの「聞く・話す・読む・書く・知る」の基本的技能の訓練を通じて、当該言語による専門的または日常的なコミュニケーションを可能にし、異文化対応能力を育成する。英語を通して得た国際的な知見によって、多様な文化を理解し、対応できる。また、自分の専門領域の内容を英語で学ぶ基礎が身につく。

#### ○全学共通科目

全学共通科目は、各学部ではなく全学共通カリキュラム運営センターが運営しているため、収容定員の増減及び新学部設置による教育方法及び履修指導方法の変更はない。

##### (ウ) 教員組織の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部

##### (福祉学科)

現行は大学設置基準の必要専任教員数11人に対して15人の専任教員(教授7人、准教授4人、助教4人)を配置しているところ、定員変更後は必要専任教員数10人に対して15人の専任教員(教授9人、准教授1人、助教5人)を配置する予定であり、よりきめ細やかな教育体制を構築する。これにより定員変更前と比較して、同等以上の教員組織が担保されると考える。

##### (コミュニティ政策学科)

現行は大学設置基準の必要専任教員数11人に対して14人の専任教員(教授6人、准教授5人、助教3人)を配置しているところ、定員変更後は必要専任教員数12人に対して17人の専任教員(教授7人、准教授7人、助教3人)を配置する予定であり、教員組織の拡充を図る。これにより定員変更前と比較して、同等以上の教員組織が担保されると考える。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

##### (現在のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の教員組織)

教授8名(博士6名、修士2名)、准教授4名(博士3名、修士1名)の計12名である。各教員の専門分野は、健康心理学(教授)、スポーツ栄養学(教授)、スポーツ社会学(教授)、コーチング学(教授)、

スポーツ医学（教授）、運動生理学（教授）、ウエルネスジェンダー学（教授）、環境生理学（教授）、グローバルスポーツマネジメント（准教授）、スポーツ工学（准教授）、環境教育学（准教授）、トレーナー科学（准教授）である。教員一人あたりの学生数（S/T比）は36.66人となる。

#### （新学部の教員組織）

教授10名（博士8名、修士2名）、准教授6名（博士4名、修士1名、学士1名）の計16名である。また、さらなる教育研究の充実を図るため、教授3名（博士2名、修士1名）の採用を予定している。採用を予定している教授3名分を含めると、各教員の専門分野は、健康心理学（教授）、スポーツ栄養学（教授）、スポーツ社会学（教授）、コーチング学（教授）、スポーツ医学（教授）、運動生理学（教授）、ウエルネスジェンダー学（教授）、環境生理学（教授）、細胞生物学（教授）、スポーツ心理学（教授）、ウエルネス医学（教授（予定））、体育科教育学（教授（予定））、トレーニング科学（教授（予定））グローバルスポーツマネジメント（准教授）、スポーツ工学（准教授）、環境教育学（准教授）、トレーナー科学（准教授）、スポーツビジネス（准教授）、スポーツ統計学（准教授）、ウエルネス医学（教授）、体育科教育学（教授）、トレーニング科学（教授）である。その他に、助教7名の採用を予定している。専任、特任、助教を含めた教員一人あたりの学生数（S/T比）は35.38人となる。定員の増加に伴い教員数を増加することで、現在（36.66人）と同程度のS/T比になるため、定員変更前と比較して同等以上の教員組織となる。

#### ○全学共通科目

全学共通科目の担当教員は、予め定められた基準に基づいて各学部から選出される専任教員と兼任教員とで構成している。従って、新設するスポーツウエルネス学部が選出の対象となる以外に、本申請による変更はない。

#### （エ）施設・設備の変更内容について

#### ○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

新座キャンパスは校地面積101,271㎡、校舎面積55,879㎡を擁している。新学部の完成年度には、観光学部（収容定員1,480人）、コミュニティ福祉学部（同1,400人）、現代心理学部（同1,276人）、及びスポーツウエルネス学部（同920人）の4学部計5,076人が学ぶことになるが、大学設置基準で求められる校地面積及び校舎面積に照らしても十分な面積である（資料7）。

また、新座キャンパスの図書館には234,547冊（2020年度）、池袋キャンパスの図書館には1,245,560冊（2020年度）を所蔵している。このほか、保存書庫に497,581冊（2020年度）の所蔵がある（資料8）。多くの図書を所蔵していることに加え、所蔵図書は両キャンパス間で貸し出しが可能である。また、特に新座キャンパスの図書館は、閲覧席約470席を有し、1階フロアに閲覧席、PC利用席、キャレル席、書架といった基本機能を集め、2階フロアにはグループ学習室、多目的スタジオ、ラーニング・コモンズ機能を有した学習エリアを設けている。来館型の利用サービスとして1階と2階の機能を明確に区分することで、利用者の多様なニーズにも柔軟に対応し、学習・教育・研究を支えている。夏季休業期間や大学試験実施期間等を除いて、授業が展開される期間は平日最大で8時30分から21時00分まで開館しているほか、日曜日も開館することで利便性にも対応している。また、学内ネットワーク環境を通して、契約データベースなどのオンライン情報資源へのアクセスや、学生向けのオンライン・レポート作成支援など、図書館に出向かなくても利用できる非来館型の利用サービスを整備している。これらのことから、定員の増加後においても、十分な閲覧席、冊数等が担保できるとともに、教育研究活動に支障が生じることはない。

## ○コミュニティ福祉学部

### (福祉学科及びコミュニティ政策学科)

今般の定員変更に関しては、コミュニティ政策学科及び福祉学科の定員変更に加え、従来のスポーツウエルネス学科が新たな学部へと改組し、コミュニティ福祉学部が2学科へと再編されるものであり、結果として学部全体の収容定員は従来よりも減少する。よって、教室等の施設について、定員変更後も不足は生じない。また、設備についても、定員変更後に支障が生じない。以上より、定員変更前と比較して同等以上の内容を担保できると考える。

## ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

### (現在のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の施設・設備の利用状況)

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科を設置している新座キャンパスは、校地（教育研究ゾーン）と運動場ゾーンが区分されている。教育研究ゾーンには、研究棟、講義棟、図書館、学生ホール、食堂の各施設がオープンな雰囲気配置されているほか、駐車場・駐輪場、緑地園地、憩いの広場等が整備されている。学生の休息、その他の利用のための適当な空地は、中央広場、憩いの広場等において、十分に確保されている。運動場用地には全天候型の本格的な陸上競技場（セントポールズ・フィールド）や50m×10コースを備えた、日本水泳連盟公認の室内温水プール（セントポールズ・アクアティックセンター）、室内競技用のアリーナ5面を擁する巨大な体育館、人工芝の多目的運動場（サッカー場）、野球場、テニスコートなどが整備されており、セントポールズ・フィールド、セントポールズ・アクアティックセンター、体育館、テニスコート、サッカー場は、「スポーツ実習」の授業に利用される他、運動部の練習場等としても利用している。

また、コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科が実験及び実習で使用している施設・設備は以下のとおりである。

施設名	利用内容
(1) 運動生理学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	ヒトの生理機能を様々な指標（体温調節、呼吸循環機能、唾液摂取など）から計測する。また、実験室内には様々な温度環境を設定できる人工気候室があり、環境温度負荷が身体に与える影響や、暑熱馴化トレーニングを行うことが可能である。
(2) バイオメカニクス実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、ヒトの身体動作を3次元計測する。野球の投球動作やサッカーのキック動作などのスポーツ動作から、歩行動作や食事動作などの日常生活動作が測定対象となる。その測定には、複数の CCD カメラからなるモーションキャプチャシステムと床反力計を用い、筋電計や加速度計を併用することで、より詳細な評価が可能となる。これらの測定データから関節角度や関節モーメントなどを推定することにより、ヒトの身体動作における骨格筋の活動や、関節に加わる力学的な負荷を評価できる。
(3) スポーツ・健康心理学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	ストレスやライフスタイル、様々な生活習慣と精神的疾患、生活習慣病や心と身体のバランスを含めた幅の広い健康とそれを取り巻く諸問題に対して、心理学的な観点からアプローチする。
(4) 運動生化学実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）を用いた脳内神経伝達物質やメラトニンなどの試料の同定や ELISA を用いた唾液中ストレス物質の測定を行うことが可能である。
(5) 測定評価実験室 (30 m <sup>2</sup> × 2 = 60 m <sup>2</sup> )	この実験室では、ヒトの筋パワーや持久力の測定評価ができる「パフォーマンス測定システム」や、人工的に筋肉痛を誘発できる「エキセントリックトレーニングシ



	テム」など、多様な機器を設置している。また、12 誘導心電図や血圧測定はもとより、医学的診療機器を用いて身体の形態や機能を評価が可能。AED を用いた心肺蘇生処置やテーピングのトレーニングも実施している。
(6) スポーツデータ解析室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	この解析室では、スポーツを社会現象と捉えて、スポーツ社会学、スポーツ経営学等の研究視座から、トップスポーツと大衆スポーツ、競技者と観客やメディア、年代別の行動特性など様々な観点からスポーツデータの解析を行う。
(7) 動物実験室・飼育室 (30 m <sup>2</sup> × 1 = 30 m <sup>2</sup> )	この実験室では、実験動物の手術や処置と実験動物の飼育を行なっている。リアルタイムでの脳内神経伝達物質や生理指標（体温・心拍数・活動量）、情動行動の計測が可能である。
(8) 全天候型走路 (40 m)	体育館裏のテニスコート脇に 1 レーン設置されている。屋外に設置されていることから、走動作や車椅子運動時の動作解析や自然環境の影響の調査に使用している。

#### (新学部の施設・設備の利用予定)

新学部では上記で述べた既存の施設・設備を継続して利用するが、いずれも大規模な教育研究施設・設備であるため、定員が増加しても現在と同等以上の教育研究内容を担保することができる。さらに、2025 年 4 月には、新たな実験施設 360 m<sup>2</sup>を含む新棟が新座キャンパスに完成する予定である。新棟は、スポーツ生理学、バイオメカニクス、スポーツ栄養学、スポーツ心理学等の研究者がチームで参加し、それぞれの機器や手法を用いて、一つの場所で集中的に対象者のパフォーマンス、体力レベル等の測定分析が可能となる予定である。実験施設を一か所に集中して設置する集約型施設にすることで、学年進行によって在籍学生数が増加した場合でも、本学部が目指す教育研究をより効率的に行うことができるようになる。

## 学則変更の趣旨等を記載した書類（資料目次）

資料1	福祉人材確保対策（厚生労働省）	… 2
資料2	コミュニティ福祉学部の学生受入れ状況	… 3
資料3	2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）（抜粋）	… 4
資料4	他大学におけるスポーツウエルネス学等	… 5
資料5	第3期スポーツ基本計画（第2章）	… 6
資料6	スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）	… 7
資料7	大学設置基準における校地面積及び校舎面積	… 8
資料8	2020年度立教大学図書館統計・データ集	… 9
<u>別添資料（教育課程等の概要）</u>		
	コミュニティ福祉学部福祉学科	…15
	コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	…30
	スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	…48

○資料 1 福祉人材確保対策（厚生労働省）

1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料 1

2 出典

厚生労働省ウェブサイト

3 引用範囲

福祉人材確保対策

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html)

4 その他の説明

福祉人材の質的な向上が社会から求められている例として、上記資料を引用した。

## 学生の受け入れ

(表3) 学部・学科、研究科における志願者・合格者・入学者数の推移

学部	学科	入試の種類	2017年度					2018年度					2019年度					2020年度					2021年度					2021年度入学者の学科計に対する割合(%)	2021年度入学者の学部計に対する割合(%)
			志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B	志願者	合格者	入学者(A)	入学定員(B)	A/B		
コミュニケーション 福祉学部	福祉学科	一般入試	1655	304	100	106	0.94	2026	286	95	106	0.90	2455	330	87	106	0.82	1148	276	85	106	0.80	1478	432	92	106	0.87	60.13	22.60
		関係校推薦	2	2	2	10	0.20	0	0	0	10	0.00	2	2	2	10	0.20	3	3	3	10	0.30	1	1	1	10	0.10	0.65	0.25
		指定校推薦	33	33	33	15	2.20	40	40	40	15	2.67	48	48	48	15	3.20	54	54	54	15	3.60	45	45	45	15	3.00	29.41	11.06
		社会人入試	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—						0.00	0.00
		外国人留学生入試	21	2	1	[8]	—	23	7	5	[8]	—	10	5	1	[8]	—	14	7	3	[8]	—	6	2	1	[8]	—	0.65	0.25
		帰国生入試																											
		自由選抜入試	27	13	11	15	0.73	34	13	9	15	0.60	22	13	11	15	0.73	64	10	7	15	0.47	32	17	11	15	0.73	7.19	2.70
		国際コース選抜入試																											
		アスリート選抜入試	4	4	4	0	—	7	3	3	0	—	5	3	3	0	—	4	2	2	0	—	5	3	3	0	—	1.96	0.74
		秋学期入試																											
	学科合計		1742	358	151	154	0.98	2130	349	152	154	0.99	2542	401	152	154	0.99	1287	352	154	154	1.00	1567	500	153	154	0.99	100.00	
	コミュニティ 政策学科	一般入試	1723	296	94	111	0.85	2188	261	78	111	0.70	1870	278	87	111	0.78	1268	305	86	111	0.77	2159	401	87	111	0.78	59.59	21.38
		関係校推薦	3	3	3	10	0.30	0	0	0	10	0.00	0	0	0	10	0.00	1	1	1	10	0.10	2	2	2	10	0.20	1.37	0.49
		指定校推薦	39	39	39	10	3.90	51	51	51	10	5.10	55	55	55	10	5.50	49	49	49	10	4.90	44	44	44	10	4.40	30.14	10.81
		社会人入試	0	0	0	0	—	1	1	1	0	—	1	1	1	0	—	0	0	0	0	—						0.00	0.00
		外国人留学生入試	19	4	3	[8]	—	5	2	2	[8]	—	6	4	3	[8]	—	9	5	1	[8]	—	11	7	3	[8]	—	2.05	0.74
		帰国生入試																											
		自由選抜入試	42	15	13	15	0.87	73	15	12	15	0.80	57	10	6	15	0.40	71	12	7	15	0.47	83	11	6	15	0.40	4.11	1.47
		国際コース選抜入試																											
		アスリート選抜入試	6	3	2	0	—	8	4	4	0	—	7	3	3	0	—	12	4	4	0	—	14	4	4	0	—	2.74	0.98
		秋学期入試																											
	学科合計		1832	360	154	154	1.00	2326	334	148	154	0.96	1996	351	155	154	1.01	1410	376	148	154	0.96	2313	469	146	154	0.95	100.00	
	スポーツ ウェル ネス学科	一般入試	1449	167	57	64	0.89	1598	169	55	64	0.86	1725	180	62	64	0.97	1159	162	53	64	0.83	1104	261	54	64	0.84	50.00	13.27
		関係校推薦	11	11	11	10	1.10	12	12	12	10	1.20	6	6	6	10	0.60	8	8	8	10	0.80	7	7	7	10	0.70	6.48	1.72
指定校推薦		22	22	22	15	1.47	22	22	22	15	1.47	24	24	24	15	1.60	25	25	25	15	1.67	24	24	24	15	1.60	22.22	5.90	
社会人入試		1	1	1	0	—	0	0	0	0	—	1	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0.00	0.00	
外国人留学生入試		5	2	0	[8]	—	14	2	2	[8]	—	7	1	1	[8]	—	6	4	2	[8]	—	5	4	1	[8]	—	0.93	0.25	
帰国生入試																													
自由選抜入試		93	17	16	15	1.07	74	12	11	15	0.73	89	15	13	15	0.87	87	10	8	15	0.53	107	14	12	15	0.80	11.11	2.95	
国際コース選抜入試																													
アスリート選抜入試	23	6	6	0	—	33	5	5	0	—	36	5	5	0	—	39	11	10	0	—	21	11	10	0	—	9.26	2.46		
秋学期入試																													
学科合計		1604	226	113	110	1.03	1753	222	107	110	0.97	1888	231	111	110	1.01	1324	220	106	110	0.96	1268	321	108	110	0.98	100.00		
学部合計			5178	944	418	418	1.00	6209	905	407	418	0.97	6426	983	418	418	1.00	4021	948	408	418	0.98	5148	1290	407	418	0.97		100.00

○資料3 2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）（抜粋）

1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料3

2 出典

総務省ウェブサイト

3 引用範囲

2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和2年6月26日）鑑文、表紙、目次、P4, 10, 22

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000693733.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000693733.pdf)

4 その他の説明

福祉学科で養成する人材が社会から求められているものであることを示すため、上記資料を引用した。

## ○資料4 他大学におけるスポーツウエルネス学等

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料4

### 2 出典

筑波大学ウェブサイト

### 3 引用範囲

筑波大学ー日本スポーツ振興センター(JSC)連携大学院協定 筑波大学スマートウエルネスシティ(SWC)政策開発研究センター発足記念シンポジウム 資料

<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/05/764cdf7ea48c40d1b26e2f9527d28f90.pdf>

### 4 その他の説明

他大学でも「スポーツウエルネス学」が学問領域として取り扱われている例として、上記資料を引用した。

## ○資料5 第3期スポーツ基本計画（第2章）

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料5

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

第3期スポーツ基本計画（第2章）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料6 スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）

### 1 書類等の題名

「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料6

### 2 出典

国連広報センターウェブサイト

### 3 引用範囲

スポーツと持続可能な開発（SDGs）

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/18389/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389/)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。



## 大学設置基準における校地面積及び校舎面積

※通常であれば池袋キャンパスと新座キャンパスの合算で算出するが、新座キャンパスに十分な校地面積及び校舎面積を有していることを示すため、新座キャンパス4学部のみを大学と仮定し、設置基準上の校地面積及び校舎面積と比較した

(1) 校地面積 (新座キャンパスの校地面積 ⇒ 101,271)

○設置基準上の校地面積 ⇒ 収容定員合計 (5,076) × 10 = 50,760 (<101,271)

(2) 校舎面積 (新座キャンパスの校舎面積 ⇒ 55,879)

○設置基準上の基準校舎面積

学部名	収容定員数	学部の種類	算定式	基準校舎面積
観光学部	1,480	社会学・社会福祉学関係	$(1,480-800) \times 1,322/400 + 4,958$	7,205.4
コミュニティ福祉学部	1,400	社会学・社会福祉学関係	$(1,400-800) \times 1,322/400 + 4,958$	6,941
現代心理学部	1,276	文学関係	$(1,276-800) \times 1,322/400 + 4,958$	6,531.18
スポーツウエルネス学部	920	体育関係	$(920-800) \times 1,983/400 + 6,280$	(基準校舎面積) 7414.9

○設置基準上の加算校舎面積

学部名	収容定員数	学部の種類	算定式	加算校舎面積
観光学部	1,480	社会学・社会福祉学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	6,446
コミュニティ福祉学部	1,400	社会学・社会福祉学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	5,785
現代心理学部	1,276	文学関係	大学設置基準別表第三八をそのまま適用	5,785

○設置基準上の校舎面積合計 ⇒ 7414.9 + 6,446 + 5,785 + 5,785 = 25,430.9 (<55,879)

## 2020年度 立教大学図書館 統計・データ集

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、立教大学図書館では2020年3月初旬より開館時間短縮やグループ学習スペース利用中止などの対応を開始した。4月、5月はキャンパス入構禁止措置が取られ、一部限定的な開館措置が取られた日を除き終日閉館となった。オンライン授業開始に伴い、6月3日から本学学生、教職員を対象とした予約制の限定開館が再開された。一方で卒業生を含め、学外者の利用は2021年6月現在も制限されている。

上記の事情から、2020年度図書館統計は例年と違った数値、傾向となっていることをご承知おきいただきたい。

### <利用者サービス統計>

#### ■ 開館日数

(日)

	2020年度
池袋図書館	248
新座図書館	247

注：2020年4月、5月の限定的開館日を含む

#### ■ 入館者数

(人)

	2020年度		
	入館者数	1日平均	学外者
池袋図書館	52,812	213	52
新座図書館	11,599	47	8
計	64,411	—	60

#### ■ 館外貸出冊数

(冊)

	2020年度			
	総冊数	貸出冊数		1日平均
		うち自動貸出装置	うちMyLibraryによる延長	
池袋図書館	74,348	36,241	14,053	300
新座図書館	13,862	4,218	2,237	56
新座保存書庫	127	1	58	—
計	88,337	40,460	16,348	—

注1. 所蔵館に基づいて集計

注2. 視聴覚資料含む

#### ■ 学内他館取寄せ件数

(件)

	2020年度	
	新座図書館・新座保存書庫	池袋図書館・新座保存書庫
池袋図書館	8,285	-
新座図書館	-	2,582
計	8,285	2,582

#### ■ グループ学習室利用件数

(件)

	2020年度
池袋図書館	-
新座図書館	-
計	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、利用を制限した。

■ 複写枚数

(枚)

	2020年度
池袋図書館	175,888
新座図書館	10,743
計	186,631

注：マイクロ資料からの複写含む

■ 校友利用証の発行

(件)

	2020年度
池袋図書館	12
新座図書館	2
計	14

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の入構・利用制限前(4月)の申請のみ

■ 学外相互協力

(1) 学外相互協力

(件)

		2020年度		
		文献複写*	資料貸借*	紹介状
池袋図書館	依頼	419	238	2
	受理	1,051	472	1
新座図書館	依頼	104	11	0
	受理	198	45	0

注1.\*は「謝絶・キャンセル」を除外

注2.2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のために紹介状の発行受付は原則中止とした。

発行、受理ともに、4月からの入構・利用制限前、またはイレギュラー対応のみ。

(2) 山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム利用者

(人)

	2020年度	
	立教大学から	立教大学へ
青山学院大学	-	-
学習院大学	-	-
國學院大學	-	-
東洋大学	-	-
法政大学	-	-
明治大学	-	-
明治学院大学	-	-
計	-	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施せず。

<リテラシー教育>

■ 図書館ガイダンス

2020年度	
春学期(4月)	新任教員ガイダンス(池袋・新座)(資料を人事課に提供)
	春学期特別外国人学生ガイダンス(パワーポイント資料を国際センターに提供)
秋学期(9月)	秋学期特別外国人学生ガイダンス (Blackboard公開のパワーポイント資料、動画等を国際センターに提供)
	経営学研究科/異文化コミュニケーション研究科新入生ガイダンス (Blackboard公開のパワーポイント資料、動画等を国際センターに提供)

■ 図書館活用講座

開催回数 0回、参加者数 0名

	2020年度						
	池袋				新座		
レベル	1	2	3	計	オーダーメイド	観光学部対象	計
回数	-	-	-	-	-	-	-
人数	-	-	-	-	-	-	-

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、学修支援企画はオンラインコンテンツの公開・活用  
に重点を置いたことから、館内実習を中心とする活用講座は開催しないこととした。

■ 授業内情報検索講習会

開催回数 10回、参加者数 123名（池袋8回 103名、新座2回 20名）

	2020年度							
	池袋				新座			
レベル	入門	発展	分野別	計	入門	発展	分野別	計
回数	0	2	6	8	0	0	2	2
人数	0	19	84	103	0	0	20	20

注1. 入門編：立教大学図書館の利用方法とREAD（ディスカバリーサービス）の使い方、RIKKYO Learning Style導入期に対応

発展編：データベースを使った情報検索ガイダンス、RIKKYO Learning Style形成期に対応

分野別：入門編・発展編に当てはまらない、授業の目的に合った形で講習

注2. 2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため例年春学期に申し込みがある科目の講習会は1回（対面式）を除き

全て中止となったが、各教員向けに代替手段となるBlackboard公開のコンテンツ活用を案内した。

一方、秋学期は分野別を中心に、Zoom利用により複数回開催した。

■ 外部データベース講習会

講習	2020年度							
	池袋				新座			
	【春学期】		【秋学期】		【春学期】		【秋学期】	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
OED	-	-	-	-	-	-	-	-
Factiva.com	-	-	-	-	-	-	-	-
RefWorksセミナー(日本語)	-	-	-	-	-	-	-	-
RefWorksセミナー(英語)	-	-	-	-	-	-	-	-
BNC online	-	-	-	-	-	-	-	-
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー	-	-	1	44	-	-	池袋と共催	
eol	-	-	1	42	-	-		
日経テレコン21	-	-	1	28	-	-		
Japan Knowledge Lib	-	-	1	19	-	-		
合計	-	-	4	133	-	-	0	0

注：2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、対面でのデータベース講習会の開催を見合わせることにしたが、秋学期には全学（池袋・新座）を対象に、国内系データベースを中心に4社によるZoomオンライン講習会を実現した。Japan Knowledge Libは新規の対応。

■ ラーニングアドバイザー相談件数

(件)

	2020年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
池袋	—	4	15	57	—	4	19	15	19	24	—	—	157
新座	—	0	4	28	—	5	2	3	4	10	—	—	56

注1. 2～3月・8月は長期休暇中のためサービスは実施せず

注2. 2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため対面相談は行わず、全てオンラインでの相談を実施。メール相談（ASK）は5月25日より、オンライン相談（Zoom）は7月20日からそれぞれ開始した。以降、年間通じて新たなLA相談としてサービスを提供した。

<機関リポジトリ（立教大学学術リポジトリ「立教Roots」）>

■ 機関リポジトリ

(件)

	2020年度
コンテンツ登録数（累積）	18,504
アクセス数（当該年度）	716,557
ダウンロード数（当該年度）	1,870,544

注：IRDBコンテンツ分析システム、及び、Wekoログ解析レポートより集計

(件)

博士学位論文	2020年度	
	累積数	年度内処理数
審査結果/要旨	265	33
論文全文公開数	176	18
論文の要約公開数	89	9

注：コンテンツ登録内数

<所蔵図書資料>

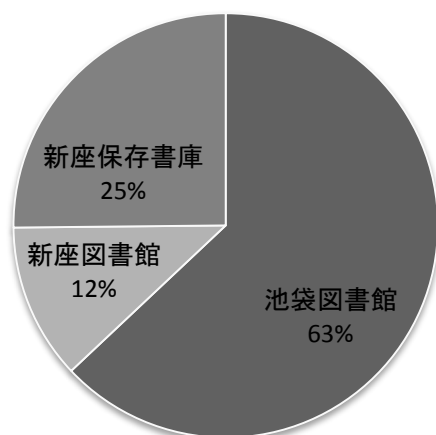
■ 蔵書冊数(視聴覚資料を除く)

(1) 館別

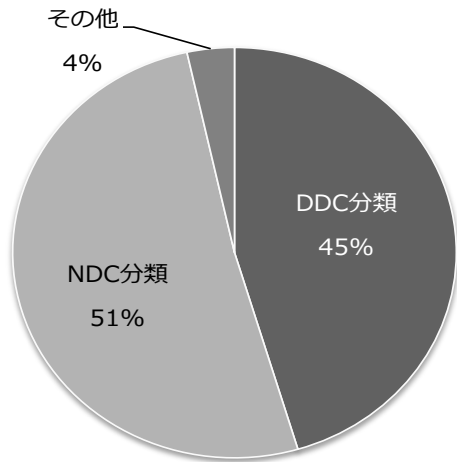
(冊)

	2020年度末
池袋図書館	1,245,560
新座図書館	234,547
新座保存書庫	497,581
計	1,977,688

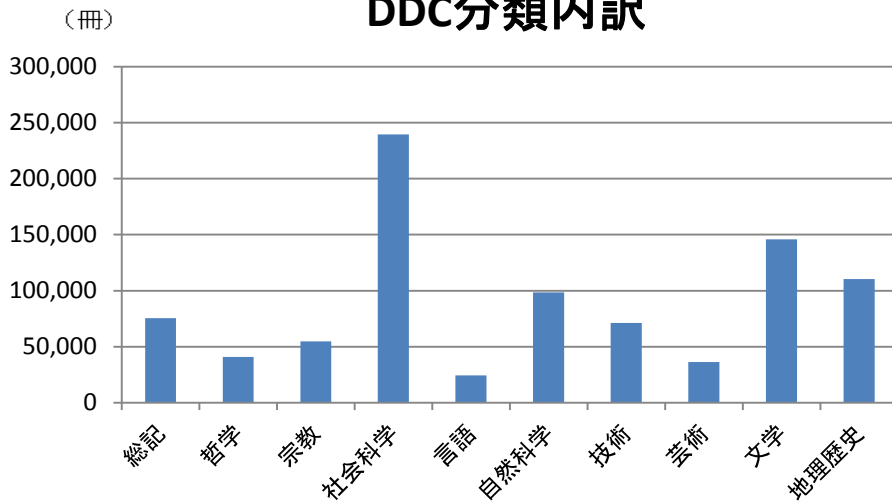
2020年度



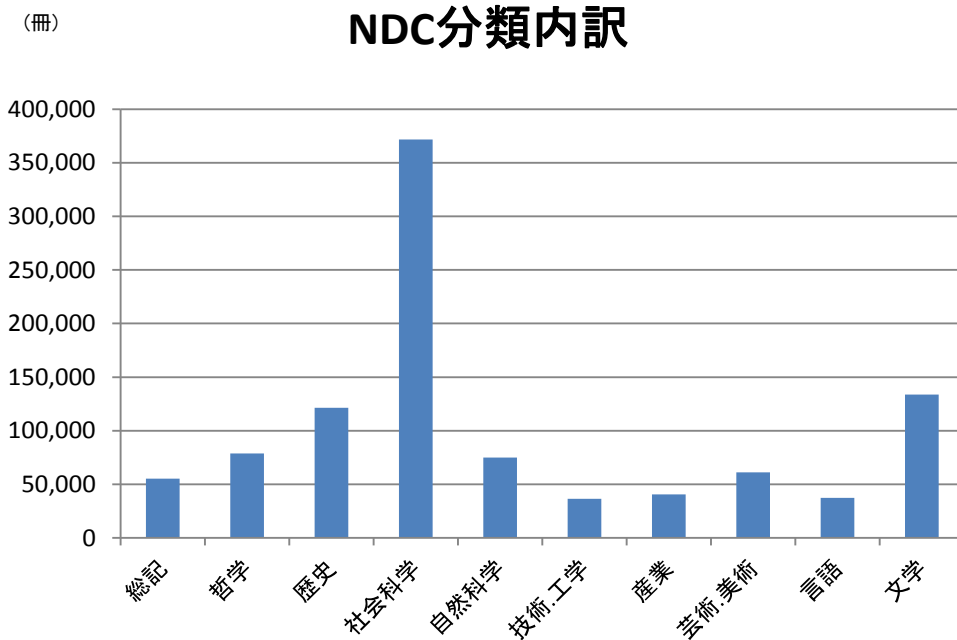
(2) 分類別



### DDC分類内訳



### NDC分類内訳



■ オンライン資料件数

2020年度		
電子ジャーナル	電子書籍	データベース
66,845	31,707	156

注：「文科省学術情報基盤実態調査（大学図書館編）」の種別による

■ 年間受入図書資料

2020年度				
	図書* (冊)	雑誌 (種)	新聞 (種)	視聴覚資料 (点)
池袋図書館	20,390	4,617	81	292
新座図書館	6,156	624	31	284
新座保存書庫	179	3	0	0
計	26,725	-	-	576

注：\*は製本雑誌含む

<図書館施設>

(2021年5月1日現在)

	用途別面積 (㎡)							総面積	座席数 (席)	所蔵可能冊数 (冊)
	利用者サービススペース				管理スペース		その他			
	閲覧	視聴覚	情報端末	その他	書庫	事務				
池袋図書館	9,401	111	40	1,320	1,995	444	5,289	18,600	1,538	1,922,028
新座図書館	2,012	145	5	334	566	198	202	3,462	477	291,194
新座保存書庫	28	0	2	0	1,952	92	472	2,546	14	715,160
計	11,441	256	47	1,654	4,513	734	5,963	24,608	2,029	2,928,382

注1. 「文科科学省 学術情報基盤実態調査(大学図書館編)」の算出方式による

注2. 座席数については、上記の他に池袋図書館ラーニング・スクウェアに96席、新座図書館しおり内グループエリアに66席あり

■ 利用者端末台数

(2021年5月1日現在)

	利用者端末台数		
	館内設置*1	貸出用*2	合計
池袋	309	120	429
新座	92	145	237
合計	401	265	666

\*1 OPAC, CD-ROMサーバー専用端末除く

\*2 メディアセンター管轄(館外利用可)

教 育 課 程 等 の 概 要															
(コミュニティ福祉学部福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目	基礎演習（学びの技法を含む）	1前	2					○					5		
	社会福祉の原理と政策1	1前	2				○								
	社会福祉入門演習	1後	2				○			9	1		5	※演習 オムニバス	
	社会問題のインターセクショナルリティ	2前	2				○			1	1		5	※演習 オムニバス	
	小計（4科目）	—	8	0	0			—		9	1	0	5	0	兼0
専門基礎科目	異文化スタディ	1・2・3・4休		2			○						1		集中
	情報処理1	1・2・3・4前		2											兼1
	情報処理2	1・2・3・4後		2											兼1
	ノーマライゼーション論	1・2・3・4前		2			○			1					
	社会福祉とキャリア形成	1・2・3・4前		2			○								兼1
	家族をめぐる福祉問題	1・2・3・4前		2			○						1		
	現代社会とケアシステム	1・2・3・4前		2			○						1		
	ソーシャルワークの理論と方法1	1・2・3・4前		2			○			1					
	メンタルヘルスと福祉	1・2・3・4後		2			○			1					
	ソーシャルワークの基盤と専門職1	1・2・3・4前		2			○			1					
	ソーシャルワークの基盤と専門職2	1・2・3・4後		2			○			1					
	児童福祉論	1・2・3・4前		2			○			1					
	高齢者福祉論	1・2・3・4前		2			○			1					
	障害者福祉論	1・2・3・4後		2			○			1					
	社会保障総論	1・2・3・4前		2			○			1					
小計（15科目）	—	0	30	0			—		7			2		兼2	—
専	グローバル社会で活躍するための英語（福祉系）	2・3・4前		2			○								兼1
	現代コミュニティ福祉学特別講義（福祉系）	2・3・4後		2			○								兼1
	海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語（福祉系）	2・3・4前		2			○								兼1
	英語で学ぶ海外の福祉の現状	2・3・4後		2			○								兼1
	人権論	2・3・4後		2			○								兼1
	福祉文化論	2・3・4後		2			○			1					
	社会福祉調査の基礎	2・3・4後		2			○				1				
	ジェンダーとセクシュアリティ入門	2・3・4後		2			○			1					
	障害学入門	2・3・4後		2			○								兼1
	社会福祉発達史1	2・3・4前		2			○								兼1
	社会福祉発達史2	2・3・4前		2			○								兼1
	心理学理論と心理的支援	2・3・4後		2			○								兼1
	社会理論と社会システム	2・3・4後		2			○								兼1
	医学概論	2・3・4前		2			○								兼1
	子ども理解と子育て支援論	2・3・4後		2			○								兼1
	貧困に対する支援	2・3・4前		2			○			1					
	高齢者福祉実践論	2・3・4後		2			○			1					
	地域福祉論1	2・3・4前		2			○			1					
	地域福祉論2	2・3・4後		2			○			1					
	女性福祉論	2・3・4前		2			○			1					
	保健医療と福祉	2・3・4前		2			○			1					
	発達障害支援論	2・3・4後		2			○								兼1
	ソーシャルワークの理論と方法2	2・3・4前		2			○								兼1
ソーシャルワークの理論と方法3	2・3・4後		2			○								兼1	
社会保障論	2・3・4後		2			○			1						



門 応 用 科 目	刑事司法と福祉	2・3・4後	2													兼1	
	Human Diversity and Social Justice in Social Work	2・3・4後	2													兼1	
	権利擁護を支える法制度	3・4前	2							1							
	社会福祉の原理と政策2	3・4前	2								1						
	ソーシャルワークの理論と方法4	2・3・4前	2							1							
	福祉マネジメント論	3・4後	2							1							
	福祉情報とICT	3・4後	2														兼1
	ケアマネジメント論	3・4後	2								1						
	福祉学特論	3・4後	2														兼1
	医療ソーシャルワーク実践論	3・4後	2								1						
	支援者支援論：ストレスマネジメントを学ぶ	2・3・4前	2														兼1
	セルフヘルプグループ論	2・3・4後	2														兼1
	多文化ソーシャルワーク論	2・3・4前	2														兼1
	比較福祉国家論	3・4後	2														兼1
	ケアの倫理と社会福祉	2・3・4前	2														兼1
	社会福祉調査実践論	3・4後	2														兼1
	災害福祉論	2・3・4前	2								1						
	居住福祉論	2・3・4後	2									1					
	教育福祉論	2・3・4前	2														兼1
	ソーシャルワーク演習	2・3・4前	2												4		兼1
	ソーシャルワーク演習（専門）1	2・3・4後	3												4		兼2
	ソーシャルワーク実習指導1	2・3・4後	1												4		兼1
	インターンシップ	3・4通	4												1		兼3 ※演習
	ソーシャルワーク実習指導2	3・4通	4												6	1	
	ソーシャルワーク実習	3・4通	5												6	1	
	ソーシャルワーク演習（専門）2	3・4通	4												3		4
	キャリア形成演習	3・4通	4												1		1
卒業研究指導演習	3・4通	8												9	1	3	
小計（53科目）	—	0	123	0	—	—	—	—	—	9	1	0	5	0	兼26	—	
自 由 科 目	【専門関連科目】																
	心理学1	1・2・3・4前	2														兼1
	心理学2	1・2・3・4後	2														兼1
	生涯学習概論1	1・2・3・4前	2														兼1
	生涯学習概論2	1・2・3・4後	2														兼1
	生涯学習支援論1	1・2・3・4前	2														兼1
	生涯学習支援論2	1・2・3・4後	2														兼1
	社会教育経営論1	1・2・3・4前	2														兼1
	社会教育経営論2	1・2・3・4後	2														兼1
小計（8科目）	—	0	16	0	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	兼5	—	
全 学 共 通 科 目	学 び の 精 神	世界史の中のキリスト教	1・2・3・4前	2													兼4
		思想を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2													兼4
		美術の中のキリスト教	1・2・3・4前・後	2													兼4
		音楽の中のキリスト教	1・2・3・4前	2													兼2
		文学を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2													兼3
		国際社会の中の宗教	1・2・3・4前	2													兼4
		現代社会の中の宗教1	1・2・3・4前・後	2													兼3
		現代社会の中の宗教2	1・2・3・4前・後	2													兼4
		人文学からの学び（文学）	1・2・3・4前・後	2													兼5
		人文学からの学び（思想・教育）	1・2・3・4前・後	2													兼3
		人文学からの学び（史学）	1・2・3・4前・後	2													兼3
		芸術への扉	1・2・3・4前	2													兼4
		グローバル経済社会を考える	1・2・3・4前・後	2													兼4
		社会学からの学び	1・2・3・4前	2													兼1
		学びの場としての社会	1・2・3・4前	2													兼1
		メディアからみる学び	1・2・3・4前	2													兼1
		法と政治の世界	1・2・3・4前	2													兼3
		経営学への招待	1・2・3・4前・後	2													兼4
		現代社会と観光	1・2・3・4前	2													兼4
		現代社会の諸相	1・2・3・4前・後	2							1						兼3
自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2													兼4		
身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2													兼3		
現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2													兼3		
アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2													兼3		
グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2													兼3		
大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2													兼3		

	人権とジェンダー	1・2・3・4前	2		○							兼2			
	ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	キャリアデザイン	1・2・3・4前	2		○							兼3			
	キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2		○							兼4			
	美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2		○							兼4			
	愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2		○							兼2			
	教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	Economy and Society	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	University Education in the World	1・2・3・4前	2		○							兼1	集中		
	多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○							兼1			
	Image Studies	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	GL101	1・2・3・4前	2		○							兼13			
	小計 (40科目)	—	0	82	0	—			1	0	0	0	0	兼120	—
全学共通科目 多様な学び 1. 人間の探究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○							兼3			
	聖書考古学	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
	現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	哲学への扉	1・2・3・4前	2		○							兼2			
	論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
	教育と人間	1・2・3・4後	2		○							兼2			
	歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○							兼5			
	地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
	点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○							兼2			
	ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○							兼2			
	フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
	スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○							兼1			
	朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○							兼2			
	教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	立教ゼミナール1	1・2・3・4前・後	2			○						兼3			
	立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2			○						兼4			
	睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○							兼2	オムニバス		
	ボランティア論	1・2・3・4前	2		○				1			兼1	オムニバス		
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○							兼6	オムニバス			
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○							兼2				
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○							兼1				
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○							兼2				
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○							兼1				
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○							兼3	オムニバス			
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○							兼1				
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○							兼2				
World History	1・2・3・4前・後	4		○							兼1				
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○							兼1				
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○							兼1				
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○							兼1				
小計 (46科目)	—	0	94	0	—			1	0	0	0	0	兼83	—	
	入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○							兼2			
	法と社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼2			
	政治と社会	1・2・3・4後	2		○							兼2			
	グローバル社会における法と政治	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	現代のビジネスを学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	企業と社会	1・2・3・4前・後	2		○							兼3			
	現代社会と環境	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	情報と倫理	1・2・3・4前	2		○							兼1			
	メディアと人間	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	文化と社会	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	現代社会の解説	1・2・3・4後	2		○							兼1			
	いのちの尊厳と福祉を考える	1・2・3・4前	2		○			1				兼1			

全学共通科目	多彩な学び 2・社会への視点	コミュニティをデザインする	1・2・3・4前・後	2		○			1										兼2		
		観光学への誘い	1・2・3・4後	2			○													兼2	
		異文化コミュニケーションを考える	1・2・3・4前・後	2			○													兼2	
		シティズンシップを考える	1・2・3・4後	2			○													兼2	
		デモクラシーとリベラルアーツ	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		大学と現代社会	1・2・3・4前・後	2			○													兼2	
		世界の中のロシア	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		ドイツ語圏の社会	1・2・3・4後	2			○													兼2	
		フランス語圏の社会	1・2・3・4前・後	2			○													兼1	
		スペイン語圏の社会	1・2・3・4前・後	2			○													兼2	
		中国語圏の社会	1・2・3・4前・後	2			○													兼1	
		朝鮮語圏の社会	1・2・3・4前・後	2			○													兼2	
		社会調査入門	1・2・3・4前	2			○													兼1	
		社会調査の技法	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		データ分析入門	1・2・3・4前	2			○													兼1	
		データの科学	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		多変量解析入門	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		Introduction to Statistics 1	1・2・3・4前	2			○													兼2	
		Introduction to Statistics 2	1・2・3・4後	2			○													兼2	
		国際情勢を読み解く	1・2・3・4前	2			○													兼1	
		パレスチナ問題の歴史と現在	1・2・3・4後	2			○													兼1	
		立教ゼミナール2	1・2・3・4前・後	2					○											兼6	
		立教ゼミナール発展編 2	1・2・3・4前・後	2					○											兼5	
		RSLゼミナール	1・2・3・4後	2					○											兼1	
		Nativeと学ぶ社会開発	1・2・3・4後	2				○												兼2	
		立教OBOGの「社長の履歴書」	1・2・3・4後	2				○												兼3	
		グローバルシティ・ソウルを読み解く	1・2・3・4後	2				○												兼3	
		社会を変える：人を繋ぎ、時間を繋ぐ市民の営み	1・2・3・4後	2				○												兼3	
		SDGs×AI×経済×法	1・2・3・4前	2				○												兼2	
		SDGsとグローバルの可能性	1・2・3・4前	2				○												兼3	
		世界経済と日本	1・2・3・4前・後	2				○												兼2	
		日本国憲法	1・2・3・4前・後	2				○												兼3	
		近代日本社会と人権	1・2・3・4前・後	2				○												兼2	
		日本の「多文化」政策を問い直す	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Modern Japanese History 1	1・2・3・4前	2						○										兼1	
		Modern Japanese History 2	1・2・3・4前	2						○										兼1	
		Japanese Politics and Economy 1	1・2・3・4前	2						○										兼1	
		Japanese Politics and Economy 2	1・2・3・4後	2						○										兼1	
		Japanese Relations in Asia 1	1・2・3・4前	2						○										兼1	
		Japanese Relations in Asia 2	1・2・3・4後	2						○										兼1	
		Japanese Society 1	1・2・3・4後	2						○										兼2	
		Japanese Society 2	1・2・3・4後	2						○										兼1	
		Tokyo Studies	1・2・3・4前・後	2						○										兼2	
		Saitama Studies	1・2・3・4後	2						○										兼1	
		Humans and Other Animals	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Food Cultures and the Acceptance of Japanese Food in the World	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Political Sociology	1・2・3・4前	4				○												兼1	
		Economic Thought	1・2・3・4後	4				○												兼1	
		University in Modern Society	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Career and University Education in the Global World	3・4前	2				○												兼1	
		Business Communication	1・2・3・4後	2						○										兼1	
		Global and Japanese Political Economy 1	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Global and Japanese Political Economy 2	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Introduction to Multivariate Analysis	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Introduction to Sociology	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Introduction to the Social Survey	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Introduction to Tourism Studies	1・2・3・4前・後	2				○												兼2	
		Japanese Society and Culture 1	1・2・3・4前	2				○												兼1	
		Japanese Society and Culture 2	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Knowledge and Society 1	1・2・3・4前・後	1				○												兼1	
		Knowledge and Society 2	1・2・3・4前・後	1				○												兼1	
		Learning and Teaching Today 1	1・2・3・4前	1				○												兼1	
		Learning and Teaching Today 2	1・2・3・4前	1				○												兼1	
		SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		Selected Topics in Intercultural Communication	1・2・3・4前	2						○										兼1	
		The Dignity of Life and Welfare	1・2・3・4後	2				○												兼1	
		台湾から世界を考える	1・2・3・4前	2				○												兼2	
		翻訳・通訳と現代社会	1・2・3・4後	2				○												兼2	
		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2				○												兼2	
		地域学への招待	1・2・3・4後	2				○												兼2	
		小計(84科目)	—	0	168	0	—	—	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼115	
			文学への扉	1・2・3・4前	2			○													兼5
			表象文化	1・2・3・4前・後	2			○													兼6
			美術の歴史	1・2・3・4前・後	2			○													兼3

全学共通科目	多彩な学び 3・芸術・文化への招待	美術と社会	1・2・3・4後	2		○														兼3	
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2		○															兼3
		音楽と社会	1・2・3・4後	2		○															兼3
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2							○										兼3
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2							○										兼2
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2		○															兼2
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2		○															兼2
		都市と芸術	1・2・3・4後	2		○															兼1
		建築と文化	1・2・3・4後	2		○															兼1
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2		○															兼2
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2		○															兼2
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○															兼2
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		立教ゼミナール3	1・2・3・4前・後	2								○									兼2
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2								○									兼1
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2		○															兼2
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
		日本の演劇	1・2・3・4後	2								○									兼1
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2								○									兼2
		Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2								○									兼1
		Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2		○															兼1
Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2		○															兼1		
Literature and Society	1・2・3・4後	4		○															兼1		
Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4		○															兼1		
Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2		○															兼1		
Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2		○															兼1		
The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1		○															兼1		
The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1		○															兼1		
観光と文学	1・2・3・4後	2		○															兼3		
小計(36科目)	—	0	74	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼60	—	
全学共通科目	多彩な学び 4・心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		心の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		パーソナリティの心理	1・2・3・4後	2		○														兼3	
		対人関係の心理	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		心の健康	1・2・3・4前	2		○														兼2	
		身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		ストレスマネジメント	1・2・3・4前	2		○														兼2	
		癒しの科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		健康の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		栄養の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		スポーツとメディア	1・2・3・4後	2		○														兼2	
		スポーツと社会	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		スポーツと文化	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前	2		○														兼1	
		アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○														兼1	
		立教ゼミナール4	1・2・3・4後	2								○								兼2	
		立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後	2								○								兼4	
		Japanese Mind	1・2・3・4前	2		○														兼1	
Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後	2		○														兼1			
Health and Wellness	1・2・3・4後	4		○														兼1			
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後	1		○														兼1			
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後	1		○														兼1			
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前	2		○														兼1			
小計(25科目)	—	0	50	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼39	—	
全学共通	多彩な学び 5	数学の世界	1・2・3・4前・後	2		○														兼4	
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼4	
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼5	
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		化学と自然	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		行動の科学	1・2・3・4後	2		○														兼2	
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2		○														兼3	
		情報科学A	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2		○														兼2	
生物の多様性	1・2・3・4前・後	2		○														兼2			
地球環境の未来	1・2・3・4前	2		○														兼1			
自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2		○														兼1			

学科目	・自然の理解	脳と心	1・2・3・4前・後	2				○							兼1		
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2				○							兼1		
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2				○							兼2		
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2				○							兼1		
		宇宙から地球のみらいを考える	1・2・3後	2				○							兼1		
		立教ゼミナール5	1・2・3・4後	2				○							兼1		
		Science Studies	1・2・3・4前	2				○							兼1		
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4				○							兼1		
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2				○							兼1		
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2				○							兼1		
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1				○							兼1		
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1				○							兼1		
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2				○							兼2	オムニバス	
		小計(28科目)		—	0	56	0	—			0	0	0	0	0	兼48	—
		全学共通科目	多彩な学び 6 ・知識の現場	GL111	1・2・3・4後	2				○							兼2
GL102	1・2・3・4後			2				○							兼1		
GL103	1・2・3・4後			2				○							兼1		
GL201	1・2・3・4後			2				○							兼2		
GL202	1・2・3・4前			2				○							兼2		
GL301	1・2・3前・後			2						○					兼1	集中	
GL302	1・2・3前			2						○					兼1		
グローバル共通教養総論	1・2・3・4前			2				○							兼1		
ソリューション・アプローチ(開発経済)	2・3・4前			2					○						兼1		
ソリューション・アプローチ(強制移転・移住)	2・3・4前			2					○						兼1		
グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後			2				○							兼1		
ソリューション・アプローチ(人道支援)	2・3・4後			2					○						兼1		
ソリューション・アプローチ(紛争と平和)	2・3・4後			2					○						兼1		
アクティブ・リサーチ	2・3・4後			2							○				兼1		
国連ユースボランティア	1・2・3・4後			12						○					兼1		
陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前			2						○					兼2		
海外インターンシップ1	1・2・3後			1						○					兼1	集中	
海外インターンシップ2	1・2・3後			2						○					兼1	集中	
国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後			1						○					兼1	集中	
国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーコミュニティ(埼玉)	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーコミュニティ(池袋)	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーローカル(南魚沼)	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーグローバルA	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーグローバルB	1・2・3・4後			2						○					兼1		
RSLーローカル(地域共生)	1・2・3・4前			2						○					兼1		
小計(26科目)		—	0	60	0	—			0	0	0	0	0	兼17	—		
全学共通科目	多彩な学び スポーツプログラム	スポーツプログラム1(バドミントン)	1・2・3・4前・後	1					○						兼2		
		スポーツプログラム1(はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1					○						兼2		
		スポーツプログラム1(ダンス(初級))	1・2・3・4前・後	1					○						兼1		
		スポーツプログラム2(トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1					○						兼1		
		スポーツプログラム3(卓球)	1・2・3・4前	1					○						兼1		
		スポーツプログラム3(バスケットボール)	1・2・3・4前	1					○						兼1		
		スポーツプログラム3(バレーボール)	1・2・3・4後	1					○						兼1		
		スポーツプログラム3(フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1					○						兼1		
		スポーツプログラム3(アルティメット)	1・2・3・4前	1					○						兼1		
		スポーツスタディ1(レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼5		
		スポーツスタディ1(太極拳)	1・2・3・4前・後	2					○						兼2		
		スポーツスタディ1(日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(クライミング)	1・2・3・4前・後	2					○						兼3		
		スポーツスタディ1(バドミントン)	1・2・3・4後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(アダプテッドスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(はじめての柔道(日本語))	1・2・3・4前	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(はじめての柔道(英語))	1・2・3・4後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ1(ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ2(トレーニング)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ2(ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ2(ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼2		
		スポーツスタディ2(東洋的フィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ2(ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○						兼2		
		スポーツスタディ2(セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼2		
		スポーツスタディ2(ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ3(サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2					○						兼1		
		スポーツスタディ3(フットサル)	1・2・3・4前・後	2					○						兼4		
		スポーツスタディ3(フットサル(インドア))	1・2・3・4前・後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ3(初心者向けサッカー・フットサル&フィットネス)	1・2・3・4後	2					○						兼1		
		スポーツスタディ3(テニス)	1・2・3・4前・後	2					○						兼2		
スポーツスタディ3(ブラインドサッカー)	1・2・3・4後	2					○						兼1				
スポーツスタディ3(ゴルフ)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1				
スポーツスタディ3(卓球)	1・2・3・4前・後	2					○						兼1				

	スポーツスタディ3 (バスケットボール)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (ソフトボール)	1・2・3・4前	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (ゴルフ)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (馬術)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (スキーB)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (はじめての和太鼓)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
	スポーツスタディe	1・2・3・4前・後	2					○										兼2	
	小計 (42科目)	—	0	75	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼44	—
(必修科目A / 英語)	英語ディスカッション	1前	1						○									兼135	
	英語ディベート	1後	1						○									兼101	
	英語リーディング&ライティング1 (R)	1前	1						○									兼110	
	英語リーディング&ライティング2 (W)	1後	1						○									兼115	
	英語eラーニング	1前	1						○									兼31	
	英語プレゼンテーション	1後	1						○									兼97	
	上級英語1 (リーディング&ライティング)	1前	2						○									兼31	
	上級英語2 (プロジェクト英語)	1後	2						○									兼31	
小計 (8科目)	—	10	0	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼170	—	
(必修科目B / ドイツ語)	ドイツ語基礎1	1前	2						○									兼13	
	ドイツ語基礎2	1後	2						○									兼14	
小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼14	—	
(必修科目B / フランス語)	フランス語基礎1	1前	2						○									兼13	
	フランス語基礎2	1後	2						○									兼13	
小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼13	—	
(必修科目B / スペイン語)	スペイン語基礎1	1前	2						○									兼21	
	スペイン語基礎2	1後	2						○									兼21	
小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼21	—	
(必修科目B / 中国語)	中国語基礎1	1前	2						○									兼24	
	中国語基礎2	1後	2						○									兼24	
小計 (2科目)	—	4	0	0			—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼24	—	
(必修科目B / 朝鮮語)	朝鮮語基礎1	1前	2						○									兼19	
	朝鮮語基礎2	1後	2						○									兼19	



	Current News through English Media	2・3・4前	2					○								兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	IELTS	2・3・4前	2					○								兼2	
	小計 (39科目)	—	0	82	0			—	0	0	0	0	0	0		兼63	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(科 /英目 コ語)言 スア語 ド系 バン科 ン目 スト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後	4					○								兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後	2					○								兼1	
CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後	2					○								兼1		
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前	2					○								兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後	2					○								兼1		
小計 (16科目)	—	0	44	0			—	0	0	0	0	0	0		兼24	—	
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(科 /英目 コ語)言 スオ系 ナ科 ー目 ズ・	University Lecture A	2・3・4前	2					○								兼1	
	University Lecture C	2・3・4前	2					○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0		兼2	—
(国全 イ際学 ン交共 デ流通 イ制科 ペ度目 ン短言 デ期語 ン英系 ト語科 ・研 モ修 ジプ自 ユログ由 ー目科 ルラ目 /ム(英 コ語) ス)	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前	1					○								兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後	1					○								兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	ワライ海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
小計 (9科目)	—	0	17	0			—	0	0	0	0	0	0		兼11	—	
基自全 礎由学 科科共 目目通 群(科 (目 ドイ 中言 級ツ語 レ語系	ドイツ語中級1	2・3・4前	2					○								兼8	共同
	ドイツ語中級2	2・3・4後	2					○								兼7	共同
	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前	1					○								兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前	1					○								兼2	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後	1					○								兼3	
ドイツ語スタンダード4	2・3・4後	1					○								兼2		



科目 （ベル）																		
	小計（6科目）	—	0	8	0	—					0	0	0	0	0	兼12	—	
全学共通科目群（ドイツ語系科目） （上級レベル）	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○							兼2		
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後		2					○							兼2		
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○							兼2		
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後		2					○							兼2		
	ドイツ語総合B1（1）	2・3・4前		2					○							兼1		
	ドイツ語総合B1（2）	2・3・4後		2					○							兼1		
小計（10科目）	—	0	20	0	—					0	0	0	0	0	兼7	—		
全学共通科目群（ドイツ語系科目） （入門科目）	基礎ドイツ語入門	2・3・4前		2					○							兼6		
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後		2					○							兼6		
小計（2科目）	—	0	4	0	—					0	0	0	0	0	兼6	—		
全学共通科目群（ドイツ語系科目） （海外言語文化研修）	ドイツ語海外言語文化研修（中級）	1・2・3・4前		2					○							兼1		
	ドイツ語海外言語文化研修（上級）	2・3・4前		2					○							兼1		
小計（2科目）	—	0	4	0	—					0	0	0	0	0	兼1	—		
全学共通科目群（フランス語系科目） （中級レベル）	フランス語中級1	2・3・4前		2					○							兼6	共同	
	フランス語中級2	2・3・4後		2					○							兼6	共同	
	フランス語スタンダード1	2・3・4前		1					○							兼2		
	フランス語スタンダード2	2・3・4前		1					○							兼2		
	フランス語スタンダード3	2・3・4後		1					○							兼2		
	フランス語スタンダード4	2・3・4後		1					○							兼2		
小計（6科目）	—	0	8	0	—					0	0	0	0	0	兼8	—		
全学共通科目群（フランス語系科目） （上級レベル）	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○							兼2		
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後		2					○							兼2		
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○							兼1		
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○							兼1		
	上級フランス語演習1	2・3・4前		2					○							兼2		
	上級フランス語演習2	2・3・4後		2					○							兼2		
小計（8科目）	—	0	16	0	—					0	0	0	0	0	兼5	—		
全学共通科目群（フランス語系科目） （情報処理理論）	言語情報処理論（フランス語）	1・2・3・4前		2					○							兼1		

言語系科目 （フランス語）言語 （レベル）																		
	小計（1科目）	—	0	2	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
自由科目共通科目言語系科目 （フランス語）入門科目	基礎フランス語入門	2・3・4前		2				○								兼6		
	基礎フランス語初級	2・3・4後		2				○								兼6		
小計（2科目）	—	0	4	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—		
自由科目共通科目言語系科目 （フランス語）文化研修	フランス語海外言語文化研修（中級）	1・2・3・4前		2				○								兼1		
	フランス語海外言語文化研修（上級）	2・3・4前		2				○								兼1		
小計（2科目）	—	0	4	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—		
自由科目共通科目言語系科目 （スペイン語）（中級レベル）	スペイン語中級1	2・3・4前		2				○								兼8	共同 共同	
	スペイン語中級2	2・3・4後		2				○								兼8		
	スペイン語スタンダード1	2・3・4前		1				○								兼4		
	スペイン語スタンダード2	2・3・4前		1				○								兼3		
	スペイン語スタンダード3	2・3・4後		1				○								兼3		
	スペイン語スタンダード4	2・3・4後		1				○								兼3		
小計（6科目）	—	0	8	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼13	—		
自由科目共通科目言語系科目 （スペイン語）（上級レベル）	上級スペイン語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○								兼2		
	上級スペイン語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○								兼2		
	上級スペイン語ライティング1	2・3・4前		2				○								兼2		
	上級スペイン語ライティング2	2・3・4後		2				○								兼2		
	上級スペイン語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○								兼2		
	上級スペイン語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○								兼2		
	上級スペイン語演習1	2・3・4前		2				○								兼2		
	上級スペイン語演習2	2・3・4後		2				○								兼2		
小計（8科目）	—	0	16	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—		
自由科目共通科目言語系科目 （スペイン語）言語情報	言語情報処理論（スペイン語）	1・2・3・4前・後		2				○								兼2		
	小計（1科目）	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼2	—		

スペイン語入門科目 自由科目 共通科目 言語系科目	基礎スペイン語入門	2・3・4前	2					○							兼9	
	基礎スペイン語初級	2・3・4後	2					○							兼9	
小計(2科目)		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
海外言語文化研修 自由科目 共通科目 言語系科目	スペイン語海外言語文化研修(中級)	1・2・3後	2					○							兼1	
	スペイン語海外言語文化研修(上級)	2・3後	2					○							兼1	
小計(2科目)		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎科目群 (中国語) 自由科目 共通科目 言語系科目	中国語中級1	2・3・4前	2					○							兼4	
	中国語中級2	2・3・4後	2					○							兼4	
	中国語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼4	
	中国語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼4	
	中国語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼4	
中国語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼4		
小計(6科目)		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼10	—
コア科目群 (中国語) 自由科目 共通科目 言語系科目	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級中国語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級中国語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級中国語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級中国語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計(8科目)		—	0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	兼2	—
処理論 自由科目 共通科目 言語系科目	言語情報処理論(中国語)	1・2・3・4前・後	2					○							兼2	
	小計(1科目)		—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	兼2	—
中国語入門科目 自由科目 共通科目 言語系科目	基礎中国語入門	2・3・4前	2					○							兼5	
	基礎中国語初級	2・3・4後	2					○							兼5	



科目																			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
自由科目 共通科目 (ロシア語系科目)	ロシア語セミナーA	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーB	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーC	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーD	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー1	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー2	2・3・4後		1				○								兼1			
	小計 (6科目)	—	0	6	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
基礎からの 自由科目 (ロシア語系科目)	基礎ロシア語入門	2・3・4前		2				○								兼3			
	基礎ロシア語初級	2・3・4後		2				○								兼3			
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
自由科目 (ポルトガル語)	ポルトガル語3	2・3・4前		1				○								兼1			
	ポルトガル語4	2・3・4後		1				○								兼1			
	小計 (2科目)	—	0	2	0			—		0	0	0	0	0	0	兼1	—		
入門レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 1	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
初級レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 2	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
中級レベル 自由科目 (日本語系科目)	日本語話 3	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	日本語話 4	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		

	小計 (2科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
全学 自由 科目 (日本語 系科目)	日本の社会と文化A	2・3・4前		2				○							兼1	
	日本の社会と文化B	2・3・4後		2				○							兼1	
	日本の社会と文化C	2・3・4後		2				○							兼1	
	社会の中の日本語A	2・3・4前		2				○							兼1	
	社会の中の日本語B	2・3・4後		2				○							兼1	
	論文読解の技法	2・3・4前		2				○							兼2	
	論文作成の技法	2・3・4後		2				○							兼2	
	キャリアの日本語A	2・3・4前・後		2				○							兼3	
	キャリアの日本語B	2・3・4前・後		2				○							兼3	
	ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後		2				○							兼3	
	ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後		2				○							兼2	
	ビジネスメールと文書	2・3・4前・後		2				○							兼2	
	小計 (12科目)	—	0	24	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼14	—
NEXUS プログラム 日本語 教育 科目	NEXUS日本語A	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語B	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語C	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語D	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語E	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語F	1後	1					○							兼3	
	NEXUS日本語G	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語H	1後	1					○							兼1	
	NEXUS日本語I	1後	1					○							兼2	
	NEXUS日本語J	1後	1					○							兼1	
	小計 (10科目)	—	10	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
合計 (637科目)		—	56	1211	0	—	—	—	10	1	0	5	0	0	兼815	—
学位又は称号	学士 (福祉学)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
コミュニティ福祉学部福祉学科は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目を8単位、専門基礎科目を16単位、専門応用科目を50単位、自由科目を24単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。 卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。 (履修科目の登録の上限：48単位 (年間))							1 学年の学期区分					2期				
							1 学期の授業期間					14週				
							1 時限の授業時間					100分				

教育課程等の概要															
(コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目 (共通)	基礎演習(学びの技法を含む)	1前	2				○		4	7		2			
	コミュニティ政策学入門	1後	2			○		5	7		2				
	社会調査入門	1前	2			○					2				
	コミュニティ学演習1A	3前		2			○	3	4						
	コミュニティ学演習1B	3後		2			○	3	4						
	政策学演習1A	3前		2			○	4	3						
	政策学演習1B	3後		2			○	4	3						
	講読演習A	3前		2			○						兼2		
	講読演習B	3後		2			○						兼2		
	社会調査実習	3通		4				○				2		※演習	
小計(10科目)	—	6	16	0	—	—	—	7	7	0	2	0	兼2	—	
専門必修科目 (コミュニティ専修)	コミュニティ学入門演習	2前	2				○		3	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—	—	3	3	0	0	0	兼0	—	
専門必修科目 (政策専修)	政策学入門演習	2前	2				○		3	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—	—	3	3	0	1	0	兼0	—	
スタディスキル科目	統計学入門	2・3・4前		2		○						1			
	リサーチ・デザイン	1・2・3・4後		2		○						1			
	質的リサーチ	2・3・4前		2		○						1			
	データ分析入門	2・3・4後		2		○						1		兼1	
	データ分析法	3・4前		2		○						1			
	キャリアデザイン	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	政策分析のメソドロジー	2・3・4前		2		○								兼1	
	情報処理1	1・2・3・4前		2				○						兼1	
	情報処理2	1・2・3・4後		2				○						兼1	
	情報処理3	2・3・4前		2				○						兼1	
	情報処理4	2・3・4後		2				○						兼1	
	異文化スタディ	1・2・3・4休		2		○						1		集中	
	グローバル社会で活躍するための英語(コミュニティ政策系)	2・3・4後		2		○						1			
	海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(コミュニティ政策系)	2・3・4前		2		○						1			
	英語で学ぶコミュニティ政策	2・3・4後		2		○						1			
	現代コミュニティ福祉学特別講(コミュニティ政策系)	2・3・4後		2		○						1			
	英語で学ぶ社会問題	2・3・4後		2		○						1			
小計(17科目)	—	0	34	0	—	—	—	0	0	0	3	0	兼5	—	
	コミュニティ福祉とキリスト教	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	少子高齢社会論	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	国際NGO論	1・2・3・4前		2		○			1						
	現代コミュニティ論	1・2・3・4前		2		○				1					
	貧困と格差	1・2・3・4前		2		○			1						
	コミュニティ・ビジネス	1・2・3・4後		2		○				1					
	持続可能な福祉コミュニティ	1・2・3・4前		2		○			1						

専門基礎科目	社会問題の社会学	1・2・3・4前	2		○			1							
	福祉社会学	1・2・3・4後	2		○			1							
	フィールドワーク入門	1・2・3・4後	2		○			1							
	公共空間論	1・2・3・4後	2		○			1							
	地域学への招待	1・2・3・4前	2		○			1							
	コミュニティ開発論	1・2・3・4後	2		○			1							
	地方自治論	1・2・3・4前	2		○			1							
	政策学の基礎知識	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	経営組織論	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	ボランティア・NPO論	1・2・3・4後	2		○			1							
	サービスラーニング論	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	若者政策	1・2・3・4前	2		○				1						
	日本近現代史	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	地域社会と法	1・2・3・4後	2		○									兼1	
	地域社会と経済	1・2・3・4前	2		○				1						
	地域社会と政治	1・2・3・4前	2		○				1						
	地域社会と労働	1・2・3・4後	2		○			1							
小計 (24科目)	—	0	48	0	—		6	7	0	0	0		兼7	—	
(コミュニティ応用科目専修)	現代キリスト教人間学	2・3・4前	2		○			1							
	いのちの倫理学	2・3・4後	2		○			1							
	生活困窮者支援	2・3・4後	2		○			1							
	日本の文化とコミュニティ	2・3・4後	2		○									兼1	
	公共哲学	2・3・4前	2		○				1						
	コミュニティと福祉	2・3・4前	2		○			1							
	まちづくり論	2・3・4後	2		○				1						
	国際福祉論	2・3・4前	2		○			1							
	社会開発論	2・3・4前	2		○			1							
	Global Society and Local Communities	2・3・4前	2		○									兼1	
	都市と地域	2・3・4前	2		○				1						
	シェアライフ論	2・3・4後	2		○				1						
	社会運動論	2・3・4前	2		○				1						
	いのちの尊厳とジェンダー	2・3・4後	2		○									兼1	
	差別論	2・3・4後	2		○									兼1	
	地球コミュニティ論	2・3・4後	2		○									兼1	
	家族社会学	3・4前	2		○									兼1	
	コミュニティ心理学	3・4前	2		○									兼1	
	国際平和論	3・4後	2		○									兼1	
	ファシリテーション論	3・4後	2		○									兼1	
	比較宗教学	3・4後	2		○									兼1	
	アートとコミュニティ	3・4前	2		○									兼1	
	現代生活学	3・4前	2		○									兼1	
	国際経済論	3・4前	2		○									兼1	
	国際移動論	3・4後	2		○									兼1	
	多文化共生論	3・4前	2		○									兼1	
	自然災害論	3・4後	2		○									兼1	
	村落社会学	3・4前	2		○									兼1	
	地域交通論	3・4後	2		○									兼1	
	現代環境論	3・4後	2		○									兼1	
	地域地理学	3・4後	2		○									兼1	
	ファンドレイジング論	3・4前	2		○									兼1	
	インターンシップ	3・4通	4				○	3						兼2	※演習
コミュニティ学演習2A	4前	2			○		3	4		1					
コミュニティ学演習2B	4後	2			○		3	4		1					
卒業論文	4後	6					3	4		1					
小計 (36科目)	—	0	78	0	—		4	4	0	1	0		兼22	—	
	政策科学	2・3・4後	2		○									兼1	
	地方財政論	2・3・4前	2		○				1						
	コミュニティ人間形成論	2・3・4前	2		○			1							
	福祉経済学	2・3・4後	2		○				1						
	行政学	2・3・4後	2		○									兼1	
	政策過程論	2・3・4後	2		○									兼1	



(専門応用科目)	市民教育論	2・3・4前	2	○											兼1	
	自治体政策論	2・3・4前	2	○			1									
	福祉政治学	2・3・4後	2	○				1								
	パートナーシップ論	2・3・4後	2	○			1									
	社会的連帯経済論	2・3・4前	2	○			1									
	社会教育論	2・3・4前	2	○											兼1	
	政策評価論	2・3・4前	2	○			1									
	コミュニティ・オーガナイズン論	2・3・4前	2	○			1									
	オンブズマンと市民参加口	2・3・4後	2	○					1							
	Introduction to Local Governance	2・3・4後	2	○											兼1	
	福祉制度論	3・4後	2	○											兼1	
	経営戦略論	3・4後	2	○											兼1	
	居住福祉	3・4前	2	○											兼1	
	グローバリゼーション論	3・4前	2	○											兼1	
	協同組合論	3・4前	2	○											兼1	
	NPOマネジメント論	3・4前	2	○											兼1	
	社会思想史	3・4後	2	○											兼1	
	マス・コミュニケーション論	3・4後	2	○											兼1	
	現代資本主義論	3・4後	2	○											兼1	
	ジェンダー政策論	3・4後	2	○											兼1	
	契約と法	3・4前	2	○											兼1	
	政策法務	3・4前	2	○			1									
	地域経営論	3・4後	2	○					1							
	地方自治法	3・4前	2	○			1									
	都市計画論	3・4前	2	○											兼1	
	比較政治経済	3・4後	2	○											兼1	
	インターンシップ	3・4通	4			○	3								兼2	※演習
政策学演習2A	4前	2			○	4	3			1						
政策学演習2B	4後	2			○	4	3			1						
卒業論文	4後	6				4	3			1						
小計(36科目)	—	0	78	0	—	5	3	0	1	0	兼21	—				
自由科目	【専門関連科目】															
	社会学1	1・2・3・4前	2	○											兼1	
	社会学2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	心理学1	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	心理学2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	法学1	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	法学2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	政治学	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	経済学	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	生涯学習概論1	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	生涯学習概論2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	生涯学習支援論1	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	生涯学習支援論2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	社会教育経営論1	1・2・3・4前	2	○										兼1		
	社会教育経営論2	1・2・3・4後	2	○										兼1		
	小計(14科目)	—	0	28	0	—	0	0	0	0	0	兼8	—			
		世界史の中のキリスト教	1・2・3・4前	2	○										兼4	
思想を生み出すキリスト教		1・2・3・4前・後	2	○										兼4		
美術の中のキリスト教		1・2・3・4前・後	2	○										兼4		
音楽の中のキリスト教		1・2・3・4前	2	○										兼2		
文学を生み出すキリスト教		1・2・3・4前・後	2	○										兼3		
国際社会の中の宗教		1・2・3・4前	2	○										兼4		
現代社会の中の宗教1		1・2・3・4前・後	2	○										兼3		
現代社会の中の宗教2		1・2・3・4前・後	2	○										兼4		
人文学からの学び(文学)		1・2・3・4前・後	2	○										兼5		
人文学からの学び(思想・教育)		1・2・3・4前・後	2	○										兼3		
人文学からの学び(史学)		1・2・3・4前・後	2	○										兼3		
芸術への扉		1・2・3・4前	2	○										兼4		
グローバル経済社会を考える		1・2・3・4前・後	2	○										兼4		
社会学からの学び		1・2・3・4前	2	○										兼1		
学びの場としての社会		1・2・3・4前	2	○										兼1		
メディアからみる学び	1・2・3・4前	2	○										兼1			

全学共通科目	学びの精神	法と政治の世界	1・2・3・4前	2		○								兼3		
		経営学への招待	1・2・3・4前・後	2		○									兼4	
		現代社会と観光	1・2・3・4前	2		○									兼4	
		現代社会の諸相	1・2・3・4前・後	2		○									兼4	オムニバス
		自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2		○									兼4	
		身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2		○									兼3	
		大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		人権とジェンダー	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3	
		西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2		○									兼2	
		キャリアデザイン	1・2・3・4前	2		○									兼3	
		キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2		○									兼4	
		美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2		○									兼4	
		愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2		○									兼2	
		教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		Economy and Society	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		University Education in the World	1・2・3・4前	2		○									兼1	集中
多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○									兼1			
Image Studies	1・2・3・4前	2		○									兼1			
GLI01	1・2・3・4前	2		○									兼13			
小計 (40科目)	—	0	82	0	—	○		0	0	0	0	0	0	兼121	—	
全学共通科目	多様な学び 1人間の探究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○								兼3		
		聖書考古学	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		哲学への扉	1・2・3・4前	2		○								兼2		
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		教育と人間	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼5		
		地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○								兼2		
		フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○								兼1		
		朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		
		現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○								兼1		
		立教ゼミナール1	1・2・3・4前・後	2		○	○							兼3		
		立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2		○	○							兼4		
		睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○								兼2	オムニバス	
		ボランティア論	1・2・3・4前	2		○								兼2	オムニバス	
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○								兼6	オムニバス			
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○								兼2				
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○								兼1				
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○								兼2				
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○								兼1				
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○								兼3	オムニバス			
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○								兼1				
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○								兼2				
World History	1・2・3・4前・後	4		○								兼1				
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○								兼1				
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○								兼1				
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○								兼1				
小計 (46科目)	—	0	94	0	—	○		0	0	0	0	0	0	兼84	—	
全学共通科目		入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○								兼3		
		統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○								兼1		
		景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○								兼2		
		法と社会	1・2・3・4前・後	2		○								兼2		



		Selected Topics in Intercultural Communication	1・2・3・4前	2			○									兼1
		The Dignity of Life and Welfare	1・2・3・4後	2												兼1
		台湾から世界を考える	1・2・3・4前	2			○									兼2
		翻訳・通訳と現代社会	1・2・3・4後	2			○									兼2
		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2			○									兼2
		地域学への招待	1・2・3・4後	2			○					2				
		小計 (84科目)	—	0	168	0	—				2	3	0	0	0	兼112
全学共通科目	多彩な学び 3 芸術・文化への招待	文学への扉	1・2・3・4前	2			○									兼5
		表象文化	1・2・3・4前・後	2			○									兼6
		美術の歴史	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		美術と社会	1・2・3・4後	2				○								兼3
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		音楽と社会	1・2・3・4後	2				○								兼3
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2					○							兼3
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2				○								兼2
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2				○								兼2
		都市と芸術	1・2・3・4後	2				○								兼1
		建築と文化	1・2・3・4後	2				○								兼1
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2				○								兼2
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		立教ゼミナール3	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2					○							兼1
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		日本の演劇	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2					○							兼2
		Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2					○							兼1
		Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2				○								兼1		
Literature and Society	1・2・3・4後	4				○								兼1		
Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4				○								兼1		
Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2				○								兼1		
Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2				○								兼1		
The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1				○								兼1		
The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1				○								兼1		
観光と文学	1・2・3・4後	2				○								兼3		
小計 (36科目)	—	0	74	0	—				0	0	0	0	0	0	兼60	
全学共通科目	多彩な学び 4 心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		心の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		パーソナリティの心理	1・2・3・4後	2				○								兼3
		対人関係の心理	1・2・3・4前・後	2				○								兼3
		心の健康	1・2・3・4前	2				○								兼2
		身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		ストレスマネジメント	1・2・3・4前	2				○								兼2
		癒しの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		健康の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼2
		栄養の科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツとメディア	1・2・3・4後	2				○								兼2
		スポーツと社会	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		スポーツと文化	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前	2				○								兼1
		アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
		立教ゼミナール4	1・2・3・4後	2					○							兼2
		立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後	2					○							兼4
		Japanese Mind	1・2・3・4前	2				○								兼1
		Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後	2				○								兼1
Health and Wellness	1・2・3・4後	4				○								兼1		
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後	1				○								兼1		
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後	1				○								兼1		
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前	2				○								兼1		
小計 (25科目)	—	0	50	0	—				0	0	0	0	0	0	兼39	
		数学の世界	1・2・3・4前・後	2			○									兼4
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼4
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼5
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2			○									兼3
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2			○									兼3

全学共通科目	多彩な学び 5 自然の理解	化学と自然	1・2・3・4前・後	2		○												兼3		
		行動の科学	1・2・3・4後	2			○												兼2	
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2			○												兼3	
		情報科学A	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		生物の多様性	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		地球環境の未来	1・2・3・4前	2			○												兼1	
		自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2			○												兼1	
		脳と心	1・2・3・4前・後	2			○												兼1	
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2			○												兼1	
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2			○												兼2	
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2			○												兼1	
		宇宙から地球のみらいを考える	1・2・3後	2			○												兼1	
		立教ゼミナール5	1・2・3・4後	2					○										兼1	
		Science Studies	1・2・3・4前	2			○												兼1	
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4			○												兼1	
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2			○												兼1	
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2			○												兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1			○												兼1	
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1			○												兼1	
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2			○												兼2	オムニバス
		小計 (28科目)		—	0	56	0	—				0	0	0	0	0	0		兼48	—
全学共通科目	多彩な学び 6 知識の現場	GL111	1・2・3・4後	2		○												兼2		
		GL102	1・2・3・4後	2		○												兼1		
		GL103	1・2・3・4後	2		○												兼1		
		GL201	1・2・3・4後	2		○												兼2		
		GL202	1・2・3・4前	2		○												兼2		
		GL301	1・2・3前・後	2					○									兼1	集中	
		GL302	1・2・3前	2					○									兼1		
		グローバル共通教養総論	1・2・3・4前	2			○											兼1		
		ソリューション・アプローチ (開発経済)	2・3・4前	2			○											兼1		
		ソリューション・アプローチ (強制移転・移住)	2・3・4前	2			○											兼1		
		グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後	2			○											兼1		
		ソリューション・アプローチ (人道支援)	2・3・4後	2			○											兼1		
		ソリューション・アプローチ (紛争と平和)	2・3・4後	2			○											兼1		
		アクティブ・リサーチ	2・3・4後	2					○									兼1		
		国連ユースボランティア	1・2・3・4後	12					○									兼1		
		陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前	2					○									兼2		
		海外インターンシップ1	1・2・3後	1					○									兼1	集中	
		海外インターンシップ2	1・2・3後	2					○									兼1	集中	
		国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後	1					○									兼1		
		国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		RSLーコミュニティ (埼玉)	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		RSLーコミュニティ (池袋)	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		RSLーローカル (南魚沼)	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		RSLーグローバルA	1・2・3・4後	2					○									兼1		
RSLーグローバルB	1・2・3・4後	2					○									兼1				
RSLーローカル (地域共生)	1・2・3・4前	2					○									兼1				
小計 (26科目)		—	0	60	0	—				0	0	0	0	0	0		兼17	—		
全学共通科目	多彩な学び スポーツ	スポーツプログラム1 (バドミントン)	1・2・3・4前・後	1				○										兼2		
		スポーツプログラム1 (はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1				○										兼2		
		スポーツプログラム1 (ダンス (初級))	1・2・3・4前・後	1				○										兼1		
		スポーツプログラム2 (トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1				○										兼1		
		スポーツプログラム3 (卓球)	1・2・3・4前	1				○										兼1		
		スポーツプログラム3 (バスケットボール)	1・2・3・4前	1				○										兼1		
		スポーツプログラム3 (バレーボール)	1・2・3・4後	1				○										兼1		
		スポーツプログラム3 (フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1				○										兼1		
		スポーツプログラム3 (アルティメット)	1・2・3・4前	1				○										兼1		
		スポーツスタディ1 (レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼5		
		スポーツスタディ1 (太極拳)	1・2・3・4前・後	2					○									兼2		
		スポーツスタディ1 (日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2					○									兼3		
		スポーツスタディ1 (バドミントン)	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (アダプテッドスポーツ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (日本語))	1・2・3・4前	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (英語))	1・2・3・4後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ1 (ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ2 (トレーニング)	1・2・3・4前・後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ2 (ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ2 (ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼2		
		スポーツスタディ2 (東洋のフィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○									兼1		
		スポーツスタディ2 (ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2					○									兼2		
スポーツスタディ2 (セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2					○									兼2				

ロ グ ラ ム	スポーツスタディ2 (ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (フットサル)	1・2・3・4前・後	2						○									兼4	
	スポーツスタディ3 (フットサル (インドア))	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (初心者向けサッカー・フットサル&フィットネス)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (テニス)	1・2・3・4前・後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ3 (ブラインドサッカー)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (ゴルフ)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (卓球)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (バスケットボール)	1・2・3・4後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ3 (ソフトボール)	1・2・3・4前	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (ゴルフ)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2						○									兼1	
	スポーツスタディ4 (馬術)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (スキーB)	1・2・3・4後	2						○									兼2	
	スポーツスタディ4 (はじめての和太鼓)	1・2・3・4前	2						○									兼2	
スポーツスタディe	1・2・3・4前・後	2						○									兼2		
小計 (42科目)	—	0	75	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼44	—
(必 修 言 語 A ／ 英 語)	英語ディスカッション	1前	1						○									兼135	
	英語ディベート	1後	1						○									兼101	
	英語リーディング&ライティング1 (R)	1前	1						○									兼110	
	英語リーディング&ライティング2 (W)	1後	1						○									兼115	
	英語eラーニング	1前	1						○									兼31	
	英語プレゼンテーション	1後	1						○									兼97	
	上級英語1 (リーディング&ライティング)	1前	2						○									兼31	
	上級英語2 (プロジェクト英語)	1後	2						○									兼31	
小計 (8科目)	—	10	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼170	—
(必 修 言 語 B ／ ド イ ツ 語)	ドイツ語基礎1	1前	2						○									兼13	
	ドイツ語基礎2	1後	2						○									兼14	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼14	—
(必 修 言 語 B ／ フ ラ ン ス 語)	フランス語基礎1	1前	2						○									兼13	
	フランス語基礎2	1後	2						○									兼13	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼13	—
(必 修 言 語 B ／ ス ペ イ ン 語)	スペイン語基礎1	1前	2						○									兼21	
	スペイン語基礎2	1後	2						○									兼21	
	小計 (2科目)	—	4	0	0				—		0	0	0	0	0	0	0	兼21	—
(必 修 言 語 B ／ 中 国 語)	中国語基礎1	1前	2						○									兼24	
	中国語基礎2	1後	2						○									兼24	

科目																				
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—						0	0	0	0	0	0	0	兼24	—
(必修科目 言語B / 朝鮮語)	朝鮮語基礎 1	1前	2						○										兼19	
	朝鮮語基礎 2	1後	2						○										兼19	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—						0	0	0	0	0	0	0	兼19	—
(必修科目 言語B / ロシア語)	ロシア語基礎 1	1前	2						○										兼3	
	ロシア語基礎 2	1後	2						○										兼3	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—						0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
日本語 必修科目 言語B	大学生の日本語 A	1前	1						○										兼7	
	大学生の日本語 B	1前	1						○										兼7	
	大学生の日本語 C	1後	1						○										兼8	
	大学生の日本語 D	1後	1						○										兼8	
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—						0	0	0	0	0	0	0	兼16	—
自由学 科目 英語 コース イン テン シブ	English Intensive A (Global World)	2・3・4前		4					○										兼5	
	English Intensive B (Academic Language Skills)	2・3・4前		4					○										兼4	
	English Intensive C (Integrated Language Skills)	2・3・4後		4					○										兼5	
	English Intensive D (Intercultural Understanding)	2・3・4後		4					○										兼5	
	Intercultural Studies	2・3・4前		2					○										兼1	
	Self-directed and Reflective Language Learning	2・3・4前		2					○										兼1	
	小計 (6科目)	—	0	20	0	—						0	0	0	0	0	0	0	兼18	—
自由学 科目 英語 イン ディ ペン デント ・ モジ ュ ー ル	English Communication 1	2・3・4前・後		4					○										兼8	
	English Communication 2	2・3・4前・後		4					○										兼7	
	Pleasure Reading	2・3・4前		2					○										兼2	
	Speech	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Debate	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Presentation	2・3・4前・後		2					○										兼3	
	Current English 1 (reading)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Current English 2 (reading)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Current English 1 (listening)	2・3・4前・後		2					○										兼4	
	Current English 2 (listening)	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Japanese Studies through English	2・3・4前・後		2					○										兼5	
	Language and History	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies A	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies B	2・3・4前		2					○										兼1	
	English through Movies C	2・3・4前		2					○										兼1	
	World Cultures	2・3・4後		2					○										兼1	
World Heritage Sites	2・3・4前		2					○										兼1		
English through Dramas	後		2					○										兼1		
Advertisement English	2・3・4後		2					○										兼1		
English through Movies D	2・3・4後		2					○										兼1		

ル / コ ー ス	English through Movies E	2・3・4後	2					○							兼1	
	English through Movies F	2・3・4後	2					○							兼1	
	Introduction to Global Studies A:Humanities	2・3・4前	2					○							兼1	
	Introduction to Global Studies B:Social Science	2・3・4前	2					○							兼1	
	Introduction to Global Studies B:Natural Science	2・3・4前	2					○							兼1	
	Multimodal Communication in English Business Speaking	2・3・4前	2					○							兼1	
	Current News through English Media	2・3・4前	2					○							兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○							兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○							兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○							兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○							兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○							兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○							兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	IELTS	2・3・4前	2					○							兼2	
	小計 (39科目)	—	0	82	0	—				0	0	0	0	0	0	兼63
モ ジ ユ ー ル / コ ー ス ア ド バ ン ス ト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前	4					○							兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前	4					○							兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後	4					○							兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後	4					○							兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後	4					○							兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後	4					○							兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後	2					○							兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後	2					○							兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後	2					○							兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後	2					○							兼1	
	CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後	2					○							兼1	
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前	2					○							兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後	2					○							兼1		
小計 (16科目)	—	0	44	0	—				0	0	0	0	0	0	兼24	—
モ ジ ユ ー ル / コ ー ス オ ナ ー ズ ・	University Lecture A	2・3・4前	2					○							兼1	
	University Lecture C	2・3・4前	2					○							兼1	
小計 (2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	0	兼2	—
（ イ ン テ ル ナ シ ョ ン ・ 研 修 モ ジ ユ ー ル / コ ー ス	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前	2					○							兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前	1					○							兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後	3					○							兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後	3					○							兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前	2					○							兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後	1					○							兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後	3					○							兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○							兼1	集中
	オンライン海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○							兼2	集中
	小計 (10科目)	—	0	20	0	—				0	0	0	0	0	0	兼10



	小計 (9科目)	—	0	17	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼11	—
基礎自由学 科目共通科目群 (ドイツ語系科目) (中級レベル)	ドイツ語中級1	2・3・4前		2				○							兼8	共同
	ドイツ語中級2	2・3・4後		2				○							兼7	共同
	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前		1				○							兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前		1				○							兼2	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後		1				○							兼3	
	ドイツ語スタンダード4	2・3・4後		1				○							兼2	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼12	—
コア自由学 科目共通科目群 (ドイツ語系科目) (上級レベル)	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後		2				○							兼2	
	ドイツ語総合B1 (1)	2・3・4前		2				○							兼1	
	ドイツ語総合B1 (2)	2・3・4後		2				○							兼1	
	小計 (10科目)	—	0	20	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼7	—
ドイツ語入門科目 (ドイツ語系科目)	基礎ドイツ語入門	2・3・4前		2				○							兼6	
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後		2				○							兼6	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼6	—
海外自由学 科目共通科目群 (ドイツ語系科目) (ドイツ語系科目)	ドイツ語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	ドイツ語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2				○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎自由学 科目共通科目群 (フランス語系科目) (中級レベル)	フランス語中級1	2・3・4前		2				○							兼6	共同
	フランス語中級2	2・3・4後		2				○							兼6	共同
	フランス語スタンダード1	2・3・4前		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード2	2・3・4前		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード3	2・3・4後		1				○							兼2	
	フランス語スタンダード4	2・3・4後		1				○							兼2	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼8	—
コア自由学 科目共通科目群 (フランス語系科目) (上級レベル)	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後		2				○							兼2	
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○							兼1	
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○							兼1	
	上級フランス語演習1	2・3・4前		2				○							兼2	
	上級フランス語演習2	2・3・4後		2				○							兼2	

目																			
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—					0	0	0	0	0	0	兼5	—	
情報処理論 (中級レベル)	言語情報処理論 (フランス語)	1・2・3・4前		2					○								兼1		
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—					0	0	0	0	0	0	兼1	—	
フランス語入門科目	基礎フランス語入門	2・3・4前		2					○								兼6		
	基礎フランス語初級	2・3・4後		2					○								兼6		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—					0	0	0	0	0	0	兼6	—	
海外言語文化研修	フランス語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○								兼1		
	フランス語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○								兼1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—					0	0	0	0	0	0	兼1	—	
基礎科目群 (中級レベル)	スペイン語中級1	2・3・4前		2					○								兼8	共同	
	スペイン語中級2	2・3・4後		2					○								兼8	共同	
	スペイン語スタンダード1	2・3・4前		1					○								兼4		
	スペイン語スタンダード2	2・3・4前		1					○								兼3		
	スペイン語スタンダード3	2・3・4後		1					○								兼3		
	スペイン語スタンダード4	2・3・4後		1					○								兼3		
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—					0	0	0	0	0	0	兼13	—	
コア科目群 (上級レベル)	上級スペイン語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○								兼2		
	上級スペイン語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○								兼2		
	上級スペイン語ライティング1	2・3・4前		2					○								兼2		
	上級スペイン語ライティング2	2・3・4後		2					○								兼2		
	上級スペイン語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○								兼2		
	上級スペイン語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○								兼2		
	上級スペイン語演習1	2・3・4前		2					○								兼2		
	上級スペイン語演習2	2・3・4後		2					○								兼2		
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—					0	0	0	0	0	0	兼6	—	
処理論 (中級レベル)	言語情報処理論 (スペイン語)	1・2・3・4前・後		2					○								兼2		

言語系科目 （スペイン語） 言語情報																			
	小計（1科目）	—	0	2	0	—												兼2	—
自由学 （スペイン語） 言語系科目 （入門科目）	基礎スペイン語入門	2・3・4前		2					○									兼9	
	基礎スペイン語初級	2・3・4後		2					○									兼9	
小計（2科目）	—	0	4	0	—													兼9	—
自由学 （スペイン語） 言語系科目 （文化研修）	スペイン語海外言語文化研修（中級）	1・2・3後		2					○									兼1	
	スペイン語海外言語文化研修（上級）	2・3後		2					○									兼1	
小計（2科目）	—	0	4	0	—													兼1	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （基礎レベル）	中国語中級1	2・3・4前		2					○									兼4	
	中国語中級2	2・3・4後		2					○									兼4	
	中国語スタンダード1	2・3・4前		1					○									兼4	
	中国語スタンダード2	2・3・4前		1					○									兼4	
	中国語スタンダード3	2・3・4後		1					○									兼4	
	中国語スタンダード4	2・3・4後		1					○									兼4	
小計（6科目）	—	0	8	0	—													兼10	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （上級レベル）	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○									兼1	
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○									兼1	
	上級中国語ライティング1	2・3・4前		2					○									兼1	
	上級中国語ライティング2	2・3・4後		2					○									兼1	
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級中国語演習1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級中国語演習2	2・3・4後		2					○									兼2	
小計（8科目）	—	0	16	0	—													兼2	—
自由学 （中国語） 言語系科目 （言語情報）	言語情報処理論（中国語）	1・2・3・4前・後		2					○									兼2	
	小計（1科目）	—	0	2	0	—												兼2	—

中国語入門科目 （中国語）	基礎中国語入門	2・3・4前	2					○							兼5	
	基礎中国語初級	2・3・4後	2					○							兼5	
小計（2科目）		—	0	4	0			—	0	0	0	0	0	0	兼5	—
海外言語文化研修 科目 （中国語）	中国語海外言語文化研修（中級）	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春（中級）	1・2・3後	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修（上級）	2・3・4前	2					○							兼1	
	中国語海外言語文化研修春（上級）	2・3後	2					○							兼1	
小計（4科目）		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎科目群 （朝鮮語） （中級レベル）	朝鮮語中級1	2・3・4前	2					○							兼6	共同
	朝鮮語中級2	2・3・4後	2					○							兼6	共同
	朝鮮語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼3	
	朝鮮語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼2	
	朝鮮語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼3	
朝鮮語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼3		
小計（6科目）		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	0	兼12	—
コア科目群 （朝鮮語） （上級レベル）	上級朝鮮語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級朝鮮語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級朝鮮語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計（8科目）		—	0	16	0			—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
処理論 （中級レベル）	言語情報処理論（朝鮮語）	1・2・3・4後	2					○							兼2	
	小計（1科目）	—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	0	兼2	—
朝鮮語入門科目 （朝鮮語）	基礎朝鮮語入門	2・3・4前	2					○							兼9	
	基礎朝鮮語初級	2・3・4後	2					○							兼9	

	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—
海外自由学 言語文化 研修	朝鮮語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	朝鮮語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2			○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
自由学 科目 目 (ロシア 語)	ロシア語セミナーA	2・3・4前		1			○							兼1	
	ロシア語セミナーB	2・3・4後		1			○							兼1	
	ロシア語セミナーC	2・3・4前		1			○							兼1	
	ロシア語セミナーD	2・3・4後		1			○							兼1	
	ロシア語セミナー1	2・3・4前		1			○							兼1	
	ロシア語セミナー2	2・3・4後		1			○							兼1	
	小計 (6科目)	—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
基礎自由学 からの ロシア語	基礎ロシア語入門	2・3・4前		2			○							兼3	
	基礎ロシア語初級	2・3・4後		2			○							兼3	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
(自由学 科目 目 (ポルト ガル語))	ポルトガル語3	2・3・4前		1			○							兼1	
	ポルトガル語4	2・3・4後		1			○							兼1	
	小計 (2科目)	—	0	2	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
入門自由学 レベル (日本語)	日本語 1	1・2・3・4前		1			○							兼3	共同
	日本語 2	1・2・3・4後		1			○							兼3	共同
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
初級自由学 レベル (日本語)	日本語 1	1・2・3・4前		1			○							兼3	共同
	日本語 2	1・2・3・4後		1			○							兼3	共同
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—

中級レベル	全学共通科目 日本語系科目 日本語	日本語 3	1・2・3・4前	1				○							兼3	共同	
		日本語 4	1・2・3・4後	1				○							兼3	共同	
小計 (2科目)		—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—		
自由科目 全学共通科目 日本語系科目	日本語	日本の社会と文化A	2・3・4前	2				○							兼1		
		日本の社会と文化B	2・3・4後	2				○							兼1		
		日本の社会と文化C	2・3・4後	2				○							兼1		
		社会の中の日本語A	2・3・4前	2				○							兼1		
		社会の中の日本語B	2・3・4後	2				○							兼1		
		論文読解の技法	2・3・4前	2				○							兼2		
		論文作成の技法	2・3・4後	2				○							兼2		
		キャリアの日本語A	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		キャリアの日本語B	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後	2				○							兼3		
		ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後	2				○							兼2		
		ビジネスメールと文書	2・3・4前・後	2				○							兼2		
小計 (12科目)		—	0	24	0	—			0	0	0	0	0	兼14	—		
NEXUS プログラム 言語教育科目	立教フリースタイル	NEXUS日本語A	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語B	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語C	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語D	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語E	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語F	1後	1				○							兼3		
		NEXUS日本語G	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語H	1後	1				○							兼1		
		NEXUS日本語I	1後	1				○							兼2		
		NEXUS日本語J	1後	1				○							兼1		
		小計 (10科目)		—	10	0	0	—			0	0	0	0	0	兼9	—
		日本史1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		日本史2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		外国史1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		外国史2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		地理学1	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		地理学2	1・2・3・4後		2	○									兼1		
		地誌学	1・2・3・4前		2	○									兼1		
		【再掲】法学1	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】法学2	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】政治学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】コミュニティ政策学入門	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】生活困窮者支援	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】自治体政策論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会開発論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】政策科学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】地方財政論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】地方自治論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】福祉制度論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会学1	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】社会学2	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】経済学	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】コミュニティ・ビジネス	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】パートナーシップ論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】リサーチ・デザイン	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】データ分析入門	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】多文化共生論	—	—	—	—	—	—	—								
		【再掲】現代コミュニティ論	—	—	—	—	—	—	—								



【再掲】情報処理2	—	—	—	—	—	—	—	—							
【再掲】情報処理3	—	—	—	—	—	—	—	—							
【再掲】情報処理4	—	—	—	—	—	—	—	—							
小計（89科目／うち初出26科目）	—	0	0	55	—	—	—	—	0	0	0	0	0	兼44	—
合計（722科目）	—	58	1324	55	—	—	—	—	7	7	0	3	0	兼886	—
学位又は称号	学士（コミュニティ政策学）		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科コミュニティ学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目（共通）を10単位、専門必修科目（コミュニティ専修）を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（コミュニティ専修）から28単位以上を修得する必要がある。</p> <p>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。</p> <p>なお、専門必修科目（共通）のうち、コミュニティ学演習1A・B（政策学演習1A・B）、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。</p> <p>（履修科目の登録の上限：48単位（年間））</p> <p>コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科政策学専修は全学共通科目を28単位以上、専門必修科目（共通）を10単位、専門必修科目（政策専修）を2単位、専門基礎科目を18単位、専門応用科目を42単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得することを卒業要件とする。</p> <p>専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（政策専修）から28単位以上を修得する必要がある。</p> <p>卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に参入することができる。</p> <p>なお、専門必修科目（共通）のうち、政策学演習1A・B（コミュニティ学演習1A・B）、講読演習A・B、社会調査実習から4単位を選択必修とする。</p> <p>（履修科目の登録の上限：48単位（年間））</p>							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			14週					
							1時限の授業時間			100分					



教育課程等の概要															
(スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目	基礎演習(学びの技法を含む)	1前	2					○		10	6				兼4 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス 兼4 -
	スポーツウエルネス学入門	1前	2				○		10	6					
	スポーツマンシップ論	1前	2				○			1					
	スポーツリーダーシップ論	1後	2				○			1					
	スポーツウエルネスワークショップA	1後	2					○	3	3					
	スポーツウエルネスワークショップB	2前	2					○	4	1					
	スポーツウエルネスワークショップC	2後	2					○	3	2					
小計(7科目)	-	-	14	0	0			-	10	6					
卒業研究科目	卒業研究指導演習(ベーシックコース)	4通		4				○	10	5					
	卒業研究指導演習(アドバンスコース)	4通		10				○	10	5					
	小計(2科目)	-	0	14	0			-	10	5	0	0	0	-	
専門基礎科目	運動方法学演習1	1・2・3・4前		2				○						兼1 ※演習	
	運動方法学演習2	1・2・3・4前		2				○	1					※演習	
	運動方法学演習3	1・2・3・4後		2				○	1					※演習	
	運動方法学演習4	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習5	1・2・3・4休		2				○					兼2 集中・共同 ※演習		
	運動方法学演習6	1・2・3・4休		2				○		1			兼1 集中・共同 ※演習		
	運動方法学演習7	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習8	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習9	1・2・3・4前		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習10	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習11	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習12	1・2・3・4後		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習13	1・2・3・4前		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習14	1・2・3・4前		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習15	1・2・3・4前		2				○					兼1 ※演習		
	運動方法学演習16	1・2・3・4前		2				○					兼1 ※演習		
	情報処理1	1・2・3・4前		2				○						兼1	
	情報処理2	1・2・3・4後		2				○						兼1	
	異文化スタディ	1・2・3・4休		2			○				1			集中	
	キャリア形成論	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	ウエルネス科学総論	1・2・3・4後		2			○			1					
	スポーツ科学総論	1・2・3・4後		2			○			1					
	運動方法学	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	生涯スポーツ論	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	運動生理学	1・2・3・4後		2			○			1					
	生理学	1・2・3・4前		2			○			1					
	運動処方・療法	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	解剖学1	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	解剖学2	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	アスレティックトレーナーの役割	1・2・3・4前		2			○				1				
ウエルネスと時間生物学	1・2・3・4後		2			○							兼1		
ウエルネス理解のための基礎生命科学	1・2・3・4前		2			○			1						
環境・サステイナビリティ論	1・2・3・4前		2			○				1					
ウエルネス理解のための細胞生物学	1・2・3・4後		2			○			1						
抗加齢医学とウエルネス	1・2・3・4前		2			○							兼1		
体育原理・体育史	1・2・3・4前		2			○							兼1		
スポーツ教育論	1・2・3・4後		2			○							兼1		

	データサイエンス概論	1・2・3・4後		2		○				1						兼22	—
	小計 (38科目)	—	0	76	0	—				5	4	0	0	0			
専門 基幹 科目	身体文化論	2・3・4前		2		○										兼1	
	発育・発達・加齢論	2・3・4後		2		○			1								
	スポーツウエルネス心理学 (基礎)	2・3・4前		2		○			1								
	ストレンクス・コンディショニング論 (基礎)	2・3・4前		2		○										兼1	
	運動・スポーツ栄養学 (基礎)	2・3・4前		2		○			1								
	スポーツ社会学	2・3・4後		2		○			1								
	測定評価演習	2・3・4後		2				○								兼1	※演習
	アダプテッド・スポーツ論	2・3・4前		2		○										兼1	
	ダイバーシティ・スポーツ論	2・3・4前		2		○			1								
	スポーツ政策	2・3・4前		2		○										兼1	
	健康政策	2・3・4前		2		○										兼1	
	スポーツコーチ学	2・3・4後		2		○			1								
	コーチングスキル	2・3・4後		2		○										兼1	
	スポーツ・健康産業論	2・3・4後		2		○										兼1	
	コンディショニングの実際	2・3・4後		2				○		1							
	コンディショニング概論	2・3・4前		2		○				1							
	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング概論	2・3・4後		2		○										兼1	
	測定と評価	2・3・4前		2				○								兼1	
	スポーツ医学 (外傷・障害) 1	2・3・4前		2		○				1							
	スポーツ医学 (外傷・障害) 2	2・3・4後		2		○				1							
	コンディショニングの方法	2・3・4後		2				○			1						
	アスレティックリハビリテーション実習 1	2・3・4後		2					○							兼1	※演習
	スポーツと法	2・3・4後		2		○										兼1	
生物多様性と人間社会	2・3・4後		2		○					1							
応用生命科学	2・3・4後		2		○				1								
学校保健・学校安全	2・3・4前		2		○										兼1		
スポーツデータ収集演習	2・3・4前		2					○		1						※演習	
インターンシップ	2・3・4通		4					○		1						※演習	
インターンシップ実習 1	2・3・4前		2					○			1					※演習	
インターンシップ実習 2	2・3・4後		2					○							兼1	※演習	
	小計 (30科目)	—	0	62	0	—				8	3	0	0	0		兼11	—
専門 展 開 科 目	レクリエーション援助論	3・4前		2		○										兼1	
	レクリエーション援助演習	3・4後		2				○								兼1	※演習
	メンタルマネジメント	3・4前		2		○			1								
	スポーツジャーナリズム	3・4前		2		○										兼1	
	バイオメカニクス	3・4前		2		○				1							
	スポーツ倫理学	3・4前		2		○										兼1	
	ウエルネスプロモーション論	3・4後		2		○			1								
	スポーツビジネス論	3・4前		2		○				1							
	スポーツマネジメント論	3・4前		2		○				1							
	コミュニティスポーツ論	3・4後		2		○				1							
	障害者スポーツ論	3・4前		2		○										兼1	
	小児保健・精神保健	3・4前		2		○										兼1	
	公衆衛生学	3・4前		2		○										兼1	
	ユニバーサルスポーツ援助技術演習	3・4後		2					○	1							※演習
	健康運動指導演習	3・4後		2					○							兼1	※演習
	障害者スポーツ実践論	3・4前		2					○							兼1	※演習
	リハビリテーション論	3・4後		2		○										兼1	
	スポーツコーチング演習	3・4後		2					○	1							※演習
	専門演習 1	3・4前		2				○		10	5						
	専門演習 2	3・4後		2				○		10	5						
	スポーツコーチング特論	3・4休		2		○					1					兼4	集中・ オムニバス
動作分析法演習	3・4前		2					○		1						※演習	
ダイバーシティ・スポーツ演習	3・4後		2				○		1								
生活習慣病の科学	3・4前		2		○										兼1		
運動処方・療法演習	3・4前		2					○							兼1	※演習	
スポーツウエルネス心理学 (応用)	3・4後		2		○				1								

	運動・スポーツ栄養学（応用）	3・4後	2		○			1											
	組織マネジメントサービス論	3・4後	2		○														兼1
	スポーツ行政学	3・4前	2		○														兼1
	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング1	3・4前	2			○													兼1
	アスレティックリハビリテーション&リコンディショニング2	3・4後	2			○													兼1
	救急処置	3・4前	2			○					1								
	ストレングス・コンディショニング論（応用）	3・4後	2																兼1
	スポーツ医学（内科）	3・4前	2		○														兼1
	アスレティックリハビリテーション実習2	3・4前	2				○												兼1 ※演習
	アスレティックリハビリテーション実習3	3・4後	2				○												兼1 ※演習
	アスレティックリハビリテーション実習4	3・4前	2				○				1								兼1 ※演習
	運動障害と運動負荷試験	3・4前	2			○			1										
	スポーツ教材論	3・4前	2		○														兼1
	学校運動部指導論	3・4後	2		○														兼1
	スポーツ人類学	3・4後	2		○														兼1
	スポーツ工学演習	3・4後	2				○				1								兼1 ※演習
	スポーツ哲学	3・4前	2		○														兼1
	スポーツデータ解析演習	3・4後	2				○				1								兼1 ※演習
	スポーツビジネスコミュニケーション演習	3・4後	2			○					1								
	小計（45科目）	—	0	90	0	—	—	10	6	0	0	0							兼22
専 門 英 語 科 目	Quantitative Research Methods in Sport and Exercise	1・2・3・4後	2		○			1											
	Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Basic)	1・2・3・4前	2			○													兼1
	English Communication in Sport 1	1・2・3・4後	2			○													兼1
	Introduction to Sport and Wellness Overseas	1・2・3・4前	2		○														兼1
	International Society and Sport	1・2・3・4後	2		○														兼1
	Comparative Sport Culture	2・3・4後	2		○				1										
	Motivational Psychology in Sports and Exercise	2・3・4前	2		○			1											
	Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Advanced)	2・3・4後	2			○													兼1
	English Communication in Sport 2	2・3・4後	2			○													兼1
	English for Future Careers in Sport and Wellness	2・3・4前	2			○													兼1
	Contemporary Issues in Global Sports	2・3・4後	2		○														兼1
	Psychology of Well-Functioning and Performance	3・4前	2		○			1											
小計（12科目）	—	0	24	0	—	—	1	1	0	0	0								兼1
自 由 科 目	【専門関連科目】																		
	心理学1	1・2・3・4前	2		○														兼1
	心理学2	1・2・3・4後	2		○														兼1
	生涯学習概論1	1・2・3・4前	2		○														兼1
	生涯学習概論2	1・2・3・4後	2		○														兼1
	生涯学習支援論1	1・2・3・4前	2		○														兼1
	生涯学習支援論2	1・2・3・4後	2		○														兼1
	社会教育経営論1	1・2・3・4前	2		○														兼1
	社会教育経営論2	1・2・3・4後	2		○														兼1
小計（8科目）	—	0	16	0	—	—	0	0	0	0	0								兼5
全 学 科	世界史の中のキリスト教	1・2・3・4前	2		○														兼4
	思想を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○														兼4
	美術の中のキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○														兼4
	音楽の中のキリスト教	1・2・3・4前	2		○														兼2
	文学を生み出すキリスト教	1・2・3・4前・後	2		○														兼3
	国際社会の中の宗教	1・2・3・4前	2		○														兼4
	現代社会の中の宗教1	1・2・3・4前・後	2		○														兼3
	現代社会の中の宗教2	1・2・3・4前・後	2		○														兼4
	人文学からの学び（文学）	1・2・3・4前・後	2		○														兼5
	人文学からの学び（思想・教育）	1・2・3・4前・後	2		○														兼3
	人文学からの学び（史学）	1・2・3・4前・後	2		○														兼3
	芸術への扉	1・2・3・4前	2		○														兼4
	グローバル経済社会を考える	1・2・3・4前・後	2		○														兼4
	社会学からの学び	1・2・3・4前	2		○														兼1
	学びの場としての社会	1・2・3・4前	2		○														兼1
	メディアからみる学び	1・2・3・4前	2		○														兼1
	法と政治の世界	1・2・3・4前	2		○														兼3
	経営学への招待	1・2・3・4前・後	2		○														兼4
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2		○														兼4
	現代社会の諸相	1・2・3・4前・後	2		○														兼4

六 通 科 目	の 精 神	自然科学の探究	1・2・3・4前・後	2		○											兼4	オムニバス	
		身体科学からの学び	1・2・3・4前・後	2			○			2	1								
		現代心理学からの学び	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		アジア地域での平和構築	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		グローバル社会での平和構築	1・2・3・4前	2			○											兼3	
		大学生の学び・社会で学ぶこと	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		人権とジェンダー	1・2・3・4前	2			○											兼2	
		ライフマネジメントと学生生活	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		立教大学の歴史	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		西欧キリスト教社会における大学の誕生	1・2・3・4前・後	2			○											兼2	
		キャリアデザイン	1・2・3・4前	2			○											兼3	
		キリスト教史に学ぶ多文化共生	1・2・3・4前	2			○											兼4	
		美と生命について：キリスト教の美学	1・2・3・4前	2			○											兼4	
		愛について：キリスト教の倫理と哲学	1・2・3・4前	2			○											兼2	
		教養の扉をひらく	1・2・3・4前	2			○											兼1	
		Economy and Society	1・2・3・4前	2			○											兼1	
		University Education in the World	1・2・3・4前	2			○											兼1	集中
		多文化共生社会と大学—やさしい日本語	1・2・3・4後	4			○											兼1	
		Image Studies	1・2・3・4前	2			○											兼1	
		GL101	1・2・3・4前	2				○										兼13	
小計 (40科目)	—	0	82	0	—				2	1	0	0	0			兼118	—		
全 学 共 通 科 目	多 彩 な 学 び 1 人 間 の 探 究	聖書と人間	1・2・3・4後	2		○											兼3		
		聖書考古学	1・2・3・4後	2		○											兼1		
		ジェンダーとキリスト教	1・2・3・4後	2		○											兼1		
		イスラームの世界	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		「宗教」とは何か	1・2・3・4前・後	2		○												兼1	
		現代社会と人間	1・2・3・4前・後	2		○												兼3	
		哲学への扉	1・2・3・4前	2		○												兼2	
		論理的思考法	1・2・3・4前・後	2		○												兼1	
		教育と人間	1・2・3・4後	2		○												兼2	
		歴史への扉	1・2・3・4前・後	2		○												兼5	
		地域研究への扉	1・2・3・4前・後	2		○												兼3	
		多文化の世界	1・2・3・4前・後	2		○												兼3	
		文化を生きる	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		人権思想の根源	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		手話と人権を考える	1・2・3・4前・後	2		○												兼1	
		点字から考える人権	1・2・3・4前	2		○												兼1	
		アジアの文化とことば	1・2・3・4前	2		○												兼1	
		ヨーロッパの文化とことば	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		ラテンアメリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○												兼1	
		ロシア・東欧の文化とことば	1・2・3・4後	2		○												兼1	
		中東の文化とことば	1・2・3・4前	2		○												兼1	
		アフリカの文化とことば	1・2・3・4後	2		○												兼1	
		イタリアの文化とことば	1・2・3・4後	2		○												兼2	
		ドイツ語圏の文化	1・2・3・4前	2		○												兼2	
		フランス語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○												兼1	
		スペイン語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		中国語圏の文化	1・2・3・4前・後	2		○												兼1	
		朝鮮語圏の文化	1・2・3・4後	2		○												兼2	
		教育学への扉	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		現代社会における言葉の持つ意味	1・2・3・4前	2		○												兼1	
		立教ゼミナール 1	1・2・3・4前・後	2			○											兼3	
		立教ゼミナール発展編 1	1・2・3・4前・後	2			○											兼4	
		睡眠文化論	1・2・3・4後	2		○												兼2	オムニバス
ボランティア論	1・2・3・4前	2		○												兼2	オムニバス		
哲学対話 in RIKKYO	1・2・3・4前・後	2		○												兼6	オムニバス		
「伝えること」とは何か	1・2・3・4後	2		○												兼2			
仏教の世界	1・2・3・4後	2		○												兼1			
日本の宗教	1・2・3・4後	2		○												兼2			
日本文化と精神性	1・2・3・4前	2		○												兼1			
立教学院とポール・ラッシュ	1・2・3・4前	2		○					1							兼2	オムニバス		
多文化共生社会と日本—やさしい日本語	1・2・3・4後	4		○												兼1			
Japanese Ethnology	1・2・3・4前・後	2		○												兼2			
World History	1・2・3・4前・後	4		○												兼1			
Religions in Asia	1・2・3・4後	2		○												兼1			
Peace and Human Rights 1	1・2・3・4前・後	1		○												兼1			
Peace and Human Rights 2	1・2・3・4前・後	1		○												兼1			
小計 (46科目)	—	0	94	0	—				1	0	0	0	0			兼83	—		
六 通 科 目	の 精 神	入門・経済教室	1・2・3・4前・後	2		○											兼3		
		統計情報で社会・経済を診断する	1・2・3・4後	2		○											兼1		
		景気・格差問題と統計情報	1・2・3・4後	2		○											兼2		
		法と社会	1・2・3・4前・後	2		○												兼2	
		政治と社会	1・2・3・4後	2		○												兼2	
		グローバル社会における法と政治	1・2・3・4前・後	2		○												兼3	
		現代のビジネスを学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○												兼3	
企業と社会	1・2・3・4前・後	2		○												兼3			



		立教人から学ぶメディアの世界	1・2・3・4前	2		○								兼2	
		地域学への招待	1・2・3・4後	2		○								兼2	
		小計(84科目)	—	0	168	0	—		0	0	0	0	0	兼117 —	
全学共通科目	多彩な学び 3 芸術・文化への招待	文学への扉	1・2・3・4前	2		○								兼5	
		表象文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼6
		美術の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		美術と社会	1・2・3・4後	2		○									兼3
		音楽の歴史	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		音楽と社会	1・2・3・4後	2		○									兼3
		美術論演習	1・2・3・4前・後	2				○							兼3
		音楽論演習	1・2・3・4前・後	2				○							兼2
		キリスト教美術	1・2・3・4後	2			○								兼2
		キリスト教音楽	1・2・3・4後	2			○								兼2
		都市と芸術	1・2・3・4後	2			○								兼1
		建築と文化	1・2・3・4後	2			○								兼1
		舞踊論	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		映像と社会	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		身体表現と哲学	1・2・3・4前・後	2			○								兼2
		ドイツ語圏の文学	1・2・3・4後	2			○								兼2
		フランス語圏の文学	1・2・3・4前・後	2			○								兼2
		スペイン語圏の文学	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		中国語圏の文学	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		朝鮮語圏の文学	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		立教ゼミナール3	1・2・3・4前・後	2					○						兼2
		立教ゼミナール発展編 3	1・2・3・4前	2					○						兼1
		日本の美術	1・2・3・4前・後	2			○								兼2
		日本の音楽	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		日本の演劇	1・2・3・4後	2					○						兼1
		Japanese Culture 1	1・2・3・4前・後	2					○						兼2
		Japanese Culture 2	1・2・3・4後	2					○						兼1
		Japanese Arts A	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		Japanese Arts B	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
		Literature and Society	1・2・3・4後	4			○								兼1
		Culture and Fine Arts	1・2・3・4前	4			○								兼1
Exploring Children's Literature	1・2・3・4前	2			○								兼1		
Techniques for Reading and Enjoying a Picturebook in English	1・2・3・4後	2			○								兼1		
The Psychology of Literature 1	1・2・3・4前・後	1			○								兼1		
The Psychology of Literature 2	1・2・3・4前・後	1			○								兼1		
観光と文学	1・2・3・4後	2			○								兼3		
小計(36科目)	—	0	74	0	—				0	0	0	0	0	兼60 —	
全学共通科目	多彩な学び 4 心身への着目	認知・行動・身体	1・2・3・4前・後	2		○								兼3	
		心の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		パーソナリティの心理	1・2・3・4後	2		○									兼3
		対人関係の心理	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		心の健康	1・2・3・4前	2		○									兼2
		身体パフォーマンス	1・2・3・4前・後	2		○									兼2
		ストレスマネジメント	1・2・3・4前	2		○									兼2
		癒しの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2
		健康の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼2
		栄養の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		アンチエイジングの科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		スポーツとメディア	1・2・3・4後	2		○									兼2
		スポーツと社会	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		スポーツと文化	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		レジャー・レクリエーションと現代社会	1・2・3・4前	2		○									兼1
		アウトドアの知恵に学ぶ	1・2・3・4前・後	2		○									兼1
		立教ゼミナール4	1・2・3・4後	2					○		1				兼1
		立教ゼミナール発展編 4	1・2・3・4前・後	2					○		1				兼3
		Japanese Mind	1・2・3・4前	2			○								兼1
		Individual Differences in Psychology	1・2・3・4前・後	2			○								兼1
Health and Wellness	1・2・3・4後	4			○								兼1		
Understanding Speech Sounds 1	1・2・3・4後	1			○								兼1		
Understanding Speech Sounds 2	1・2・3・4後	1			○								兼1		
いのちを健康で彩る智慧	1・2・3・4前	2			○				1				兼1		
小計(25科目)	—	0	50	0	—				3	0	0	0	0	兼36 —	
		数学の世界	1・2・3・4前・後	2		○									兼4
		宇宙の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼4
		生命の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼5
		物質の科学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		身近な物質の化学	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		化学と自然	1・2・3・4前・後	2		○									兼3
		行動の科学	1・2・3・4後	2		○									兼2
		生命の歩み	1・2・3・4前・後	2		○									兼2
		地球の理解	1・2・3・4前・後	2		○									

全学共通科目	多彩な学び 5 自然の理解	情報科学A	1・2・3・4前・後	2		○											兼2	
		情報科学B	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		自然環境の保全	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		生物の多様性	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		地球環境の未来	1・2・3・4前	2		○												兼1
		自然と人間の共生	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		脳と心	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		オーダーメイド医療最前線	1・2・3・4後	2		○												兼1
		大学と科学技術	1・2・3・4前・後	2		○												兼2
		化学と社会	1・2・3・4前・後	2		○												兼1
		宇宙から地球のみらいを考える	1・2・3後	2		○												兼1
		立教ゼミナール5	1・2・3・4後	2				○										兼1
		Science Studies	1・2・3・4前	2			○											兼1
		Nature of the Earth	1・2・3・4前	4			○											兼1
		Understanding of Agricultural Science	1・2・3・4前	2			○											兼1
		Importance of Global Plant Health	1・2・3・4後	2			○											兼1
		Ecology:Environment and Sustainability 1	1・2・3・4後	1			○											兼1
		Ecology:Environment and Sustainability 2	1・2・3・4後	1			○											兼1
		カーボンニュートラル人材育成講座	1・2・3・4後	2			○											兼2
		オムニバス																
小計 (28科目)		—	0	56	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼48	
全学共通科目	多彩な学び 6 知識の現場	GL111	1・2・3・4後	2		○											兼2	
		GL102	1・2・3・4後	2		○											兼1	
		GL103	1・2・3・4後	2		○											兼1	
		GL201	1・2・3・4後	2		○											兼2	
		GL202	1・2・3・4前	2		○											兼2	
		GL301	1・2・3前・後	2				○									兼1	
		GL302	1・2・3前	2				○									兼1	
		グローバル共通教養総論	1・2・3・4前	2		○											兼1	
		ソリューション・アプローチ (開発経済)	2・3・4前	2			○										兼1	
		ソリューション・アプローチ (強制移転・移住)	2・3・4前	2			○										兼1	
		グローバル・イシュー各論	1・2・3・4後	2		○											兼1	
		ソリューション・アプローチ (人道支援)	2・3・4後	2			○										兼1	
		ソリューション・アプローチ (紛争と平和)	2・3・4後	2			○										兼1	
		アクティブ・リサーチ	2・3・4後	2				○									兼1	
		国連ユースボランティア	1・2・3・4後	12				○									兼1	
		陸前高田プロジェクト	1・2・3・4前	2				○									兼2	
		海外インターンシップ1	1・2・3後	1				○									兼1	
		海外インターンシップ2	1・2・3後	2				○									兼1	
		国内実践グローバルインターンシップ	1・2・3・4前・後	1				○									兼1	
		国際的協働のための国内インターンシップ	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーコミュニティ (埼玉)	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーコミュニティ (池袋)	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーローカル (南魚沼)	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーグローバルA	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーグローバルB	1・2・3・4後	2				○									兼1	
		RSLーローカル (地域共生)	1・2・3・4前	2				○									兼1	
小計 (26科目)		—	0	60	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼17	
全学共通科目	多彩な学び スポーツプログラム	スポーツプログラム1 (バドミントン)	1・2・3・4前・後	1													兼2	
		スポーツプログラム1 (はじめてのバレエ)	1・2・3・4前・後	1													兼2	
		スポーツプログラム1 (ダンス (初級))	1・2・3・4前・後	1													兼1	
		スポーツプログラム2 (トレーニング初級)	1・2・3・4前・後	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (卓球)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (バスケットボール)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (バレーボール)	1・2・3・4後	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (フラッグフットボール)	1・2・3・4前	1													兼1	
		スポーツプログラム3 (アルティメット)	1・2・3・4前	1								1					兼1	
		スポーツスタディ1 (レクリエーションスポーツ)	1・2・3・4前・後	2								1					兼4	
		スポーツスタディ1 (太極拳)	1・2・3・4前・後	2								1					兼1	
		スポーツスタディ1 (日本文化と踊り)	1・2・3・4後	2													兼1	
		スポーツスタディ1 (はじめてのマラソン)	1・2・3・4前	2								1					兼1	
		スポーツスタディ1 (クライミング)	1・2・3・4前・後	2													兼3	
		スポーツスタディ1 (バドミントン)	1・2・3・4後	2													兼1	
		スポーツスタディ1 (アダプテッドスポーツ)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (日本語))	1・2・3・4前	2								1					兼1	
		スポーツスタディ1 (はじめての柔道 (英語))	1・2・3・4後	2								1					兼1	
		スポーツスタディ1 (ヒップホップ)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ2 (トレーニング)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ2 (ボディシェイプ)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ2 (ウォーターエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2													兼2	
		スポーツスタディ2 (東洋のフィットネス)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ2 (ダイエットフィットネス)	1・2・3・4前・後	2								1					兼1	
		スポーツスタディ2 (セルフケアエクササイズ)	1・2・3・4前・後	2													兼2	
		スポーツスタディ2 (ボディコンディショニング)	1・2・3・4前・後	2													兼1	
		スポーツスタディ3 (サッカー&フットサル)	1・2・3・4前	2													兼1	
スポーツスタディ3 (フットサル)	1・2・3・4前・後	2													兼4			
スポーツスタディ3 (フットサル (インドア))	1・2・3・4前・後	2													兼1			





全学共通科目言語系科目 (必修科目B / 朝鮮語)	朝鮮語基礎 1	1前	2					○							兼19	
	朝鮮語基礎 2	1後	2					○							兼19	
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	兼19	—
全学共通科目言語系科目 (必修科目B / ロシア語)	ロシア語基礎 1	1前	2					○							兼3	
	ロシア語基礎 2	1後	2					○							兼3	
	小計 (2科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
全学共通科目言語系科目 (必修科目B)	大学生の日本語 A	1前	1					○							兼7	
	大学生の日本語 B	1前	1					○							兼7	
	大学生の日本語 C	1後	1					○							兼8	
	大学生の日本語 D	1後	1					○							兼8	
	小計 (4科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0	0	兼16	—
全学共通科目言語系科目 (自由科目 / 英語)	English Intensive A (Global World)	2・3・4前	4					○							兼5	
	English Intensive B (Academic Language Skills)	2・3・4前	4					○							兼4	
	English Intensive C (Integrated Language Skills)	2・3・4後	4					○							兼5	
	English Intensive D (Intercultural Understanding)	2・3・4後	4					○							兼5	
	Intercultural Studies	2・3・4前	2					○							兼1	
	Self-directed and Reflective Language Learning	2・3・4前	2					○							兼1	
	小計 (6科目)	—	0	20	0			—	0	0	0	0	0	0	兼18	—
全学共通科目言語系科目 (自由科目 / 英語)	English Communication 1	2・3・4前・後	4					○							兼8	
	English Communication 2	2・3・4前・後	4					○							兼7	
	Pleasure Reading	2・3・4前	2					○							兼2	
	Speech	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	Debate	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	Presentation	2・3・4前・後	2					○							兼3	
	Current English 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	Current English 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	Current English 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○							兼4	
	Current English 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	Japanese Studies through English	2・3・4前・後	2					○							兼5	
	Language and History	2・3・4前	2					○							兼1	
	English through Movies A	2・3・4前	2					○							兼1	
	English through Movies B	2・3・4前	2					○							兼1	
	English through Movies C	2・3・4前	2					○							兼1	
	World Cultures	2・3・4後	2					○							兼1	
	World Heritage Sites	2・3・4前	2					○							兼1	
	English through Dramas	後	2					○							兼1	
	Advertisement English	2・3・4後	2					○							兼1	
English through Movies D	2・3・4後	2					○							兼1		
English through Movies E	2・3・4後	2					○							兼1		
English through Movies F	2・3・4後	2					○							兼1		
Introduction to Global Studies A: Humanities	2・3・4前	2					○							兼1		

	Introduction to Global Studies B:Social Science	2・3・4前	2					○								兼1	
	Introduction to Global Studies B:Natural Science	2・3・4前	2					○								兼1	
	Multimodal Communication in English	2・3・4前	2					○								兼1	
	Business Speaking	2・3・4後	2					○								兼1	
	Current News through English Media	2・3・4前	2					○								兼1	
	TOEFL 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	TOEFL 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	TOEFL 2 (speaking and writing)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 1 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 1 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼8	
	TOEIC 1 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼10	
	TOEIC 2 (reading)	2・3・4前・後	2					○								兼6	
	TOEIC 2 (listening)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	TOEIC 2 (vocabulary and grammar)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	IELTS	2・3・4前	2					○								兼2	
	小計 (39科目)	—	0	82	0			—		0	0	0	0	0		兼63	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(英科 語)目 ス(英言 語)系 アド系 ド科 バン目 スト ・	Lecture and Discussion A	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion D	2・3・4前	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion E	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion F	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion G	2・3・4後	4					○								兼1	
	Lecture and Discussion H	2・3・4後	4					○								兼1	
	Discussion and Debate	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Advanced Academic Vocabulary	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Current English 3 (Comprehensive)	2・3・4前・後	2					○								兼5	
	Academic Studies (advanced presentation)	2・3・4前・後	2					○								兼3	
	Academic Studies (advanced writing)	2・3・4前・後	2					○								兼2	
	Career Studies (English for vocational purposes)	2・3・4前・後	2					○								兼4	
	CLIL Seminars:Ecology	2・3・4後	2					○								兼1	
CLIL Seminars:Japanology	2・3・4後	2					○								兼1		
CLIL Seminars:Literature	2・3・4前	2					○								兼1		
CLIL Seminars:SDGS	2・3・4後	2					○								兼1		
	小計 (16科目)	—	0	44	0			—		0	0	0	0	0		兼24	—
モ自全 ジ由学 ユ科共 ー目通 ル(英科 語)目 ス(英言 語)系 オナ系 ナー目 ズ ・	University Lecture A	2・3・4前	2					○								兼1	
	University Lecture C	2・3・4前	2					○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0		兼2	—
(国全 イ際学 ン交共 デ流通 イ制科 ベン度 短期言 デ英語 ン英系 ト語科 ・研目 モ修 ジブ自 ユログ由 ー科目 ル(英 ／(英 コー語 ス)	ビクトリア夏ESL2	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ夏ESL1	1・2・3・4前	1					○								兼1	集中
	ダブリン春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ビクトリア春ESL2	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	ダブリン夏ESL3	1・2・3・4前	2					○								兼1	集中
	ハワイ春ESL1	1・2・3後	1					○								兼1	集中
	グリフィス春ESL3	1・2・3後	3					○								兼1	集中
	短期語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	オンライン海外語学研修科目(英語)	1・2・3・4前・後	1					○								兼2	集中
	小計 (9科目)	—	0	17	0			—		0	0	0	0	0		兼11	—
基自全 礎由学 ペ	ドイツ語中級 1	2・3・4前	2					○								兼8	共同
	ドイツ語中級 2	2・3・4後	2					○								兼7	共同

科目群 (中級レベル)	ドイツ語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼3	
	ドイツ語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼2	
	小計(6科目)	—	0	8	0			—		0	0	0	0	0	0	兼12
科目群 (上級レベル)	上級ドイツ語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級ドイツ語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級ドイツ語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
	ドイツ語総合B1(1)	2・3・4前	2					○							兼1	
	ドイツ語総合B1(2)	2・3・4後	2					○							兼1	
小計(10科目)	—	0	20	0			—		0	0	0	0	0	0	兼7	—
科目群 (ドイツ語)	基礎ドイツ語入門	2・3・4前	2					○							兼6	
	基礎ドイツ語初級	2・3・4後	2					○							兼6	
	小計(2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	兼6	—
科目群 (ドイツ語)	ドイツ語海外言語文化研修(中級)	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	ドイツ語海外言語文化研修(上級)	2・3・4前	2					○							兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0			—		0	0	0	0	0	兼1	—
科目群 (フランス語)	フランス語中級1	2・3・4前	2					○							兼6	共同
	フランス語中級2	2・3・4後	2					○							兼6	共同
	フランス語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼2	
	フランス語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼2	
	小計(6科目)	—	0	8	0			—		0	0	0	0	0	0	兼8
科目群 (フランス語)	上級フランス語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級フランス語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級フランス語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼1	
	上級フランス語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼1	
	上級フランス語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級フランス語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計(8科目)	—	0	16	0			—		0	0	0	0	0	0	兼5	—

情報処理論(中級レベル)	言語情報処理論(フランス語)	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	小計(1科目)	—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
基礎フランス語入門 基礎フランス語初級	基礎フランス語入門	2・3・4前	2					○							兼6	
	基礎フランス語初級	2・3・4後	2					○							兼6	
小計(2科目)	—	0	4	0				—	0	0	0	0	0	0	兼6	—
フランス語海外言語文化研修(中級) フランス語海外言語文化研修(上級)	フランス語海外言語文化研修(中級)	1・2・3・4前	2					○							兼1	
	フランス語海外言語文化研修(上級)	2・3・4前	2					○							兼1	
小計(2科目)	—	0	4	0				—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
スペイン語中級1 スペイン語中級2 スペイン語スタンダード1 スペイン語スタンダード2 スペイン語スタンダード3 スペイン語スタンダード4	スペイン語中級1	2・3・4前	2					○							兼8	共同 共同
	スペイン語中級2	2・3・4後	2					○							兼8	
	スペイン語スタンダード1	2・3・4前	1					○							兼4	
	スペイン語スタンダード2	2・3・4前	1					○							兼3	
	スペイン語スタンダード3	2・3・4後	1					○							兼3	
	スペイン語スタンダード4	2・3・4後	1					○							兼3	
小計(6科目)	—	0	8	0				—	0	0	0	0	0	0	兼13	—
上級スペイン語コミュニケーション1 上級スペイン語コミュニケーション2 上級スペイン語ライティング1 上級スペイン語ライティング2 上級スペイン語リスニング・リーディング1 上級スペイン語リスニング・リーディング2 上級スペイン語演習1 上級スペイン語演習2	上級スペイン語コミュニケーション1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級スペイン語コミュニケーション2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級スペイン語ライティング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級スペイン語ライティング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級スペイン語リスニング・リーディング1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級スペイン語リスニング・リーディング2	2・3・4後	2					○							兼2	
	上級スペイン語演習1	2・3・4前	2					○							兼2	
	上級スペイン語演習2	2・3・4後	2					○							兼2	
小計(8科目)	—	0	16	0				—	0	0	0	0	0	0	兼6	—
言語情報処理論(スペイン語)	1・2・3・4前・後	2						○							兼2	

語情報																			
	小計 (1科目)	—	0	2	0			—				0	0	0	0	0	兼2	—	
全学共通科目 言語系科目 スペイン語入門科目	基礎スペイン語入門	2・3・4前		2				○									兼9		
	基礎スペイン語初級	2・3・4後		2				○									兼9		
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—				0	0	0	0	0	兼9	—	
全学共通科目 言語系科目 スペイン語文化研修科目	スペイン語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3後		2				○									兼1		
	スペイン語海外言語文化研修 (上級)	2・3後		2				○									兼1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0			—				0	0	0	0	0	兼1	—	
全学共通科目 言語系科目 中国語レベル	中国語中級1	2・3・4前		2				○									兼4		
	中国語中級2	2・3・4後		2				○									兼4		
	中国語スタンダード1	2・3・4前		1				○									兼4		
	中国語スタンダード2	2・3・4前		1				○									兼4		
	中国語スタンダード3	2・3・4後		1				○									兼4		
	中国語スタンダード4	2・3・4後		1				○									兼4		
	小計 (6科目)	—	0	8	0			—				0	0	0	0	0	兼10	—	
全学共通科目 言語系科目 中国語レベル	上級中国語コミュニケーション1	2・3・4前		2				○									兼1		
	上級中国語コミュニケーション2	2・3・4後		2				○									兼1		
	上級中国語ライティング1	2・3・4前		2				○									兼1		
	上級中国語ライティング2	2・3・4後		2				○									兼1		
	上級中国語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2				○									兼2		
	上級中国語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2				○									兼2		
	上級中国語演習1	2・3・4前		2				○									兼2		
	上級中国語演習2	2・3・4後		2				○									兼2		
	小計 (8科目)	—	0	16	0			—				0	0	0	0	0	兼2	—	
全学共通科目 言語系科目 中国語レベル	言語情報処理論 (中国語)	1・2・3・4前・後		2				○									兼2		
	小計 (1科目)	—	0	2	0			—				0	0	0	0	0	兼2	—	
全学共通科目 中国語入門科目	基礎中国語入門	2・3・4前		2				○									兼5		
	基礎中国語初級	2・3・4後		2				○									兼5		

言語系科目																			
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼5	—
海外自由学 言語文化 研修	中国語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (中級)	1・2・3後		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○									兼1	
	中国語海外言語文化研修春 (上級)	2・3後		2					○									兼1	
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼1	—
基礎自由学 科目群 (中級レベル)	朝鮮語中級1	2・3・4前		2					○									兼6	共同
	朝鮮語中級2	2・3・4後		2					○									兼6	共同
	朝鮮語スタンダード1	2・3・4前		1					○									兼3	
	朝鮮語スタンダード2	2・3・4前		1					○									兼2	
	朝鮮語スタンダード3	2・3・4後		1					○									兼3	
	朝鮮語スタンダード4	2・3・4後		1					○									兼3	
	小計 (6科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼12	—
コア自由学 科目群 (上級レベル)	上級朝鮮語コミュニケーション1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語コミュニケーション2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語ライティング1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語ライティング2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語リスニング・リーディング2	2・3・4後		2					○									兼2	
	上級朝鮮語演習1	2・3・4前		2					○									兼2	
	上級朝鮮語演習2	2・3・4後		2					○									兼2	
		小計 (8科目)	—	0	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼9
処理論 (中級レベル)	言語情報処理論 (朝鮮語)	1・2・3・4後		2					○									兼2	
	小計 (1科目)	—	0	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼2	—
朝鮮語入門	基礎朝鮮語入門	2・3・4前		2					○									兼9	
	基礎朝鮮語初級	2・3・4後		2					○									兼9	
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼9	—
海外自由学	朝鮮語海外言語文化研修 (中級)	1・2・3・4前		2					○									兼1	
	朝鮮語海外言語文化研修 (上級)	2・3・4前		2					○									兼1	

日語文化研修 科目																			
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	0	兼1	—		
全学共通科目 (ロシア語系科目)	ロシア語セミナーA	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーB	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーC	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナーD	2・3・4後		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー1	2・3・4前		1				○								兼1			
	ロシア語セミナー2	2・3・4後		1				○								兼1			
小計 (6科目)	—	0	6	0	—				0	0	0	0	0	0	兼3	—			
全学共通科目 (ロシア語系科目)	基礎ロシア語入門	2・3・4前		2				○								兼3			
	基礎ロシア語初級	2・3・4後		2				○								兼3			
小計 (2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	0	兼3	—			
全学共通科目 (ポルトガル語)	ポルトガル語3	2・3・4前		1				○								兼1			
	ポルトガル語4	2・3・4後		1				○								兼1			
小計 (2科目)	—	0	2	0	—				0	0	0	0	0	0	兼1	—			
全学共通科目 (日本語系科目)	日本手話 1	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—				0	0	0	0	0	0	兼3	—		
全学共通科目 (日本語系科目)	日本手話 2	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—				0	0	0	0	0	0	兼3	—		
全学共通科目 (日本語系科目)	日本手話 3	1・2・3・4前		1				○								兼3	共同		
	日本手話 4	1・2・3・4後		1				○								兼3	共同		

日本語系科目 （日本語）																				
	小計（2科目）	—	0	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼3	—	
自由科目 （日本語系科目）	日本の社会と文化A	2・3・4前		2					○									兼1		
	日本の社会と文化B	2・3・4後		2					○									兼1		
	日本の社会と文化C	2・3・4後		2					○									兼1		
	社会の中の日本語A	2・3・4前		2					○									兼1		
	社会の中の日本語B	2・3・4後		2					○									兼1		
	論文読解の技法	2・3・4前		2					○									兼2		
	論文作成の技法	2・3・4後		2					○									兼2		
	キャリアの日本語A	2・3・4前・後		2					○									兼3		
	キャリアの日本語B	2・3・4前・後		2					○									兼3		
	ビジネスのための口頭運用力A	2・3・4前・後		2					○									兼3		
	ビジネスのための口頭運用力B	2・3・4前・後		2					○									兼2		
	ビジネスメールと文書	2・3・4前・後		2					○									兼2		
小計（12科目）	—	0	24	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼14	—		
教職科目	【再掲】運動方法学演習 1	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 2	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 3	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 4	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 5	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 6	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 7	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 8	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学演習 9	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】スポーツ科学総論	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動方法学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】ウエルネス科学総論	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】スポーツウエルネス心理学（基礎）	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】スポーツ社会学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】スポーツ倫理学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】コミュニティスポーツ論	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】バイオメカニクス	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】メンタルマネジメント	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動生理学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】生理学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動・スポーツ栄養学（基礎）	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】運動処方・療法	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】解剖学 1	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】生活習慣病の科学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】公衆衛生学	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】小児保健・精神保健	—	—	—	—	—	—	—	—											
	【再掲】スポーツ医学（外傷・障害） 1	—	—	—	—	—	—	—	—											
	保健体育科教育法 1	3・4前			2				○										兼1	
	保健体育科教育法 2	3・4前			2				○										兼1	
	保健体育科教育法演習 1	3・4後			2					○									兼1	
	保健体育科教育法演習 2	3・4後			2					○									兼1	
	教育原論	1・2・3・4前			2				○										兼5	
	教職概論	2・3・4前			2				○										兼6	
	教育制度論・教育課程論	1・2・3・4後			2				○										兼5	
	教育心理学	1・2・3・4前			2				○										兼6	
	特別支援教育の理論と方法	2・3・4後			2				○										兼5	
	道徳教育の理論と方法	1・2・3・4前			2				○										兼6	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2・3・4通			2				○										兼6	
	教育方法論	2・3・4後			2				○										兼6	
	生徒・進路指導の理論と方法	1・2・3・4後			2				○										兼6	
	学校教育相談の理論と方法	2・3・4前			2				○										兼6	
	中・高教育実習事前指導	3・4通			1				○										兼6	共同
	高校教育実習	4通			2					○									兼6	共同



教職科目	中・高教育実習	4通			4			○							兼6	共同
	教職実践演習（中・高）	4後			4			○							兼9	
	教職特別演習	3・4後			2			○							兼1	
	【再掲】日本国憲法	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツプログラム1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツプログラム2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツプログラム3	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツスタディ1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツスタディ2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツスタディ3	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツスタディ4	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スポーツスタディe	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語ディスカッション	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語ディベート	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語リーディング&ライティング1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語リーディング&ライティング2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語eラーニング	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】英語プレゼンテーション	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】上級英語1（リーディング&ライティング）	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】上級英語2（プロジェクト英語）	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】ドイツ語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】ドイツ語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】フランス語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】フランス語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スペイン語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】スペイン語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】中国語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】中国語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】朝鮮語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—							
	【再掲】朝鮮語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—							
【再掲】ロシア語基礎1	—	—	—	—	—	—	—	—								
【再掲】ロシア語基礎2	—	—	—	—	—	—	—	—								
【再掲】情報処理1	—	—	—	—	—	—	—	—								
【再掲】情報処理2	—	—	—	—	—	—	—	—								
小計（77科目／うち初出19科目）	—	0	0	41	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼36	—
合計（708科目）	—	52	1324	41	—	—	—	—	10	6	0	0	0	0	兼858	—
学位又は称号	学士（スポーツウェルネス学）			学位又は学科の分野				体育関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
スポーツウェルネス学科の卒業研究ベーシックコースは、全学共通科目28単位以上、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を4単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を12単位、専門展開科目を22単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位								1学年の学期区分				2期				

以上を修得すること。  
 卒業研究アドバンスコースは、全学共通科目28単位、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を10単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を10単位、専門展開科目を18単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得すること。  
 いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、5大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。  
 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))  
 なお、専門基礎科目のうち、運動方法学演習1～運動方法学演習16から、12単位を選択必修とする。

1学期の授業期間	14週
1時限の授業時間	100分

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
①学生の確保の見通し	2
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
ウ 学生納付金の設定の考え方	5
②学生確保に向けた具体的な取組状況	5
○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通	5
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	6
(2) 人材需要の動向等社会の要請	7
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	7
○コミュニティ福祉学部共通	7
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	8
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	9
○コミュニティ福祉学部	9
○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	9

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ①学生の確保の見通し

#### ア 定員充足の見込み

- コミュニティ福祉学部 ⇒ 廃止するスポーツウエルネス学科分 110 人減と合わせて合計 68 人減  
(福祉学科/24 人減)

入学定員 (130 人) については、「イ」及び (2) で示す、社会的状況、地域的状況、受験生からのニーズ、福祉学科の志願倍率、社会からの要請等を踏まえて決定した。また、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、学校基本調査による当該分野の志願者動向、これまでの入試結果及び競合校との関係を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

#### (コミュニティ政策学科/66 人増)

入学定員 (220 人) については、「イ」及び (2) で示す、社会的状況、地域的状況、受験生からのニーズ、コミュニティ政策学科の志願倍率、社会からの要請等を踏まえて決定した。また、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、学校基本調査による当該分野の志願者動向、これまでの入試結果及び競合校との関係を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

- スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科 ⇒ 230 人増

入学定員 (230 人) については、「イ」及び (2) で示す、新学部を設置する地域の状況、受験生からのニーズ、コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の志願倍率、社会からの要請等とともに、新学部を担当する専任教員数を踏まえて決定した。

この入学定員 (230 人) については、本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測、大学進学率、これまでの入試結果、本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数、④コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科のこれまでの入試結果、競合校との関係性及び本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数を踏まえると、問題なく定員を充足する見込みである。

#### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

- コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

##### ①本学を志願する受験生が多い東京都及び埼玉県の 18 歳人口予測

リクルート進学総研の「18 歳人口予測 (南関東: 2020 年~2032 年)」によると、全国の 18 歳人口は、2020 年の 116.7 万人から 2032 年には 14.3 万人減少し、102.3 万人になると予測されている。また、18 歳人口の動向をエリア別で見ると「南関東エリア」では、2020 年の 305,457 人から 2032 年には 288,670 人となり、1 年間で 16,787 人減少となることが予測されている。

一方、本学池袋キャンパスがある東京都は 2020 年の 105,200 人から 2032 年には 105,791 人、新座キャンパスがある埼玉県は 65,634 人から 59,587 人となり、2020 年を 100 とした場合の割合は、それぞれ 100.6%、90.8%となる。同様の全国規模での割合は、87.7%であり、全国的に人口減少が進行する中でも、本学の立地条件は人口減少の影響を受けにくいことが見てとれる (資料 1)。

##### ②大学進学率

旺文社教育情報センターによると、高等学校 (全日制・定時制) 卒業者と大学・短期大学進学者数は、2020 年 3 月に卒業した高校生 (全日制・定時制、中等教育学校後期課程) のうち 55.3%が、現役で大学・短大に進学している。同年の高校卒業者は前年より 13,258 人少ない 1,042,549 人であるが、大学・短大への現役進学率は前年 54.8%から 55.3%にアップしている (資料 2)。

一方、新座キャンパスがある埼玉県は、同年 3 月卒業者が 56,643 人、うち大学等進学者数が 33,130

人、大学等進学率は 58.5%であり、全国平均と比較すると進学率が高い傾向にある（資料3）。

## ○コミュニティ福祉学部

（福祉学科及びコミュニティ政策学科共通）

### ・学校基本調査による当該分野の志願者動向

e-statに掲載されている学校基本調査の調査結果「関係学科別大学入学状況」によれば、福祉に関する分野を多く含む社会学関係、法学・政治学関係その他分野の志願者動向並びにコミュニティ政策学科の領域と重なるコミュニティマネジメント学やコミュニティ福祉学等を含む社会学関係及び地方行政学や公共政策学等を含む法学・政治学関係その他分野の志願者動向は資料4のとおりである。入学志願者増減割合（前年度比）について、社会学関係は2020年度を除いて他の分野に比べて良い志願推移となっている。

（福祉学科）

### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部福祉学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、2020年度を除いて入学定員（154人）の10倍を超える志願者数を集めている。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①志願者数	1,742	2,130	2,542	1,287	1,567
②受験者数	1,595	1,954	2,379	1,108	1,522
③合格者数	358	349	401	352	500
④入学者数	151	152	152	154	153
⑤歩留率	2.37	2.30	2.64	2.29	3.27
⑥入定超過率	0.98	0.99	0.99	1.00	0.99

過去3年間の一般選抜における実質倍率についても、表のとおり選抜性を維持している。

	2019年度	2020年度	2021年度
一般	6.3	4.4	3.0
大学入学共通(センター)テスト(3教科)	9.6	3.3	4.2
大学入学共通(センター)テスト(6教科)	3.0	3.1	3.2

### ②競合校との関係性

2020年12月に学校法人河合塾の協力を得て、「立教大学コミュニティ福祉学部（3学科）ポジショニング検証調査」を行った（資料5）。その結果によれば、本学福祉学科は競合する他私大の福祉系学科の中で一般選抜において4番目の志願者数を獲得している（資料5／スライドNo.16）。

（コミュニティ政策学科）

### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部福祉学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、2020年度を除いて入学定員（154人）の10倍を超える志願者数を集めている。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①志願者数	1,832	2,326	1,996	1,410	2,313
②受験者数	1,686	2,143	1,828	1,228	2,159
③合格者数	360	334	351	376	469
④入学者数	154	148	155	148	146

⑤歩留率	2.3	2.3	2.3	2.5	3.2
⑥入定超過率	1.00	0.96	1.01	0.96	0.95

過去3年間の一般選抜における実質倍率についても、表のとおり選抜性を維持している。

	2019年度	2020年度	2021年度
一般	6.1	4.6	5.6
大学入学共通(センター)テスト(3教科)	7.6	3.3	5.2
大学入学共通(センター)テスト(6教科)	4.1	2.2	2.1

## ②競合校との関係性

福祉学科と同様の調査結果によれば、本学コミュニティ政策学科は競合する他私大の学科の中で一般選抜において11番目の志願者数を獲得している(資料5/スライドNO.31)。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

#### ①これまでの入試結果

2017年度～2021年度のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の志願者数等は表のとおりである。過去5年間では、入学定員(110人)の10倍を超える志願者数を集めている。

【志願者数等】	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	1,604	1,753	1,888	1,324	1,268
受験者数	1,420	1,562	1,690	1,128	1,148
合格者数	226	222	231	220	321
入学者数	113	107	111	106	108
歩留率	2.00	2.07	2.08	2.08	2.97
入学定員超過率	1.03	0.97	1.01	0.96	0.98

過去3年間の実質倍率についても、表のとおり安定した高倍率を維持している。

【実質倍率】	2019年度	2020年度	2021年度
一般	9.0	7.3	3.8
大学入学共通(センター)テスト(3教科)	10.9	8.0	5.8
大学入学共通(センター)テスト(6教科)	5.2	2.4	3.7

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科については、体育会部活動の活躍による知名度も手伝って全国各地から志願者と入学者を得ている点も特徴と言える。定員増加後は、受験者の多い東京都と埼玉県を中心に志願者数が集まると思われるが、実際にはさらに全国からの志願者と入学者が見込まれる。

## ②競合校との関係性

コミュニティ福祉学部の2学科と同様の調査の結果、私立大学(一般+センター利用方式)の学部・学科系統別志願者数(文系学部のみ)の割合をみると、「スポーツ」の志願者規模は大きな分野ではないものの、同年夏の模擬試験実施(2021年度入試対象)ではコロナ禍もあり受験者数そのものが減少しているが、その中でスポーツ健康科学系は減少幅が小さく、相対的に増加している(資料5/スライドNO.4,7)。また、スポーツウエルネス学科と併願の多い大学とその関係性をみると、併願件数上位は殆どがスポーツ系学部である(資料5/スライドNo.38,39,40)。さらに、競合大学との関係を「勝ち負け表」で経年比較すると、スポーツ健康系学科の中では2位を担保している(資料5/スライドNo.38,39,40)。

倍率についてみると、各大学の志願者規模や入学定員、合格者数の出し方等によって異なるため一概には比較できないが、スポーツウエルネス学科は比較的上位（高倍率）に位置することが分かる（資料5 /スライド No. 45）。

大学スポーツの歴史、実績を残している大学ほど知名度が高く、比例して教育研究レベルが高いイメージで映っている可能性があり、また「スポーツウエルネス」が学部ではなく、学科であることで受験生の目に付き難くなっている可能性があるという指摘されている（資料5 /スライド No. 51）。そのため、スポーツウエルネス学部になるという広報を強化して受験生へアピールすれば、志願者数の増加が見込めると考えている。さらに、現在の未曾有のコロナ禍でのスポーツ・ウエルネス教育、特に他大学にはない「ウエルネス」を学ぶことの意義・特色をアピールすることで、志願者数の増加が見込めると考えている。

### ③本学部と教育研究領域が類似する他大学学部又は学科の志願者数

近隣の状況として、埼玉県内で学部又は学科名称に「スポーツ」を含む8学科の入学定員の合計は約1,600人となっているところ、志願者数は約6,800人となっており、スポーツを学ぶことのニーズは高いと考えられる。以上のことから、18歳人口の減少期においても、埼玉県内を主なターゲットとしたスポーツ分野の学部又は学科は安定した志願者数の確保と定員充足を担保できる状況にある（資料6）。

#### ウ 学生納付金の設定の考え方

##### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

学生納付金（学費等納入金）については、入学金 200,000円は本学の既設学部と同額である。授業料は、既設の現代心理学部映像身体学科と同じ、1,190,000円（在籍料 120,000円（半期 60,000円）を含む）、実験・実習費については15,000円としている（別途研究会費 3,000円、学生健康保険互助組合費 3,500円）。新設学部の学生納付金の総額（年額）は、初年次（第1年次）が1,411,500円、第2年次以降は1,211,500円となる。また、納入方法は、各年度始めに一括納入か、春学期・秋学期のそれぞれ始めまでに分納（2回）することとして定めている。本学の既設学部（コミュニティ福祉学部）と比較した場合、新設学部の授業料が年間で62,000円高く設定されており、実験・実習費 15,000円の負担もあるが、新設学部の教育課程においては、本学の文学部や経営学部と異なり、実験・実習も多数配置されていることから、このような学生納付金の設定を行った。

私立大学が設置しているスポーツ系学部について、入学金を除いた学生納付金の年額を調査したところ、110万円台から130万円台に設定した大学が多いことがわかる（資料7）。新設学部の充実した教育課程を維持しながら、他大学の学費設定の状況を踏まえて、120万円台を超えた学費設定を避けることを基本として、学部の運営経費の試算に基づいて1,190,000円という年額を設定した。

このように、現在の学費設定は、本学の既設学部と比較した場合にも差額が半期で10万円未満となっており、他大学の同系学部と比較した場合にも高額とはなっていない。以上を踏まえると、現在の学生納付金の設定は適切なものであると判断している。

### ②学生確保に向けた具体的な取組状況

#### ○コミュニティ福祉学部及びスポーツウエルネス学部共通

学生確保に向けた取組み次のとおりである。コロナ禍により、従来実施していた高校訪問（各高校進路指導担当教員への訪問）など、取組の中止や見直しをせざるを得ない状況はあるが、入学センターや学部を中心に全事務部局の職員が協力し、取組を推進している。これによりコロナ禍前と比較しても同規模の志願者数を確保しており、今後も継続的に取り組んでいく。

種 類	内 容
高等学校での進学ガイダンス	高等学校での進学ガイダンスに年間を通じて参加し、高校生に対して、大学の特色、各学部の内容、学費・奨学金、取得資格、進路状況、入試制度等について説明を行っている。2021年度においては、延べ218校で実施した。
高等学校教員対象入試説明会	6月中旬に、オンラインにて高等学校教員対象の大学説明会を実施した。教育の特色、入試結果、入試制度、キャリア・就職の特長について周知するとともに、チャット形式にて個別質問にも対応している。2021年度は290人の参加であった。
進学相談会	4月から3月まで、受験生及び保護者対象の進学相談会に参加し、個別相談に応じるとともに、パンフレット等を配布している。2021年度は関東地方を中心とする50会場に参加した。
オープンキャンパスの開催	2021年度オープンキャンパスは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来場形式とオンライン形式のハイブリッド型イベントとして開催した。来場形式プログラムとして体験系コンテンツのキャンパスツアーを8月前半に8日間実施した。オンライン形式プログラムについては、8月1日(日)～31日(火)の期間、オンデマンド方式とライブ方式にて実施した。合計での申込参加者数は18,787人であった。

#### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

コミュニティ福祉学部の2学科と異なり、新学部の設置であるため、例年以上に学生確保に向けた積極的な取組みを行うこととしている。

##### (リーフレット、大学ウェブサイト内の専用ページ、パンフレット)

新設学部の学生確保に向けた具体的な取組として、まずはリーフレット(資料8)を作成し、これまでに入学実績の高い高等学校などを中心に、コミュニティ福祉学部の再編と本部の新設を構想している旨の連絡を行ったところ、当該連絡後に実施した高校訪問の際に、本学部の開設時期や入学者選抜の方式について、早期に知らせてほしい等の要望が寄せられるなど、高等学校関係者から非常に高い関心が示された。また、大学ウェブサイト内に専用ページを設け、随時情報を更新し、積極的にWEB上でもアピールを行っている。さらに、本学部のパンフレットを作成し、本申請の認可書受領及び設置届出書の提出後には、高等学校関係者と受験生・保護者を対象とした入試広報活動をより積極的に展開する計画である。

##### (高等学校関係者を対象とした入試広報活動)

これまで、本学では300校以上の高等学校を訪問して本学の教育研究活動や入試制度について説明を行ってきた。2021年度は、オンラインを活用した高等学校教員対象の大学説明会を開催し、チャット形式で個別の質問に対応したところである。2022年度においても、既設学部と本学部の入試広報のためにこれらの活動を実施する。高等学校が夏季休業に入る2022年7月末までに十分な広報活動を展開する必要があるため、本学への継続的な入学実績が確認できる高等学校には、本申請の認可書受領及び設置届出書の提出後速やかに、その事実を伝達し、今後の入試広報活動の予定を告知する文書を発送する計画である。その後、高等学校を直接訪問して、本学部の教育の特色や入試制度について説明を行う。本学部の設置に伴い、2023年度入試に向けた広報は、スポーツ振興に力を入れている全国の高等学校にも



範囲を拡大する計画である。また、本学の体育会クラブには、高校生が出場する各競技の大会に合わせて、体育会学生への学業支援、活躍した学生に対する表彰制度など、本学の取組みを PR する活動を依頼している。これらの様々な機会を活用して、新設を目指す本学部に関する情報を高等学校におけるスポーツ指導者にも伝えることができるように努める。

#### （高等学校在学中の生徒や保護者を対象とした入試広報活動）

受験情報誌・ウェブサイトや進学相談会の際に資料請求のあった者に対する大学案内・入試関連資料の送付のほか、インターネット（本学のウェブサイトや受験情報サイトのウェブサイトへの情報掲出）やオープンキャンパスを通じた直接的な情報提供を行っている。2022年度は届出書提出後にウェブサイトへの入試情報の提供を開始し、高校訪問によって高校関係者に伝達する情報をウェブサイトからも入手することができるようにする。

#### （オープンキャンパス）

本学ではこれまで、8月下旬の土曜日と日曜日にオープンキャンパスを開催しており、2022年度は本学部の入試広報も盛り込んだ内容を企画している。いずれのオープンキャンパスにおいても、本学部の特設コーナーを設けて教育の理念や特色、入試制度について紹介するほか、スポーツ科学の実際の学びを体験することができる企画も用意して学生の興味を喚起するように努める計画である。また、受験生や保護者からの入学者選抜に関する相談に個別に対応する機会も設定する。オープンキャンパスへの参加者や認可前に資料請求を行った者に対しても、届出書提出後には改めて入試要項等の情報提供を速やかに行うことにする。なお、本学に対して資料請求を行った者には、同年度に実施するオープンキャンパスの情報も郵送によって個別に告知することとしている。

## （2）人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### ○コミュニティ福祉学部共通

学部として掲げる「コミュニティ福祉学部は、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。」は、福祉学科及びコミュニティ政策学科の両学科においても教育研究上の目的として位置づけられる。

#### （福祉学科）

福祉領域における問題に対しては、地域包括ケアシステムのように地域で支える仕組みが構想され、これまでとは異なる問題解決アプローチが模索されており、また市民が自ら生活課題や地域課題の解決の担い手として活躍することが期待されている。こうした状況を踏まえ、市民をエンパワーメントし適切なサポートやケアにつなげられる専門職、多様なニーズを捉え問題解決の道筋を整える企画立案者（プランナー）、福祉・保健・医療の連携の要となるコーディネートやマネジメントを担える近未来のチームリーダー、そして社会の様々な場において福祉領域の問題に関心を持ち、それぞれの立場から取り組める人材が、本学科で養成する人材像となる。

#### （コミュニティ政策学科）

コミュニティ政策の領域においては、グローバリゼーションと人口急減の奔流のなかで、日本社会は大きく転換をしてきており、超高齢化社会の下での介護問題、少子化問題、地域や所得における格差社会の進展、地域生活の困難、人口減少（限界集落）、貧困や社会的排除の拡大といった多くの危機、深刻な問題が数多く立ち現れ、それらは日々の生活に暗い影を落とし、個々人の暮らしを脅かしている。こ

うした状況を踏まえ、市民社会を支えるシティズンシップ教育を通じて、多様なアクターが協働して民主的ガバナンスをつくりだす仕組みや条件を構想し、このために必要な政策を提案・実施できる人材、またコミュニティのあり方について学ぶために、歴史的、思想的、理論的な基礎概念について理解を深め、生活問題や地域振興におけるコミュニティのあり方やその形成について、グローバリゼーションの進展も学んだ上で、具体的な地域実践を学問的な調査方法に基づきながら理解し、分析し、今後の新しいコミュニティのあり方について提起し、また、それを実践できる力を備える人材が、本学科で養成する人材像となる。

### ○スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

本学部の教育研究上の目的は「スポーツウエルネス学部は、「すべての人の生きる歓びのために」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で活力に満ちたウエルネス社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。」である。この目的に基づき、主にスポーツパフォーマンスの向上とスポーツ文化の創造に関する教育研究を行うスポーツ分野と主に心身の健康を探究し、維持・発展に関する教育研究を行うウエルネス分野に教育研究分野を区分し、その区分に応じた教員組織を整備するとともに、卒業後の進路に関連する、アスリートパフォーマンス、ウエルネススポーツ及び環境・スポーツ教育の3つ人材養成像を掲げる。

#### <アスリートパフォーマンス>

全ての人間の適応可能性を広げ、アスリートのパフォーマンス向上に寄与するための理論と方法論を構築する。アスレティックトレーニング、スポーツコーチング、パフォーマンス分析のそれぞれの分野から科目を履修する。

競技スポーツは人間の身体的・精神的な限界に挑戦する営みでもあり、その過程で高いレベルのパフォーマンスが追求されている。パフォーマンスの向上のためには、スポーツ科学の知見が不可欠であり、適正な知見と能力を有し、科学的なサポートを実践できる人材が求められている。そのため、コーチング、パフォーマンス分析、トレーニング論、栄養学、心理学、傷害予防、コンディショニングなどのスポーツ科学的知見を総合的に理解し、アスリートのハイパフォーマンスに貢献できる人材を養成する。

#### <ウエルネススポーツ>

運動・スポーツを通して全ての人のウエルネスを向上するための理論と方法論を構築する。健康づくり運動・スポーツに関する身体科学、運動科学、社会科学を基礎として、健康運動支援、スポーツを通じたコミュニティ形成等のそれぞれの分野から科目を履修する。

少子高齢化社会を乗り越えるためには、高齢者の基礎的な体力向上と生活習慣病の予防、治療に関する運動療法等が不可欠であり、子どもの基礎的な体力低下に歯止めをかけ、運動習慣を身につけさせることが重要である。また、青年期のうつ病者の増大や自殺者数の高止まり等にみられるように、高ストレス社会である現代においていかに心身のバランスを維持し、高度なウエルネスを達成できるかが重要な社会課題となっている。そのため、心身ウエルネスに関する知見を有し、スポーツを通して総合的なQOLの向上とウエルネスの向上に貢献できる人材を養成する。

#### <環境・スポーツ教育>

地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、自然環境や生活環境のあり方、なかでもエコロジカルな視点、サステイナブルな視点を身につけるための理論と方法論の獲得を目指す。また、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を身につけるための理論と方法論を構築する。環境・サステイナ

ブル、スポーツ教育、フィールドのそれぞれの分野から科目を履修する。

自然環境と生活環境が調和したウェルネス社会の実現を目指して、スポーツの内在的・外在的価値を高めることができ、スポーツを通じた人間教育に関する高度な知見と能力を有する人材が不可欠である。そのため、環境問題やサステイナブル社会に関する知見を有し、スポーツの教育的価値を高め、子どもや運動・スポーツ実施者ファーストの立場から、実施者の主体的な学びに寄与し、スポーツを通じた人間教育に貢献できる人材を養成する。

## ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

### ○コミュニティ福祉学部

#### (福祉学科)

厚生労働省が福祉人材確保対策を定め、推進していることなどに見られるように、福祉人材の供給は未だ不足しており、深刻な社会問題となっている（資料9）。この対策は、福祉人材の量的な拡充は当然であるが、質的な向上に重点を置く方向性であり、先に述べた本学科の養成する人材像や、教育研究上の目的とも合致するものであると考える。

また、本学科が所在する埼玉県が福祉行政施策についてとりまとめた「埼玉の福祉」によれば、これまで緩やかな増加傾向にあった総人口は減少に転じて2030年までの10年で19万人減少し、高齢率も2030年までの10年で2.3%上昇し、31.2%になると予想されている。これを踏まえた令和2年の取組の中では、「福祉分野ごとの相談支援体制では対応が困難な、世帯の中で課題が複合化・複雑化しているケースへの取組」「自立支援、介護予防、生活支援などを総合的に支援する専門職」「介護人材の確保を図る」「障害のある人もない人も分け隔てられることなく活動できる共生社会づくり」などの記載があり、本学科が養成する人材に対する需要があると考えられる。

本学の2020年度の進路実績は資料10のとおりである。本学部については、サービス業及び公務への就職割合が他の学部と比較しても高い割合であり、上述の動向に合致する進路実績があると考えられる。

#### (コミュニティ政策学科)

第32次地方制度調査会の答申においては、「住民の多様な意見を反映しながら合意形成を行う」(P14)、「コミュニティの強化や新たな形成が課題となる。」(P10)、「多様な層の住民の参画」(P22)等の記載があり、先に述べた本学科の養成する人材像や、教育研究上の目的と通底するものであると考える（資料11）。

また、本学科が所在する埼玉県が策定した「埼玉県5か年計画～日本一暮らしやすい埼玉へ～（令和4年度～令和8年度）」では、「高齢単身世帯の増加に備え、社会からの孤立を防ぐ地域づくりが重要になります。」「地域の見守り体制が強化されることで」といったコミュニティ強化に関する問題意識と、「地域社会活動に参加している県民の割合」「SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数」といった住民参画に関する施策指標が掲げられている。また、計画実行のための仕組みとして、データに加えて県民や企業からの意見を積極的に取り入れ施策立案するとされている。これは多様なアクターの協働による民主的ガバナンスの推進という点で本学科の問題意識やそれを踏まえた人材養成と通底するものである。

本学の2020年度の進路実績は資料10のとおりである。本学部については、公務への就職割合が他の学部と比較しても高い割合であり、上述の動向に合致する進路実績があると考えられる。

### ○スポーツウェルネス学部スポーツウェルネス学科

#### (スポーツ基本計画)

令和4（2022）年3月に公表された「第3期スポーツ基本計画」では、今後のスポーツ施策の方向性

として以下を掲げている。

「する」「みる」「ささえる」を通じて、スポーツに「自発的」に参画し、「楽しさ」や「喜び」を得ることは、人々の生活や心をより豊かにする「Well-being」の考え方にもつながるものである。こうした「スポーツの価値」を原点として大切にし、更に高め、生涯を通じてスポーツを「好き」でいられる環境を整えていくことが不可欠である。

スポーツには今日、個人の趣味や体力づくりにとどまらず、青少年の人格形成や、高齢者の生きがいづくり、レクリエーションやエンターテインメントなど多様な役割が期待されている。特に高齢化の進む日本においては、国民の健康の維持増進は重要なテーマである。これらは本学部が養成する人材像「アスリートパフォーマンス」、「ウエルネススポーツ」及び「環境・スポーツ教育」に係る人材に密接に関連しており、当該人材の需要は今後一層高まるものと考えられる。また、「スポーツ基本計画」は「今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策」として具体的施策を挙げているが、これらは上記3つの養成する人材像と関連する。主なものは**資料12**のとおりである。

#### （埼玉県スポーツ推進計画）

埼玉県では、2018年からの5カ年にわたる「埼玉県スポーツ推進計画」を策定し、「施策1 スポーツ参画人口の拡大 ～「する」「みる」「ささえる」スポーツ文化の醸成～」、「施策2 子供のスポーツ活動の充実 ～生涯にわたり、スポーツに親しむ心を育てる～」、「施策3 スポーツを通じた地域の活性化～スポーツを元気で魅力ある埼玉づくりの推進力に！～」及び「施策4 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出 ～スポーツ王国埼玉をささえるアスリートへの積極的支援～」の4つの施策を定めている（**資料13**）。また、本学部を設置する埼玉県新座市においても、第3次新座市生涯学習推進計画における2011年度からの10カ年計画において、各種スポーツ教室や新座市民総合大学などを通しての市民の健康向上を計画している（**資料14/P15～18**）。国や地域の地方自治体において、こうしたスポーツ振興事業が推進されるにあたっては、その担い手となるスポーツ指導者等の確保が必要となるものと想定され、本学部が養成する人材がその重要な一翼を担っていくことが期待される。

#### （学校教育におけるスポーツ指導）

学校教員をめぐる動向として、全国の公立学校（中学校及び高等学校。以下同じ。）教員採用者数は、近年、若干の増加傾向にあるが、本学部を設置する埼玉県においても、大量の教員が退職の時期を迎えており、これに伴い、公立学校教員の採用者数を増加させている。他方で、採用試験の受験倍率が低下していることから、志願者の確保も課題となっている（**資料15**）。また、公立学校教員の採用数が全国で最も多い東京都でも、毎年2,000人規模で教員が退職していくことが予想されるため（**資料16**）、今後も、相当規模の採用需要が継続して見込まれる。さらに、中央教育審議会の「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（平成27年12月21日）においては、多様化・複雑化する子どもの状況への対応として、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、連携・分担してチームとして職務を担う体制の整備が求められている（**資料17**）。特に、教員以外に部活動の指導、顧問、単独での引率等を行うことができるよう、「部活動支援員」（仮称）等を法令に位置付けてはどうか、という声もあり、本学部が養成するスポーツ指導者にとっての新たな雇用機会が生まれることが見込まれている。なお、本学部が教育上重視している他者との相互理解を促進しうるコミュニケーション能力は、広く一般の民間企業等においても求められているものと考えられ、卒業生の進路先の一つとして、スポーツに関連する企業・団体も想定される。

以上のように、本学部が養成する人材は、国や地方自治体によるスポーツ振興計画をはじめ、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであるといえる。

### (入学定員 (230 名) の規模の妥当性)

既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の直近5年間の就職率(卒業生(進学、留学準備等を除く。)に占める就職者の割合)は、平均すると95%を超えている(表1)。これは、同学科の教育研究内容及び卒業生が社会から評価されていることの証左であり、同学科を前身とする本学部においても、この状況に変化は生じないことが見込まれる。業種別就職先は、多い順に、製造業、サービス、金融・保険、卸・小売り等となる(表2)。

また、近年、スポーツは、身体的諸能力の洗練によって人間の可能性を開花させるものとして、また、人種、性別、年齢、言語、障がいの有無等、人間を区別してきた枠組みを身体的コミュニケーションと共感によってつなげる可能性を持つものとして、多様性(ダイバーシティ)に満ちた共生社会の構築とともに地域社会、ひいては国際社会における平和と友好に寄与することが益々期待されている(資料18)。とりわけ、(1)生物としての人間は、運動を不可避的に要請されるが、モータリゼーションの発達は、人間から運動を遠ざけ、結果、運動不足を起因とする生活習慣病を蔓延させてきた。超高齢社会を迎えた日本において、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウエルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題となっていること(資料19)、(2)ウエルネスレベルを高めることは、人の可能性の追求に関連した成長や社会貢献などを通して実現される包括的な幸福感を高めることに繋がると考えられ、スポーツは多様な価値観を認め合いながら心身の健康や生きがい感なども高める総合的な活動であり、心身の障がいの有無にかかわらずより良い人生を歩んでいくために重要なツールとなりうること(資料19)及び(3)地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、人と自然との調和に基づくウエルネス社会の実現に向けて、自然環境や生活環境のあり方を、サステイナブルな視点(資料20)から次世代に伝えていくことが求められており、こうした環境のあり方を伝える上で、体力やメンタルヘルスの向上、生きがい感の高まりなどスポーツの持つポジティブな側面を社会に定着させ、逆に暴力など、スポーツと親和性が高いと考えられてきたネガティブな側面を一掃するためには、スポーツ教育の持つ役割が大きなものとなること(資料21)から、本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要は高まるが見込まれる。

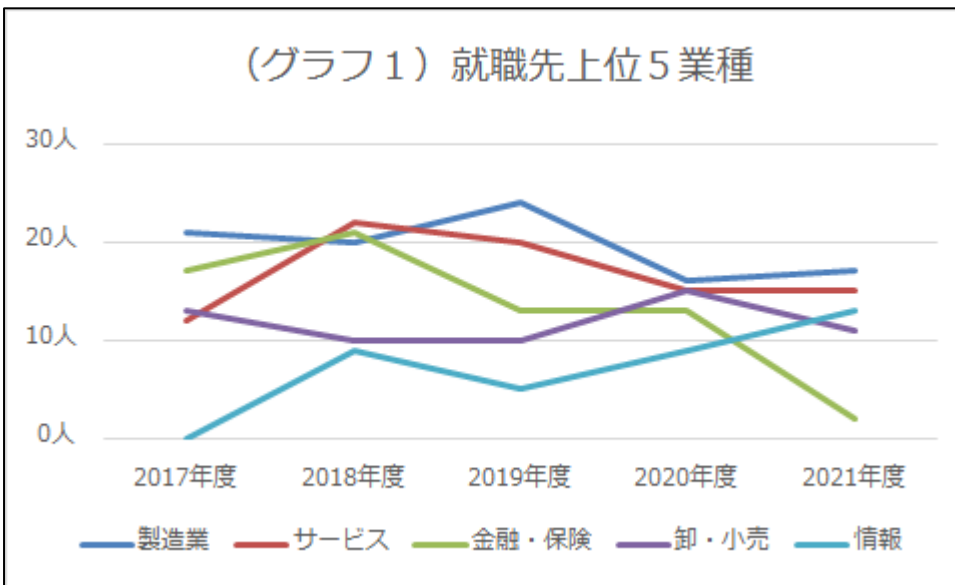
さらに、2021年度卒業者のうち、就職先上位5業種の5年間の就職者数の推移を見ると、「製造業」及び「サービス」が上位を占め、「金融・保険」が2021年度に大幅に減少、「情報」が増加していることがわかる(グラフ1)。学士課程段階であるため、必ずしも全員が学修した専門分野と同様の業種に就職するわけではないが、「製造業」では「健康をはかる」計測機器の開発を行う企業、「トータルヘルスケアカンパニー」を謳う企業、「サービス」ではヘルスケアを行う企業、介護事業を行う企業、「卸・小売り」ではスポーツ用品の販売を行う企業、「情報」ではプロアスリートへのデータ分析システム・レポートの提供、強化サポート全般、データ分析を行う企業など、本学部における学修内容に深く関連する企業への就職実績が一定程度ある。上記(1)～(3)を踏まえると、今後、これらの業種からの人材需要が高まるが見込まれ、本学部卒業生の活躍の場が広がることになる。

表1

	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
対象者	111	114	113	107	108	553
進学、不明等除く	97	108	105	98	90	498
就職	92	107	100	94	86	479
就職率	94.85%	99.07%	95.24%	95.92%	95.56%	96.18%

表2

業種	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
製造業	21	20	24	16	17	98
サービス	12	22	20	15	15	84
金融・保険	17	21	13	13	2	66
卸・小売	13	10	10	15	11	59
情報	0	9	5	9	13	36
教育	9	4	6	5	8	32
運輸・通信	6	7	3	5	3	24
放送・広告	2	4	6	4	5	21
公務	5	3	3	6	3	20
不動産・電気等	2	4	5	4	3	18
農業・林業等	5	3	4	1	4	17



加えて、2022年1月18日に一般社団法人日本経済団体連合会（以下「経団連」という。）が公表した「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（資料22）によると、大卒者に特に期待する資質・能力・知識として、表3の内容が挙げられている。これらは、本学部の学位授与方針に掲げる学修成果である「豊かな人間性と高い倫理観を持って、リーダーシップを発揮できる。」、「スポーツウエルネスに関する科学的視点や基礎知識・基礎理論を理解できる。」、「スポーツウエルネス学に必要とされる自然科学的研究法と人文社会科学的研究法を適切に運用できる。」、「スポーツに関わる人々やスポーツの多様性を尊重し、行動することができる。」及び「ウエルネスとスポーツ活動及びそれらを取り巻く社会環境に関する知見と諸理論を包括したスポーツウエルネス学を体系的に理解できる。」と関連性が認められることから、本学部は企業が求める能力及び知識を備えた新卒者を輩出することができるといえる。

表3	特に期待する資質	特に期待する能力	特に期待する知識
上位1	主体性 (84.0%)	課題設定・解決能力 (80.1%)	文系・理系の枠を超えた知識 ・教養 (84.7%)

上位2	チームワーク・リーダーシップ ・協調性 (76.9%)	論理的思考力 (72.1%)	専攻分野における基礎知識 (75.8%)
上位3	実行力 (48.1%)	創造力 (42.6%)	専攻分野における専門知識 (61.8%)

※経団連公表資料から上位3つを抜粋

以上を踏まえ、(1) 本学部の前身であるスポーツウエルネス学科はその就職率が示すように社会から評価されており、本学部においてもこの状況に変化は生じないことが見込まれること、(2) 本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要は高まることを見込まれるとともに、本学部の教育研究内容に関連する業種からの人材需要が高まることを見込まれ本学部卒業生の活躍の場が広がることが予想されること、(3) 本学部の学位授与方針に掲げる学修成果は、企業から求められているものと関連性が認められることから、本申請における入学定員の増加規模は、社会的な人材需要の動向を踏まえたものであるといえる。

## 学生確保の見通し等を記載した書類（資料目次）

資料 1	18 歳人口予測（全体：南関東：2019～2031）	… 3
資料 2	2020 年現役高校卒業者の進路の内訳	… 4
資料 3	高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査	… 5
資料 4	入学志願者増減割合（前年度比）	… 6
資料 5	ポジショニング検証調査結果報告書（抜粋）	… 7
資料 6	埼玉県内の学部等の名称に「スポーツ」を含む他大学の志願者数等 （2021 年度）	… 8
資料 7	他大学学部学費一覧	… 9
資料 8	スポーツウェルネス学部リーフレット	…10
資料 9	福祉人材確保対策（厚生労働省）	…12
資料 10	2020 年度業種別就職状況（学部別）	…13
資料 11	「2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政 体制のあり方等に関する答申」（令和 2 年 6 月 26 日）（抜粋）	…14
資料 12	第 3 期スポーツ基本計画における具体的施策と本学部が養成する人材の領 域との関連	…15
資料 13	埼玉県スポーツ推進計画	…17
資料 14	第 3 次新座市生涯学習推進計画	…18
資料 15	令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポ イント	…19
資料 16	令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】（第 37 表年齢別教員数）	…20
資料 17	チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要	…21
資料 18	第 3 期スポーツ基本計画（第 2 章）	…22
資料 19	WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（抜粋）	…23



資料 20	スポーツと持続可能な開発（SDGs） _ 国連広報センター	…24
資料 21	環境教育の必要性、意義と全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果	…25
資料 22	「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（経団連）（P4）	…26

○資料1 18歳人口予測（全体：南関東：2019～2031）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料1

2 出典

リクルート進学総研ウェブサイト

3 引用範囲

リクルート進学総研 マーケットレポート（VOL74 2020年1月号）P2

[https://souken.shingakunet.com/research/assets/202001\\_minamikantou\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/assets/202001_minamikantou_souken_report.pdf)

4 その他の説明

申請対象学部等を設置している地域が、人口減少の影響を受けにくいことを示す根拠資料として、図表部分を抜粋して引用した。

## ○資料 2 2020 年現役高校卒業者の進路の内訳

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 2

### 2 出典

旺文社教育情報センターウェブサイト

### 3 引用範囲

旺文社教育情報センター 教育情報（令和 2 年度 3 月 1 日付）

<https://eic.obunsha.co.jp/resource/viewpoint-pdf/202103.pdf>

### 4 その他の説明

大学進学率が上昇していることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

○資料3 高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料3

2 出典

埼玉県ウェブサイト

3 引用範囲

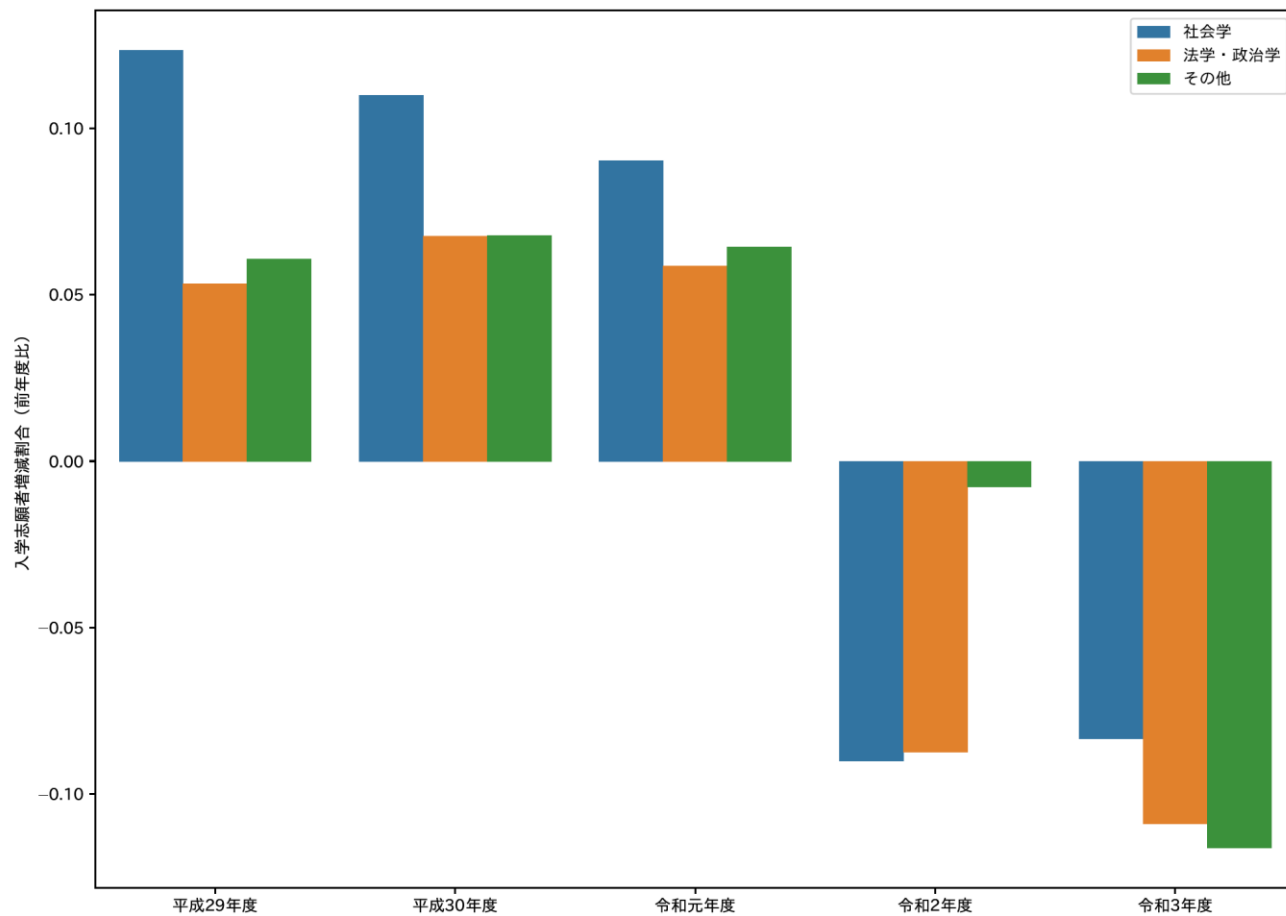
令和2年度学校基本調査 結果のポイント（「3 高等学校（全日制・定時制）卒業者の進路状況」）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a219/kakuhoukihon2020.html>

4 その他の説明

新座キャンパスがある埼玉県は、全国平均と比較すると進学率が高い傾向にあるとを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

# 入学志願者増減割合（前年度比）



## ○資料5 ポジショニング調査報告書（抜粋）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料5

### 2 出典

本学が株式会社 KEI アドバンスに依頼した調査報告書

### 3 引用範囲

私立大学 学科系統別 志願動向（2011～2020 年度）等

### 4 その他の説明

公表することを前提とした調査報告書ではないため、公表を差し控える。

埼玉県内の学部等の名称に「スポーツ」を含む他大学の志願者数等（2021年度）

※HPに志願者数を公開している大学／降順

大学名	学部名学科名	入学定員	志願者数	倍率
立教大学	コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科	110	1,268	11.53
東洋大学	ライフデザイン学部 健康スポーツ学科	180	1,996	11.09
大東文化大学	スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科	125	991	7.93
早稲田大学	スポーツ学部 スポーツ科学科	400	1,638	4.10
尚美学園大学	スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科	160	278	1.74
駿河台大学	スポーツ科学部学部 スポーツ科学科	200	254	1.27
東京国際大学	人間社会学部 人間スポーツ学科	230	278	1.21
東京国際大学	人間社会学部 スポーツ学科	200	178	0.89
全体		1,605	6,881	4.29

## 他大学学費一覧

大学名	入学金	授業料	実験実習料	施設設備費	教材費	諸会費	合計
早稲田大学スポーツ科学部	200,000	1,394,000	39,000			7,000	1,640,000
東京国際大学人間社会学部スポーツ科学科	250,000	910,000		400,000		40,000	1,600,000
日本体育大学体育学部	300,000	800,000		250,000	200,000	48,000	1,598,000
東海大学体育学部	200,000	1,269,000	48,000		41,000	18,200	1,576,200
国土舘大学体育学部	240,000	830,000	75,000	399,000	30,000		1,574,000
法政大学スポーツ健康学部	240,000	933,800	100,000	278,000		15,000	1,566,800
平成国際大学スポーツ健康学部	320,000	624,000	100,000	260,000	76,000	76,000	1,456,000
桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部	200,000	800,000	79,800	300,000		72,170	1,451,970
立命館大学スポーツ健康科学部	200,000	1,219,000				31,000	1,450,000
大東文化大学スポーツ・健康科学部	210,000	835,000	50,000	326,000		24,900	1,445,900
立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科	200,000	1,190,000	15,000			6,500	1,411,500
駿河台大学スポーツ科学部	200,000	735,000	15,000	425,000		25,000	1,400,000
国際武道大学体育学部	120,000	715,000	143,000	371,000		47,700	1,396,700
順天堂大学スポーツ健康学部	200,000	700,000		300,000	150,000		1,350,000
立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科	200,000	1,128,000	15,000			6,500	1,349,500
同志社大学スポーツ健康科学部	200,000	925,000	50,000	160,000		8,000	1,343,000
東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科	250,000	830,000		200,000		5,000	1,285,000





立教大学 | スポーツウエルネス学部  
(設置構想中)

College of Sport and Wellness

<https://sw.rikkyo.ac.jp>



2023年4月 新設

スポーツウエルネス学部

(設置構想中)

College of Sport and Wellness

すべての人の生きる喜びのために



立教大学

新座キャンパス

— 3つの学びの領域と取得可能な資格 —



すべての人の生きる喜びのために

# スポーツウエルネス学部創設

(設置構想中)

## スポーツウエルネス学科

2008年に開設した既存のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科は、スポーツ・健康科学の研究領域に「ウエルネス」という心身の健康だけでなく、価値観や生きがいなども含めた多元的、総合的な健康観の発想を融合させた、新たな学問領域を創出しました。

スポーツウエルネス学部では、母体となる既存のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科での実績を基盤に、教学内容を発展・充実させ、「すべての人の生きる喜びのために」を理念としたカリキュラムを計画しています。

スポーツウエルネス学部における教育研究上の目的は、スポーツに興味・関心を有する優秀な人材を集め、豊かな人間性を基盤とし、すべての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウエルネス学の知見と力能を有する人材を育成することです。



## 養成する人間像

- 01 スポーツウエルネスに関する科学的視点や、基礎知識・基礎理論を、総合的・学際的に理解し、社会に応用できる人材
- 02 人間の適応可能性を高め、高度なアスリートサポートに寄与するための、スポーツウエルネス学の深い理解に基づいた指導ができる人材
- 03 すべての人が運動・スポーツを通して個々人のウエルネスを向上させ生活を豊かにするための科学的知見と力能を有する人材
- 04 人間と自然の調和をはかり、幅広い教養と国際的な感覚を身に付け、指導ができる人材

## 主な4年間の学び

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>導入期</b> 1. 大学での学びへの移行期間として、自己判断・主体的な学び、自身の目標設定、そしてキャリア形成の重要性などを理解する。 2. スポーツウエルネス学に関わる基礎的な知識、方法論、技法を身に付ける。 3. 4年間の学生生活を全体的に見る視野をもち、目標を立て、それを段階的に実現していくことの重要性を知る。さらに卒業後の進路・方針にも視野を広げる。	<b>形成期</b> (1年次秋学期より) 1. スポーツウエルネス学の観点から様々な問題について調査研究し、その結果を発表し議論できるようになる。 2. スポーツが持つグローバルな側面を理解し、留学等を通して、異文化に対する関心や理解をもつ。 3. 卒業後のキャリア・生き方の方針について検討し、必要に応じて再検討する。	<b>完成期</b> 1. スポーツウエルネス学に関して、これまでに学修した知識や技法を総合的に応用し、活用できる。 2. 研究発表やスポーツ指導実践などから一定の水準を満たした卒業論文や卒業制作を仕上げるだけの力を身に付ける。 3. インターンシップやボランティア活動等を通して、人生において働くことの意義について体験的に実感する。 4. 卒業後の進路を確定し、人生全体の目標を持つ。	<b>総合系科目(学びの精神、多彩な学び、スポーツ実習)</b>

全学共通科目 (リベラルアーツ)		言語系科目 (言語A(英語)、言語B(ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語))	
学部共通科目	立教ファーストタムプログラム	環境・スポーツ教育領域	環境・サステナビリティ論、生物多様性と人間社会、障害者スポーツ実践論、アダプテッド・スポーツ論、発育・発達・加齢論、学校保健・学校安全、スポーツ教育論
	スポーツマンシップ論	ウエルネススポーツ領域	スポーツ社会学、ダイバーシティ・スポーツ論、健康運動指導演習、コミュニティスポーツ論、レクリエーション援助技術演習、運動処方・療法、スポーツコーチング演習
	スポーツリーダーシップ論	アスリートパフォーマンス領域	アスレティックリハビリテーション概論、アスレティックトレーナー概論、スポーツ医学、動作分析法演習、バイオメカニクス、スポーツウエルネス心理学(応用)、運動・スポーツ栄養学(応用)
基礎演習	スポーツウエルネスワークショップ	専門演習	卒業研究／ベーシック・アドバンスト
		インターンシップ・現場実習	
		グローバル教養副専攻	

## 創設の理念

立教大学を創設した「聖公会」と「スポーツ」は深い関係にある。聖公会は、16世紀の英国宗教改革によって生まれた英国国教会を母体とするが、国教会体制を堅持する目的で、1617年に英国王ジェームス1世が公布したのが「スポーツの書」(The Book of Sports)であった。この時に奨励されたのは、アーチェリーや跳躍競技、モリスダンスなどであった。その後、さまざまスポーツ競技が英国において誕生し、近代スポーツのほとんどが英国起源である背景には、このような歴史がある。

1828年に、英国の歴史あるパブリックスクール、ラグビー校の校長として着任した、聖公会の司祭であり、神学博士でもあった、トマス・アーンロッドは、カリキュラムを大胆に改革し、学生の知力のみならず、全人的な人格教育を徹底に行った。アーンロッドがその教育改革の基軸として着目したのが、キリスト教教育と共に「スポーツ」であり、とりわけ「フットボール」であった。これが「ラグビー」「サッカー」の起源でもある。スポーツが人格教育に重要な意義を有することを訴え続けたアーンロッドに、強い影響を受けたのがピエール・ド・クーベルタンであり、彼はアーンロッドの精神を基礎として、スポーツマンシップ、フェアプレーの重視、人間形成と教育に貢献するスポーツの振興を願って、近代オリンピックを興していくのである。

このように本来、「スポーツ」とは、「人間性を回復」(レクリエーション)し、人格を養い、信頼と愛によって結ばれた共同社会を形成し、心身の健康を増進し、自然と共感するための「人間教育の文化」であった。私たち立教大学は、その学則第1章第1条において、「本大学は、キリスト教に基づく人格の陶冶を旨」とすると定めている。その意味で、立教大学に、「スポーツウエルネス学部」が新設されることは、本学の建学の理念に照らしても、大いに意義あることである。

## 入学定員 (予定)

スポーツウエルネス学部 (学士課程)

230名

スポーツウエルネス学研究所  
スポーツウエルネス学専攻 (設置構想中)  
(博士課程前期課程) (博士課程後期課程)

10名

5名

## 教員数 (予定)

専任教員 16名、  
特任教員・助教 合計10名

## 設置場所

新座キャンパス

○資料9 福祉人材確保対策（厚生労働省）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料9

2 出典

厚生労働省ウェブサイト

3 引用範囲

福祉人材確保対策

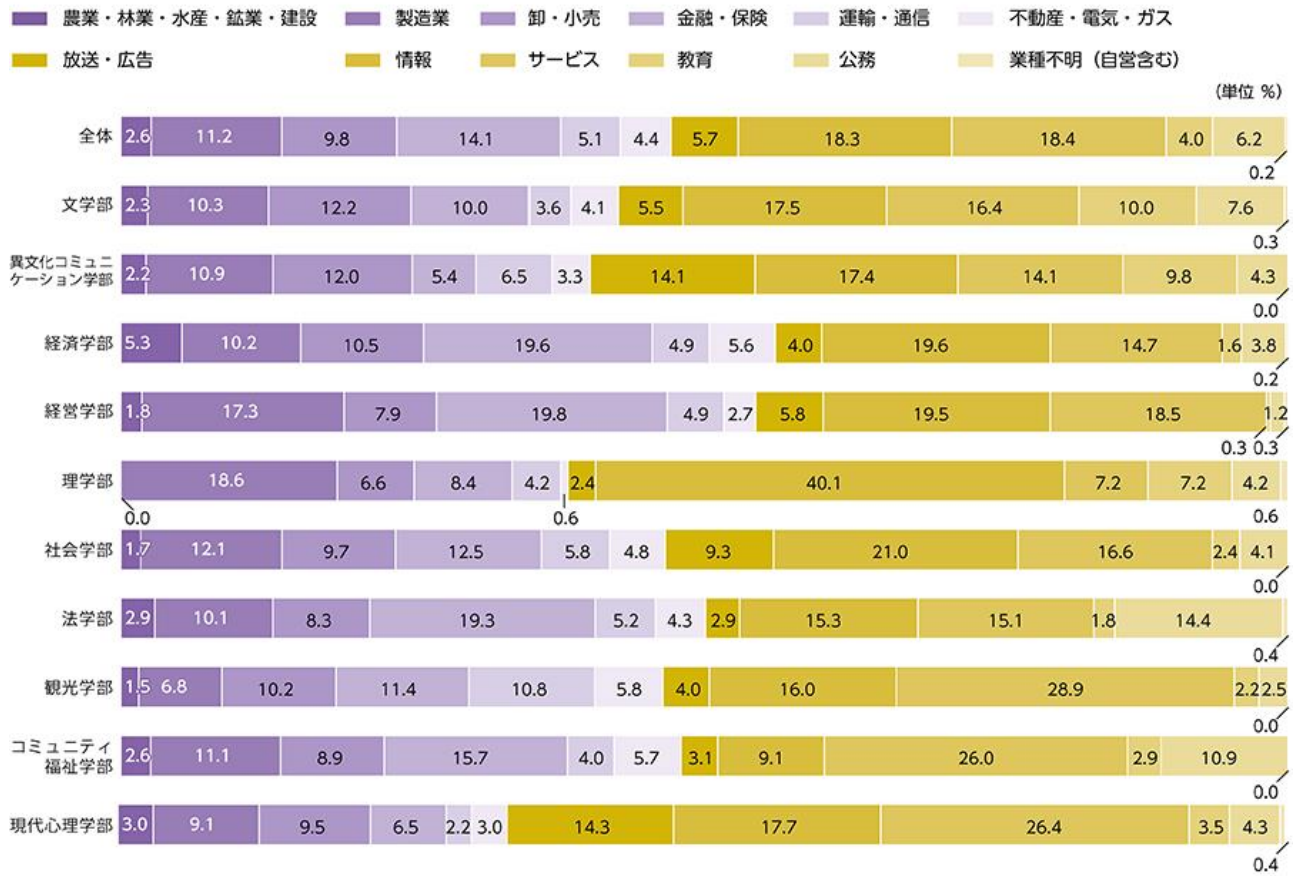
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/fukusijinzei/index.html)

4 その他の説明

福祉人材の養成が社会から求められている例として、上記資料を引用した。

## 2020年度業種別就職状況（学部別）

### 2020年度 業種別就職状況（学部別）



○資料 11 2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和 2 年 6 月 26 日）（抜粋）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 11

2 出典

総務省ウェブサイト

3 引用範囲

2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申（令和 2 年 6 月 26 日）鑑文、表紙、目次、P4, 10, 22

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000693733.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000693733.pdf)

4 その他の説明

福祉学科で養成する人材が社会から求められているものであることを示すため、上記資料を引用した。

○第3期スポーツ基本計画における具体的施策と本学部が養成する人材の領域との関連

スポーツ基本計画における具体的施策	本学部の人材養成像
<b>1 多様な主体におけるスポーツの機会創出</b>	
<b>① 広く国民一般に向けたスポーツを実施する機会の創出</b>	
<p>[具体的施策]</p> <p>オ 国は、性別、年齢、障害の有無等に関係なく、多様な主体がスポーツを楽しむために、アーバンスポーツ等の新しいスポーツへの参画や誰もがひとしく参加できるスポーツの導入、日常生活の中で気軽にできる運動やスポーツ・レクリエーションの実施、状況や環境の変化に応じた柔軟な実施方法やルールの変更・工夫など、スポーツに関わる人がそれぞれの状況・事情等に合わせ最も適切な手法・態様を取り入れてスポーツを「つくる／はぐくむ」ことができるように、必要な啓発活動や支援を行う。</p>	<p>ウエルネススポーツ</p>
<b>③ 女性、障害者、働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上</b>	
<p>ア 国は、地方公共団体や民間事業者等に対し、女性がスポーツを実施する意欲を向上させるための取組や女性のスポーツと健康との関係、女性がスポーツをしやすい環境の整備について、地域のスポーツクラブや研究機関、医療機関等の関係団体間で情報を共有、連携して普及啓発や環境整備等を行えるよう支援する。</p> <p>イ 国、地方公共団体は、障害者が身近な場所でスポーツを実施できるよう、全国障害者スポーツ大会（都道府県等で行う予選会を含む。）の活用や、総合型クラブとの連携も図りながら、引き続き、地域の課題に応じたスポーツ実施環境の整備に取り組む。また、障害者スポーツ用具の整備・利用促進にも取り組む。</p>	<p>ウエルネススポーツ 環境・スポーツ教育</p>
<b>(10) スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」</b>	
<b>③ スポーツに関わる人材の育成と活躍の場の確保</b>	
<b>&lt; c. スポーツ指導者の育成 &gt;</b>	
<p>ア 国は、JSPO、JPSPA、JOC、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、JSPOが実施する公認スポーツ指導者制度及びJPSPAが実施する公認障がい者スポーツ指導者制度並びにJOCナショナルコーチアカデミー事業の理念の理解増進や連携等を進めるとともに、質の高い指導者の養成を支援する。</p> <p>ウ 国は、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、障害の有無にかかわらず全ての人々がスポーツを実施できる環境整備を進めるとともに、年齢、障害の有無にかかわらず指導できる多様なニーズに対応した質の高い指導者の養成を図る。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>
<b>&lt; d. 専門スタッフ、スポーツボランティア等 &gt;</b>	
<p>ウ 国は、地方公共団体及びスポーツ団体等と連携し、プレーヤーを安全・健康管理等のメディカル・コンディショニング面で支える専門スタッフの養成やその活用を拡大する。</p>	<p>アスリートパフォーマンス ウエルネススポーツ</p>

<b>④ 大学スポーツ振興</b>	
<p>ア 国は、「大学スポーツの振興に関する検討会議」（平成 28 年設置）等で議論し整理された、（1）大学スポーツの振興（①安全・安心な大学スポーツ環境の確立、②デュアルキャリアの推進、③大学スポーツの価値向上・認知向上）、（2）大学スポーツによる地域振興といった分野（大学スポーツ振興）について、UNIVAS と連携・協力して、引き続き着実に取組を進める。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>
<b>（５）スポーツによる健康増進② 医療・介護、民間事業者・保険者との連携を含む、スポーツによる健康増進の促進</b>	
<p>イ 国は、科学的根拠に基づき、健康づくりに資するスポーツに関する情報の周知や、地域住民の健康状態に応じた安全かつ効果的な運動・スポーツプログラムの提供を支援する。</p>	<p>ウエルネススポーツ 環境・スポーツ教育</p>
<b>（３）国際競技力の向上</b>	
<b>① 中長期の強化戦略に基づく競技力向上を支援するシステムの確立</b>	
<b>④ 地域における競技力向上を支える体制の構築</b>	
<p>（① 中長期の強化戦略に基づく競技力向上を支援するシステムの確立）ケ 国は、JSC、JOC、JPC、JSPO、NF、民間事業者、大学等と連携して、クロスアポイントメント制度等の活用も含めた組織間の人材交流の促進や、ナショナルコーチ等の設置に係る支援等により、指導者・スタッフ等が選手強化活動に専念し、又は、研究者がスポーツ医・科学等に関するより実践的な研究を行うことができる環境の整備を進める。</p> <p>（④ 地域における競技力向上を支える体制の構築）</p> <p>ア 国及び JSC は、地域のアスリート育成において、スポーツ医・科学、情報等によるサポートを受けられる体制を整備するため、NTC 競技別強化拠点や地域のスポーツ医・科学センター、大学等とのネットワークを構築し、地域におけるスポーツ医・科学、情報等によるサポートを担う人材の育成を進める。</p>	<p>アスリートパフォーマンス 環境・スポーツ教育</p>

## ○資料 13 埼玉県スポーツ推進計画

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 13

### 2 出典

埼玉県ウェブサイト

### 3 引用範囲

埼玉県スポーツ推進計画（概要版）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/127661/plan2018leaf.pdf>

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科を設置するキャンパスが位置する地方自治体において、スポーツ指導者等の確保が必要になることが見込まれる根拠として、上記資料を引用した。



○資料 14 第 3 次新座市生涯学習推進計画（中間見直し）

1 書類等の題名

「学生確保の見直し等を記載した書類」資料 14

2 出典

新座市ウェブサイト

3 引用範囲

第 3 次新座市生涯学習推進計画（中間見直し）

<https://www.city.niiza.lg.jp/uploaded/attachment/34536.pdf>

4 その他の説明

スポーツウエルネス学科を設置するキャンパスが位置する地方自治体において、スポーツ指導者等の確保が必要になることが見込まれる根拠として、上記資料を引用した。

○資料 15 令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 15

2 出典

文部科学省ウェブサイト

3 引用範囲

令和 2 年度（令和元年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント

[https://www.mext.go.jp/content/20210201-mxt\\_kyoikujinzai01-000012429-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210201-mxt_kyoikujinzai01-000012429-1.pdf)

4 その他の説明

公立学校教員の志願者の確保が課題となっていることを示す資料として、上記資料を引用した。

○資料 16 令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】(第 37 表年齢別教員数)

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 16

2 出典

東京都教育委員会ウェブサイト

3 引用範囲

令和 3 年度公立学校統計調査報告書【学校調査編】(第 37 表年齢別教員数)

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics\\_and\\_research/academic\\_report/report2021.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/statistics_and_research/academic_report/report2021.html)

4 その他の説明

公立学校教員の採用数が全国で最も多い東京都でも、毎年 2,000 人規模で教員が退職していくことが予想されるとともに、相当規模の採用需要が継続して見込まれることを示す資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 17 チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 17

### 2 出典

文部科学省ウェブサイト

### 3 引用範囲

チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）概要

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2016/01/26/1365657\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/01/26/1365657_02.pdf)

### 4 その他の説明

多様化・複雑化する子どもの状況への対応として、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、連携・分担してチームとして職務を担う体制の整備が求められていることを示す資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 18 第 3 期スポーツ基本計画（第 2 章）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 18

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

第 3 期スポーツ基本計画（第 2 章）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf)

### 4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 19 WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（抜粋）

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 19

### 2 出典

スポーツ庁（文部科学省）ウェブサイト

### 3 引用範囲

WHO 身体活動・座位行動ガイドライン（要約版）（日本語版）P6

<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/337001/9789240014886-jpn.pdf?sequence=151&isAllowed=y>

### 4 その他の説明

高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウェルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題となっていることを示すため、上記資料を引用した（P6 の内容を一覧化）。

○資料 20 スポーツと持続可能な開発（SDGs）（国連広報センター）

1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 20

2 出典

国連広報センターウェブサイト

3 引用範囲

スポーツと持続可能な開発（SDGs）

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/18389/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389/)

4 その他の説明

スポーツウエルネス学科における教育研究内容が、社会から求められているものであることを示す根拠資料として、上記資料を引用した。

## ○資料 21 環境教育の必要性、意義と全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 21

### 2 出典

- ①独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターウェブサイト
- ②文部科学省ウェブサイト

### 3 引用範囲

- ①青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）（P81, 87）

※自然体験と自律性、積極性、協調性及び自己肯定感の関係を示すグラフ

[https://www.niye.go.jp/files/items/6861/File/%E3%80%90%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%91%E9%9D%92%E5%B0%91%E5%B9%B4%E3%81%AF%E4%BD%93%E9%A8%93%E6%B4%BB%E5%8B%95%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%84%8F%E8%AD%98%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%88%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%85%83%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%89\(1\).pdf](https://www.niye.go.jp/files/items/6861/File/%E3%80%90%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%91%E9%9D%92%E5%B0%91%E5%B9%B4%E3%81%AF%E4%BD%93%E9%A8%93%E6%B4%BB%E5%8B%95%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%84%8F%E8%AD%98%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%88%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%85%83%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%AA%BF%E6%9F%BB%EF%BC%89(1).pdf)

- ②令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（P80）

※「中学校生徒の調査結果」「4 クロス集計」「質問 1 「運動やスポーツをすることが好き」×質問のうち、質問 1 ×質問 14（自分有の目標を立てている）、質問 1 ×質問 16（達成感）、質問 1 ×質問 17（「挑戦心）、質問 1 ×質問 18（自己肯定感）

[https://www.mext.go.jp/sports/content/20211217-spt\\_sseisaku02-000019583\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20211217-spt_sseisaku02-000019583_2.pdf)

### 4 その他の説明

環境のあり方を次世代に伝えていくとともに、体力やメンタルヘルスの向上、生きがい感の高まりなどスポーツの持つポジティブな側面を社会に定着させていくためには、環境教育やスポーツ教育の持つ役割が大きなものとなることを示す資料として、上記資料を引用した。



## ○資料 22 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果 (P4)

### 1 書類等の題名

「学生確保の見通し等を記載した書類」資料 22

### 2 出典

一般社団法人日本経済団体連合会ウェブサイト

### 3 引用範囲

採用と大学改革への期待に関するアンケート結果 (P4)

[https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004\\_kekka.pdf](https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004_kekka.pdf)

### 4 その他の説明

企業が求める能力及び知識が、本学部が掲げる DP と関連性があることを示す資料として、上記資料を引用した。

# 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ニシハラ レンタ 西原 廉太 <令和3年4月1日>		博士 (神学)		立教大学学長 (令和3.4~令和7.3)

## 審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次）スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

1.	<p>人材需要の動向等社会の要請について、例えば、企業・関係機関等への採用意向調査や既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の過去の就職率等の客観的なデータが示されておらず、設定された入学定員が、スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科において養成する人材に関する社会的な人材需要の動向を踏まえたものとして適切な規模となっているのか判然としない。</p> <p>このため、客観的なデータを示した上で、設定した入学定員の規模が社会的な人材需要の動向を踏まえたものであることについて、改めて説明すること。（スポーツウエルネス学部 スポーツウエルネス学科）</p>	… 2
----	---	-----

1. (是正事項) スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科

人材需要の動向等社会の要請について、例えば、企業・関係機関等への採用意向調査や既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の過去の就職率等の客観的なデータが示されておらず、設定された入学定員が、スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科において養成する人材に関する社会的な人材需要の動向を踏まえたものとして適切な規模となっているのか判然としない。

このため、客観的なデータを示した上で、設定した入学定員の規模が社会的な人材需要の動向を踏まえたものであることについて、改めて説明すること。(スポーツウエルネス学部 スポーツウエルネス学科)

1. (対応)

審査意見を踏まえ、①既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の過去の就職率、②業種別の就職実績及び③2021 年度卒業者の就職先上位 5 種の過去 5 年間の推移並びに④一般社団法人日本経済団体連合会が公表している「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」に関する客観的なデータを示し、設定した入学定員の規模が社会的な人材需要の動向を踏まえたものである旨の説明を追加する。

①については、2017 年度卒業生から 2021 年度卒業生までの就職率を示した。進学者、不明者等を除くと各年度の就職率が約 95%となっており、既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の教育研究内容及び卒業生が社会から評価されている証左であるとした。

②③については、業種別の就職実績及び 2021 年度卒業者の就職先上位 5 種の過去 5 年間の推移から、既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の卒業生が、本学部における学修内容に深く関連する企業への就職実績があることを示すとともに、第 3 期スポーツ基本計画 (資料 18)、WHO の公表資料 (資料 19)、国連の公表資料 (資料 20) 及び青少年の体験活動等に関する意識調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果 (資料 21) を引用し、本学部の教育研究内容に対する社会からの需要が高まることを説明し、それに伴って本学部卒業生の活躍の場が広がるとした。

④については、本学部が学位授与の方針において掲げている「学修成果」が、一般社団法人日本経済団体連合会が公表している「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」で示された「大卒者に特に期待する資質・能力・知識」(資料 22) と関連性が認められることから、本学部は企業が求める能力及び知識を備えた新卒者を輩出することができるとした。

1. (新旧対照表) 学生確保の見通し等を記載した書類

新	旧
<p>(入学定員 (230 名) の規模の妥当性)</p> <p>既設のコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の直近 5 年間の就職率 (卒業生 (進学、留学準備等を除く。) に占める就職者の割合) は、平均すると 95%を超えている (表 1)。これは、同学科の教育研究内容及び卒業生が社会から評価されていることの証左であり、同学科を前身とする本学部においても、この状況に変化は生じないことが見込まれる。業種別就職先は、多い順に、製造業、サービス、金融・保険、卸・小売り等となる (表 2)。</p>	<p>(追加)</p>

また、近年、スポーツは、身体的諸能力の洗練によって人間の可能性を開花させるものとして、また、人種、性別、年齢、言語、障がいの有無等、人間を区別してきた枠組みを身体的コミュニケーションと共感によってつなげる可能性を持つものとして、多様性（ダイバーシティ）に満ちた共生社会の構築とともに地域社会、ひいては国際社会における平和と友好に寄与することが益々期待されている（資料 18）。とりわけ、（1）生物としての人間は、運動を不可避免的に要請されるが、モータリゼーションの発達は、人間から運動を遠ざけ、結果、運動不足を起因とする生活習慣病を蔓延させてきた。超高齢社会を迎えた日本において、高齢者の健康寿命の延伸を図りつつ、生きがいを含めた総合的な健康観であるウェルネスの向上をいかに図っていくのか、孤立することなく友好と社交をいかに達成するかといった問題は、国家的な問題となっていること（資料 19）、（2）ウェルネスレベルを高めることは、人の可能性の追求に関連した成長や社会貢献などを通して実現される包括的な幸福感を高めることに繋がると考えられ、スポーツは多様な価値観を認め合いながら心身の健康や生きがい感なども高める総合的な活動であり、心身の障がいの有無にかかわらずより良い人生を歩んでいくために重要なツールとなりうること（資料 19）及び（3）地球規模で自然破壊が進行し、人間の生活環境までも大きく変化する現代において、人と自然との調和に基づくウェルネス社会の実現に向けて、自然環境や生活環境のあり方を、サステナブルな視点（資料 20）から次世代に伝えていくことが求められており、こうした環境のあり方を伝える上で、体力やメンタルヘルスの向上、生きがい感の高まりなどスポーツの持つポジティブな側面を社会に定着させ、逆に暴力など、スポーツと親和性が高いと考えられてきたネガティブな側面を一掃するためには、スポーツ教育の持つ役割が大きなものとなること（資料 21）から、本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要は高まることが見込まれる。

さらに、2021 年度卒業者のうち、就職先上位 5 業種の 5 年間の就職者数の推移を見ると、「製造業」及び「サービス」が上位を占め、「金融・保険」が 2021 年度に大幅に減少、「情報」が増加していることがわかる（グラフ 1）。学士課程段階であるため、必ずしも全員が学修した専門分野と同様の業種に就職するわけではないが、「製造業」で

は「健康をはかる」計測機器の開発を行う企業、「トータルヘルスケアカンパニー」を謳う企業、「サービス」ではヘルスケアを行う企業、介護事業を行う企業、「卸・小売り」ではスポーツ用品の販売を行う企業、「情報」ではプロアスリートへのデータ分析システム・レポートの提供、強化サポート全般、データ分析を行う企業など、本学部における学修内容に深く関連する企業への就職実績が一定程度ある。上記（１）～（３）を踏まえると、今後、これらの業種からの人材需要が高まることが見込まれ、本学部卒業生の活躍の場が広がることになる。

<表 1、2 及びグラフ 1 は P5 参照>

加えて、2022 年 1 月 18 日に一般社団法人日本経済団体連合会（以下「経団連」という。）が公表した「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（資料 22）によると、大卒者に特に期待する資質・能力・知識として、表 3 の内容が挙げられている。これらは、本学部の学位授与方針に掲げる学修成果である「豊かな人間性と高い倫理観を持って、リーダーシップを発揮できる。」、「スポーツウエルネスに関する科学的視点や基礎知識・基礎理論を理解できる。」、「スポーツウエルネス学に必要な自然科学的研究法と人文社会科学的研究法を適切に運用できる。」、「スポーツに関わる人々やスポーツの多様性を尊重し、行動することができる。」及び「ウエルネスとスポーツ活動及びそれらを取り巻く社会環境に関する知見と諸理論を包括したスポーツウエルネス学を体系的に理解できる。」と関連性が認められることから、本学部は企業が求める能力及び知識を備えた新卒者を輩出することができるといえる。

<表 3 は P6 参照>

以上を踏まえ、（１）本学部の前身であるスポーツウエルネス学科はその就職率が示すように社会から評価されており、本学部においてもこの状況に変化は生じないことが見込まれること、（２）本学部で行う教育研究内容に対する社会の需要が高まることが見込まれるとともに、本学部の教育研究内容に関連する業種からの人材需要が高まることが見込まれ本学部卒業生の活躍の場が広がることが予想されること、（３）本学部の学位授与方針に掲げる学修成果は、企業から求められているものと関連性が認められることから、本申請における入学定員の増加規模は、社会的な人材需要の動向を踏まえたものであるといえる。

(表及びグラフ)

表 1

	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
対象者	111	114	113	107	108	553
進学、不明等除く	97	108	105	98	90	498
就職	92	107	100	94	86	479
就職率	94.85%	99.07%	95.24%	95.92%	95.56%	96.18%

表 2

業種	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	計
製造業	21	20	24	16	17	98
サービス	12	22	20	15	15	84
金融・保険	17	21	13	13	2	66
卸・小売	13	10	10	15	11	59
情報	0	9	5	9	13	36
教育	9	4	6	5	8	32
運輸・通信	6	7	3	5	3	24
放送・広告	2	4	6	4	5	21
公務	5	3	3	6	3	20
不動産・電気等	2	4	5	4	3	18
農業・林業等	5	3	4	1	4	17

(グラフ1) 就職先上位5業種

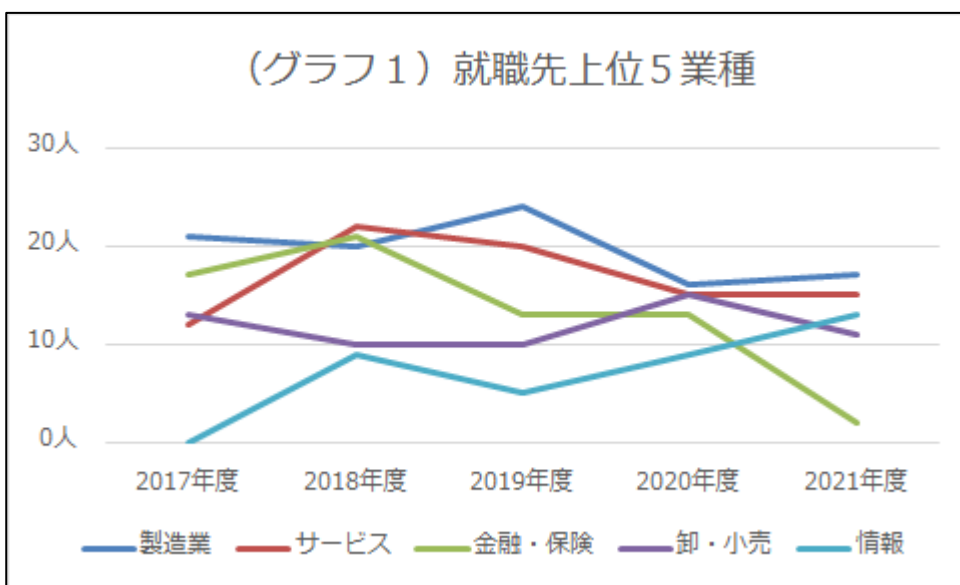


表3	特に期待する資質	特に期待する能力	特に期待する知識
上位1	主体性 (84.0%)	課題設定・解決能力 (80.1%)	文系・理系の枠を超えた知識 ・教養 (84.7%)
上位2	チームワーク・リーダーシップ ・協調性 (76.9%)	論理的思考力 (72.1%)	専攻分野における基礎知識 (75.8%)
上位3	実行力 (48.1%)	創造力 (42.6%)	専攻分野における専門知識 (61.8%)

※経団連公表資料から上位3つを抜粋